

# 下 滝 天 水 遺 跡

主要地方道前橋長瀨線地方特定道路整備事業  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2004

群 馬 県

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 下 滝 天 水 遺 跡

(遺物観察表・写真図版 編)

主要地方道前橋長瀨線地方特定道路整備事業  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 0 4

群 馬 県  
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 例 言

本書は『下滝天水遺跡』の遺物観察表および写真図版編である。本編の内容にかかわる凡例については以下に示す。

## 遺物観察表・遺物一覧表

- 1 遺物は本文に掲載した挿図番号の順に記載した。
- 2 遺物の種類ごとに書式の異なっている部分がある。
- 3 遺物番号は本文および写真図版に掲載した番号と一致している。
- 4 表中には次のような略語を使用した。

土器類計測値 口→口縁外径、頸→頸部最大径、胴→胴部最大径、底→底径、高→器高。

単位はcmである。数値は実測値であるため、挿図から得た値とは必ずしも一致していない。また、復元値には( )、残存値は[ ]をつけて区別した。

石器等一覧表 長→縦横の区別できるものは縦軸長、できないものは長軸長。幅→縦横区別のできるものは横軸長、できないものは短軸長。厚→厚み。以上の単位はcmである。重→重量。単位はgである。

- 5 土器類の胎土表記に用いた記号は以下の基準による。
  - A 粗砂・細礫サイズの結晶片岩・石英・角閃石や赤褐色・黒色・白色の岩片を多く含む土。産地を西毛地域と推定できるものが多い。
  - B 細砂サイズの雲母を多量に含む緻密な素地で、粗砂サイズの石英や岩片を少量含む以外に混入物の少ない土。
  - C Aに類似するが砂質で結晶片岩の混入がなく、産地を推定できない。
  - D Aに類似するが、夾雑鉱物の粒径が粗大となる。
  - E 素地はBに近く雲母を含むが、夾雑鉱物はAに類似する。
  - F ダスト状と表現できるような極めて細かな素地で、手で触れると微粒子が付く。結晶片岩を含む細礫サイズの混入物をやや多量に含む。
  - G その他。
- 6 土器類の色調については『新版標準土色帖』を使用した。
- 7 石器類の石材については飯島静男氏の同定による。

## 写真図版

- 1 写真図版の掲載順は、遺構と遺物に分け、それぞれ本文記載の順序と同じになるようように努めたが、レイアウトの都合で一部順序の乱れた部分がある。
- 2 遺物写真は残存状態の良いものを中心に掲載したので、小破片を中心に掲載していないものも多い。
- 3 遺物写真の縮率は本文挿図に概ね揃うようにしたが、同じでないものもある。

# 遺物観察表目次

1	方形周溝墓	1
2	竪穴住居	
	A 1 区	2
	A 2 区	13
	C 区以降	21
3	古墳時代の居館と溝	
	1 号溝	24
	2 号溝	26
	その他	30
4	中世館と堀	
	4 号溝	33
	その他	40
5	その他の溝	42
6	井戸	44
7	土坑	45
8	その他	
	A 1 区	49
	A 2 区	51
	B 区	51
	C 区	52
	取付道	52
9	上滝榎町北Ⅲ遺跡	53

# 写真目次

## PL-1 遠景

- 1 南側から眺めた下滝天水遺跡周辺
- 2 上空から眺めた下滝天水遺跡 (D区)

## PL-2 遠景・陥穴状土坑

- 1 北側から眺めた下滝天水遺跡 (A区)
- 2 91号土坑                      3 47号土坑
- 4 48号土坑                      5 82号土坑

## PL-3 方形周溝墓

- 1 1号方形周溝墓 (南から)
- 2 1号方形周溝墓遺物 (2) 出土状態
- 3 2号方形周溝墓 (東から)
- 4 2号方形周溝墓遺物出土状態 (西から)
- 5 2号方形周溝墓立ち上がり状態
- 6 2号方形周溝墓南隅断面 (北から)
- 7 2号方形周溝墓南隅遺物 (5・6・7他) 出土状態

## PL-4 A1区の竪穴住居

- 1 1号住居 全景 (南西から)
- 2 1号住居 遺物出土状態 (南から)
- 3 1号住居 カマド断面 (東から)
- 4 1号住居 床下土坑断面 (南から)
- 5 2号住居 全景 (西から)
- 6 2号住居 カマド (西から)
- 7 3号住居 遺物出土状態 (西から)
- 8 3号住居 掘り方 (西から)

## PL-5 A1区の竪穴住居

- 1 4号住居 全景 (南東から)
- 2 5号住居 全景 (東から)
- 3 6号住居 全景 (東から)
- 4 6号住居 カマド遺物 (3) 出土状態 (西から)
- 5 7号住居 全景 (東から)
- 6 7号住居 遺物出土状態 (東から)
- 7 7号住居 カマド断面 (南から)
- 8 7号住居 カマド遺物 (7・8・14・16・17) 出土状態 (西から)

## PL-6 A1区の竪穴住居

- 1 8号住居 全景 (南から)
- 2 8号住居 カマド遺物 (1~3他) 出土状態 (南から)
- 3 9号住居 全景 (西から)
- 4 9号住居 カマド断面 (南から)
- 5 10号住居 全景 (北から)
- 6 10号住居 遺物出土状態 (北から)
- 7 10号住居 貼床断面 (南西から)
- 8 10号住居 3号ピット断面 (南から)

## PL-7 A1区の竪穴住居

- 1 11号住居 全景 (東から)
- 2 11号住居 掘り方 (東から)
- 3 12号住居 全景 (南西から)
- 4 13号住居 全面 (東から)
- 5 13号住居 遺物出土状態 (東から)

- 6 13号住居 断面 (南から)
- 7 14号住居 全景 (北西から)
- 8 14号住居 カマド断面 (西から)

## PL-8 A1区の竪穴住居

- 1 15号住居 全景 (西から)
- 2 15号住居 カマド (北から)
- 3 15号住居 断面
- 4 16号住居 全景 (南西から)
- 5 17号住居 遺物出土状態 (北東から)
- 6 17号住居 カマド (南西から)
- 7 18号住居 遺物 (10) 出土状態 (西から)
- 8 18号住居 カマド全景 (西から)

## PL-9 A1区の竪穴住居

- 1 20号住居 掘り方全景 (東から)
- 2 20号住居 遺物 (5・8) 出土状態 (南から)
- 3 21号住居 使用面 (北東から)
- 4 21号住居 床下土坑断面 (西から)
- 5 22号住居 全景 (西から)
- 6 23号住居 全景 (南から)
- 7 24号住居 全景 (西から)
- 8 24号住居 カマド断割り全景 (南から)

## PL-10 A1区の竪穴住居

- 1 25号住居 遺物出土状態 (西から)
- 2 25号住居 掘り方全景 (西から)
- 3 25号住居 カマド断割り断面 (西から)
- 4 25号住居 南壁際出土遺物 (1~5他) (西から)
- 5 26号住居 全景 (西から)
- 6 27号住居 カマド断面 (南から)
- 7 28号住居 全景 (北から)
- 8 28号住居 床下断面 (西から)

## PL-11 A1区の竪穴住居

- 1 29号住居 全景 (西から)
- 2 29号住居 カマド遺物 (9) 出土状態 (西から)
- 3 30号住居 全景 (西から)
- 4 30号住居 掘り方全景 (西から)
- 5 31号住居 全景 (西から)
- 6 31号住居 掘り方全景 (西から)
- 7 32号住居 全景 (西から)
- 8 33号住居 全景 (西から)

## PL-12 A1区の竪穴住居

- 1 34号住居 全景 (西から)
- 2 34号住居 カマド前遺物 (1~5) 出土状態 (西から)
- 3 35号住居 全景 (南から)
- 4 35号住居 掘り方全景 (東から)
- 5 36号住居 全景 (西から)
- 6 36号住居 カマド掘り方断面 (南から)
- 7 37号住居 遺物出土状態 (南から)
- 8 37号住居 掘り方全景 (北から)

**PL-13 A1区の竪穴住居**

- 1 38号住居 全景（西から）
- 2 38号住居 掘り方全景（西から）
- 3 39号住居 床面（南西から）
- 4 39号住居 北西隅床上粘土（北から）
- 5 40号住居 全景（西から）
- 6 40号住居 掘り方全景（西から）
- 7 41号住居 全景（南西から）
- 8 41号住居 掘り方全景（南西から）

**PL-14 A1区の竪穴住居**

- 1 42号住居 全景（西から）
- 2 42号住居 掘り方全景（南から）
- 3 42号住居 カマド遺物（3）出土状態（西から）
- 4 43号住居 全景（西から）
- 5 43号住居 掘り方断面（北から）
- 6 43号住居 遺物（4・5・20）出土状態
- 7 44号住居 全景（北から）
- 8 45号住居 全景（北西から）

**PL-15 A2区の竪穴住居**

- 1 1号住居 断面と遺物（5）出土状態（南から）
- 2 1号住居 掘り方全景（東から）
- 3 2号住居 遺物出土状態（北東から）
- 4 2号住居 掘り方全景（北東から）
- 5 3号住居 全景（西から）
- 6 3号住居 貯蔵穴遺物（5・6）出土状態（北から）
- 7 4号住居 遺物出土状態（西から）
- 8 4号住居 掘り方全景（西から）

**PL-16 A2区の竪穴住居**

- 1 5号住居 炉断面（西から）
- 2 6号住居 掘り方全景（南東から）
- 3 7号住居 全景（南から）
- 4 7号住居 P3（南から）
- 5 8号住居 遺物出土状態（南から）
- 6 8号住居 全景（西から）
- 7 9号住居 遺物出土状態（南から）
- 8 9号住居 全景（南から）

**PL-17 A2区の竪穴住居**

- 1 9号住居 掘り方全景（南から）
- 2 10号住居 遺物出土状態（南から）
- 3 10号住居 遺物（1・3他）出土状態
- 4 10号住居 全景（南から）
- 5 10号住居 炉断面
- 6 11号住居 全景（南から）
- 7 11号住居 掘り方断面（東から）
- 8 12号住居 遺物出土状態

**PL-18 A2区の竪穴住居**

- 1 12号住居 カマド断面
- 2 12号住居 全景（西から）
- 3 13号住居 P3遺物（1～3）出土状態
- 4 13号住居 掘り方全景（南から）
- 5 14号住居 掘り方全景（南から）
- 6 15号住居 遺物出土状態（東から）
- 7 15号住居 掘り方全景（東から）
- 8 16・17号住居 全景（東から）

**PL-19 A2区の竪穴住居**

- 1 18号住居 全景（南から）
- 2 18号住居 掘り方全景（西から）
- 3 18号住居 カマド（西から）
- 4 18号住居 遺物出土状態
- 5 19号住居 全景（南から）
- 6 19号住居 掘り方全景（東から）
- 7 20号住居 全景（東から）
- 8 20号住居 遺物（4・7・11）出土状態

**PL-20 A2区の竪穴住居**

- 1 21号住居 遺物出土状態（南から）
- 2 21号住居 掘り方全景（南から）
- 3 22号住居 全景（西から）
- 4 22号住居 遺物（1・3・5）出土状態
- 5 23号住居 掘り方全景（東から）
- 6 25号住居 全景（東から）
- 7 26号住居 全景（西から）
- 8 26号住居 カマド遺物（12～14他）出土状態

**PL-21 A2区の竪穴住居**

- 1 27号住居 掘り方全景（北東から）
- 2 28号住居 全景（南から）
- 3 28号住居 掘り方全景（南から）
- 4 29号住居 掘り方全景（東から）
- 5 31号住居 全景（東から）
- 6 32号住居 全景（東から）
- 7 32号住居 掘り方全景（西から）
- 8 33号住居 全景（南から）

**PL-22 B区・C区の竪穴住居**

- 1 B区1号住居 全景（南から）
- 2 1号住居 掘り方全景（南から）
- 3 1号住居 焼土出土状態（南から）
- 4 1号住居 矢板痕西壁（南から）
- 5 C区1号住居 断面（西から）
- 6 2号住居 全景（西から）
- 7 2号住居 掘り方全景（西から）
- 8 2号住居 カマド（西から）

**PL-23 C区・取付道F区の竪穴住居**

- 1 C区3号住居 遺物出土状態（西から）
- 2 3号住居 掘り方全景（西から）
- 3 6号住居 掘り方全景（東から）
- 4 7号住居 掘り方（東から）
- 5 取付F区1号住居 掘り方全景（東から）
- 6 2号住居 全景（南から）
- 7 2号住居 カマド断面（南から）
- 8 3号住居 北壁断面（南から）

**PL-24 古墳時代の居館**

- 1 1号溝（東から）
- 2 1号溝断面（西から）
- 3 1号溝1区遺物出土状態（西から）
- 4 1号溝3区遺物出土状態（東から）
- 5 1号溝3区剣形石製品出土状態（南東から）
- 6 1号溝5区上層遺物出土状態（南東から）
- 7 1号溝5区下層遺物出土状態（東から）



**PL-25 古墳時代の居館**

- 1 2号溝(北東から)
- 2 2号溝断面(西から)
- 3 2号溝1区遺物出土状態(東から)
- 4 2号溝2区遺物出土状態(東から)
- 5 2号溝3区遺物出土状態(西から)
- 6 2号溝4区遺物出土状態(南西から)
- 7 2号溝4区(50・51)出土状態(南から)

**PL-26 A区古墳時代の溝**

- 1 A2区13号溝(南から)
- 2 13号溝遺物出土状態(北から)
- 3 A2区16号溝(南東から)
- 4 A1区16号溝遺物出土状態(南から)
- 5 A1区111号土坑断面(南から)
- 6 111号土坑(南西から)
- 7 A2区1号溝(南東から)

**PL-27 A1区中世館の溝**

- 1 4号溝(北から)
- 2 4号溝1区(西から)
- 3 4号溝2区(北東から)
- 4 4号溝5区上層遺物出土状態(北から)
- 5 4号溝5区下層遺物出土状態(南から)
- 6 4号溝南隅(西から)

**PL-28 A1区中世館の溝**

- 1 4号溝7・8区(北から)
- 2 4号溝C-C'断面(南から)
- 3 4号溝G-G'断面(南から)
- 4 5号溝上層遺物出土状態(南から)
- 5 5号溝下層遺物出土状態(北から)
- 6 5号溝B-B'断面(南から)
- 7 5号溝E-E'断面(西から)

**PL-29 その他の溝1 A1区の溝**

- 1 3・8号溝(東から)
- 2 3・8号溝断面(東から)
- 3 6号溝断面(南東から)
- 4 7号溝断面(南西から)
- 5 7号溝(東から)
- 6 9号溝断面(西から)
- 7 14号溝板碑出土状態(西から)

**PL-30 その他の溝2 A1区の溝**

- 1 11・12号溝(北から)
- 2 13号溝(西から)
- 3 14号溝断面(西から)
- 4 15号溝断面
- 5 14・15・9号溝(西から)

**PL-31 その他の溝3 A1区・A2区の溝**

- 1 A1区17号溝(北から)
- 2 18号溝(東から)
- 3 20号溝断面(南から)
- 4 20号溝(南から)
- 5 A2区2号溝(北西から)
- 6 2号溝西側(東から)
- 7 3号溝(東から)
- 8 3号溝(西から)

**PL-32 その他の溝4 A2区の溝**

- 1 4号溝(南東から)
- 2 5号溝(南東から)
- 3 4・5号溝(南東から)
- 4 6号溝断面(南東から)
- 5 6・7号溝(北西から)
- 6 7号溝断面(南東から)
- 7 8号溝(西から)

**PL-33 その他の溝5 A2区・B1区の溝**

- 1 A2区北隅の溝群断面(南から)
- 2 B1区3・2号溝(西から)
- 3 5・4・3号溝(南西から)
- 4 12・7・14・13号溝(北から)
- 5 12号溝断面(南から)
- 6 15号溝断面(東から)

**PL-34 その他の溝6 B1区・C区の溝**

- 1 B1区11・16号溝(南東から)
- 2 24号溝(南から)
- 3 C区1号溝(西から)
- 4 2号溝(東から)
- 5 4・6号溝断面(東から)
- 6 5・5'号溝断面(東から)

**PL-35 その他の溝7 C区の溝**

- 1 11号溝(南東から)
- 2 14号溝断面(西から)
- 3 16・15号溝(南から)
- 4 17号溝(西から)
- 5 19・36号溝(南から)
- 6 34・35号溝断面(南から)
- 7 34・35号溝(北西から)

**PL-36 その他の溝8 C区・取付道D区の溝**

- 1 C区33号溝(東から)
- 2 38号溝断面(東から)
- 3 大溝(南東から)
- 4 C区・取付道D区の泥流下溝群(北上空から)

**PL-37 その他の溝9 D区の溝**

- 1 1～3号溝(西から)
- 2 4号溝断面(東から)
- 3 5号溝(南から)
- 4 7・8号溝(西から)
- 5 14・19号溝(南から)
- 6 24・11・20・12・12B・13号溝(北東から)

**PL-38 その他の溝10 D区・E区の溝**

- 1 D区29・30・28・27号溝(南上空から)
- 2 31号溝
- 3 32・33号溝(東から)
- 4 34・35号溝(南から)
- 5 E区54～57号溝(東から)

**PL-39 その他の溝10 取付道A～C区の溝**

- 1 取付道A区2～5号溝(北西から)
- 2 7・9・10・14号溝(北西から)
- 3 11～13号溝(西から)
- 4 23号溝断面(東から)
- 5 取付道B区1号溝(南から)

- 6 2号溝断面 (南から)  
 7 取付道C区1号溝 (西から)  
 8 2号溝 (西から)
- PL-40 その他の溝11 取付道C・E区の溝**
- 1 取付道C区3・5・6号溝 (南から)  
 2 4号溝 (東から)  
 3 取付道E区3・10・12号溝 (南から)  
 4 4号溝 (南から)  
 5 7号溝断面 (北から)  
 6 6号溝 (北から)  
 7 17号溝断面 (南から)
- PL-41 掘立柱建物と柱列**
- 1 A1区1号掘立柱建物 (南から)  
 2 A1区3号掘立柱建物 (南から)  
 3 A1区1号柱列 (南東から)  
 4 A1区875-795グリッド付近 (西から)  
 5 A2区1号掘立柱建物 (南から)  
 6 C区1号掘立柱建物 (東から)  
 7 C区2号掘立柱建物 (南から)
- PL-42 B区1号掘立柱建物**
- 1 B区1号掘立柱建物 (北から)  
 2 P4断面 (南から)      3 P5 (南から)  
 4 P6断面 (南から)      5 P9断面 (南から)  
 6 P14断面 (南から)      7 P15断面 (南から)  
 8 P17 (南から)      9 P18 (南から)  
 10 P22 (南から)
- PL-43 井戸1**
- 1 A1区1号井戸断面 (南東から)  
 2 2号井戸断面      3 2号井戸  
 4 3号井戸礫出土状態 (東から)  
 5 3号井戸 (北から)  
 6 4号井戸上層礫出土状態 (北から)  
 7 4号井戸下層石組み状態 (北から)  
 8 4号井戸底面 (北から)
- PL-44 井戸2**
- 1 A1区5号井戸断面      2 5号井戸  
 3 6号井戸      4 6号井戸礫出土状態  
 5 7号井戸断面      6 7号井戸  
 7 A2区1号井戸下層断面 (南西から)  
 8 1号井戸 (南から)
- PL-45 井戸3**
- 1 A2区2号井戸礫出土状態 (西から)  
 2 2号井戸 (西から)  
 3 8号井戸遺物出土状態 (東から)  
 4 4号井戸 (南から)  
 5 5号井戸遺物出土状態 (東から)  
 6 5号井戸 (東から)  
 7 6号井戸 (西から)  
 8 7号井戸 (北から)
- PL-46 井戸4・粘土採掘坑**
- 1 B区1号井戸 (西から)  
 2 2号井戸  
 3 3号井戸 (南から)  
 4 4号井戸断面
- 5 取付道E区1号井戸 (北東から)  
 6 1号井戸上面礫出土状態 (北東から)  
 7 A1区粘土採掘坑 (西から)  
 8 粘土採掘坑断面 (南西から)
- PL-47 土坑1 A1区の土坑**
- 1 1号土坑      2 2号土坑  
 3 3号土坑      4 4号土坑  
 5 5号土坑      6 6号土坑  
 7 8・7号土坑      8 9号土坑  
 9 10号土坑      10 11号土坑  
 11 12号土坑      12 13号土坑断面  
 13 14号土坑      14 15号土坑断面  
 15 16号土坑      16 17号土坑断面  
 17 18号土坑      18 19・20号土坑
- PL-48 土坑2 A1区の土坑**
- 1 21号土坑      2 22号土坑  
 3 23号土坑      4 24号土坑  
 5 24・25・26号土坑      6 27号土坑  
 7 28号土坑断面      8 29号土坑  
 9 30号土坑      10 31号土坑  
 11 32号土坑      12 33号土坑  
 13 31・32・33号土坑      14 34号土坑  
 15 35号土坑      16 36号土坑断面  
 17 37号土坑断面      18 38号土坑
- PL-49 土坑3 A1区の土坑**
- 1 39号土坑断面      2 40号土坑  
 3 41号土坑      4 42号土坑  
 5 43号土坑      6 44号土坑  
 7 45号土坑断面      8 46号土坑断面  
 9 50号土坑      10 51号土坑  
 11 52号土坑      12 53号土坑  
 13 54号土坑      14 55号土坑  
 15 56・57・58号土坑      16 59号土坑  
 17 60号土坑      18 61号土坑
- PL-50 土坑4 A1区の土坑**
- 1 62号土坑断面      2 63号土坑  
 3 64・65号土坑      4 66・67号土坑  
 5 68号土坑      6 69号土坑  
 7 71号土坑断面      8 72号土坑断面  
 9 73号土坑断面      10 74号土坑  
 11 75号土坑      12 76号土坑  
 13 77号土坑      14 78号土坑  
 15 79号土坑      16 80号土坑  
 17 81号土坑      18 83・84号土坑
- PL-51 土坑5 A1区の土坑**
- 1 85号土坑断面      2 86号土坑  
 3 87号土坑断面      4 88号土坑  
 5 89号土坑断面      6 90号土坑  
 7 92号土坑      8 93号土坑  
 9 94号土坑      10 95号土坑  
 11 96号土坑      12 97号土坑  
 13 98号土坑      14 99・100号土坑断面  
 15 99・100号土坑      16 101号土坑  
 17 102号土坑断面      18 103号土坑断面

**PL-52 土坑6 A1区の土坑**

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 104号土坑断面    | 2 105号土坑断面  |
| 3 106号土坑      | 4 107号土坑    |
| 5 108号土坑断面    | 6 109号土坑    |
| 7 110号土坑(墓坑)  | 8 112号土坑断面  |
| 9 113号土坑断面    | 10 115号土坑   |
| 11 116号土坑     | 12 117号土坑   |
| 13 118号土坑断面   | 14 119号土坑断面 |
| 15 121号土坑断面   | 16 122号土坑断面 |
| 17 122・123号土坑 | 18 125号土坑断面 |

**PL-53 土坑7 A1区の土坑**

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 127号土坑  | 2 128号土坑    |
| 3 129号土坑  | 4 130号土坑断面  |
| 5 131号土坑  | 6 132号土坑    |
| 7 133号土坑  | 8 134号土坑    |
| 9 135号土坑  | 10 136号土坑   |
| 11 137号土坑 | 12 138号土坑   |
| 13 139号土坑 | 14 140号土坑   |
| 15 141号土坑 | 16 143号土坑断面 |
| 17 144号土坑 | 18 145号土坑断面 |

**PL-54 土坑8 A1区・A2区の土坑**

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 A1区146号土坑断面 | 2 147号土坑         |
| 3 148号土坑断面    | 4 149号土坑断面       |
| 5 150号土坑断面    | 6 152号土坑         |
| 7 A2区1号土坑     | 8 2号土坑           |
| 9 3号土坑        | 10 5号土坑          |
| 11 6号土坑断面     | 12 7号土坑          |
| 13 8号土坑       | 14 9号土坑          |
| 15 10号土坑      | 16 11号土坑         |
| 17 12号土坑      | 18 13号土坑・3号ビット断面 |

**PL-55 土坑9 A2区の土坑**

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 14号土坑    | 2 15号土坑断面   |
| 3 16号土坑    | 4 17号土坑断面   |
| 5 18号土坑断面  | 6 19号土坑断面   |
| 7 19号土坑    | 8 20号土坑断面   |
| 9 21号土坑    | 10 22号土坑    |
| 11 23号土坑   | 12 24号土坑    |
| 13 25号土坑断面 | 14 26号土坑    |
| 15 27号土坑   | 16 28・29号土坑 |
| 17 29号土坑   | 18 30号土坑断面  |

**PL-56 土坑10 A2区の土坑**

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 31号土坑断面  | 2 32号土坑    |
| 3 33・35号土坑 | 4 34号土坑    |
| 5 36号土坑    | 6 37号土坑    |
| 7 38号土坑断面  | 8 41・40号土坑 |
| 9 42号土坑    | 10 43号土坑断面 |
| 11 44号土坑   | 12 45号土坑   |
| 13 46号土坑断面 | 14 47号土坑   |
| 15 48号土坑   | 16 49号土坑   |
| 17 50号土坑   | 18 51号土坑断面 |

**PL-57 土坑11 A2区・B区・C区の土坑**

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1 A2区52号土坑断面 | 2 53号土坑  |
| 3 54号土坑      | 4 B区1号土坑 |
| 5 3号土坑       | 6 4号土坑断面 |

- |            |            |
|------------|------------|
| 7 5号土坑     | 8 7号土坑断面   |
| 9 8号土坑断面   | 10 C区15号土坑 |
| 11 20号土坑   | 12 21号土坑   |
| 13 22号土坑   | 14 29号土坑断面 |
| 15 39号土坑断面 | 16 40号土坑断面 |
| 17 42号土坑   | 18 44号土坑   |

**PL-58 土坑12 C区・E区・取付道の土坑**

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 C区46号土坑断面  | 2 47号土坑断面      |
| 3 49号土坑      | 4 50号土坑        |
| 5 58号土坑断面    | 6 64号土坑        |
| 7 E区67号土坑    | 8 69号土坑        |
| 9 70号土坑      | 10 71号土坑       |
| 11 74号土坑     | 12 75・76・77号土坑 |
| 13 取付道C区1号土坑 | 14 6・7号土坑      |
| 15 8号土坑断面    | 16 取付道E区1号土坑断面 |
| 17 2号土坑      | 18 5号土坑        |

**PL-59 D区As-B下水田**

- 1 D区北側のAs-B下水田(上方が東)
- 2 D区As-B下水田(北側上空から)

**PL-60 D区・E区As-B下水田**

- 1 D区As-B下水田(南側上空から)
- 2 E区As-B下水田(北側上空から)

**PL-61 D区As-B下水田**

- 1 東隅の畦と田面(北から)
- 2 第7区画足跡列(西から)
- 3 畦沿いの足跡列(西から)
- 4 9号畦と水口(北から)
- 5 足跡確認状態

**PL-62 C区Hr-FA下水田**

- 1 C区Hr-FA下水田(上方が北)

**PL-63 C区Hr-FA下水田**

- 1 C区Hr-FA下水田遠景(南から)
- 2 C区Hr-FA下水田全景(南から)

**PL-64 D区Hr-FA下水田**

- 1 D区Hr-FA下水田(上方が北)

**PL-65 C区Hr-FA下水田**

- 1 C区南側Hr-FA下水田(東から)
- 2 C区北側Hr-FA下水田(東から)

**PL-66 D区Hr-FA下水田**

- 1 D区Hr-FA下水田作業風景(南から)
- 2 D区Hr-FA下水田と北隅微高地(北から)

**PL-67 D区Hr-FA下水田**

- 1 D区Hr-FA下水田全景(南から)
- 2 D区Hr-FA下水田全景(北から)
- 3 D区Hr-FA下水田降雨後の水没状況(南から)

**PL-68 C区・D区Hr-FA下水田**

- 1 C区1号畦と水口(東から)
- 2 D区2号大畦(北西から)
- 3 C区畦区画(北から)
- 4 D区畦区画(北西から)
- 5 C区畦区画と水口(北西から)
- 6 D区北西隅微高地と水田(北東から)
- 7 C区畦区画と水口(北西から)
- 8 C区水口(北西から)

**PL-69 C区・D区Hr-FA下水田**

- 1 C区140-770グリッド付近土層断面（東から）
- 2 D区285-755グリッド付近畦断面
- 3 C区耕土断面
- 4 C区足跡確認状態
- 5 C区ヒト足跡確認状態
- 6 D区ヒト足跡
- 7 C区馬蹄跡確認状態
- 8 D区馬蹄跡

**PL-70 C区・D区As-C混下水田**

- 1 D区As-C混下水田全景（北から）
- 2 C区As-C混下水田（北から）
- 3 C区As-C混下水田（北から）
- 4 D区As-C混下水田とFA下水田（北西から）
- 5 D区As-C混下水田とFA下水田（南東から）

**PL-71 B2区泥流下耕作痕**

- 1 B2区泥流下耕作痕全景（北から）

**PL-72 C区泥流下耕作痕**

- 1 C区泥流下畝全景（上方が北）

**PL-73 B2区・C区泥流下耕作痕**

- 1 C区南隅泥流下耕作痕（北から）
- 2 B2区泥流下耕作痕（東から）
- 3 C区耕作痕内の掘削工具痕
- 4 B2区東壁断面
- 5 C区耕作痕内の掘削工具痕

**PL-74 C区・取付道A区泥流下耕作痕**

- 1 C区北側泥流下耕作痕（南から）
- 2 取付道A区泥流下耕作痕（北から）

**PL-75 取付道A～C区の復旧痕と水田**

- 1 取付道C区275-675グリッド付近As-A復旧痕確認状態（東から）
- 2 同左 復旧痕
- 3 同上 復旧痕鋤跡
- 4 取付道C区245-678グリッド付近As-A復旧痕確認状態（南東から）
- 5 取付道C区As-B下水田（南から）
- 6 取付道C区As-B下水田 ヒト足跡
- 7 取付道B区Hr-FA下水田（西から）
- 8 取付道A区Hr-FA下水田（北から）

**PL-76 道跡**

- 1 A区道跡側溝（西から）
- 2 A区道跡側溝断面（東から）
- 3 取付道F区道跡（西から）
- 4 取付道F区道跡（東から）

**PL-77 1・2号方形周溝墓出土遺物**

**PL-78 A1区1～4・6・7号住居出土遺物**

**PL-79 A1区7・8号住居出土遺物**

**PL-80 A1区9・10・13～15・17号住居出土遺物**

**PL-81 A1区18・20号住居出土遺物**

**PL-82 A1区22・24～26号住居出土遺物**

**PL-83 A1区27・29・31号住居出土遺物**

**PL-84 A1区34・36・38・39号住居出土遺物**

**PL-85 A1区40・42～44号住居出土遺物**

**PL-86 A2区1～4号住居出土遺物**

**PL-87 A2区4・7・9・10号住居出土遺物**

**PL-88 A2区10・12号住居出土遺物**

**PL-89 A2区12～14・18号住居出土遺物**

**PL-90 A2区18・19号住居出土遺物**

**PL-91 A2区20～22号住居出土遺物**

**PL-92 A2区25・26号住居出土遺物**

**PL-93 A2区28・29・31号住居・B1区1号住居出土遺物**

**PL-94 C区・取付道F区住居出土遺物**

**PL-95 A1区1号溝出土遺物（1）**

**PL-96 A1区1号溝出土遺物（2）**

**PL-97 A1区1号溝出土遺物（3）・2号溝出土遺物（1）**

**PL-98 A1区2号溝出土遺物（2）**

**PL-99 A1区2号溝出土遺物（3）**

**PL-100 A1区2号溝出土遺物（4）**

**PL-101 A2区13号溝出土遺物（1）**

**PL-102 A2区13号溝出土遺物（2）**

・A1・2区16号溝出土遺物

**PL-103 A2区16号溝・1号溝・A1区111号土坑出土遺物**

**PL-104 A1区4号溝出土遺物（1）**

**PL-105 A1区4号溝出土遺物（2）**

**PL-106 A1区4号溝出土遺物（3）**

**PL-107 A1区4号溝出土遺物（4）**

**PL-108 A1区4号溝出土遺物（5）**

**PL-109 A1区4号溝出土遺物（6）**

**PL-110 A1区4・14号溝出土板碑**

**PL-111 その他の溝出土遺物**

**PL-112 井戸出土遺物**

**PL-113 土坑出土遺物（1）**

**PL-114 土坑出土遺物（2）**

**PL-115 縄文時代の石器（1）**

**PL-116 縄文時代の石器（2）**

**PL-117 縄文土器**

**PL-118 中近世の瓦**

**PL-119 その他の遺物（1）**

**PL-120 その他の遺物（2）**

**PL-121 榎町北Ⅲ遺跡（1）**

1 As-A下およびAs-A混土面（西から）

2 As-B下面（西から）

**PL-122 榎町北Ⅲ遺跡（2）**

1 3号溝の新古状態（北東から）

2 As-B下水田畦と9・10号溝（東から）

3 池跡（北西から）

4 池跡（南から）

5 Hr-FA下水田（西から）

**PL-123 榎町北Ⅲ遺跡（3）**

1 Hr-FA下水田（北から）

2 Hr-FA下面14号溝（南東から）

3 Hr-FA下面14号溝（東から）

4 15・16（右）号溝（北西から）

5 15号溝土層断面（西から）

6 出土遺物

## 出土遺物観察表

### 1 方形周溝墓

#### 1号方形周溝墓

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	口(13.4) 高[4.6]	口縁部小片	口縁折り返しの上に外面刷毛目。その上に内外面幅太で雑なヘラ磨き。口縁上端にもヘラ磨きを加える。	①C。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10Y R6/3。口縁上端は赤色味、断面は灰色味をおびる。
2	土師器 台付甕	口17.3 台下9.3 高29.1	約50片。 3/4個体	ハケ目は丁寧。内面も比較的平滑に仕上げる。胴部と台部の接合部分は大きく歪む。	①B。素地緻密だが台付甕としては混入物は大き。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/3。下半に黒斑状のムラあり。断面は黒色味をおびる。

#### 2号方形周溝墓

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口(16.8) 高[5.2]	受部3/4	外面粗いハケ目の上にナデ。細かい擦痕が残る。内外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
2	土師器 器台	高[5.0]	図示部ほぼ完存	3ヶ所穿孔。丁寧に仕上げる。外面は丁寧なヘラ磨き。内面下半は弱いハケ目。外面赤色塗彩。	①B。輝石類、赤褐色鉱物やや含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。内面は明度低い。赤彩部は赤橙10R6/6。
3	土師器 器台	口9.0 脚下10.9 高10.3	受部1/2、脚部ほぼ完存	脚部に3ヶ所穿孔。外面ハケ目上にナデ。内面杯部ヘラ状工具の痕跡。脚部指頭圧痕残り、器面の凹凸顕著。脚部内面を除いて赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
4	土師器 器台	口14.0 脚下12.8 高11.0	受部ほぼ完存、脚部3/4	外面杯部ハケ目。脚部鋭いヘラ削りの上にハケ目。内面脚部下半ハケ目。最後にナデ調整を全体に施すが、雑な作り。脚部内面を除き赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
5	土師器 小型壺	底4.2 高[8.7]	図示部の3/4	外面ハケ目上にナデ。内面ヘラ状工具によるナデ。一部削りに近い。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
6	土師器 壺	口11.2 底(6.3) 高18.8	図示部の3/4	外面ハケ目の上にナデ。口縁部の折り返しやや雑。内面胴部指頭圧痕、輪積痕明瞭。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。外面胴部に黒斑あり。赤彩部は赤橙10R6/6。
7	土師器 壺	底5.4 高[7.1]	底部完存	外面ハケ目の上にナデ。細かい擦痕が残る。内面はヘラ状工具によるナデで、平滑。底部焼成前穿孔。外面赤色塗彩。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。赤彩部は赤橙10R6/6。
8	土師器 壺	口(16.3) 高[6.8]	図示部の1/6	口縁ナデ。粗い擦痕が見られる。胴部外面丁寧なナデ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③赤褐5YR4/8。
9	土師器 台付甕	口13.1 高[11.0]	口縁3/4、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部のハケ目は弱い。内面胴部幅広工具によるナデだが、器面の凹凸目立つ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/3。
10	鉄器 刀子か	長[3.6] 幅[1.3]厚[0.15]	床面直上 身部小破片	峰に相当する部分は弱く屈曲している。刃部不明瞭で刀子とは確定できない。	①銹化すすむがメクレ等はなく、地金は良好。④欠損は旧時。

## 2 竪穴住居

## A1区に住居

## 1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(14.0) 鈕4.4 高3.0	北西壁寄りの床直上および埋没土の3片。 図示部の1/2	右回転ロクロ→天井部幅広の回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。ロクロ痕明瞭。	①G。黒色鉱物散見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰5Y5/1。内面は灰白5Y8/1。
2	須恵器 高杯	高[3.0]	埋没土。 図示部の1/4	右回転ロクロ。外面回転ヘラ削り。脚部に透かしの痕跡。内面凹凸顕著。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③暗灰N3/0。
3	土師器 杯	口(12.7) 高3.2	北隅付近の床直上5cm。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内外面とも比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR7/4。
4	土師器 杯	口(14.0) 底(7.4) 高[3.4]	カマド北袖直前の床直上17cm。 図示部の1/8	やや厚手。外面ナデに近い丁寧なヘラ削り。内面やや不整な放射状暗文。	①A。赤褐色鉱物の混入が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/8。
5	土師器 杯	口14.4 底9.2 高4.4	カマド内及びカマド前面の床直上の5片。 図示部の3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁弱いナデ。外底丁寧なヘラ削り。内面放射状暗文。器面は比較的平滑。	①E。やや大粒の赤褐色鉱物を含む。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。
6	須恵器 長頸壺	高[4.7]	住居中央南東壁寄りの床直上19cm。 肩部1/4	右回転ロクロ。肩部に2条（一部3条）の沈線巡る。外面降灰軸付着。内面ロクロ痕の擦痕顕著。	①G。石英混じりの片岩混入。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5Y7/1。
7	土師器 甕	口(21.0) 高[7.8]	カマド内とカマド前面の床直上から床直上5cmの8片。口縁1/2	薄手。胴部外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具によるナデで平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
8	土師器 甕	口(22.2) 高[5.7]	中央付近の床直上から床直上19cmまでの4片。口縁1/2	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が残る。比較的平滑。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。

## 2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(12.0) 底(7.4) 高4.3	埋没土。 1/4個体	右回転ロクロ。外底はヘラ切り離しの上をナデで、平滑に仕上げる。	①F。黒色鉱物散見。素地緻密、混入物は少なく器壁は滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
2	須恵器 杯	口(13.8) 底(8.1) 高3.6	埋没土。 図示部の1/6	器面摩滅。右回転ロクロ。ロクロ痕の凹凸顕著。	①A。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③灰白5Y8/1。
3	須恵器 高台付杯	口(15.0) 底(8.9) 高3.6	埋没土。 図示部の1/5	右回転ロクロ。高台削り出し。ロクロ痕は弱く、比較的平滑。	①F。素地緻密、混入物は少なく器壁滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白5Y7/1。
4	土師器 杯	口12.4 高3.6	床下（1号溝内） 1/2個体	口縁小さく波状に歪む。外底のヘラ削りは丁寧。内面同心円状にナデの擦痕が巡る。比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
5	土師器 甕	口(20.2) 高[11.1]	カマド内の6片。 図示部の1/4	薄手。口縁のナデは雑。胴部外面やや強いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③赤褐5YR4/6。一様でない。④胴部外面にスス付着。
6	土師器 甕	口(19.5) 高[8.8]	床下（1号溝内） 口縁小破片	薄手。口縁歪む。胴部ヘラ削り丁寧。頸部にヘラ傷が無調整で残る。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。比較的平滑。	①A。石、砂粒の混入が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。

## 3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口16.4 鈕5.2 高2.8	カマド前面から南東隅付近の床直上4片。 ほぼ完存	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。ロクロ痕明瞭。鈕端部・カエリ鋭い。	①G。白色粒子、素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調。③黄灰2.5Y6/1。
2	土師器 杯	口(11.8) 高[3.1]	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
3	土師器 杯	口15.0 高3.8	カマド前面および埋没土の11片。 図示部の3/4	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。口縁のナデやや雑。外底のヘラ削り強いが、周辺に型膚痕を残す。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
4	土師器 甕	口(18.9) 高4.7	埋没土。 口縁1/4	口縁ナデ。胴部外面やや強いヘラ削り。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
5	土師器 甕	口(18.8) 高5.3	掘り方埋め戻し土。 口縁1/4	口縁やや弱いナデ。内面ヘラ状工具による強いナデ。口縁内端面を持つ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。

## 4号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 台付甕	底8.6 高[7.0]	住居中央の床直上と埋没土の10片。台部1/2	器面の摩滅著しく、整形痕不明。台部内面折り返しは丁寧。	①E。素地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③黒褐10YR2/2。

## 5号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	高2.5	東壁際床直上。 天井部1/4	右回転ロクロ。外面の降灰軸多く整形痕不明だが狭い範囲に回転ヘラ削りか。内面はロクロ痕弱く、比較的平滑。	①G。素地粗い。黒色鉱物、石英粒多い。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5Y7/1。

## 6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(12.8) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/5	右回転ロクロ。外底手持ちヘラ削り。ロクロ痕弱く、比較的平滑。	①G。黒色鉱物散見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰N6/0。一様でない。
2	土師器 甕	口(22.0) 高[10.2]	埋没土。 図示部の1/3	口縁は波状に歪む。胴部外面非常に強いヘラ削り。内面ヘラ状工具の丁寧なナデで、比較的平滑。	①D。素地粗く、砂粒の混入多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5Y5/6。
3	土師器 甕	口21.2 高[32.4]	カマド内や前面・袖上に散乱する5片。 図示部の2/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁弱いナデ。胴部外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。赤褐色鉱物含み、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。④胴部外面にスス附着。

## 7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(13.0) 高[3.2]	カマド前面の床上10cm。 口縁若干、体部1/4	右回転ロクロか。外面天井部細かい手持ちヘラ削り。天井内面のロクロ痕の幅は狭く鋭い。	①G。素地緻密、混入物は少なく砂質。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰N4/0。
2	須恵器 蓋	口(12.0) 高[4.3]	住居中央の床上9cm。 口縁若干、体部1/4	右回転ロクロか。外面天井部細かい手持ちヘラ削り。ロクロナデの擦痕明瞭。	①G。素地緻密、混入物は少なく砂質。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
3	須恵器 蓋	口(12.0) 高[4.6]	埋没土。 図示部の1/8	右回転ロクロ→弱い回転ヘラ削り。天井部厚手。内面平滑。	①G。素地緻密、混入物は少なく砂質。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
4	須恵器 杯	口12.0 高3.1	南東隅の床直上。 ほぼ完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。右回転ロクロ→外底回転ヘラ削り。	①G。やや粉っぽく、黒色鉱物、雲母粒が目立つ。②還元焰、やや軟調。③灰白7.5Y8/1。口縁は黒色味強い。
5	須恵器 杯	口13.1 高3.1	カマド南脇の床上17cm。 図示部の1/3	右回転ロクロ→外底回転ヘラ削り。内底ロクロ痕の凹凸明瞭。	①G。素地粗く、片岩、石英目立つ。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y6/1。
6	須恵器 杯	口(12.6) 高4.0	埋没土。 口縁1/2、体部2/3	右回転ロクロ。外底ナデに近い手持ちヘラ削り。	①G。素地緻密、混入物は少ない。黒色鉱物散見。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。一様でない。
7	土師器 杯	口11.8 高3.8	カマド火床北寄り直上。 完存	口縁雑なナデ。型膚痕が見られる。外底のヘラ削りは細かく強い。内面平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
8	土師器 杯	口10.9 高3.5	カマド燃焼部内3片とカマド前面の1片。 3/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内底に工具の圧痕明瞭。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/8。
9	土師器 杯	口12.0 高3.9	南壁直下の床上8cm。 2/3個体	外面は器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内面はナデの擦痕が同心円状に巡り、比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
10	土師器 杯	口(12.2) 高3.6	南壁直下の床上4cm。 図示部の1/3	口縁やや強いナデ。外底幅の広いヘラ削り。内底にヘラ状工具による圧痕残り、凹凸顕著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。
11	土師器 杯	口(11.5) 高[3.2]	埋没土。 図示部の1/3	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。口縁強いナデ。外底弱いナデ。型膚痕が明瞭に残る。内面は器面の剥落が進む。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/8。
12	土師器 杯	口(11.6~13.0) 高[4.2]	南壁直下の床ほぼ直上。 図示部の1/4	口縁のナデは強く、擦痕明瞭。外底やや強いヘラ削り。内面平滑。歪み著しい。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。一様でない。
13	土師器 埴	高[3.3]	埋没土。 底部1/2	外面ヘラ削り。一部ヘラ磨きか。内面細かいナデで、器面の平滑さ損なう。	①A。赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/4。内面は黒色味強い。
14	土師器 甕	高[22.9]	カマド火床上およびカマド周辺の9片。胴部2/3	外面ヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。輪積痕明瞭で、器面の凹凸顕著。	①A。赤褐色鉱物含み、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。④二次被熱。
15	土師器 甕	口17.2 底4.4 高26.4	カマド南壁際際の床直上。完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面は丁寧なナデ。擦痕明瞭。	①A。赤褐色鉱物含み、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。④二次被熱。
16	土師器 甕	口17.3 底7.7 高23.5	カマド火床直上に倒置された9片。 完存	厚手。器面摩滅し整形痕不明瞭。胴部外面鋭いヘラ削り。上半は削りの上に丁寧なナデか。内面丁寧なナデ。輪積痕明瞭。外底に木葉痕。	①A。赤褐色鉱物含み、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/4。④内面胴部下スス附着。
17	土師器 甕	底(4.5) 高[7.4]	カマド燃焼部内およびカマド周辺の9片。 図示部ほぼ完存	外面鋭いヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が見られる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。一様でない。④外面スス附着。

## 8号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口11.8 高3.4	カマド燃焼部焼き口側の床直上の4片。図示部の3/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。内面黒色。

## A1区の竪穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2	土師器 杯	口11.7 高4.1	カマド掘り方内の3片。 図示部の2/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。やや雑か。	①F。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
3	土師器 杯	口(11.0) 高[3.3]	カマド前面南脇床直上の2片。図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。ヘラ削りの単位は不明。	①F。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR7/6。
4	土師器 杯	口(13.0) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡。	①A。白色針状物質含む。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
5	土師器 杯	口(11.6) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁はナデの擦痕が見られる。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
6	土師器 甕	口21.2 高32.4	カマド煙道寄り燃焼部内に散乱する20数片。 図示部の2/3	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面鋭いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。赤褐色鉱物含み、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
7	土師器 甕	口(19.2) 高[7.6]	カマド燃焼部焚き口側に散乱する8片。 口縁完存	胴部外面強いヘラ削り。内面はヘラ状工具ナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
8	土師器 甕	口20.6 高[16.8]	カマド内と一部住居外の破片を含む14片。 図示部の1/2	口縁下半強いナデ。胴部外面は鋭いヘラ削り。内面はヘラ状工具によるナデで、比較的平滑。	①D。やや大粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
9	土師器 甕	口(20.0) 高[11.0]	埋没土。 図示部1/8	厚手。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
10	石製品 勾玉	長3.75 幅1.55 厚0.50 重6.7	埋没土。 ほぼ完存	扁平で一面は比較的平坦。穿孔は片側から。表面の擦痕は少ない。	①蛇紋岩。

## 9号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	かわらけ	口8.2 底4.6 高1.6	ピット1西脇の床直上1片。完存	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。内底のロクロ痕鋭い。	①G。混入物は少ない。②還元焰、やや硬調。③橙7.5YR7/6。
2	須恵器 杯	口14.0 底7.3 高3.7	カマド前面床直上およびカマド内の5片。 口縁2/3、底部ほぼ完存	やや厚手。右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕の凹凸顕著。擦痕明瞭。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②還元焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR6/3。
3	須恵器 杯	口(14.4) 底5.8 高3.9	南壁下西寄りの床直上5片。 口縁若干、底部完存	器面の摩滅著しい。右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。高台欠損。	①E。やや砂質。②還元焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR6/4。
4	須恵器 杯	口(14.2) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。右回転ロクロ。ロクロ痕弱い。	①G。やや砂質、混入物は少ない。②還元焰、やや軟調。③灰N5/0。内面は灰白色。
5	土師器 甕	口(28.0) 高[8.4]	カマド内・ピット2内等南側に散乱する5片。 図示部の1/2	口縁指頭圧痕残る。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。口縁端部に弱い沈線残る。	①E。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/4。一様でない。④外面と口縁内面にスス附着。
6	土師器 甕	口(17.4) 高[15.4]	カマド内およびピット2内。図示部の1/8	胴部外面鋭いヘラ削り。上半ナデ。内面丁寧なナデで、比較的平滑。小片からの復元で、径・傾き不安。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
7	砥石	長14.8 幅7.0~3.9 厚2.7	南壁にほぼ密着。 一端を欠く	両端を除く4面使用だが、側面の使用に偏り顕著。	①流紋岩。

## 10号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(9.4) 底(6.4)高3.5	ピット1の北西脇床直上。図示部の1/2	右回転ロクロ。底部回転ヘラ切り離し。外面降灰軸附着。ロクロ痕は弱い。	①G。白色粒子極めて多い。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y6/1。
2	土師器 杯	口(10.0) 高[3.2]	ピット1内床下32cm。 1/4個体	やや厚手。外底細かいヘラ削り。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙5YR5/4。一様でない。
3	土師器 杯	口9.8 高3.0	ピット1内床下6cm。 完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りは範囲が狭く、周辺に無調整部分広く残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
4	土師器 杯	口9.8 高3.2	ピット4の南脇床直上6片。ほぼ完存	外底のヘラ削りは丁寧。内底はナデの擦痕が同心円状に巡る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
5	土師器 杯	口(12.9) 高3.9	ピット3の北脇床直上5片。 1/2個体	口縁ナデの擦痕明瞭。外底強いヘラ削り。内底に工具の圧痕があり、器面の平滑さ損なう。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
6	土師器 甕	口(18.2) 高[8.5]	住居中央西寄りの床直上。口縁1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。頸部にヘラ傷が無調整で残る。内面ヘラ状工具ナデの痕跡。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 甕	底(5.4) 高[7.6]	埋没土。 底部1/2	外面やや強いヘラ削り。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。圧痕明瞭。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/3。④外面胴部下端から底部にスス附着。

## 11号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甕	口(22.4) 高[5.3]	埋没土。 口縁小破片	口縁ナデ。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。一様でない。④内面胴部にスス附着。



## 13号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 長頸壺	高[12.4]	北壁下床上6cm。 頸部4/5	右回転ロクロ。ロクロ痕は弱く、器面は比較的平滑。内面巻上げ状の輪積痕明瞭。	①G。素地緻密、混入物は少ない。黒色鉱物散見。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白10YR7/1。黒色味強いムラあり。
2	土師器 小型壺	高[5.1]	埋没土。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、調整痕不明瞭。内底は指頭痕の凹凸明瞭。	①C。赤褐色鉱物含む。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄褐10YR5/4。底部に黒色のムラあり。
3	石製品 紡錘車か	径(3.1) 厚0.7 重4.1	埋没土。 1/3個体	薄手。側面中段に稜が残る。孔部分は残存していない。細かく鋭い擦痕が全面に見られる。	①かんらん岩。

## 14号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	高[2.7]	住居ほぼ中央の床直上。 図示部の1/3	左回転ロクロ。外底手持ちへら削り。ロクロ痕は弱い。	①G。白色鉱物多い。②還元焰、やや硬調。③黄灰2.5YR6/1。ほぼ一様。
2	羽釜	口17.8 高[15.9]	カマド内およびカマド前面の14片。口縁はほぼ完存、胴部上半2/3	器面の摩滅著しく、調整痕不明瞭。鑄貼り付け。胴部外面細かいへら削りの痕跡。内面へら状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/8。一様でない。
3	羽釜	口(22.0) 高[13.1]	カマド内火床上。 図示部の1/8	鑄貼り付け。胴部外面強いへら削り。内面へら状工具ナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①E。角閃石多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明褐7.5YR5/6。口縁は赤色味が強い。

## 15号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口11.2 高[4.0]	中央掘り方内。 図示部の3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はへら削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙7.5YR7/6。外底は黒色味強い。
2	土師器 杯	口(11.0) 高2.9	埋没土。 1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はへら削りの痕跡が僅かに見られる。内面はナデの擦痕が巡る。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙5YR7/8。
3	土師器 杯	口(11.8) 高3.6	中央床直上の4片。 2/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はへら削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR6/4。
4	土師器 椀	口14.3 高[5.8]	中央床上15cmの13片。 図示部の1/2	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁のナデはやや強い。外底強いへら削りで、器面の凹凸顕著。内面は比較的平滑。	①F。赤褐色鉱物やや含む。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③にぶい橙5YR7/4。

## 16号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	高[3.2]	東隅床直上。 底部1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底やや強いへら削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
2	土師器 杯	口(12.4) 高[3.0]	埋没土。 図示部の1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底にへら削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。
3	土師器 器台	高[4.8]	埋没土。 脚部1/3	3ヶ所穿孔。内底はへら磨きで平滑。脚部外面へら磨きの痕跡が見られる。内面奥にしばり目残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。一様でない。
4	土師器 高杯	脚下(10.2) 高[2.8]	埋没土。 図示部の1/4	裾部ナデの擦痕明瞭。外面へら削り。内面指頭ナデ。	①C。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。断面は黒色味強い。
5	須恵器 壺	高[3.6]	埋没土。 肩部小破片	右回転ロクロ。内面頸部に無調整のしばり目残る。	①G。素地緻密、混入物は少ない。器面がやや滑らかに仕上がる。②還元焰、やや硬調。③黄灰2.5YR6/1。一様でない。
6	土師器 壺	高[3.3]	埋没土。 肩部小破片	厚手の大形品。頸部に凸帯が巡り、刺突文を加えている。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。外面は黒色味強い。

## 17号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(20.4) 鈕(6.0) 高3.5	カマド前の床直上。図示部の1/2、口縁若干	右回転ロクロ→天井部は強い回転へら削り→ロクロ利用摘み取り付け。リング摘みでロクロ痕は鋭い。	①G。素地緻密、混入物は少ない。器面非常に滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。④秋間産か。
2	須恵器 蓋	鈕(3.7) 高[1.6]	東隅の壁際床上26cm。 鈕はほぼ完存、天井部若干	右回転ロクロ→天井部回転へら削り→ロクロ利用摘み取り付け。天井内部はロクロ痕をナデで摺り消す。	①G。白色鉱物多い。②還元焰、やや硬調。③灰N4/0。
3	須恵器 杯	口13.0 底7.0 高4.6	東隅の壁際床上27cm。 ほぼ完存	厚手。右回転ロクロ。外底回転へら切り離し→回転へら削り。ロクロ痕は比較的弱い。	①G。0.5~2mm大の混入物多い。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白5YR7/1。
4	土師器 杯	口(13.0) 高4.1	カマド前面の床直上~床上5cm。1/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底強いへら削り。内底にはへら状工具の圧痕が見られる。	①B。角閃石、小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや硬調。③灰黄褐10YR5/2。
5	土師器 杯	口(13.6) 高[4.0]	南東寄り床上5cm。 1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はへら削りの痕跡が僅かに見られる。内底は指頭圧痕が残る、器面は凹凸。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。

A 1 区の竪穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
6	土師器 杯	口(12.6) 高[2.8]	南東壁際床上32cm。 図示部の1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底はやや強いヘラ削りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。
7	土師器 杯	口(19.0) 高5.4	南東壁際床上3～30cmに 散乱。1/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。一様でない。
8	土師器 杯	口(17.2) 高5.4	南東寄りの床直上に散 乱。1/4個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底はヘラ削りの痕跡が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
9	土師器 甕	口(15.5) 高[7.6]	北西壁際の床上9cm。 口縁小破片	口縁ナデ。胴部外面やや強いヘラ削り。 内面ヘラ状工具ナデ。	①E。角閃石、小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄褐10YR5/3。
10	土師器 台付甕	高[3.5]	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ヘ ラ削りの痕跡が見られる。胴部と台部の 境は雑なナデ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。

18号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(14.0) (4.6) 高1.9	鈕 東壁直下の床下。1/4個 体	天井部厚手。右回転ロクロ→天井部回転 ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。器 面は比較的平滑。	①G。黒色鉱物、器面滑らか。②還元焰、硬調。③ 灰白2.5Y7/1。
2	須恵器 蓋	鈕(8.2) 高[2.3]	西寄り床上17cm。 鈕部1/2、体部1/3	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロ クロ利用摘み取り付け。鈕はリング状。 天井内面と摘みのロクロ痕明瞭。	①G。混入物は小粒で少ない。器面滑らか。②還元 焰、硬調。③灰7.5Y6/1。
3	須恵器 蓋	口(13.2) 高[2.4]	南東隅の床上14cm。口縁 1/6、天井部1/8	右回転ロクロ→弱い回転ヘラ削り。ロク ロ痕は弱く、器面は平滑。カエリは摩滅 している。	①G。黒色鉱物、器面滑らか。②還元焰、やや硬 調。③灰5Y6/1。
4	須恵器 蓋	鈕2.7 高[2.1]	埋没土。鈕部ほぼ完存、天 井部1/6	内外面摩滅。右回転ロクロ→天井部回転ヘ ラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。	①F。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟 調。③灰白2.5Y7/1。
5	須恵器 蓋	口(11.4) 高[2.5]	埋没土。 口縁1/5	右回転ロクロ。内面はロクロ痕弱く平滑。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調 で焼き締まる。③灰7.5Y6/1。
6	須恵器 杯	口(13.0) 高[3.8]	南西隅床直上。 図示部の1/5	右回転ロクロ。外面中位にヘラ記号「×」 か「十」。ロクロ痕弱い。	①G。混入物は小粒。②還元焰、硬調。③灰N5/0。
7	須恵器 杯	口(14.4) 高3.7	口縁～体部1/2、底部ほ ぼ完存	右回転ロクロ。底部ヘラ切り離し。内底 はロクロ痕の凹凸明瞭。	①G。素地緻密、混入物は少ない。器面やや滑らか。② 還元焰、硬調で焼き締まる③黄灰2.5Y6/1。
8	土師器 杯	口(12.0) 高[3.0]	北西隅付近の床下。図示 部の1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底のヘラ削 りの単位は不明。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③橙5YR6/6。一様でない。
9	土師器 杯	口(14.1)	南西寄り床上4cm。 図示部の1/4	口縁ナデ。口縁下の無調整部分やや広 い。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
10	土師器 杯	口14.6 高3.5	カマド火床上。 3/4個体	口縁やや雑なナデ。型膚痕が残る。外底 幅広のヘラ削り。内底周辺強いナデ。 口縁の歪み著しい。	①B。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普 通。③橙7.5YR6/6。
11	土師器 杯	口(13.8) 高[3.8]	埋没土。 図示部の1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁ナデ。口 縁内端に極弱い沈線巡る。口縁下に無調 整部分残る。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③橙7.5YR6/6。
12	土師器 杯	口16.0 高5.0	西壁際床上6～13cm。 ほぼ完存、口縁一部欠	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底ヘラ削り の痕跡。口縁下に無調整部分広く残る。	①B。大粒の角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化 焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
13	須恵器 長頸壺	高[15.2]	カマド北脇の床下。頸部 ほぼ完存、肩部1/2	右回転ロクロ。頸部の巻き上げ状の輪積 痕明瞭。	①G。片岩粒、小粒の混入物含む。②還元焰、硬調 で焼き締まる。③灰5Y6/1。
14	須恵器 壺	高[3.2]	カマド前の床下。 肩部1/4	右回転ロクロ。外面に沈線が1条巡る。	①G。石英、片岩混入。②還元焰、やや硬調。 ③灰7.5Y5/1。内面は明度高い。
15	土師器 甕	底4.3 高[29.3]	カマド内に散乱。 図示部は完存	外面やや強く丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状 工具の圧痕明瞭で、器面の平滑さ損なう。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③橙7.5YR6/6。一様でない。④外面胴部スス付着。
16	土師器 甕	口21.8 高8.8	カマド前から住居西寄り の床直上から床上12cmに 散乱。図示部の2/3	口縁外面は指頭圧痕残る。胴部外面丁寧 なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデで、平 滑な仕上がり。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。④口縁内面にスス付着。
17	土師器 甕	口(23.3) 高[7.3]	埋没土。 口縁1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。胴部 外面のヘラ削りやや強い。頸部にヘラ傷 が残る。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
18	砥石	長(6.7) 厚3.5 幅4.4	中央床上8cm。 半欠品	断面糸巻き状の4面使用。上面の砥ぎ減 りが顕著。き目細かい荒砥級。欠損は旧時。 図上方は転石面。中央は研磨中凹み。	①流紋岩質凝灰岩。採集砥石。

20号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.4) 高3.8	中央床上15cm。 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底 ヘラ削りの痕跡。内面はナデの擦痕が同 心円状に巡る。	①F。赤褐色鉱物やや多い。②還元焰、やや軟調。 ③橙5YR7/8。
2	土師器 杯	口(13.2) 高3.8	北壁下掘り方内。 1/4個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底 にヘラ削りの痕跡僅かに見られる。	①F。赤褐色鉱物多い。②還元焰、やや軟調。 ③橙5YR6/8。
3	土師器 杯	口(11.6) 高[3.9]	北寄り床は直上。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底 ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。赤褐色鉱物多い。②還元焰、やや軟調。 ③橙5YR6/8。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 高杯	口18.5 高[5.1]	東壁下床上8cm。 杯部4/5	杯部内外面に粗い放射状暗文を施す。器面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰褐7.5YR4/2。一様でない。
5	土師器 高杯	口17.4 高[6.1]	北壁下西寄り床上12cm。 杯部ほぼ完存	内外面ナデ。口縁はナデの擦痕明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。黒色味おびたムラあり。
6	土師器 高杯	高[4.3]	北寄り床ほぼ直上。 杯部1/4	口縁はナデの細かい擦痕明瞭。内面の一部器面剥落。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。ほぼ一様。
7	土師器 小型壺	底(3.0) 高[3.1]	北壁下の床ほぼ直上。 底部1/2	外面細かいヘラ削り。内面指頭ナデの凹凸明瞭。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/4。黒斑あり。
8	土師器 台付甕	口14.1 台下11.0 高17.8	北壁下西寄り床上14cm。 ほぼ完存	胴部外面横位のヘラ削りの上にナデ。台部外面と口縁部内面強いヘラ磨き。光沢持つ。内面胴部上半指頭圧痕。下半はナデ。台部内面ヘラ状工具のナデ。しほり目残る。	①E。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙2.5YR6/6。外面は若干いぶした様にみえる。
9	土師器 甕	口(16.4) 高[17.6]	西壁下床上10cm。 図示部の1/3	口縁雑なナデ。頸部を強いヘラ削りで仕上げる。内面は輪積痕が明瞭で、器面の凹凸顕著。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。一様でない。
10	土師器 甕	口(18.0) 高[4.2]	ピット6の北際床上7cm。 口縁1/5	口縁ナデ。胴部外面強いヘラ削り。頸部にヘラ傷が無調整で残る。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③赤褐5YR4/6。一様でない。
11	土師器 甕	口(20.5) 高[11.2]	北壁下床直上。 図示部の1/3	口縁強いナデで、擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。頸部にヘラ傷残る。内面丁寧なヘラ状工具ナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/8。④胴部外面にスス付着。

## 22号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(10.6) 高4.1	南隅付近床上7cm。 1/3個体	口縁ナデの擦痕明瞭。外底鋭いヘラ削り。内面は器面の凹凸顕著。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
2	土師器 ミニチュア	高[4.0]	埋没土。 図示部の1/6	外面ヘラ削りか。内面強い指頭ナデ。頸部の接合痕明瞭。	①E。赤褐色鉱物含む。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。

## 23号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.6) 高[3.7]	掘り方内。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が見られる。	①F。赤褐色鉱物やや含む。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
2	土師器 杯	口(11.8) 高4.0	掘り方内。 口縁若干、底部1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡僅かに見られる。	①F。赤褐色鉱物やや含む。混入物は小粒で少ない。②還元焰、やや軟調。③橙5YR7/6。ほぼ一様。

## 24号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(12.0) 高[2.8]	南寄り床下10cmと8号住居埋没土。図示部の1/4	右回転クロー→天井部回転ヘラ削り。クロー痕やや弱い。	①G。小粒の白色鉱物が多い。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰N6/0。一様でない。
2	須恵器 杯	口(11.6) 高[2.9]	埋没土。 1/4個体	左回転クロー。外底手持ちのやや強いヘラ削り。内底クロー痕の凹凸明瞭。	①G。白色鉱物多い。②還元焰、やや硬調。③灰5Y5/1。
3	土師器 杯	口10.6 高3.7	カマド前床直上と広い範囲の床直下に散乱。 ほぼ完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底に丁寧なヘラ削りの痕跡。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/8。一様でない。
4	土師器 杯	口10.6 高3.3	南隅床上6cm。 図示部の3/4	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。口縁ナデの擦痕明瞭。外面やや強いヘラ削り。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
5	土師器 杯	口(11.0) 高[2.8]	中央床下8cm。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
6	土師器 杯	口11.8 高4.1	南東壁下床下10cm。 3/4個体	口縁強いナデ。外底強いヘラ削りで、器面の凹凸顕著。口縁下に無調整部分残す。内面は比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/8。
7	土師器 杯	口(11.6) 高[3.8]	中央床下15cm。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。内面は比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
8	土師器 杯	口(12.0) 高[3.4]	中央床下25cm。 図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。外底やや強いヘラ削り。口縁下に無調整部分残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい橙5YR6/4。
9	土師器 杯	口(13.0) 高[4.1]	埋没土。 図示部の1/3	外底強く丁寧なヘラ削り。内面はナデの擦痕が同心円状に幅広く巡る。平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。一様でない。
10	土師器 杯	口13.3 高4.1	床下10cmに散在。 1/2個体	口縁やや強いナデ。外面強いヘラ削り。内面は比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
11	土師器 杯	口(15.0) 高[3.6]	中央床上17cm。 図示部の1/5	厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。外底細かいヘラ削り。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐10YR5/4。一様でない。
12	土師器 杯	口(18.0) 高[6.0]	北西壁下床下6cm。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底弱く雑なヘラ削り。口縁下に無調整部分が広く残る。内面比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。

A 1 区の堅穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
13	土師器 杯	口(13.0) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/4	口縁丁寧なナデ。外面弱いヘラ削り。内面放射状暗文。内外面とも器面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/8。
14	土師器 器台	高[7.4]	埋没土。 図示部完存	外面は細かなナデ。上下両端にヘラ磨き。内面上半しぼり目の上にヘラ状工具による削りに近いナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR7/4。
15	須恵器 甕	口(14.6) 高[3.3]	カマド前の床直上と南側床下20cmに散乱。 口縁小破片	薄手。右回転ロクロ。外面中位に8本1条の櫛描波状文を施す。波状文の下に沈線。ロクロ痕は弱く、器面は平滑。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
16	土師器 壺	口(17.2) 高[5.1]	西寄り床下10~24cm。 口縁1/3	外面ハケ目の上にナデ。内面ヘラ状工具の痕跡。接合痕明瞭。	①B。角閃石、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
17	土師器 小型壺	高[9.4]	南東壁下床下13cm。 胴部1/3	厚手。外面細かく丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。内面平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
18	土師器 甕	口(21.2) 高[6.6]	カマド内床直上。 口縁1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。内面はやや強いヘラ状工具のナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
19	土錘	長さ(3.2) 幅1.1	埋没土。 一端を欠く	器面の摩滅すすむ。端部には使用時の摩滅痕あり。	①G。輝石等のやや粗い混入物目立つ。②酸化焰、やや軟調。③灰黄2.5Y6/2。断面に黒色味をおびるムラあり。

25号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(12.9) 高[3.4]	埋没土。 図示部の1/8	右回転ロクロ。天井部手持ちヘラ削り。器面は平滑。	①B。混入物は小粒で少なく、器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③外面灰5Y7/1。内面は黄色味が強い。
2	土師器 杯	口10.2 高3.3	南壁中央下の床直上と床上5cm。完存	外底はやや強く丁寧なヘラ削り。内面のナデは丁寧だが、若干の凹凸がある。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。一様でない。
3	土師器 杯	口10.0 高3.0	南壁中央直下の床直上。完存	口縁のナデ強く、擦痕明瞭。外底やや強いヘラ削り。内面は同心円状のナデの擦痕明瞭。指頭圧痕が残る、凹凸顕著。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
4	土師器 杯	口10.8 高3.4	南壁中央直下の床直上～床上5cm。完存	口縁はナデの擦痕明瞭。外底の削りは強い。内底に指頭圧痕が見られ、凹凸顕著。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。
5	土師器 杯	口10.5 高3.2	南壁中央直下床直上。ほぼ完存	口縁のナデ丁寧。外底弱いヘラ削り。内面に工具の擦痕。内底に指頭圧痕が弱く残るが比較的平滑。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。
6	土師器 杯	口10.6 高3.7	埋没土。 ほぼ完存	口縁のナデは強く、外底の削りはやや強く細かい。内面は器面の摩滅が著しい。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。黒斑が多い。
7	土師器 杯	口10.2 高2.9	中央付近の床直上。完存	器面摩滅し整形痕は不明瞭。口縁はナデの擦痕が一部に残る。外底の削りはやや細かく、無調整部分は残っていない。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
8	土師器 杯	口10.2 高3.2	南東隅床下12cm。 ほぼ完存	口縁のナデは強く、擦痕は粗い。外底のヘラ削りは強いが雑で、無調整部分を広く残す。内面はナデの擦痕粗い。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。一様でない。
9	土師器 杯	口10.3 高3.0	南東隅壁際床直上。39号住居出土片とも接合。ほぼ完存	口縁のナデは強く、粗い擦痕。外底のヘラ削りはやや強い。口縁下半の無調整部分広い。内面のナデ強く、平滑さ欠く。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
10	土師器 杯	口(11.6) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/5	口縁のナデは丁寧。外底のヘラ削りはやや強い。内面のナデは丁寧に平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
11	土師器 杯	口(10.6) 高4.0	カマド南脇床直上。 図示部の2/3	外底細かくやや強いヘラ削り。内面は平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
12	土師器 杯	口14.4 高4.3	南壁下床上8cm。 完存	口縁のナデは丁寧に、粗い擦痕が残る。外底は強く息の長いヘラ削り。内面のナデは丁寧に平滑に仕上げる。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。
13	土師器 杯	口(13.8) 高4.2	カマド北脇床上6cmと南壁下床上5cm。 図示部の2/3	口縁のナデ丁寧。外底幅広い工具で一息に削る。内面のナデは丁寧に擦痕明瞭。内底は不定方向のナデ。器面平滑。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
14	土師器 杯	口(12.5) 高3.7	中央付近床直上に散乱。 図示部の2/3	器面の摩滅進む。口縁は僅かに内側に屈曲する。外底やや強いヘラ削り。内面のナデは強く、凹凸顕著。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。一様でない。
15	土師器 杯	口(18.4) 高[5.0]	埋没土。 図示部の1/6	口縁僅かに内側に屈曲する。外底のヘラ削りは丁寧に、無調整部分を残さない。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
16	土師器 皿	口(25.8) 高[3.4]	中央床直上。 図示部の1/5	口縁のナデ丁寧。外底のヘラ削りは弱いが丁寧。内面平滑。	①B。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
17	須恵器 平瓶	径28.8 高[16.0]		体部にカキ目文。肩部に浅い沈線あり。頸部～口縁部接合は三段。接合。	①緻密。白色細粒子は入る。②硬調。③灰5Y6/1。
18	須恵器 甕	高[10.6]	南壁中央直下床下10cm。 口縁小破片	右回転ロクロ。外面6本3条の波状文を施し、間に一条の沈線を巡らす。波状文は部分的に不明瞭。	①G。混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰7.5Y5/1。一様でない。
19	土師器 壺	口(12.4) 高[5.0]	埋没土。 口縁1/8	口縁のナデは丁寧。端部に沈線が1条巡る。外面中位に明瞭な稜を持つ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR6/4。一様でない。
20	土師器 甕	口(20.0) 高[8.9]	北西隅壁直下の床直上から床上8cm。 口縁～胴部上半小破片	口縁はナデの擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具によるナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
21	土師器 甕	口(21.0) 高[12.3]	埋没土。 口縁1/2、胴部1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。胴部外面のヘラ削り強い。内面ヘラ状工具ナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
22	土師器 甕	口(22.0) 高[5.2]	南壁下床上12cm。 口縁1/5	口縁ナデ。輪積痕明瞭。胴部外面の器面は剥落しているが、強いヘラ削りの痕跡。内面ヘラ状工具のナデ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
23	土師器 甕	口(24.6) 高[4.4]	カマド南脇床直上。38号住居出土片とも接合。口縁1/3	器面摩滅。口縁、ナデの粗い擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。

## 26号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 高4.9	ピット7東脇床ほぼ直上。図示部の1/3	外底やや雑なヘラ削りで、型膚痕が残る。内面細かい放射状の暗文。平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③におい赤褐5YR5/4。一様でない。
2	土師器 杯	口(13.0) 高5.4	北隅床直上。4の下。図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底幅広のヘラ削りか。	①A。赤褐色鉄物多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。一様でない。
3	土師器 器台	口(9.6) 高[2.8]	埋没土。 杯部1/3	口縁ナデの擦痕明瞭。外面細かく丁寧なヘラ削り。内面ヘラ磨きで、光沢を持つ。	①C。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③におい橙7.5YR6/3。一様でない。
4	土師器 高杯	口17.5 高[5.6]	北隅床直上。2とは入れ子状。 杯部ほぼ完存	外面は下半に弱いハケ目が残る。稜下に削りに近いヘラ状工具によるナデ。内面ナデの擦痕が同心円状に巡る。	①C。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③におい黄橙10YR7/4。口縁に黒斑あり。
5	土師器 壺	高[3.0]	埋没土。 肩部小破片	外面は不規則で細かいヘラ磨き。頸部に凸帯が巡り、ヘラによる刻み目あり。内面は雑なナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR7/6。
6	土師器 台付甕	口(11.0) 高[5.1]	埋没土。 図示部の1/5	S字状口縁。外面はやや鋭いハケ目。沈線が1条巡る。内面はヘラ状工具ナデ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR7/3。

## 27号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(16.6) 鈕3.0 高3.8	中央床ほぼ直上。 口縁1/3、天井部完存	右回転ロクロ→天井部鋭い回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。ロクロ痕は弱く、比較的平滑。	①G。石英、黒色鉄物、片岩混入。②還元焰、普通。③灰5Y6/1。
2	須恵器 蓋	口(17.0) 高[2.5]	埋没土。 図示部の1/6	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。	①G。黒色鉄物散見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。
3	須恵器 高台付杯	底(11.8) 高[2.8]	埋没土。 底部1/5	右回転ロクロか。底部回転ヘラ削り。高台の取り付けは丁寧。	①G。黒色鉄物散見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5Y7/1。内底は褐色味強い。
4	須恵器 杯	口(13.4) 高[3.7]	埋没土。 図示部の1/6	右回転ロクロ。底部ヘラ切り離し。ロクロ痕弱く、器面は比較的平滑。	①G。混入物は小粒で少ない。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰黄2.5Y6/2。内面はにおい黄2.5Y6/3。
5	須恵器 杯	口(13.0) 高[2.8]	埋没土。 図示部の1/4	薄手。右回転ロクロ。ロクロ痕は弱く、器面は平滑。	①G。石英、黒色鉄物、片岩混入。②還元焰、普通。③灰白2.5Y7/1。一様でない。
6	土師器 杯	口13.0 高4.1	南壁下床上4cm。 ほぼ完存	口縁ナデ。外底息の長いヘラ削り。口縁下に無調整部分が広く残る。内面凹凸顕著。	①B。角閃石、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
7	土師器 杯	口12.2 高3.2	南壁下床上4cm。 口縁1/3、底部2/3	薄手。口縁小さく波状に歪む。外底やや丁寧なヘラ削り。内面器面の凹凸顕著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③におい褐7.5YR5/4。ほぼ一様。
8	土師器 杯	口(11.0) 高[2.3]	南壁下床上5cm。 口縁1/4	薄手。器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁弱いナデ。外底ヘラ削りの痕跡。口縁下に無調整部分広く残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
9	土師器 杯	口(11.8) 高[2.8]	南壁下床上5cm。 口縁1/4	口縁下の無調整部分広く残る。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③におい褐7.5YR5/4。
10	土師器 杯	口(13.4) 高[3.0]	南寄り床下20cm。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁はナデの擦痕が見られる。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③におい橙5YR6/4。
11	土師器 杯	口(16.0) 高[4.2]	中央床下5cm。 図示部の1/4	口縁小さく波状に歪む。外底丁寧なヘラ削り。内面幅広のナデの擦痕が巡る。	①B。角閃石、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
12	須恵器 長頸壺	口(8.8) 高[6.2]	埋没土。 図示部の1/8	右回転ロクロか。やや薄手。内面のロクロ痕鋭く、凹凸顕著。	①G。黒色鉄物吹き出す。器面非常に滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y5/1。
13	土師器 小型甕	口(13.8) 高[4.6]	南壁下床上5cm。口縁1/4	薄手。口縁に指頭圧痕。胴部外面やや強いヘラ削り。頸部にヘラ傷が無調整で残る。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/4。
14	土師器 甕	口(22.4) 高[7.6]	埋没土。 口縁小破片	薄手。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面に指頭圧痕。小片からの復元で、径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
15	土錘	長3.6 幅2.3 孔0.4	南東寄り床直上。 完形	棗玉状で丸みが強い。側面は端部付近に指頭痕状の窪みがあるが全体は平滑。	①G。素地緻密で混入物も少ない。②酸化焰。③灰黄褐10YR5/2。黒斑顕著。④両端部に使用痕である摩滅痕。

## A1区の竪穴住居

## 28号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.1) 高3.4	西壁下南寄り床面ほぼ直上。図示部の1/2	口縁端部の内傾き強い。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。口縁下に無調整部分やや広く残る。	①E。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 杯	口(9.6) 高[3.0]	北壁下床直上。図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底やや鋭いヘラ削り。口縁下に無調整部分残す。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
3	土師器 杯	口(14.1) 高[2.8]	中央西寄り床面ほぼ直上。図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底やや強いヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
4	土師器 甕	口(12.0) 高[5.1]	北西隅床直上。口縁小破片	小型品としては厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。胴部外面ヘラ削りの痕跡。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。一様でない。

## 29号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(16.0) 鈕3.0 高[3.3]	北寄り床直上。天井部完存、口縁1/2	右回転ロクロ→天井部強い回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。鈕端部と口縁端部鋭さ欠く。	①B。小粒の混入物が多い。②還元焰、普通。③灰5Y5/1。
2	須恵器 杯	口(12.3) 底6.9 高[3.5]	北寄り床直上。口縁～体部1/3、底部完存	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。器面の摩滅進む。口縁に重ね焼き痕。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③浅黄2.5Y7/3。口縁は灰色。
3	須恵器 杯	口11.6 底5.6 高3.8	南東隅壁直下床面ほぼ直上。口縁～体部1/2、底部完存	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕やや鋭く、平滑さ欠く。	①B。混入物は小粒で少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y5/1。
4	土師器 杯	口(11.7) 底(8.5) 高[3.2]	埋没土。口縁～体部1/4、底部1/8	外底は強いヘラ削り。口縁・内面のナデは強く擦痕明瞭。内底に弱い指頭圧痕が残る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
5	土師器 杯	口(13.7) 底(11.2) 高[3.4]	埋没土。図示部の1/4	外底のヘラ削りは弱い。口縁下半の無調整部分広く残る。内面のナデはやや強く、器面に凹凸が見られる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。
6	土師器 杯	口(12.9) 高[3.1]	埋没土。口縁1/4	口縁のナデは弱い。外底のヘラ削りは丁寧。無調整部分広い。内面は凹凸が若干目立つ。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。
7	土師器 杯	口(14.0) 高[3.1]	埋没土。図示部小破片	口縁のナデは強い。外底のヘラ削りはやや鋭い。内面はナデの擦痕明瞭。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙5YR6/4。
8	土師器 甕	口(22.0) 高[8.6]	中央床下5cm。図示部の1/2	口縁のナデはやや雑で、凹凸明瞭。胴部外面のヘラ削りはやや強い。内面ヘラ状工具のナデ。口縁に輪積痕。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
9	土師器 甕	口21.0 底4.0 高27.4	カマド火床上に北東隅床面ほぼ直上と中央床下の破片接合。3/4個体	薄手。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面はヘラ状工具ナデで、擦痕明瞭。内外面とも比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。黒色味強いムラあり。④外面にスス付着。

## 30号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.6) 高4.2	重複する155土坑際の住居床面直上。図示部の1/4	外底強く鋭いヘラ削り。未調整部分を残さない。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明褐7.5YR5/6。
2	土師器 杯	口(12.6) 高[3.5]	埋没土。図示部の1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。ムラあり。
3	土師器 杯	口(12.0) 高[3.3]	埋没土。図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
4	土師器 高杯	口(17.1) 高[4.4]	埋没土。杯部1/8	器面摩滅し、整形痕不明瞭。杯部内外面放射状の疎らなヘラ磨き。内面に接合痕が残る。	①A。赤褐色鉾物目立つ。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。

## 31号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口12.4 高5.1	カマド前面の床面ほぼ直上。完存	厚手。口縁波状に歪む。外底雑なヘラ削り。周辺に無調整部分広く残す。内面ナデの擦痕が同心円状に巡る。底部は工具の圧痕を一部ナデ消す。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 杯	口11.8 高4.1	南壁下床ほぼ直上。口縁3/4、体部完存	底部厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。外底鋭い丁寧なヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
3	土師器 杯	口11.3 高3.8	南壁下床直上。口縁1/3、底部2/3	底部厚手。外底弱いヘラ削りで、型膚痕が若干残る。内面ヘラ描き状のやや不規則な放射状暗文。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
4	土師器 杯	口12.7 高3.9	カマド火床上5cm。ほぼ完存	やや厚手。口縁波状に歪む。外底幅広の雑なヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
6	土師器 杯	口(13.2) 高4.2	カマド火床上7cm。図示部の1/3	ナデの細かい擦痕明瞭。外底弱いヘラ削り。周辺部に型膚痕残る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 杯	口(13.0) 高[3.0]	埋没土。図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
8	須恵器 壺	脚下11.9 高[4.8]	中央床ほぼ直上。 脚部完存	右回転ロクロ。ロクロ痕弱く、器面比較的平滑。内面に巻き上げ状の輪積痕残る。	①G。石英、片岩等を混入。②還元焰、やや硬調。③灰N5。一様でない。
9	土師器 甕	口(13.1) 高[12.8]	東寄りの床上12cm。 図示部小破片	器面の剥落進む。胴部外面強いヘラ削り。内面幅広のヘラ状工具ナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。
10	石製 カマド袖材	長31.7 幅19.2 厚9.6	カマド焼部内。約10cm が火床下になる。完存か。 カマド左袖	図正面左側部は荒削り面、右側部は精整形もしくは切出し。表裏は削り。小口面は不明。被熱は上端部で赤褐変色。	①半固結凝灰石。④カマド粘土の付着と被熱顕著。

## 32号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.5) 高[4.0]	10号住居床下遺物として 取り上げ。図示部の1/4	口縁の立ち上がり極短い。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/3。
2	土師器 杯	口(14.0) 高[2.5]	西側床ほぼ直上。 図示部小破片	外底丁寧なヘラ削り。内底比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/3。一様でない。
3	土師器 甕	口(21.6) 高[5.3]	西側床ほぼ直上。 図示部の1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁厚手で、雑なナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。

## 33号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.4) 高[3.0]	掘り方内。 図示部の1/8	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。

## 34号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口11.4 鈕2.7 高3.4	カマド南袖先床上10cm。 ほぼ完存	右回転ロクロ→天井部弱い回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。カエリ鋭い。内面のロクロ痕は弱い。	①G。石英、片岩混入。②還元焰、やや硬調。③黄灰2.5Y5/1。
2	須恵器 蓋	口(13.8) 高[3.2]	カマド奥壁に密着。 図示部の1/5	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。ロクロ痕はやや弱い。	①G。黒色鉱物散見。器面滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白10Y7/1。
3	土師器 杯	口(13.0) 高4.2	カマド南袖下。 1/4個体	ナデの擦痕明瞭。外底丁寧なヘラ削り。口縁下に無調整部分残る。内底に指頭痕が僅かに見られるが、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
4	土師器 甕	口23.0 底2.9 高31.9	カマド内火床直上から前面 にかけて散乱。	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外面の削りは強い。内面はヘラ状工具の丁寧なナデ。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
5	土師器 甕	口22.2 高[20.0]	カマド北袖先床直上。 図示部の4/5	胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデ。比較的平滑。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。

## 35号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	底6.8 高[6.0]	ピット1内床下5cm。 底部完存	外面はハケ目の上に幅広のヘラ磨き。光沢を持つ。内面は粗いハケ目の上にナデ。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。外面に黒斑あり。
2	土師器 台付甕	台下(5.0) 高[6.3]	東壁下床ほぼ直上。台部 1/3	外面弱いハケ目。内面のナデは強く、指頭痕の凹みが顕著。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/3。赤色味強いムラあり。④二次被熱。

## 36号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.7) 高3.1	掘り方内。 1/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 杯	口(13.4) 高3.4	掘り方内。 1/4個体	外底雑なヘラ削り。口縁下に無調整部分広く残る。内底は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
3	土師器 杯	口(19.0) 高[4.0]	掘り方内。 図示部の小破片	小破片からの復元で口径不安。外底強く息の長いヘラ削り。内面比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙2.5YR6/6。
4	土師器 甕	口(15.5) 高[4.2]	掘り方内。 口縁1/6	小形品としては厚手。口縁ナデの擦痕が見られる。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐2.5YR5/6。

## 37号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.6) 高[5.6]	南東壁下床直上。 図示部の1/4	口縁丁寧なナデ。外底弱いヘラ削り。内外面とも器面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
2	土師器 杯	口(13.6) 高[4.8]	埋没土。 図示部の1/8	厚手。外面鋭いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデ。細かい擦痕が見られる。	①E。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。

## 38号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口11.4 鈕2.5 高2.9	カマド前面床直上。 完存	右回転ロクロ→天井部は弱い回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。カエリ鋭い。内面のロクロ痕の凹凸明瞭。	①G。白色粒子、素地緻密、混入物は少ない。 ②還元焰、硬調。③灰N5/0。
2	土師器 杯	口(10.6) 高[2.5]	カマド前面床下7cm。 1/3個体	ナデの擦痕明瞭。外底鋭いヘラ削り。口縁下に無調整部分広く残す。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③明赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 杯	口(10.4) 高3.0	1/4個体	外底細かいヘラ削り。内面は器面が一部剥落しているが、平滑に整形。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③赤褐5YR4/6。一様でない。
4	土師器 鉢	口(21.2) 高[8.6]	カマド北西脇床直上。 図示部の1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁強いナデ。体部外面強いヘラ削り。口縁下に無調整部分広く残す。内面比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③橙5YR6/8。
5	土師器 甕	口(13.8) 高[8.4]	カマド前面床下12cm。 図示部の1/3	厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデで、器面は比較的平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。 ③明赤褐5YR5/6。黒色味強いムラあり。

## 39号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(20.0) 高[2.7]	ピット脇床ほぼ直上。 図示部小破片	右回転ロクロ→天井部強い回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①G。石英、黒色鉱物混入。②還元焰、やや硬調。 ③灰5Y5/1。
2	土師器 杯	口(11.4) 高2.9	ピット脇床ほぼ直上。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が見られる。口縁下に無調整部分広く残す。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
3	土師器 高杯	高[6.6]	埋没土。 脚部2/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。脚部上端にハケ目。内面ヘラ状工具の強いナデ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
4	土師器 甕	口(20.3) 高[14.9]	推定北東壁下床直上とカマド掘り方内。 図示部の1/2	口縁はナデの擦痕明瞭。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面も丁寧なヘラ状工具ナデ。比較的平滑。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。 ③橙7.5YR6/6。一様でない。
5	土師器 甕	底5.8 高[12.5]	東隅付近床直上付近から床下5cmにかけて。 図示部の3/4	外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい黄褐10YR5/3。一様でない。④外面にススが若干付着。

## 40号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.0) 高2.5	カマド前面の床上5cm。 図示部の1/4	やや厚手。口縁強いナデ。外底強いヘラ削り。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。ほぼ一様。
2	土師器 甕	口(21.2) 高[22.8]	カマド前面床直上。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。一部に擦痕が明瞭に見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。 ③橙7.5YR6/6。一様でない。④内面にススが若干付着。
3	土師器 甕	口(22.4) 高[10.1]	床下ピット内底面から6cm。図示部の1/5	器面摩滅。口縁やや強いナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデで、比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。

## 42号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(10.8) 高3.9	埋没土。 1/4個体	外底鋭いヘラ削り。口縁下に無調整部分残る。内面はナデの擦痕が同心円状に巡るが、比較的平滑。	①A。ややきめ細かい。②酸化焰、やや軟調。 ③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
2	土師器 甕	底7.8 高[3.2]	南隅床上14cm。 底部完存	外面ハケ目状の工具痕。外底無調整。底部に焼成後穿孔。内面は器面の摩滅著しい。	①D。素地粗く重量感がある。②酸化焰、やや軟調。③にぶい褐7.5YR5/4。
3	土師器 甕	口(24.0) 高[30.7]	カマド内火床直上。 図示部の1/3	口縁横ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面は器面の剥落著しい。ヘラ状工具の痕跡が残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい橙10YR6/4。

## 43号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(21.4) 高[2.5]	重複する134号土坑内。 住居床面上16cm。 口縁若干、天井部1/5	厚手。右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①G。石英、片岩混入。②還元焰、やや硬調。 ③灰7.5Y5/1。口縁端部は黒色味強い。
2	須恵器 杯	口(15.2) 高4.7	中央床上9cm。 口縁～体部若干、底部1/3	厚手。右回転ロクロ。底部ヘラ切り離し。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③褐灰10YR6/1。
3	土師器 杯	口12.8 底7.6 高3.7	北西隅床上15cm。 1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面幅広のヘラ削り。内面底部螺旋状、体部放射状暗文。	①F。赤褐色鉱物含む。②還元焰、やや軟調。 ③橙7.5YR6/6。黒色味強いムラあり。
4	土師器 杯	口13.2 高3.6	北寄り床直上。入れ子状で5の下。 3/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。周辺部に無調整部分を残す。内外面比較的平滑。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。口縁に黒色のムラあり。
5	土師器 杯	口13.4 高3.7	北寄り床直上。 完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。周辺部に無調整部分を残す。内外面比較的平滑。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。



No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
6	土師器 杯	口12.0 底9.2 高3.3	推定カマド北袖上と南西側床面。1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧で弱いヘラ削り。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR6/4。一様でない。
7	土師器 杯	口10.0 高[3.2]	埋没土。 1/3個体	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁丁寧なナデ。外底強いヘラ削り。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③赤褐5YR5/6。ムラあり。
8	土師器 杯	口(12.4) 高3.5	埋没土。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内面は比較的平滑	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR5/4。黒色のムラあり。
9	土師器 杯	口(12.0) 高[2.7]	埋没土。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内面比較的平滑。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR6/4。
10	土師器 杯	口(12.2) 高[2.1]	中央床上8cm。 口縁1/4、底部1/8	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。口縁下に無調整部分を広く残す。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
11	土師器 杯	口(12.6) 高[3.5]	北西隅付近床上13cm。 1/2個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底丁寧なヘラ削り。内底に工具の圧痕。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。口縁に黒色のムラあり。
12	土師器 杯	口(19.4) 高4.8	中央床上20cm。 1/2個体	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底幅広い丁寧なヘラ削り。内面ナデの擦痕が同心円状に巡る。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
13	土師器 杯	口15.4 高4.5	推定カマド北袖上。床面上13cm。完存	器面摩滅。ナデの擦痕明瞭。外底幅広い丁寧なヘラ削り。周辺部に無調整部分を広く残す。内外面とも器面平滑。	①B。角閃石、小粒の混入物が少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。褐色のムラあり。
14	土師器 鉢	口(14.2) 高[5.4]	埋没土。 口縁小破片	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。端部に洗線が巡る。胴部外面ヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
15	土師器 鉢	口(20.2) 高[7.6]	南寄り。 図示部の1/8	器面摩滅。ナデの擦痕明瞭。体部外面やや強いヘラ削り。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
16	土師器 甕	口(22.2) 高[9.0]	東壁下。 口縁小破片	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具の丁寧なナデ。内外面とも比較的平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR7/3。外面に褐色のムラあり。
17	土師器 甕	口(22.9) 高[8.2]	東壁下床上4cm。 口縁1/5	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面幅広いヘラ状工具ナデ。	①A。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
18	土師器 甕	口(22.2) 高[5.1]	埋没土。 口縁1/6	口縁弱いナデ。外面に指頭圧痕。頸部にヘラ傷が無調整で残る。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
19	土師器 甕	口(24.0) 高[6.7]	埋没土。 口縁1/5	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部内面ヘラ状工具の強い圧痕見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
20	土師器 甕	底5.1 高[27.3]	北寄り床直上で、一部床下にもぐり込む。 図示部ほぼ完存	口縁ナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。内外面とも比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐灰7.5YR4/1。胴部下黒色味強い。

## 44号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(16.0) 高2.3 鈕6.5	西寄り床上9cm。 鈕完存、天井部～口縁1/3	左回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。鈕はリング状。外面に降灰袖付着。	①G。黒色鉱物散見。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰7.5Y6/1。
2	須恵器 蓋	口(20.6) 高[1.8]	埋没土。 図示部の1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。右回転ロクロか。ロクロ痕弱い。	①G。やや砂質。②還元焰、やや軟調。③灰N5/0。外面上半灰白色。
3	須恵器 杯	口(11.5) 底(7.8) 高[3.3]	西寄り床下11cm。 図示部の1/4	右回転ロクロ。底部ヘラ切り、その上に手持ちヘラ削り。	①C。黒色鉱物散見。素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰N5/0。黒色味の強いムラあり。
4	土師器 杯	口(16.0) 高[3.2]	埋没土。 図示部の1/5	ナデの擦痕明瞭。外底のヘラ削り丁寧。内外面とも比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
5	須恵器 壺	口(18.5) 高[5.2]	埋没土。 口縁1/6	左回転ロクロか。ロクロ痕弱い。外面はロクロナデの上に弱いヘラ削りか。	①G。黒色鉱物散見。やや緻密で器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y5/1。

## 45号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	底6.3 高[2.0]	西壁下床直上。 底部完存	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し無調整。ロクロ痕はやや弱い。	①A。片岩粒、石英粒等含む。②還元焰、普通。③灰5Y6/1。
2	土師器 甕	口(18.2) 高[6.8]	埋没土。 口縁1/5	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁外面に段を持つ。胴部外面幅広い斜位ヘラ削り。	①B。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。

## A2区の住居

## 1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	口(21.0) 高[7.9]	南壁下東寄り床直上。 口縁1/4	口縁外面は雑な折り返し。内外面ハケ目の上にヘラ磨き。	①A。バミス、赤褐色鉱物多くやや粗雑。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR7/4。外面に赤色味おびたムラあり。
2	土師器 鉢	口9.3 高8.0	北壁下西寄り床上4cmの22片。 3/4個体	薄手。外面鋭いヘラ削り。内面は丁寧なナデ。	①A。バミス、赤褐色鉱物多くやや粗雑。②酸化焰、普通。③赤褐2.5YR4/6。一様でない。

A 2 区の堅穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
3	土師器 壺	底6.4 高[7.7]	北壁下西寄り床上4cmおよび埋没土の8片。 図示部の2/3、底部完存	外面丁寧なヘラ削り。内面は丁寧なナデ。輪積痕明瞭。底部はドーナツ状の上げ底。	①A。パミス、赤褐色鉄物多くやや粗雑。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR7/4。内面は赤色味強い。
4	土師器 台付甕	口13.4 高[19.3]	埋没土。 口縁完存、胴部1/2	S字状口縁。外面やや弱いハケ目。ハケ目の下にヘラ削りの痕跡。口縁内端に弱い沈線巡る。内面胴部上半指ナデの凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐10YR6/3。一様でない。断面は黒色味強い。④外面胴部中位にスス付着。
5	土師器 台付甕	口9.6 台下6.7 高16.4	南壁下中央床直上の20片。 ほぼ完存	S字状口縁。胴部外面弱いハケ目。内面比較的平滑。台部下端に指頭圧痕。内底と台部天井に砂粒多い粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい褐7.5YR6/3。台部は赤色味強い。④外面胴部中位にスス付着。

2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口(11.4) 高[5.5]	中央床上12cm。 図示部の1/4	器面の摩滅著しく整形痕不明瞭。内面ヘラ状工具ナデの擦痕が僅かに見られる。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③浅黄褐7.5YR8/4。内面は黒色味強い。
2	土師器 台付甕	口(16.8) 高[17.5]	中央から北壁下の床上20cm前後の25片。 図示部の1/2	S字状口縁。胴部外面細かいハケ目。内面胴部幅広工具のナデ。上半指頭ナデの凹凸明瞭。口縁内端に沈線が巡る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。断面は黒色味強い。④外面胴部中位にスス付着。

3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.0 高4.5	貯蔵穴底面から18cmの6片が4住埋没土片と接合。1/2個体	口縁ナデの擦痕明瞭。外底のヘラ削りは強いが、周辺に無調整部分を残す。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
2	土師器 杯	口(12.0) 高[3.9]	ピット1西脇床直上の破片が4住埋没土片と接合。口縁1/4	口縁ナデの擦痕鋭い。外底のヘラ削り強い。黒色処理。内面平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/4。
3	土師器 杯	口(13.1) 高[3.5]	埋没土。 口縁若干、底部1/4	器面摩滅。口縁ナデの擦痕明瞭。外底は周辺部を削り残す。内面平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③褐7.5YR4/3。
4	土師器 器台	脚下(10.8) 高[7.7]	南東隅床直上。 脚部1/2	外面ハケ目の上に方向不定のヘラ磨き。内面下半ハケ目。脚内面を除いて赤色塗彩。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③淡黄2.5YR/4。赤彩部は赤10R5/6。
5	土師器 甕	底(5.8) 高[12.9]	貯蔵穴内床下11cmの5片。 図示部の1/2	厚手。被熱し器面の剥落著しく、整形痕不明瞭。内面のヘラ状工具ナデは丁寧。輪積痕明瞭に残り凹凸顕著。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐7/4。一様でない。④外面にスス付着。
6	土師器 甕	口(15.6) 高[19.6]	貯蔵穴内床下30cm。 口縁～胴部上半完存	厚手。胴部外面ヘラ削り。頸部はケズリの上に強い指頭ナデ。下端の接合部に丁寧なヘラナデ。内面ヘラ状工具のナデ。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄2.5Y6/3。

4号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.3 高3.9	南東壁下東寄りの床直上～床上8cmの8片。 ほぼ完存、口縁一部欠	口縁強いナデ。擦痕明瞭。外底強いヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕が顕著で、器面の平滑さ損なう。	①A。赤褐色鉄物多、混入物やや多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。外底に黒斑。
2	土師器 杯	口(14.2) 高[3.8]	埋没土。 1/4個体	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。外底ヘラ削りだが、周辺部に型膚痕残す。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR4/3。
3	土師器 杯	口(12.8) 高4.0	ピット4東脇床上6cmの4片。1/4個体	口縁強いナデ。擦痕明瞭。外底雑なヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕が顕著で、器面の平滑さ損なう。	①A。赤褐色鉄物多、混入物やや多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/4。一様でない。
4	土師器 杯	口(12.2) 高4.5	南東壁寄り床直上の3片。1/4個体	口縁のナデは強く、擦痕明瞭。外底は息の長いヘラ削り。内底は器面の摩滅が進む。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③灰黄褐10YR4/2。一様でない。断面は赤色味強い。
5	土師器 杯	口17.6 高7.1	南東壁寄り床直上～床上8cmの17片。ほぼ完存	底部厚手。口縁のナデ強い。外底弱いヘラ削りで、削り残りあり。内面は擦痕が巡るが、比較的平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③褐灰7.5YR5/1。一様でない。
6	土師器 鉢	口(14.3) 高[7.2]	南西壁寄り床上9cmの2片。図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いナデで、凹凸顕著。	①D。5～8mm大の片岩粒、パミス含み素地粗い。②酸化焰、普通。③黄褐10YR5/6。
7	土師器 鉢	口(18.6) 高[10.4]	カマド内からピット3西脇床直上に散乱する7片。1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。体部外面ヘラ削りの痕跡が僅かに見える。内面は平滑。	①D。5～8mm大の片岩粒、パミス含み素地粗い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR7/4。黒斑あり。
8	土師器 甕	口(17.7) 高[12.3]	カマド南袖前床上4cmの2片。 口縁若干、胴部上半1/4	厚手。内外面にナデの細かい擦痕が見られる。胴部外面息が長く弱いヘラ削り。口縁若干、胴部上半1/4	①D。素地やや粗い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR7/4。一様でない。
9	土師器 甕	口18.1 高[21.2]	カマド南袖先端。 図示部ほぼ完存	厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面雑で弱いヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデだが、輪積痕明瞭。器面の凹凸顕著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。④胴部外面にススが付着。
10	土師器 甕	口(18.6) 底(7.4) 高[33.7]	カマド内およびカマド前面床直上に散乱する13片。図示部の3/4	厚手。口縁ナデの細かい擦痕明瞭。胴部外面雑なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデだが、器面の凹凸顕著。	①D。素地やや粗い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/6。一様でない。④外面胴部スス付着。
11	白玉	長0.6 径1.1 孔0.25 重1.2	カマド南袖脇。 完形	側面の研磨痕は方向不定。	①滑石。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
12	白玉	長0.8 孔0.3 径1.0 重1.3	カマド南袖脇。 ほぼ完形か	片側が欠損の可能性。側面の研磨痕は方向不定。	①滑石。
13	管玉未製品	長2.3 径0.95 重2.9	南側掘り方。 完存	穿孔の痕跡なし。側面は斜め方向の研磨痕。現状で八角柱状。	①蛇紋岩。③灰黒色味をおびている。

## 5号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口(10.7) 高[5.4]	床直上。 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。内面粗いヘラ磨きの痕跡。	①A. 赤褐色鉾物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。外面黒色のムラあり。
2	土師器 鉢	口(14.5) 高[6.2]	床直上。 図示部の1/4	ナデの擦痕明瞭。体部丁寧なヘラ削りだが若干の削り残し。内外面とも比較的平滑。	①A. 赤褐色鉾物、小粒の混入物多い。器面滑らか。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。

## 6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	灰釉陶器 椀	底7.5 高[1.6]	掘り方内。 底部完存	右回転ロクロ。底部回転ヘラ削り。高台の取り付けはやや雑。施釉は刷毛塗り、内底に一筆。重ね焼き痕あり。	①G. 石英、素地緻密。器面やや滑らか。②還元焰、やや硬調。③灰白2.5Y7/1。④尾北地方。黒笹90号窯式。

## 7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口(13.4) 高[8.1]	埋没土8片 口縁若干、底部完存、脚部図示部ほぼ完存	脚部には4ヶづつ2段の孔を穿つ。器面は平滑に仕上げる。脚内面を除き赤色塗彩。	①G. 粗砂を散見する。②酸化焰、やや軟調。③割れ口はにぶい黄褐10YR5/3、赤彩部分は暗赤褐色。
2	土師器 器台	脚下10.0 高[5.5]	北壁直下床上13cmおよび埋没土の6片。 受部1/4、脚部2/3	脚部に3ヶ所丁寧に穿孔。外面ハケ目の上にヘラ磨き。杯部内面器面剥落し磨きの単位は不明。裾部内面疎らなハケ目。	①A. 小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。
3	土師器 台付甕	口(11.0) 高[3.3]	埋没土。 口縁1/4	S字状口縁。外面細かいハケ目。内面は若干凹凸あり。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR6/2。内面は明度高い。断面は黒色味強い。

## 8号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 高[3.5]	南側埋没土。 口縁1/4、底部1/6	外底ヘラ削り。周辺に無調整部分残す。口縁端部に弱い凹みあり。内面比較的平滑。	①A. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。一様でない。

## 9号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	脚下(10.0) 高[4.3]	ほぼ中央の床上4cmの2片。 脚部下半1/3	脚部に3ヶ所穿孔。1ヶ所残存で丁寧。外面は細かいヘラ磨き。内面指頭ナデ。丁寧なつくり。	①B. 混入物は少なく素地緻密。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③浅黄橙10YR8/4。断面は黒色味強い。
2	土師器 壺	口10.6 高[4.8]	南隅床上4cmおよび埋没土の6片。口縁ほぼ完存	外面粗いハケ目の上にナデ。内面指頭圧痕。頸部に削りに近いナデ。輪積痕明瞭。	①A. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③淡黄2.5Y8/3。
3	土師器 台付甕	口(10.0) 高[7.7]	中央床上6cmの3片。 図示部の1/4	S字状口縁。口縁外端に弱い沈線が巡る。胴部弱いハケ目。内面胴部は幅広工具によるナデ。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③暗黄灰2.5Y4/2。内面の明度高い。
4	土師器 台付甕	口(13.0) 高[5.9]	埋没土。 図示部の1/3	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。口縁内端に弱い沈線巡る。内面胴部はヘラ状工具によるナデで、若干凹凸。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y4/1。内面はやや明度高い。④外面スス付着か。
5	土師器 台付甕	口(13.2) 高[5.8]	ピット3内床下16cmの4片。 図示部の1/2	S字状口縁。外面胴部丁寧なハケ目。内面幅広工具によるナデ。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/4。黒斑あり。断面は黒色味強い。
6	土師器 台付甕	口12.5 高[8.7]	南隅周辺床直上～床上9cmの20片。 口縁完存、胴部上半2/3	S字状口縁。外面胴部やや弱いハケ目。口縁内端に弱い沈線巡る。内面胴部ナデによる凹凸明瞭。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。内面は明度高い。
7	土師器 台付甕	口11.5 高[18.4]	ピット2南脇の床直上～床上10cmの約60片。図示部の3/4、台部欠く	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。内面ヘラ状工具による強いナデ。台部内面指頭痕の凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①B. 小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR6/4。褐色のムラあり。
8	土師器 台付甕	口(16.5) 高[6.9]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。外面胴部やや弱いハケ目。口縁内端に弱い沈線巡る。内面胴部指頭ナデの凹凸明瞭。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。赤色味をおびたムラあり。④外面スス付着。
9	土師器 台付甕	口(20.2) 高[7.2]	埋没土。 口縁1/8	口縁外端に弱い凹み。胴部外面にハケ目が僅かにみえる。口縁は比較的平滑。小片からの復元で、径・傾き不安。	①B. 混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。一様でない。

## 10号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 甌	口17.8 底5.8 高9.9	北壁東寄り直下床直上13片。 ほぼ完存	外面細かいハケ目の上にヘラ磨き。口縁部に指頭圧痕。内面上半ハケ目、下半粗いヘラ磨き。	①C。赤褐色鉱物含みや砂質、混入物は少ない。 ②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/3。内面は明度高い。
2	土師器 甌	底5.0 高[9.9]	東壁寄り床直上8片。 天井部1/4	外面細かいハケ目。内面削りに近い、ヘラ状工具によるナデ。底部の穿孔は中心から外れている。	①C。赤褐色鉱物含みや砂質、混入物は少ない。 ②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/3。
3	土師器 壺	口9.9 底4.8 高15.5	北壁寄り床直上36片。 ほぼ完存	外面規則的なヘラ磨き。内面胴部の調整は完存のため観察できず詳細は不明。	①C。赤褐色鉱物含みや砂質、混入物は少ない。 ②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。
4	土師器 壺	高[16.8]	北壁寄り床直上47片。 図示部完存	外面ヘラ削りに上にハケ目、その上に規則的なヘラ磨き。内面ヘラ状工具によるナデ。器面の凹凸顕著。	①C。赤褐色鉱物含みや砂質、混入物は少ない。 ②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄2.5Y6/3。下半は明度低い。
5	土師器 壺	底7.1 高[12.4]	中央北西寄り床直上33片。図示部ほぼ完存	外面ハケ目の上に方向不定の粗いヘラ磨き。胴部下端には横位のヘラ削りが残る。内面はハケ目の上に粗いヘラ磨き。器面の剥落進む。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③灰黄褐10YR6/2。黒色味・赤色味強いムラあり。④二次被熱。
6	土師器 壺	口9.1 高[4.0]	北東隅付近の床直上～床直上5cmの8片。口縁3/4	口縁ナデ。粗い擦痕明瞭。胴部内面は指頭圧痕の凹凸顕著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③淡黄2.5Y8/3。
7	土師器 壺	口16.8 高[4.5]	北壁寄り床直上2片。 口縁完存	厚手。内外面ハケ目の上に粗いが強いヘラ磨きで、光沢を持つ。器面の剥落進む。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。
8	土師器 台付甕	口12.4 高[15.7]	中央東寄りから東壁下床直上の約60片。 図示部の3/4	S字状口縁。外面胴部やや弱いハケ目。内面幅広工具によるナデ。上半は工具の圧痕で、平滑さ損なう。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。一様でない。断面は黒色味強い。④外面胴部下位にスス付着。
9	土師器 台付甕	口12.8 高[21.5]	中央東寄り床直上～東壁際床直上20cmの23片。 図示部の1/2、台下部欠く	S字状口縁。外面胴部やや弱いハケ目。内面胴部ヘラ状工具によるナデ。台部内面指頭痕による凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。胴部と台部の中心が大きくずれる。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR6/3。外面はムラあり。④外面口縁部と胴部中にスス付着。
10	土師器 台付甕	口15.2 高[6.6]	中央床直上5cmの13片に8住埋没土片接合。 口縁3/4、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部鋭いハケ目。肩部に横位の強いナデ。内面胴部指頭痕による凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR6/2。外面胴部黒色味強い。
11	土師器 台付甕	口17.4 台下10.3 高28.8	住居東半の広範囲に広がる床直上約100片に14土坑埋没土片接合。 図示部の3/4	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。内面は口縁に指頭圧痕。頸部にハケ目残る。胴部幅広工具によるナデ。上半は指頭痕の凹凸が残る。台部指頭痕の凹凸顕著。折り返しは丁寧。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/4。外面胴部は黒色味強い。
12	土師器 台付甕	高[20.6]	貯蔵穴西脇の床直上約60片。 図示部の3/4	外面やや鋭いハケ目。内面ヘラ状工具によるナデ。台部内面指頭痕による凹凸明瞭。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR5/2。④胴部内外面にスス付着。
13	土師器 台付甕	台下9.1 高[7.1]	北東隅床直上6cm。 台部完存	外面鋭いハケ目。内底にヘラ状工具の圧痕残る。砂粒を多く含む粘土貼り付け。台部内面指頭痕による凹凸明瞭。端部の折り返し雑。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。内面は赤色味、断面は黒色味が強い。
14	土師器 台付甕	台下(6.1) 高[4.4]	台部2/3	外面のハケ目は弱い。台部の折り返し雑。天井部に砂粒の多い粘土貼り付け。胴部との接合部の指頭圧痕明瞭。	①C。やや砂質、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③灰黄2.5Y6/2。内面はやや明度高い。

## 12号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(14.1) 高4.9	ほぼ中央床直上8cmおよび埋没土の2片。 天井部完存、口縁1/3	右回転クロー天井部鋭い回転ヘラ削り。クロー痕は明瞭で、器面の凹凸顕著。	①B。3mm大の混入物少量。黒色鉱物散見。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR6/2。ムラあり。
2	土師器 杯	口12.1 高4.0	中央北東寄り床直上25cmの5片。 3/4個体	やや厚手。ナデの擦痕明瞭。外底はやや強く幅広のヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①B。バミス、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 杯	口12.8 高4.2	カマド前と東寄り床直上～床直上5cmの6片。 完存	ナデの擦痕明瞭。外底は丁寧でやや強いヘラ削り。内底は平滑に仕上げられている。	①F。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。
4	土師器 杯	口11.8 高4.9	中央東寄り床直上13～17cmの5片。 ほぼ完存	ナデは強く、擦痕明瞭。外底は丁寧なヘラ削り。小豆粒大の圧痕が残る。内底にヘラ状工具の圧痕。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。黒色味強いムラあり。
5	土師器 杯	口13.0 高5.3	ほぼ中央床直上20cm。 完存	厚手。口縁のナデは強く、擦痕明瞭。外底のヘラ削りは、周辺部分に無調整部分を若干残す。内面工具の痕跡。	①B。輝石類、赤褐色鉱物やや含む。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。黒色味強いムラあり。
6	土師器 杯	口13.1 高[4.4]	中央から東際床直上13cmの7片に22住片接合。 3/4個体	口縁のナデは強く擦痕明瞭。外底ヘラ削りは粗く、無調整部分が残る。内外面黒色処理か。	①B。輝石類、赤褐色鉱物やや含む。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③黒10YR2/1。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
7	土師器 杯	口(12.4) 高[3.9]	中央北寄り床上22cm前後の7片。1/2個体	外面は摩滅が進み、整形痕やや不明瞭。口縁下端に弱い沈線巡る。内底は平滑。	①B。パミス、赤褐色鈹物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
8	土師器 杯	口(12.0) 高[3.1]	北東寄り床上13cmおよび埋没土の8片。1/4個体	口縁のナデ強い。外底は強いヘラ削り。内面は器面の剥落著しく整形痕不明瞭。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③褐灰7.5YR1/4。一様でない。④内外面スス付着。
9	土師器 杯	口(13.0) 高[3.2]	ほぼ中央床上17cmの4片。図示部の1/5	外底ヘラ削りは雑で、周辺部に無調整部分広く残る。内面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③赤褐5YR4/6。一様でない。
10	土師器 小型甕	口(10.8) 高11.1	中央東寄り床上9cmおよび埋没土の8片。1/2個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。	①A。やや砂質、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR7/4。外面は赤色味をおびたムラ。内面は褐色。④内外面にスス付着。
11	土師器 鉢	口13.1 高10.4	中央から北寄り床上10～30cmの20片。2/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外面は縦位のナデか。内面ヘラ状工具のナデ。比較的平滑。	①E。赤褐色鈹物多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR7/6。外底に黒斑。
12	土師器 小型甕	口15.9 高[16.7]	北西寄り床上15～25cmの16片。図示部の2/3	外面強いヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面は丁寧なヘラ状工具ナデで、比較的平滑。底部付近肥厚。	①A。パミス、小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。④胴部外面にスス付着。
13	土師器 壺	口(13.0) 高[14.6]	ほぼ中央付近床上9～24cmの21片。図示部の1/3	口縁ナデは粗い。胴部外面強いヘラ削り。内面のヘラ状工具ナデは強く、削りに近い。口縁に接合痕。	①A。パミス、小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③明赤褐2.5YR5/6。一様でない。④口縁内外面にスス付着。
14	土師器 甌	口(19.4) 高[23.9]	中央南寄り。口縁～胴部1/4	口縁弱いナデ。外面弱いヘラ削り。内面幅広く粗いヘラ磨き。輪積痕明瞭。器面の凹凸顕著。	①B。赤褐色鈹物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/8。一様でない。④15と同一個体。
15	土師器 甌	底10.2 高[10.4]	ほぼ中央。図示部の3/4	外面弱いヘラ削り。内面幅広く粗いヘラ磨き。端部に横位のヘラ削り。輪積痕明瞭。	①B。赤褐色鈹物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。一様でない。④14と同一個体。

## 13号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口14.0 高3.4	ピット1内床下14cm。入れ子状の最上段。完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。外底丁寧なヘラ削り。器面は比較的平滑。	①F。素地緻密、赤褐色鈹物、角閃石混入。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。一様でない。
2	土師器 杯	口13.0 高3.8	ピット1内。入れ子状の中段。完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。外底は丁寧なヘラ削り。器面平滑。	①F。素地緻密、赤褐色鈹物、角閃石混入。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。一様でない。
3	土師器 杯	口11.6 高3.9	ピット1内床下19cm。入れ子状の最下段。ほぼ完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。底部厚手。ナデの擦痕明瞭。内面は同心円状に巡る。外底は丁寧なヘラ削り。	①F。素地緻密、赤褐色鈹物、角閃石混入。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。一様でない。

## 14号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 ミニチュア	底2.7 高[3.2]	埋没土4片。底部完存	外面弱いハケ目。内面ヘラ状工具の圧痕残る。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③暗灰黄2.5Y4/2。

## 15号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.0) 高4.0	埋没土。1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。内面平滑。	①A。赤褐色鈹物多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。一様でない。
2	土師器 台付甕	高[8.9]	南隅付近床直上～床上6cmの13片に14住片接合。口縁1/3、胴部上半1/2	S字状口縁。外面胴部鋭いハケ目。内面胴部指頭痕による凹凸明瞭。頸部はヘラ状工具によるやや強いナデ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③灰黄褐10YR4/2。内面は明度高い。

## 17号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口(10.0) 高[4.8]	埋没土。口縁1/2	器面摩滅し整形痕不明瞭。内外面ヘラ磨きか。	①A。小粒の混入物が多く砂質。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。黒色味強いムラあり。

## 18号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(12.5) 高[3.9]	北東隅床上14cm。1/3個体	左回転クランク→天井部回転ヘラ削り。外面中位と口縁内端に沈線巡る。天井部内面のクランク痕の凹凸明瞭。	①G。小粒の混入物が多い。②還元焰、やや硬調。③黄灰2.5Y5/1。天井部は明度高く、内面は黒色味強い。
2	土師器 杯	口(13.4) 高4.1	カマド火床直上。1/2個体	口縁強いナデ。擦痕明瞭。波状に小さく歪む。外底丁寧なヘラ削り。	①A。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③赤褐5YR5/6。一様でない。
3	土師器 杯	口12.9 高4.3	北東寄り床直上～床上5cmの2片。ほぼ完存	ナデの擦痕明瞭。内面は同心円状に巡る。外底丁寧なヘラ削り。	①A。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。内面黒色。
4	土師器 杯	口(14.4) 高[4.7]	1/4個体	ナデの擦痕明瞭。外底やや強いヘラ削り。内底凹凸若干。黒色処理か。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③黒褐10YR3/1。

A 2 区の竪穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
5	土師器 鉢	口(22.0) 高[12.5]	カマド燃焼部に散乱する10片で埋没土片とも接合。1/3個体	厚手。口縁ナデ。外面摩滅著しく整形痕不明瞭。ヘラ削りの痕跡が僅かに残る。内面平滑。	①A。赤褐色鉱物多く粗雑。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。胴部下半は被熱により、明赤褐。④二次被熱。
6	土師器 甌	口(20.0) 底(15.2) 高22.4	北東寄り床直上～床上9cmと埋没土の12片。口縁1/3、胴部1/5	口縁ナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面胴部丁寧なヘラ磨き。下端削りに近いヘラ状工具の強いナデ。	①A。小粒の混入物が多く砂質。②酸化焰、普通。③黒褐10YR3/1。一部黄灰。
7	土師器 甕	口14.9 底7.1 高14.9	北東隅付近床直上に散乱する33片。3/4個体	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面胴部ヘラ削りの痕跡が見られる。内底にヘラ状工具の圧痕が残る。輪積痕明瞭。	①E。石英、片岩混入。素地粗い。②酸化焰、やや軟調。③浅黄橙10YR8/4。一様でない。④内面にスス付着。
8	土師器 甕	口(18.4) 高[25.4]	北東隅床上10cmの35片。口縁1/3、胴部2/3	口縁弱いナデ。胴部外面雑なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデで、擦痕明瞭。器面の凹凸顕著。	①D。石英、片岩混入。素地粗い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。④外面胴部スス付着。
9	土師器 甕	口(23.0) 底5.6 高33.4	ピット4 西際床直上の48片。口縁1/3、胴部～底部1/2	厚手。胴部外面丁寧な細かいヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③灰黄褐10YR4/2。黒色のムラあり。④二次被熱。
10	土師器 小型甕	口16.1 底5.9 高17.5	中央北東寄り床直上～床上4cmの23片。3/4、底部完存	厚手。口縁ナデの擦痕明瞭。外面は息の長い鋭いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデ。比較的平滑。	①E。素地細かい。②酸化焰、普通。③黒褐7.5YR3/1。一様でない。④外面全面にスス付着。
11	土師器 小型甕	口(10.7) 底5.3 高15.6	ピット4 内床下6cmおよび周辺の22片。ほぼ完存	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部弱いヘラ削り。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①D。石英、片岩混入。素地粗い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
12	土師器 甕	口(14.7) 高[17.0]	北側の床上4～7cmに広く散乱する5片。図示部の1/3	厚手。口縁のナデは強く擦痕明瞭に残る。胴部外面下半粗いヘラ磨き。輪積痕が明瞭に残り、器面の凹凸顕著。	①A。赤褐色鉱物多く粗雑。②酸化焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR6/4。

19号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口(7.9) 脚下11.1 高7.1	焼土北側床上4cmおよび埋没土の3片。受部1/3、脚部完存	脚部に3ヶ所丁寧な穿孔。坏部は器面摩滅のため調整不明。脚部外面は弱いハケ目。内面裾部にハケ目。丁寧なつくり。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。内面は黒色味強い。
2	土師器 器台	口8.0 脚下(12.0)高7.9	中央やや東寄りの床直上2片。受部完存、脚部1/2	脚部に3ヶ所穿孔。2ヶ所残存で、丁寧。外面鋭いハケ目の上に強いナデ。内面杯部ナデで、平滑。脚部下半ハケ目の上にナデ。丁寧なつくり。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。受部内面赤色味強い。
3	土師器 器台	脚下11.3 高[4.2]	北壁直下の床直上および埋没土の4片。脚部1/2	4ヶ所穿孔。2ヶ所残存、丁寧。外面ハケ目の上に幅広いヘラ磨き。内面ヘラ状工具の丁寧なナデ。端部にハケ目が残る。外面赤色塗彩。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。赤彩部は赤褐2.5YR4/6。
4	土師器 手捏ね	口4.8 底4.5 高7.5	北壁直下の床上4cm。ほぼ完存	外面と内面口縁は幅広いヘラ磨き。雑なつくりで、器面の凹凸著しい。	①B。混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③灰白2.5YR8/1。一様でない。

20号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 器台	口7.9 脚下11.1 高8.1	貯蔵穴内床下17～29cmおよび南西隅床直上の8片。ほぼ完存	脚部に3ヶ所穿孔。外面器面やや摩滅。ハケ目の上に粗いヘラ磨き。内面受部方向不定のヘラ磨き。脚部内面を除いて赤色塗彩。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。脚部内面やや黒色味あり。赤彩部は明赤褐5/6。
2	土師器 器台	口8.7 高[4.8]	東壁下。受部3/4	脚部に3ヶ所穿孔。受部と脚部外面ヘラ磨き。にぶい光沢を持つ。脚部内面ヘラ状工具によるナデ。脚部内面を除き赤色塗彩。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/4。内面は黒色味強い。赤彩部は赤10R5/6。
3	土師器 鉢	底3.3 高[6.8]	西壁下床ほぼ直上。胴部完存	外面丁寧なヘラ磨き。内面丁寧なナデ。器面は比較的平滑だが、剥落進む。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。
4	土師器 壺	口11.6 底5.3 高16.7	貯蔵穴際と貯蔵穴内。口縁1/2、胴部～底部完存	外面ハケ目の上に規則的なヘラ磨き。頸部にヘラによる細かい刻みあり。内面横方向のヘラ磨き。胴部は完存のため磨きの単位は不明。	①C。赤褐色鉱物多い。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。外面に黒斑あり。
5	土師器 壺	口(18.0) 高[6.8]	南西隅床直上～床上8cmの3片。口縁小破片	外面の折り返し雑。指頭圧痕明瞭。端部にハケ目を施し平坦に仕上げる。下部はハケ目の上にヘラ磨き。内面ヘラ磨き。小片からの復元で、径・傾き不安。	①A。赤褐色鉱物、粗砂の混入。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/3。
6	土師器 壺	口(16.0) 高[5.6]	貯蔵穴北の床ほぼ直上。口縁1/4	厚手。外面下半弱いハケ目。内面粗いヘラ磨き。下にナデの擦痕が残る。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。
7	土師器 壺	底(8.9) 高[13.9]	貯蔵穴西脇床上6cmおよび貯蔵穴内の27片。図示部の1/2	外面ハケ目の上に規則的なヘラ磨き。内面ハケ目の上にヘラ状工具ナデ。内底にハケ目残る。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y4/1。内面は明度高い。
8	土師器 鉢	口9.5 底3.5 高8.0	貯蔵穴北の床直上。ほぼ完存	S字状口縁。上げ底。外面肩部ヘラ削りの上にハケ目。体部ヘラ削りの上にナデ。内底に砂粒を多く含む粘土貼り付け。丁寧なつくり。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③浅黄橙10YR8/3。断面はやや黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
9	土師器 鉢	口(10.0) 高[4.2]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。胴部外面弱いナデ。下部は横位のヘラ削り。内外面とも比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③浅黄2.5Y7/3。
10	土師器 台付甕	口15.0 高[17.6]	貯蔵穴北西脇の床直上を 中心に一部貯蔵穴内の約 60片。 図示部の1/2	S字状口縁。外面は器面摩滅。弱いハケ目。内面胴部上半指頭痕による凹凸明瞭。下半幅広工具によるナデ。口縁内端に弱い沈線が巡る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR6/3。④外面胴部中位にスス附着。
11	土師器 台付甕	口16.8 高[25.6]	南西隅壁直下床直上の約 70片。 図示部はほぼ完存	S字状口縁。外面弱く雑なハケ目。内面胴部幅広工具によるナデ。胴部完存のため観察できず単位は不明。頸部指頭圧痕。台部内面指頭痕の凹凸顕著。内底と台部天井に砂粒の多い粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。胴部は褐色味が強い。④外面口縁部と胴部中位、内面胴部下半にスス附着。

## 21号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口11.0 高6.0	中央北寄り床上12~14cm の4片。 図示部の2/3	全面極めて細いヘラ磨き。体部外面は磨きの下にヘラ削りが若干残る。器面の剥落進む。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 特殊器台	口(19.2) 高[4.4]	埋没土片が1号溝出土片と 接合。 受部1/2	上下4ヶ所ずつ、計8ヶ所の穿孔。外面中位に凸帯、刺突文状の刻みあり。ハケ目の上にナデ、その上にヘラ磨き。内面ヘラ磨き。内外面赤色塗彩。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③割れ口は浅黄橙10YR8/4。赤彩部分は赤10R5/6で弱い光沢あり。
3	管玉	長1.75 径0.45 孔0.25 重0.8	埋没土。 完形	両端に旧時のわずかな欠けあり。表面は丁寧に砂磨きされ平滑。	①蛇紋岩。③やや黒色味をおびる。

## 22号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口10.2 高5.0	北壁東寄り直下の床上5 cm。完存	内外面ヘラ磨き。光沢を持つ。内底は指頭痕の凹凸が若干見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 埴	口10.3 高5.3	埋没土。 口縁2/3、体部3/4	外面と内面口縁部丁寧なヘラ磨き。口縁端部にナデの擦痕残る。内外面とも比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多く黒色鉱物、角閃石やや多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。内面はやや黒色味強い。
3	土師器 器台	脚下12.0 高[8.7]	北壁東寄り直下床上5cm の5片。受部1/2、脚部 2/3	脚部に3ヶ所丁寧に穿孔。脚部外面細く規則的なヘラ磨き。内面杯部やや幅広の磨き。脚部上半は指頭圧痕弱く残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。脚部と断面は黒色味おびる。
4	土師器 高坏	脚下11.4 高[9.9]	南壁中央直下の床直上お よび埋没土の13片。 脚部4/5	脚部下位に3ヶ所丁寧に穿孔。2ヶ所残存。杯部ヘラ磨き。脚部外面磨きに近い丁寧なヘラナデ。上端にヘラ削りが残る。内面上半に無調整のしほり目残る。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。
5	土師器 高坏	脚下10.8 高[9.8]	北壁下床上5cmとピット 3南脇床直上の3片。脚 部はほぼ完存	外面縦位のヘラ削りの上に雑なヘラ磨き。内面杯部はヘラ磨きで、平滑。脚部は無調整のしほり目残る。杯部と脚部の接合部指頭圧痕明瞭。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。断面は黒色味強い。

## 25号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 壺	口(16.8) 高[13.1]	北東側の床はほぼ直上に散 乱。口縁1/2	内外面やや粗く強いヘラ磨き。磨きの下にナデの擦痕。内面下部に指頭圧痕。	①C。赤褐色鉱物含みや砂質、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR7/6。内面下部は黒色味強い。
2	土師器 埴	高[6.3]	埋没土。 口縁1/4	内外面とも丁寧なヘラ磨きを施す。磨きの下に擦痕。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/5。ムラあり。
3	土師器 台付甕	口(15.0) 高[4.2]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。胴部外面やや弱いハケ目。内面ヘラ状工具によるナデ。やや凹凸目立つ。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。断面は黒色味強い。
4	土師器 甌	底(9.8) 高[4.3]	埋没土。 図示部の1/3	外面やや強いヘラ削り。内面は丁寧なヘラ磨きで、光沢を持つ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。一様でない。
5	管玉未製品	長2.6 径0.95 重4.4	埋没土。 完形	研磨途中の段階で、側面の稜はかなり弱くなっている。穿孔の痕跡なし。側面に旧時の欠けあり。	①輝緑岩。

## 26号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.0 高3.6	カマド内火床上3片。 完存	底部厚手。口縁ナデ強く、粗い擦痕が明瞭。外底弱いヘラ削り。内底凹凸。	①A。素地緻密。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 杯	口(15.8) 高5.2	2/3個体	ナデの擦痕明瞭。外底丁寧に鋭いヘラ削り。内底に布目圧痕。有段口縁。	①C。赤褐色鉱物、角閃石含む。②酸化焰、普通。③黒褐2.5YR3/2。
3	土師器 杯	口(12.8) 高[4.1]	中央西寄り床上5cm。 1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁は強く丁寧なナデ。外底やや弱いヘラ削り。内外面とも比較的平滑。	①A。素地緻密。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。

A 2 区の堅穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 高杯	脚下(16.4) 高[11.4]	北東隅床上16cm。 脚部3/4	厚手。脚部外面やや弱いヘラ削り。内面指頭ナデ。雑なつくり。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄橙10YR8/3。広い範囲に黒斑。
5	土師器 埴	口(14.0) 高[4.3]	埋没土。 図示部の1/5	薄手。ナデの擦痕明瞭。	①C。素地緻密。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR7/4。一様でない。
6	土師器 甕	口(14.8) 高[7.5]	中央西寄り床上32cm。 口縁1/4	厚手。口縁端部弱い沈線巡る。外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具の丁寧なナデで、平滑。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③灰褐7.5YR5/2。一様でない。
7	土師器 鉢	口16.0 底(5.0)高[15.6]	カマド北袖先端に逆手で据える。 ほぼ完存	口縁は小さく波状に歪む。外面のヘラ削りは強く丁寧。内面丁寧なヘラ状工具のナデで、平滑。外底剥落。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/4。赤色味強いムラ。④二次被熱。
8	土師器 甕	口(18.6) 高[12.9]	南壁東寄り直下床上18cmの8片。 図示部の1/4	口縁はナデの粗い擦痕が見られる。外面のヘラ削りは強い。内面はヘラ状工具の圧痕が目立つ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。一様でない。
9	土師器 小型甕	底6.9 高[12.0]	西寄り床上24~27cmの3片。図示部の1/2	外面は丁寧で弱いヘラ削り。内面は丁寧なナデだが、凹凸顕著。	①E。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明黄褐10YR7/6。赤色・黒色のムラあり。
10	土師器 甕	口(17.9) 高[7.2]	中央北寄り床上8cm。 口縁小破片	厚手。内外面粗いハケ目上にナデ。擦痕明瞭。小片からの復元のため、径・傾き不安。	①A。角閃石多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。
11	土師器 甕	口(20.0) 高[11.1]	中央西寄り床上32cmおよび埋没土の4片。 図示部の1/5	厚手。口縁丁寧なナデ。胴部外面弱く丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/3。胴部外面黒色味おびる。
12	土師器 甕	口17.0 高[21.7]	カマド南袖先端に据える。 図示部の4/5	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。器面の凹凸著しい。内面幅広いヘラ状工具ナデ。	①E。素地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/2。赤色味強いムラあり。④二次被熱。
13	土師器 甕	口(21.1) 底6.0 高37.4	カマド火床上。 図示部の2/3	厚手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。輪積痕明瞭で、器面の凹凸著しい。	①E。素地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄褐10YR5/3。赤色味強いムラあり。④二次被熱。
14	土師器 甕	口18.5 高[33.0]	カマド火床上。 図示部ほぼ完存、底部を欠く	厚手。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。胴部外面強いヘラ削り。器面の一部剥落。内面丁寧なナデ。擦痕明瞭。	①E。素地粗い。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③明褐7.5YR5/6。赤色味強いムラあり。④二次被熱。
15	白玉	長0.6 径1.0 孔0.25 重0.9	カマド北袖上(外側) 一端を欠く。	側面の仕上げは雑で、稜がわずかに残っている。	①滑石。16・17も類似した石材。
16	白玉	長0.6 径0.9 孔0.25 重0.6	カマド北袖上(カマド内) 一端を欠く。	側面の研磨痕は縦と斜め方向で、仕上げは雑で、稜が部分的に残っている。	①滑石。
17	白玉	長0.45 径0.95 孔0.3 重0.6	カマド内。 両端を欠くか。	側面の研磨痕は縦方向。	①滑石。

27号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(12.6) 高[3.9]	南壁中央直下床上17cmの2片。 図示部の1/5	口縁強いナデ。擦痕明瞭。外底のヘラ削りは、周辺部を削り残す。内底器面は比較的平滑。	①C。素地緻密。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
2	土師器 鉢	口(12.4) 底(6.7) 高8.3	南壁直下の床上17cmおよび埋没土の4片。 口縁1/4、胴~底部1/3	厚手。口縁ナデ。外面体部下半強いヘラ削り。上半に無調整部分広く残す。内面はナデによる凹凸明瞭。	①D。素地粗い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR7/4。黒色味おびるムラあり。
3	土師器 高杯	口17.4 高[4.0]	南壁直下と付近の床上4~17cmの5片。 図示部完存	口縁は波状に歪む。外面下半ヘラ削り。内面の平滑さにやや欠く。	①A。パミス、角閃石含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。黒色のムラあり。
4	土師器 甕	口(19.4) 高[8.3]	中央床上12cm。 口縁小破片	口縁ナデ。胴部外面弱いヘラ削り。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③浅黄2.5YR7/4。

28号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口16.6 高[6.4]	西壁下床直上の13片。 杯部4/5	杯部内外面ヘラ磨き。口縁内端に極弱い沈線巡る。脚部内面しほり目が無調整で残る。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
2	土師器 埴	口11.2 高6.2	中央から西壁下床直上~床上5cmの9片。 口縁2/3、体部ほぼ完存	内外面ヘラ磨き。口縁と体部の接合痕明瞭。やや雑なつくり。歪みあり。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。
3	土師器 壺	口(16.4) 高[5.6]	南東隅壁直下床上11cmの3片。口縁小破片	口縁に明瞭な稜を持つ。ナデの擦痕明瞭。小片で歪みがあるため径・傾き不安。	①B。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。

29号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口14.3 高4.3	南西壁際床直上。 口縁1/2、底部完存	口縁強いナデ。擦痕明瞭。外底のヘラ削りは丁寧。内面器面の剥落進む。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/4。一様でない。



## 30号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	口(16.2) 高[4.2]	埋没土。 図示部の1/8	口縁端部内外面とも弱く凹む。内外面松葉状暗文。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
2	土師器 台付甕	台下(12.0) 高[4.6]	埋没土。 図示部の1/4	外面にハケ目が僅かに見える。台部の折り返しは雑。	①B。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。

## 31号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 高杯	脚下(12.0) 高[12.2]	北西隅付近床上4cm。 脚部3/4	外面細く規則的なヘラ磨き。光沢を持つ。上端に縦位のヘラ削りの痕跡。内面上半しほり目の上に指ナデ。指頭痕の凹凸明瞭。奥はしほり目が無調整で残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。

## 32号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口(12.0) 高[4.7]	埋没土。 口縁小破片	外面は雑なハケ目状擦痕。無調整部分が広く残る。内面は器面平滑。小片からの復元で、怪不安。	①B。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。
2	土師器 壺	口(22.0) 高[6.0]	西隅付近床上9cmの5片。口縁小破片	厚手。口縁外面に明瞭な稜を持つ。ナデの擦痕明瞭。	①E。粗砂の混入多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/3。

## B区の住居

## 1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 埴	口11.9 底3.5 高6.9	北東壁直下床上11cmの5片。完存	口縁やや強いナデ。外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデの擦痕明瞭。底部弱い上げ底。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
2	土師器 高杯	高[9.6]	東側付近床の直上～床上9cmおよび埋没土の5片。脚部1/2	脚部4ヶ所ずつ計8ヶ所の丁寧な穿孔。脚部内面を除いて赤色塗彩。外面ヘラ磨きは赤彩が厚くやや不明瞭。内底ヘラ磨き。脚部内面ヘラ状工具の圧痕が残る。天井に粘土貼り付け。	①A。やや砂質。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③淡黄2.5Y8/3。内面に赤色味強いムラあり。赤彩部は赤橙10R6/6。
3	土師器 壺	口(12.5) 高[6.8]	埋没土。 図示部の1/4	口縁部外面の折り返しは丁寧。細かいハケ目の上にヘラ磨き。内面ヘラ磨き。光沢を持つ。外面と内面口縁部に赤色塗彩。	①B。混入物は小粒で少ない。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③灰白2.5Y8/2。赤彩部は赤橙10R6/6。
4	土師器 壺	底(7.0) 高[10.0]	南東壁中央下床直上の2片。 胴部下半1/4、底部3/4	外面横位のヘラ削りの上に幅広のヘラ磨き。内面幅広のヘラ磨き。	①C。赤褐色鉱物多い。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。内面は明度高い。
5	土師器 大甕	底20.0 高[61.6]	住居中央を中心に東側に散乱する床直上～床上29cmの約90片。 胴部上半1/2、下半1/4	外面肩部ハケ目。胴部丁寧なヘラ磨き。ハケ目とヘラ磨きの境に13本1条の櫛描波状文を施す。内面剥落著しく調整痕不明。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR5/3。
6	土師器 台付甕	口16.7 高[24.7]	中央北寄り床上20cmの約90片。 図示部の3/4、台部下半欠く	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。内面胴部ヘラ状工具によるナデ。台部指頭痕の凹凸明瞭。口縁内端に極弱い沈線巡る。内底と台部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①C。赤褐色鉱物多い。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。外面胴部下位は赤味が強い。④胴部外面にススが若干付着。
7	土師器 台付甕	口(17.6) 高[6.2]	2号炉北西脇床上15cm。 図示部の1/3	S字状口縁。外面胴部弱く細かいハケ目。ハケ目の下に横位のヘラ削りが残る。指頭圧痕残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③暗灰黄2.5Y5/2。
8	土師器 台付甕	口(14.3) 高[5.2]	埋没土。 図示部の1/4	S字状口縁。外面胴部弱いハケ目。内面指頭圧痕明瞭に残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③浅黄橙10YR8/3。一様でない。断面は黒色味強い。④口縁にススが若干付着。
9	土師器 台付甕	口(18.7) 高[6.3]	南西壁下床上16cm 図示部の1/4	S字状口縁。外面胴部やや鋭いハケ目。上体に横位のヘラ削りが見られる。内面胴部指頭痕の凹凸明瞭。	①B。小粒の混入物が極めて多い。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。内面は黄色味が、断面は黒色味が強い。
10	土師器 台付甕	台下(9.0) 高[6.3]	南隅と北寄り床上19～27cmの2片。 台部1/2	外面鋭いハケ目。台部内面指頭痕の凹凸が明瞭。端部の折り返しは丁寧。内底と台部天井に砂粒の多い粘土貼り付け。	①B。素地緻密、やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/3。

## C区の住居

## 2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口15.0 鈕3.9 高1.8	西壁際床直上～床上12cmの4片。 2/3個体	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロクロ利用摘み取り付け。ロクロ痕は弱く比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/4。一様でない。

C区の竪穴住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2	須恵器 蓋	口15.4 高[2.0]	西壁下北寄り床上4~8cmの3片。 図示部の1/2、鉋欠損	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱く比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
3	須恵器 杯	口(12.0) 底(7.4) 高3.1	中央北西寄りの床上14cm。 1/2個体	右回転ロクロ。底部回転ヘラ切り離し。外面のロクロ痕はやや鋭い。外面に降灰袖付着。歪み大きい。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元焰、やや硬調。③灰N5/0。
4	須恵器 杯	口(12.9) 高[3.5]	埋没土。 1/6個体	器面の摩滅著しく、ロクロ痕は不明。外底手持ちヘラ削りの痕跡。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元焰、やや硬調。③浅黄橙10YR8/3。口縁は赤色味強い。
5	須恵器 杯	口14.0 底9.8 高3.9	南東隔壁下床直上に倒置される。 ほぼ完存	底部厚手。右回転ロクロ。底部回転ヘラ切り離し。ロクロ痕弱い。擦痕明瞭。	①G。黒色鉱物、石英多く含む。器面は滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。一様でない。
6	須恵器 杯	口13.9 底7.8高3.9~4.1	中央北東寄り床上15cm前後の5片。 ほぼ完存	底部厚手。右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕弱い。擦痕明瞭。	①G。黒色鉱物、器面は滑らか。②一部酸化焰、還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白2.5Y7/1。外底赤色味強い。
7	須恵器 高台付杯	口12.6 底7.4 高4.8	中央床上7cm前後の3片。 3/4個体	右回転ロクロ。底部回転ヘラ削り。高台の取り付けは丁寧。ロクロ痕は弱く比較的平滑。	①G。黒色鉱物多く含む。②還元焰、やや硬調。③灰N6/0。一様でない。
8	須恵器 杯	口(13.0) 高3.0	中央西寄り床直上~床上9cmの10片。 1/4個体	器面の摩滅著しく、整形痕は不明瞭。外底やや強いヘラ削りの痕跡。	①E。角閃石含む。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
9	土師器 杯	口(13.2) 高[3.2]	カマド全面の床上9cmおよび埋没土の4片。 1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内面の器面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
10	土師器 杯	口(14.5) 高[3.6]	1/4個体	器面やや摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削り。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
11	土師器 杯	口13.2 高3.3	1号カマド内火床上21cmと埋没土内の6片接合。 ほぼ完存	器面が摩滅し、整形痕不明瞭。口縁は小さく波状に歪む。外底ヘラ削り。内面凹凸顕著。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
12	土師器 杯	口12.6 高3.5	中央南西寄り床直上~床上6cmの2片。 2/3個体	口縁ナデ。外底のヘラ削りの範囲は狭い。口縁下半に指頭圧痕残る。内面ナデの擦痕明瞭。器面の凹凸顕著。	①B。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。一様でない。
13	土師器 杯	口(13.7) 高3.2	中央南東寄り床直上の2片。 1/3個体	外底のヘラ削りは強いが雑。口縁下半の無調整部分広い。内面ナデの擦痕明瞭。器面凹凸。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
14	土師器 杯	口(12.6) 高3.0	埋没土。 1/4個体	口縁ナデ。外底ヘラ削り。内面摩滅により整形痕不明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。一様でない。
15	土師器 杯	口(14.0) 高3.9	中央付近床上5cm前後の3片。 1/4個体	底部厚手。器面摩滅が著しく、整形痕不明瞭。外底にヘラ削りの痕跡が僅かに残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
16	土師器 杯	口(14.2) 高3.5	中央西寄りの床直上。口縁若干、底部1/6	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内面は比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
17	土師器 杯	口14.0 高4.4	中央西寄り床直上の2片。 1/2個体	外底のヘラ削りは丁寧。口縁下半の無調整部分はやや広く残る。内面のナデは丁寧だが凹凸目立つ。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
18	土師器 杯	口16.0 高4.7	南壁下西寄り床直上の7片。 3/4個体	内外面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁下半の無調整部分広く残る。	①B。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
19	土師器 鉢	口(20.0) 高9.6 底10.2	北西隔壁際床上9cm。 1/4個体	口縁ナデ。外面のヘラ削りは強く丁寧。内面胴部は丁寧なナデで、器面は平滑。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
20	土師器 甕	口(22.1) 高[7.8]	2号カマド南脇周辺床直上と中央床直上の9片。 図示部の1/6	外面のヘラ削り丁寧。内面のヘラ状工具ナデはやや強い。口縁の接合痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。一様でない。④内面スス付着。
21	土師器 甕	口(20.6) 高[11.8]	北西隅床直上の12片。 図示部の3/4	外面胴部の削りは丁寧で削り残し部分がない。内面のナデも比較的丁寧。	①G。赤褐色鉱物の混じる粗砂の混入多い。②酸化焰。③にぶい橙5YR6/4で断面までほぼ一様。
22	土師器 甕	口(21.0) 高[18.5]	1号カマド火床上20cmの破片に2号カマド内破片接合。図示部の1/2	薄手。器面の摩滅著しい。口縁のナデは強く丁寧。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具のナデ。内外面とも平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR7/4。
23	砥石	長(8.6) 幅5.4 厚4.3	北東隅の床上5cm。	断面糸巻き状の半欠品か。上面の砥ぎ減りが顕著。	①流紋岩

3号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口13.2 底7.7 高3.9	東壁下南隅の床直上3片。 ほぼ完存	厚手。右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕弱く平滑だが、内底は凹凸が見られる。	①G。素地緻密、器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰7.5Y6/1。
2	土師器 杯	口(12.0) 高2.9	北東隔壁直下の床直上2片。 1/4個体	器面の摩滅著しい。外底ヘラ削りの痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
3	土師器 杯	口(12.0) 高2.8	1/4個体	口縁端部は僅かに内側に屈曲。外底ヘラ削り。内面は器面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。内面は明度高い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土師器 杯	口(14.0) 高3.0	中央床直上～床上15cmの4片。 1/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底へら削りの痕跡。内面ナデの擦痕見られる。器面の凹凸顕著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
5	土師器 杯	口(13.1) 高[3.3]	中央～カマド前の床直上2片。 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底にへら削りの痕跡。内面は器面の凹凸が一部で見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
6	土師器 杯	口16.2 高5.0	南東隅壁直下の床直上3片。 ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。外底丁寧なへら削り。口縁下半の無調整部分やや広い。内面は器面平滑。	①C。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。褐色のムラあり。
7	土師器 甕	口(20.1) 高[12.3]	カマド前など住居東半の床直上～床上4cmの3片。口縁小破片	薄手。胴部外面へら削り。内面は摩滅。へら状工具のナデ。内外面とも比較的平滑。小片からの復元で径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明赤褐2.5YR5/8。一様でない。

## 6号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口13.2 高3.3	2/3個体	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁は小さく波状に歪む。外底へら削りの痕跡。内面、器面の凹凸顕著。	①A。角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。

## 7号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(11.4) 高[3.2]	掘り方内。 図示部の1/4	口縁端部の内傾きつい。外底は比較的丁寧なへら削り。	①素地やや密。白・黒色粒多く含む。②酸化焰。③橙7.5YR7/6。

## 取付道F区の住居

## 1号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.6) 高6.4	南西隅壁直下床直上。 口縁1/4、底部2/3	底部非常に厚手。器面の剥落著しい。口縁ナデの擦痕明瞭。外底弱いへら削り。内外面黒色処理。	①B。輝石類、赤褐色鉱物やや含む。②酸化焰、普通。③黒褐5YR2/1。

## 2号住居

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(10.0) 高3.0	中央床上8cm。 1/3個体	器面摩滅著しく整形痕不明瞭。外底にへら削りの痕跡。内面はナデの擦痕が僅かに見える。有段口縁。	①F。混入物は少ない。器壁は粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
2	土師器 杯	口13.3 高[4.6]	東壁際床上26cm。 ほぼ完存	口縁はやや雑なナデ。外底のへら削りやや強い。内面器面の凹凸目立つ。有段口縁。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③灰黄褐10YR5/2。外面赤味の強いムラあり。

## 3 古墳時代の居館と溝

## A1区 1号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 鉢	口(13.4) 底3.4 高5.6	5区 口縁若干、底部完存	外面ヘラ削りの上に雑なヘラ磨き。内面粗い不定方向のヘラ磨き。	①A。赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③赤褐5YR4/6。一様でない。
2	土師器 杯	口(12.0) 高[3.5]	3区・底面から28cm。 口縁1/3	口縁ナデの細かい擦痕が巡る。体部は器面の剥落著しい。	①A。パミス、石英粒多い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
3	土師器 杯	口(12.2) 高[3.9]	3区・底面から60cmの2片。図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。外底やや強いヘラ削り。内面斑点状に剥落。	①C。やや砂質。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
4	土師器 杯	口(13.2) 高[3.2]	2区・底面から42cmの2片。図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁はナデの擦痕が僅かに見られる。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。赤褐色鉱物を含む。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
5	土師器 杯	口(13.2) 高3.1	2区・底面から42cmの4片。1/2個体	器面摩滅。口縁はナデの擦痕明瞭。外底は丁寧なヘラ削り。内底指頭圧痕。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
6	土師器 杯	口(10.0) 高[2.5]	5区・底面から58cm。 図示部の1/3	口縁強いナデ。外底やや強いヘラ削り。内面器面の凹凸が見られる。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
7	土師器 高杯	口17.4 脚下12.7 高15.2	3区・底面より6~7cmの4片。 杯部1/2、脚部完存	杯部は器面が摩滅し、ヘラ磨きの単位は不明瞭。脚部外面ヘラ削りの上に幅広い粗いヘラ磨き。内面しほり目の上にヘラ状工具のナデ。	①B。素地緻密、やや砂質。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。杯部内面・脚部に黒斑あり。
8	土師器 高杯	脚下16.3 高[12.0]	3区・底面から53cmおよび埋没土内の6片。 杯部下半1/4、脚部4/5	杯部外面ヘラ削り。上半ヘラ磨き。内面放射状ヘラ磨き。脚部外面細かいヘラ削り。裾部は暗文状のヘラ磨き。内面しほり目の上に強いヘラ状工具ナデ。裾部に指頭圧痕残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR7/4。
9	土師器 高杯	口16.7 脚下12.0 高14.2	3区・底面から24~45cmの5片。図示部の2/3	杯部ナデの擦痕明瞭。脚部外面丁寧なナデ。内面ヘラ状工具の削りに近いナデ。	①B。素地緻密、黒色鉱物散見。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。一様でない。
10	土師器 高杯	口21.8 高[7.9]	3区・底面より32~47cmの12片。 杯部3/4	杯部外面の稜明瞭。内外面粗くやや強いヘラ磨き。磨きの下にナデの擦痕が見られる。外面下半は丁寧なナデ。	①B。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。外面の一部黒色味強い。内面は褐色のムラあり。
11	土師器 高杯	口20.5 高[7.4]	3区・底面から46~48cmの12片。杯部1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁にナデの擦痕残る。杯部と脚部の接合面は丁寧。	①B。やや砂質。②酸化焰、やや硬調。③橙2.5YR6/8。
12	土師器 高杯	口(15.6) 高[3.8]	1区 杯部口縁1/3	内外面丁寧にナデ。器面は比較的平滑。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。断面は黒色味強い。
13	土師器 高杯	高[2.7]	5区・底面ほぼ直上。 図示部完存	外面下半はハケ目の上にナデ、その上にヘラ磨き。脚部との接合部は丁寧。内外面に赤色塗彩。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。断面は黒色味強い。赤彩部は明赤褐2.5YR5/6。
14	土師器 器台	口(16.0) 高[3.9]	1区 杯部小破片	外面粗いヘラ磨き。ナデの擦痕が見られる。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐2.5YR5/6。一様でない。
15	土師器 高杯	脚下13.3 高[9.5]	1区・底面から26cm。 脚部完存	外面のヘラ磨きは丁寧。内面指頭ナデ。上半にしほり目が残る。丁寧なつくり。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③浅黄2.5Y7/3。
16	土師器 高杯	脚下13.4 高[8.5]	1区・底面から22cmの10片。 脚部ほぼ完存	外面摩滅し、整形痕不明瞭。外面丁寧なナデの痕跡。内面ナデ。接合痕が残る。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/3。黒色味およびムラあり。
17	土師器 高杯	脚下(10.0) 高[7.3]	1区・底面から45cm。 脚部2/3	脚部外面丁寧なナデ。脚部内面ヘラ状工具の強いナデ。杯部との接合部は丁寧なつくり。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/3。
18	土師器 高杯	脚下(12.8) 高[9.3]	3区・底面から40cmおよび埋没土の4片。 脚部ほぼ完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。脚部外面縦方向のナデ。内面上半指頭ナデ。しほり目、接合痕明瞭。	①C。やや砂質。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
19	土師器 高杯	脚下(12.2) 高[9.3]	1区・底面から26cmの2片。脚部1/2	脚部外面丁寧なヘラナデ。内面指頭ナデ。	①A。粗砂の混入が多いが粘質高い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR4/3。
20	土師器 埴	口8.1 高[6.4]	3区・底面から9cmと下層埋没土の4片。 図示部の2/3	外面口縁下半~体部のヘラ削りは丁寧だが、肩部は削り残す。内面丁寧なヘラ状工具のナデで、比較的平滑。	①A。赤褐色鉱物多く、素地緻密。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
21	土師器 埴	口10.1 底3.6 高7.5	1区・底面から25cmと下層埋没土の6片。 図示部の4/5	胴部外面ナデ。底部はやや強いナデ。指頭圧痕明瞭に残る。胴部内面指頭ナデ。凹凸顕著。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。
22	土師器 埴	口(8.2) 高[7.0]	1区・底面から32cm。 図示部の1/3	胴部外面極弱くナデに近いヘラ削り。内面は指頭痕の凹凸明瞭。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。内面は黒色。
23	土師器 埴	口(9.4) 高[7.0]	1区・底面から5cmと下層埋没土の8片。 図示部の3/4	口縁雑なナデ。粗い擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が見られる。比較的雑なつくり。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。外底に黒斑。
24	土師器 埴	高[6.2]	3区・底面直上。	外面は丁寧なナデ。内底にハケ目状の擦痕。内外面とも比較的平滑。	①A。赤褐色鉱物多く、素地緻密。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。外面に黒斑あり。
25	土師器 埴	高[6.6]	2区・底面から14cm。 図示部完存	外面細かく丁寧なヘラ削り。内面丁寧なナデで平滑。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
26	土師器 埴	高[7.0]	5区・底面から28cmと下層を含む埋没土の7片。 体部3/4	外面ハケ目上にナデ。肩部ヘラ削りの上に列点文。内面上半指頭圧痕残る。下半ハケ目の上に強いナデ。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③浅黄橙7.5YR8/3。上部は黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
27	土師器 埴	高[4.8]	1区 図示部完存	外面丁寧なナデ。内面丁寧な指頭ナデ。頸部に接合痕。	①A。赤褐色鉱物多く、素地緻密。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。外面に黒斑あり。
28	土師器 鉢	口(8.0) 高[5.2]	5区・底面から17cm。 図示部の1/3	器面摩滅著しく、整形痕は不明瞭。口縁ナデ。外面ヘラ削りの痕跡。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
29	土師器 杯	口(9.0) 底(5.3) 高[5.3]	3区・底面から34cm。 図示部の1/2	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面体部下 半～底部は弱いヘラ削りで、型膚痕を残 す。口縁内面ヘラ状工具の圧痕。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
30	土師器 埴	口9.8 高11.2	1区・底面より34～39cm の26片。 口縁完存、体部2/3	外面鋭いヘラ削りで、擦痕目立つ。内面 口縁ナデの擦痕明瞭。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや 硬調。③黒褐2.5Y3/1。
31	土師器 鉢	口13.4 高7.0	1区・底面から4cmおよ び埋没土の3片。 口縁2/3、体部完存	外面はヘラ削りの上にハケ目状のナデ。 内面体部はヘラ状工具のナデで、比較的 平滑。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③ にぶい黄橙10YR7/4。断面は黒色味強い。
32	土師器 鉢	口(6.0) 高[6.9]	5区 図示部の1/2	外面は摩滅し、ヘラ削りの単位は不明瞭。 内面ヘラ状工具のナデ。	①F。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟 調。③にぶい褐7.5YR5/3。④内外面底部スス付着。
33	土師器 甕	口(13.1) 高[5.7]	1区 口縁1/2	器面摩滅。胴部外面強いヘラ削り。口縁 内面に僅かな凹み。	①A。角閃石、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。
34	土師器 壺	口(15.4) 高[8.0]	2区・底面から26cmの2 片。 図示部の1/4	外面胴部はヘラ削りの上に粗いハケ目。 内面口縁部にヘラ状工具の痕跡。肩部に 指頭圧痕残る。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。口縁部の一部黒色味強い。
35	土師器 小型壺	口(12.0) 底(7.0) 高11.0	1区 1/3個体	厚手。口縁ナデの擦痕は小さな波状。外 面胴部のヘラ磨きは幅広く粗い。内面胴 部上半に指頭圧痕の凹凸顕著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き 締まる。③にぶい褐7.5YR5/3。一様でない。内面明 度高い。
36	土師器 壺	口(23.2) 高[7.4]	1区・底面より8～12cm の2片。口縁1/4	厚手。口縁上半と内面細かいハケ目。外 面口縁下半雑なヘラ削り。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。黒色味おびたムラあり。
37	土師器 壺	口(20.0) 高[5.1]	1区・底面から37cm。 口縁1/5	ナデの擦痕明瞭。内面は器面が剥落。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい黄橙10YR6/3。黒色味おびたムラあり。
38	土師器 甕	口18.1 高[11.0]	1区 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁 外端弱い沈線巡る。胴部外面横方向のヘラ 削りの痕跡。胴部内面ヘラ状工具ナデ。	①C。素地粗い。②酸化焰、やや軟調。 ③褐7.5YR4/4。
39	土師器 壺	口17.6 高[17.7]	1区・底面より31～33cm の23片。 図示部の1/3	口縁ナデ。細かい擦痕が見られる。胴部 外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナ デ。内外面とも比較的平滑。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調 で焼き締まる。③にぶい黄褐10YR5/4。
40	土師器 壺	胴(27.0) 底(8.2)	1区 図示部の2/3	胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工 具の丁寧なナデ。外底は高台状。内底に 接合痕。	①B。素地緻密。②酸化焰、やや硬調。 ③橙7.5YR6/6。外面下半に黒斑あり。
41	土師器 甕	口12.5 胴(19.2) 高[12.4]	3区・底面より20～23cm と埋没土の15片。 口縁2/3、胴部上半1/3	口縁ナデ。胴部外面細かいヘラ削り。内 面ヘラ状工具ナデ。輪積痕残るが、内外 面とも比較的平滑。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③ 黒褐5YR2/1。一様でない。
42	土師器 甕	口(16.4) 高[4.7]	3区・底面から47cm。 口縁1/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ハ ケ目状の擦痕が僅かに見られる。	①A。赤褐色鉱物多く、混入物は小粒で少ない。② 酸化焰、普通。③橙7.5YR7/6。
43	土師器 甕	口(23.6) 高[7.0]	3区・底面から26cmおよ び埋没土の3片。 口縁小破片	器面摩滅し調整痕不明瞭。内外面にナデ の擦痕。	①A。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい 橙7.5YR6/4。
44	土師器 甕	口(20.8) 高[7.6]	5区 口縁小破片	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面強い ヘラ削り。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③ 橙5YR6/6。
45	土師器 甕	口(32.8) 高[8.4]	2区・底面より37～44cm および上層埋没土の4 片。口縁1/4	胴部外面強いヘラ削り。内面はヘラ状工 具ナデで、比較的平滑。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③橙5YR6/6。
46	土師器 小型甕	口(7.0) 高[3.7]	2区・底面から7cmと下 層埋没土の2片。 図示部の1/2	S字状口縁。外面胴部丁寧なヘラ削り。 細かい擦痕。内面指頭圧痕残る。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。
47	土師器 台付甕	口(10.4) 高[3.5]	1区 図示部の1/4	S字状口縁。ハケ目粗く弱い。内面は器 面の凹凸が顕著。	①A。角閃石、赤褐色鉱物を含む。②酸化焰、普通。③ にぶい黄橙10YR7/3。
48	土師器 鉢	口(9.0) 高[3.9]	2区 図示部の1/5	S字状口縁。外面胴部下半ヘラ削り。内 面にナデの粗く鋭い擦痕が見られる。	①C。混入物は少ない。②酸化焰、普通。 ③褐灰10YR5/1。
49	土師器 台付甕	口(11.6) 高[6.3]	5区・底面より15～26cm の2片。 図示部の1/4	S字状口縁。外面頸部は縦位、胴部横位 のヘラ削りの上に弱いハケ目。内面は弱 い指頭圧痕あり。口縁内端に弱い沈線が 巡る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③に ぶい黄橙10YR7/3。下部と断面の明度やや低い。
50	土師器 甕	口(18.0) 高[6.2]	2区・底面から41cmと埋 没土の3片。 図示部の1/8	S字状口縁。口縁端部やや肥厚する。胴 部外面弱いヘラ削り。内面ナデによる凹 凸。小片からの復元で、径不安。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③に ぶい赤褐5YR4/3。一様でない。
51-1	土師器 台付甕	口(16.3) 高5.7	3区 口縁1/5	胴部外面鋭いヘラ削り。擦痕目立つ。内 面に輪積痕が残る。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③ にぶい黄橙10YR6/4。赤色・黒色味おびたムラあ り。④51-2と同一個体。
51-2	土師器 台付甕	底8.8 高[25.8]	3区 胴部1/3、台部完存	胴部外面鋭いヘラ削り。擦痕目立つ。内 面幅広くヘラ状工具ナデ。台部指頭ナデの 凹凸明瞭。端部の折り返しやや丁寧。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③ にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。④51-1と同一個 体。

## A1区1号溝・2号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
52	土師器 甕	口[16.9] 高[17.7]	2区・底面から19cmと埋没土の4片。 図示部の1/4	口縁は小さく波状に歪む。胴部外面はヘラ削りの上にナデ。頸部はハケ目の上にナデ。内面ハケ目。径・傾き不安。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/3。胴部外面は黒色。
53	土師器 台付甕	底11.4 高[10.5]	2区・底面から7cmの3片。 図示部はほぼ完存	台部内外面指頭圧痕が明瞭に残る。端部の折り返しはやや雑。胴部内底ヘラ状工具の強いナデ。粘土貼り付け。平滑。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。内面は黒色味強い。
54	土師器 手捏ね	台下4.5 高[2.2]	5区・底面から10cm。 台部はほぼ完存	胴部外面ヘラ削り。接合痕明瞭。	①B。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。黒色味の強いムラあり。
55	管玉	長2.3 重1.5 径0.6 孔0.3	1区北側縁部。 完存	上下両端に使用痕。その他にも旧時の傷多い。	①蛇紋岩
56	剣形石製品	長10.45 刃長9.1 刃幅3.1 刃厚0.17 茎長1.35 重28.6	3区 完存	きわめて丁寧な造りと研磨。切先から茎までしっかり表現する。茎部の孔は中心をやや逸れて目釘穴状である。鑄は表裏でわずかにズレている。	①蛇紋岩か。

## A1区 2号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口11.6 高3.8	1区A・底面から17cmの2片。 完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。内底に、強いナデの擦痕が巡っている。型腐状の亀裂顕著。	①F。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
2	土師器 杯	口(11.3) 高[3.6]	1区B・表層の2片。 ほぼ完存、口縁一部欠	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁ナデ。工具の痕跡残る。外底強いヘラ削り。内面比較的平滑。	①F。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。
3	土師器 杯	口(14.0) 高[5.7]	1区B、表層の2片。 1/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙2.5YR6/8。
4	土師器 杯	口(12.0) 高[3.4]	1区 口縁若干、体部1/3	内外面にナデの細かい擦痕巡る。外底鋭いヘラ削り。内底は比較的平滑。黒色処理か。	①A。粗砂の混入物多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
5	土師器 杯	口(11.5) 高3.4	2区 1/3個体	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③明赤褐5YR5/6。
6	土師器 杯	口(12.0) 高3.7	2区B・底面より21cm上の4片。図示部の2/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。外底にヘラ削りの痕跡が見られる。	①F。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
7	土師器 杯	口(12.4) 高[3.1]	2区A、底面より22cm口縁1/3、底部3/4	厚手。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③明赤褐5YR5/6。
8	土師器 杯	口(11.1) 高[4.7]	3区・4号溝下。 ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。底部やや厚手。口縁のナデは強く、擦痕明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。	①F。素地緻密、赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/8。焼ムラあり。
9	土師器 杯	口(13.2) 高[4.1]	3区 図示部の1/5	口縁ナデ。粗い擦痕が巡る。外底ヘラ削りやや強い。内面平滑だが、器面の剥落が進む。	①A。粗砂の混入物多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。内面は赤色味強い。
10	土師器 杯	口(11.4) 高4.1	4区B・底面より38cm上の3片。 2/3個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁はナデの擦痕が僅かに見られる。外底やや強いヘラ削り。	①C。赤褐色鉱物含む。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。
11	土師器 杯	口(12.6) 高[3.7]	4区 図示部の1/4	口縁やや強いナデ。外底のヘラ削りは丁寧。内底は平滑。	①B。赤褐色鉱物含む。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
12	土師器 杯	口(11.0) 高[4.1]	4区 図示部の3/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。砂質。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
13	土師器 杯	口13.8 高3.9	3区 図示部の2/3	体部やや厚手。ナデの擦痕明瞭。外底強いヘラ削り。歪みあり。	①C。やや砂質。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/4。一様でない。
14	土師器 杯	口13.9 高5.1	3区A・底面より28cm。ほぼ完存、口縁一部欠損	厚手。口縁はナデの細かい擦痕が巡る。外底やや弱いヘラ削り。内面丁寧な放射状暗文。内面の一部剥落。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③赤褐5YR4/6。
15	土師器 杯	口(12.0) 高[5.4]	1区 図示部の1/3	外面口縁はナデの細かい擦痕が巡る。体部雑なヘラ削り。内面放射状暗文。	①A。赤褐色鉱物多く、粗砂の混入物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
16	土師器 杯	口(13.0) 高[4.4]	1区 図示部の1/4	やや厚手。口縁丁寧なナデ。外底やや弱いヘラ削り。内面に暗文。内外面とも器面は比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
17	土師器 杯	口(14.0) 高[4.8]	4区 1/4個体	外底のヘラ削りは強いが雑。内面に放射状暗文。	①D。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
18	土師器 杯	口(12.0) 高[4.9]	1区 図示部の1/5	口縁端部に弱い凹み。外面体部弱いヘラ削り。内面斑点状に剥落。暗文の痕跡が僅かに残る。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③赤褐5YR4/6。
19	土師器 杯	口(12.6) 高[5.3]	1区 図示部の1/4	口縁は丁寧なナデ。外面体部鋭いヘラ削り。内面不定方向のナデで、器面の凹凸はやや目立つ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。一様でない。
20	土師器 鉢	口(13.2) 底(6.0) 高6.5	1区 口縁若干、胴部～底部2/3	口縁丁寧なナデ。外面摩滅著しく、整形痕不明瞭。ヘラ削りの痕跡が僅かに残る。内面斑点状の剥離が著しい。	①A。赤褐色鉱物多く、粗砂の混入物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
21	土師器 杯	口(12.0) 高4.5	1区 図示部の1/4	体部のヘラ削りは鋭い。内面やや強いナデで、器面の平滑さ損なう。外面赤色塗彩。	①A。粗砂の混入物多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。赤彩部にはぶい赤褐2.5YR5/4。
22	土師器 杯	口(16.0) 高[4.9]	1区A・底面より37cm上の2片。図示部の1/2	体部外面弱いヘラ削り。内面に細かい放射状暗文を施す。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
23	土師器 杯	口(14.0) 高5.3	3区A・底面より40cm上の3片。図示部の1/2	口縁はナデの擦痕が巡る。外底は弱く丁寧なヘラ削り。内面は放射状暗文。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR7/6。
24	土師器 杯	口(14.0) 高[3.6]	4区 口縁1/5	口縁丁寧なナデ。端部鋭い。外面体部のヘラ削り弱い。内面器面の剥落著しく、暗文の痕跡不明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。ほぼ一様。
25	土師器 鉢	口(5.5) 高[4.9]	2区 図示部小破片	口縁ナデ。体部ヘラ状工具ナデ。小片からの復元で、径・傾き不安。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。黒色のムラあり。
26	土師器 鉢	口12.3 高5.8	1区A・底面より36~41cm上の7片。	口縁丁寧なナデ。外面の削りは丁寧。器面は斑点状に剥落。内面は同心円状にナデの擦痕が巡る。	①C。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐2.5YR5/6。黒色味おびたムラあり。④内外面にスス付着。
27	土師器 杯	口(12.8) 底3.1 高6.3	3区表層の5片。 2/3個体	僅かに上げ底。口縁丁寧なナデ。外面体部鋭いヘラ削り。内底にヘラ状工具の圧痕。	①A。5mm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
28	土師器 鉢	口(11.6) 高[4.8]	5区・5号溝下底面直上の3片。図示部の1/4	体部外面雑なヘラ削り。内面ハケ目状の擦痕が僅かに見られる。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
29	土師器 杯	口(14.0) 高[3.6]	1区 口縁1/8	厚手。口縁ナデの粗い擦痕が巡る。外面雑なヘラ削りで、口縁下の無調整部分が広く残る。内面は比較的平滑。	①A。粗砂の混入多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/3。
30	土師器 鉢	口(10.0) 高[3.6]	2区A・底面より23cm上の2片。口縁小破片	口縁はナデの細かい擦痕が巡る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③明黄褐10YR6/0。④外面にスス付着。
31	土師器 鉢	口(18.0) 高[6.5]	4区 図示部の1/5	口縁は丁寧なナデ。外面丁寧でやや強いヘラ削り。内面口縁ナデの擦痕が巡る。内外面とも器面は平滑。	①A。5mm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
32	須恵器 摺鉢	底10.2 高[11.0]	2区A・底面より26cm上の4片。 図示部の1/2	厚手。右回転クワ。外面に沈線が3本巡る。外底手持ちヘラ削り。クワ痕弱い。	①G。素地緻密、黒色鉱物、白色粒子多い。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
33	土師器 高杯	口(19.6) 脚下14.0 高14.2	1区B・底面より20cm上の33片。 杯部1/4、脚部2/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。杯部外面ヘラ削り。脚部外面は一息に削る。脚部内面下半はヘラ状工具ナデ。巻き上げ状の接合痕の凹凸顕著。	①C。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/8。杯部に黒色味強いムラあり。
34	土師器 高杯	口19.3 高[6.5]	2区A・底面より28cm上の2片。 杯部2/3	ナデの細かい擦痕が巡る。杯部外面丁寧なヘラ削り。内外面とも器面は比較的平滑。	①C。赤褐色鉱物やや多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
35	土師器 器台	口21.2 高[5.7]	3区A・底面より23cm上の3片。杯部ほぼ完存	4ヶ所丁寧に穿孔。外面杯底部鋭いヘラ削り。体部と底部の接合部は丁寧なナデ。	①A。素地緻密、小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。
36	土師器 高杯	口(17.5) 底(14.0) 高13.5	3区A・底面より16~39cm上の2片。 図示部の1/3	外面丁寧なナデ。裾部疎らなヘラ磨き。脚部内面ヘラ状工具の強いナデ。上半にしぼり目が無調整で残る。比較的平滑。	①E。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
37	土師器 高杯	底(14.0) 高[12.1]	3区 杯部下半1/4、脚部1/2	外面丁寧なナデ。内面脚部削りに近い強いヘラ状工具のナデ。杯部と脚部の接合部は丁寧に仕上げられている。	①E。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。脚部内面黒斑あり。
38	土師器 高杯	口20.6 底16.3 高16.2	3区A・底面より20~32cm上の14片。 図示部の3/4	杯部内外面と裾部外面に粗いヘラ磨き。内底は器面の剥落著しい。脚部外面ヘラ削り。内面上半にしぼり目が残る。	①E。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様。
39	土師器 高杯	口(20.7) 底(15.0) 高14.8	3区A・底面より20~28cm上の9片。 杯部1/2、脚部3/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面杯部下半、脚部ヘラ削り。内面杯部にヘラ磨きの痕跡。脚部は幅広いヘラ状工具ナデ。しぼり目が無調整で残る。	①A。赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③橙2.5YR6/8。一様でない。
40	土師器 高杯	口(18.8) 高[6.5]	3区A・底面より33cm上の2片。 杯部2/3	外面上半ナデ、下半鋭いヘラ削り。内面は丁寧なナデで、比較的平滑に仕上げられている。	①E。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。
41	土師器 高杯	口(20.0) 高[6.1]	3区B・底面より40cm上の2片。図示部の1/4	内外面疎らなヘラ磨き。外面下半磨きの下にヘラ削り。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。黒色味おびたムラあり。
42	土師器 高杯	高[7.4]	1区 脚部1/3	脚部に外面から3ヶ所穿孔。2ヶ所残存。外面は丁寧なヘラ磨き。内面上半に無調整のしぼり目残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR7/6。断面の明度やや低い。
43	土師器 高杯	脚下11.6 高[7.2]	1区A・底面より17cm上の4片。脚部3/4	3ヶ所外方より穿孔。外面は丁寧なナデ。一部光沢持つ。内面はしぼり目残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。
44	土師器 高杯	高[9.1]	1区 脚部4/5	脚部外面幅広いヘラ磨き。内面ヘラ状工具ナデ。巻き上げ状の輪積痕が明瞭に残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい赤褐2.5YR4/4。一様でない。④転用羽口。
45	土師器 高杯	脚下11.8 高[8.6]	2区・底面ほぼ直上の11片。 脚部3/4	外面は細く丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。しぼり目・巻き上げ状の輪積痕明瞭。	①E。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/4。黒色のムラあり。
46	土師器 高杯	高[9.6]	3区B・底面より38cm 図示部完存	脚部中に1ヶ所丁寧に穿孔。内面はヘラ状工具のナデ。上半にしぼり目が無調整で残る。外面は比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③赤褐5YR4/6。
47	土師器 高杯	高[10.1]	2区・底面ほぼ直上。 脚部3/4	外面丁寧なヘラ磨き。内面無調整のしぼり目残る。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/8。黒色のムラあり。
48	土師器 高杯	脚下(12.2) 高[6.6]	5区・5号溝下の底面直上。 脚部3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。脚部外面縦方向のナデ。内面ヘラ状工具のナデ。しぼり目・巻き上げ状の輪積痕残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR4/6。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
49	土師器 埴	口(8.1) 高7.7	1区 口縁1/5、胴部3/4	胴部外面細かく強いヘラ削り。内面口縁にハケ目。内底は指頭ナデの凹凸明瞭。	①A。赤褐色鉍物多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
50	土師器 埴	口9.2 高7.8	4区B・底面直上。 完存	薄手。器面摩滅し、整形痕不明瞭。外底雑なヘラ削り。内面接合痕が残る。	①A。赤褐色鉍物含む。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/4。
51	土師器 埴	口8.8 高8.4	4区B・底面直上。 ほぼ完存	口縁ナデ。外底弱いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。接合痕残る。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。褐色のムラあり。
52	土師器 埴	口9.0 高6.4	3区上層。 口縁4/5、胴部上半完存	口縁～肩部ナデ。体部外面細かいヘラ削り。口縁内面工具圧痕が残る。体部は指頭ナデの凹凸明瞭。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
53	土師器 埴	高[4.1]	3区A・底面より42cm 上。 口縁3/4	外面下半ハケ目の上にナデ。内面は削りに近いヘラ状工具の強いナデ。外面赤色塗彩。	①E。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR7/4。内面に黒斑あり。赤彩部は明赤褐2.5YR5/6。
54	土師器 埴	口8.4 高3.6	1区A・底面直上の4 片。口縁ほぼ完存	口縁ナデ。細かい擦痕が見られる。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
55	土師器 壺	口11.2 高[11.6]	3区A・表層～中層の17 片。 図示部ほぼ完存	口縁ナデ。外面肩部にハケ目の痕跡。胴部下半ヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕残る。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明褐7.5YR5/6。
56	須恵器 甕	高[10.6]	2区A・底面より34cm 上。 図示部の2/3	右回転ロクロ。頸部上位に波状文。体部は幅広の沈線の間に櫛羽文が巡る。胴部中位に1ヶ所穿孔。頸部擦痕明瞭。	①G。白色粒子、素地緻密、混入物は少ない。②還元焰、硬調。③灰10Y6/1。
57	須恵器 甕	高[13.8]	4区B・底面より11cm 上。 ほぼ完存、口縁欠損	口縁屈曲部に2条、下半に1条の沈線。胴部は上2条・下1条の沈線区画内に櫛羽文2条。中位に1ヶ所外方より穿孔。降灰粘着。	①G。素地やや緻密、黒色鉍物、白色粒子多い。②還元焰、硬調で焼き締まる。③黒N2/0。
58	須恵器 壺	口8.1 高[5.0]	1区 口縁1/2	右回転ロクロカ。外面のロクロ痕は弱く、平滑。降灰粘着。	①G。素地緻密、黒色鉍物散見、混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰5Y6/1。
59	土師器 甕	口(16.0) 高[8.6]	4区B・底面より39cm 上。 図示部の1/2	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面はやや強いヘラ削りだが、口縁下に無調整部分広く残す。上半にハケ目状の擦痕。内面は平滑に仕上げる。	①C。素地緻密、混入物は少ない。5mm大の片岩粒。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。④胴部外面スス付着。
60	土師器 小型甕	口8.4 底4.6高9.1～9.6	2区A・底面より23cm上 の3片。 ほぼ完存	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部外面丁寧なヘラ削り。一部ヘラ磨き。内面ヘラ状工具の圧痕。	①C。素地緻密、混入物は砂質。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。
61	土師器 鉢	口14.1 底5.2 高15.8	1区B・上層の39片。 ほぼ完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁やや肥厚。外面胴部強いヘラ削り。内面は強く丁寧なヘラ状工具ナデ。擦痕明瞭。	①D。やや大粒の石英、片岩、混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③灰黄褐10YR4/2。
62	土師器 甕	口(11.2) 高[4.9]	2区 口縁1/3	薄手。胴部外面縦方向の上に、横方向のヘラ削り。鋭い。内面指頭圧痕の凹凸顕著。	①A。砂粒含む。②酸化焰、やや硬調。③灰褐7.5YR4/2。赤味の強いムラあり。
63	土師器 甕	口(14.0) 高[6.0]	3区・底面より38cm上 の3片。口縁1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面のヘラ削りは弱い。内外面とも比較的平滑。	①F。やや砂質。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。外面に黒斑あり。
64	土師器 小型甕	口12.3 高15.5	1区B・底面より25～45 cm上の27片。 ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁強いナデ。胴部のヘラ削りは丁寧。内面にヘラ状工具による圧痕。	①C。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。外面底部に黒斑。
65	土師器 甕	口(15.4) 高[5.2]	1区 口縁3/5	口縁内面工具の痕跡。内面頸部に輪積痕が残り、器面の凹凸顕著。	①B。素地緻密。②酸化焰、やや軟調。③灰黄褐10YR4/2。一様でない。
66	土師器 甕	口(15.4) 高[5.8]	2区A・底面より25cm上 の6片。 図示部の1/2	やや厚手。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削りの痕跡。内面輪積痕明瞭。	①D。赤褐色鉍物多くやや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③灰褐5Y5/2。赤色味強いムラあり。④二次被熱。
67	土師器 壺	口(15.9) 高[4.8]	2区 図示部の1/4	口縁部内外面ハケ目の上にナデ。胴部内面やや強いヘラ状工具ナデ。内面輪積痕明瞭。	①B。素地緻密。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。口縁部に黒色のムラあり。
68	土師器 甕	口16.7 高[20.0]	3区A・中層の15片。 口縁ほぼ完存、胴部図示 部の3/4	口縁ナデの擦痕明瞭。胴部内外面木口状工具のナデ。ハケ目状の擦痕。輪積痕明瞭。	①A。素地緻密。赤褐色鉍物多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/4。④外面胴部下半スス付着。
69	土師器 甕	口(15.0) 高[8.2]	4区B・底面より20cm 上。図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁外端に弱い沈線が巡る。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面は強いヘラ状工具ナデ。	①A。素地緻密、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
70	土師器 壺	口(16.0) 高[6.3]	5区中層。 図示部の1/4	外面胴部横位のヘラケズリの上に弱いハケ目。内面口縁部ハケ目の上にナデ、胴部はハケ目の下に指頭圧痕の凹みが明瞭に残る。	①C。赤褐色鉍物含む。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐2.5Y5/6。胴部外面は黄色味が強い。
71	土師器 甕	口(20.0) 高[5.0]	3区B・上層4片。 口縁1/3	やや厚手。口縁は粗い擦痕が巡る。胴部外面のヘラ削りは弱い。内面比較的平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
72	土師器 甕	口(22.4) 高[8.5]	1区B・底面より29cm。 口縁小破片、胴部上半 1/4	口縁ナデ。胴部外面強いヘラ削りで、器面の凹凸顕著。内面ヘラ状工具ナデ。接合痕が残る。	①C。5mm大の片岩、やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。④外面胴部上半スス付着。
73	土師器 大形壺	口(44.0) 高[6.5]	2区A・底面より21cm上 の2片。 口縁小破片	内外面大形品としてはきわめて丁寧なヘラ磨き。小片からの復元のため怪、傾き不安。	①A。角閃石が多い。②酸化焰、極めて硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6で光沢あり。内面は黒色のムラあり。
74	土師器 甕	口(14.0) 高[8.6]	1区 図示部の1/4	胴部外面ナデに近い弱いヘラ削り。内面ヘラ状工具のやや強いナデ。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③赤褐5YR4/6。



No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
75	土師器 甕	口(15.6) 高[10.2]	1区・中層の8片。 図示部の1/2	外面口縁下半強いナデ。胴部弱いナデで、ナデ残し部分が目立つ。胴部内面ヘラ状工具ナデ。	①A.粗砂の混入多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/4。
76	土師器 甕	口(16.2) 高[7.9]	3区 図示部の1/6	胴部内外面丁寧なヘラ状工具ナデ。ハケ目状の細かい擦痕が見られる。輪積痕明瞭。	①B.小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③内面にぶい褐7.5YR5/4。外面褐7.5YR4/3。一様でない。④外面にスス付着。
77	土師器 甕	口14.2 高24.0	2区 4/5個体	器面摩滅し、整形痕不明瞭。口縁ナデ。外面のヘラ削りは弱く丁寧。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①A.素地緻密。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。
78	土師器 甕	口(18.0) 高[7.5]	2区B・底面より23cm上。口縁1/4	厚手。胴部内外面ハケ目状の擦痕。輪積痕明瞭。	①D.やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。
79	土師器 甕	口(14.0) 高[11.4]	2区・底面ほぼ直上の5片。図示部の1/5	器面の摩滅著しい。胴部外面ヘラ削りの痕跡。内面ヘラ状工具ナデ。	①C.やや砂質。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。一様でない。④外面スス付着。
80	土師器 壺	口(15.3) 高19.2	2区 口縁小破片、胴部1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面ヘラ削りの痕跡。輪積痕が残る。	①C.赤褐色鉱物含む。砂質。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様でない。
81	土師器 台付甕	口(12.0) 高[5.4]	2区A・底面ほぼ直上。 図示部の1/4	S字状口縁。外面やや鋭いハケ目。内面は器面の凹凸目立つ。	①A.砂粒含む。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。外面に黒斑あり。
82	土師器 台付甕	口(15.0) 高[4.1]	3区A・底面より15~39cmの2片。 口縁1/4	S字状口縁。口縁は細かい擦痕が見られる。胴部外面強いヘラ削り。	①B.角閃石、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③黒褐10YR3/2。一様でない。
83	土師器 台付甕	台下11.0 高[6.0]	3区A・底面より40cm上。 高台部完存	器面摩滅。台部内面上半に指頭圧痕が弱く残る。	①B.やや砂質、素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、普通。③明赤褐5YR5/6。
84	土師器 台付甕	台下(10.8) 高[7.4]	5区・5号溝下3片。 台部1/2	内底にヘラ状工具の圧痕。台部内面は指頭による押圧とナデ。台部の折り返しは雑。内底と台部天井に粘土貼り付け。	①A.石英、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
85	土師器 甕	口() 高[14.7]	1区表層の4片。 図示部の1/3	やや厚手。外面の削りは息長くきわめて強い。内面は弱いナデだが器面は平滑。	①D.混入物の粒径は最大4mm。②酸化焰、堯類としてはやや硬調。③にぶい黄橙10YR6/3。断面までほぼ一様。
86	土師器 甕	口(19.4) 高[13.0]	1区上層。 図示部の1/5	やや厚手。口縁ナデの擦痕が明瞭。胴部外面は雑なヘラ削り。内面ヘラ状工具による強いナデ。	①E.やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい褐7.5YR5/4。
87	土師器 甕	口(22.0) 高[11.6]	2区 図示部の1/4	口縁のナデは強く、段を持つ。口縁内端に沈線が巡る。胴部外面ヘラ削り。内面強いヘラ状工具ナデ。	①A.輝石類やや多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。
88	土師器 甕	口(20.4) 高[11.9]	3区B・底面より42cm上。 図示部の1/4	口縁はナデの粗い擦痕明瞭。胴部外面強いヘラ削り。内面やや強いヘラ状工具のナデで、平滑。	①A.輝石やや多い。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/8。
89	土師器 甕	口(28.6) 底(11.0) 高29.3	1区B・上層の9片。 口縁若干、胴部~底部1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。胴部外面のヘラ削りは強く、擦痕目立つ。内面息の長いヘラ状工具ナデ。端部ヘラ削り。	①D.素地粗く5mm大の片岩粒目立つ。②酸化焰、やや硬調。③明赤褐5YR5/6。一様でない。
90	土師器 甕	口20.8 底7.0 高12.2	1区B・上層の30片。 ほぼ完存	外面のヘラ削りは強く、器面凹凸。内面はヘラ状工具の強いナデ。圧痕明瞭。底部は外方より穿孔。口縁は小さく波状に歪む。	①E.素地やや粗い。雲母多く、バミス、石英多く含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR5/4。一様でない。
91	須恵器 甕	高[6.5]	5区 口縁小破片	8本2条の波状文。間に2条1組の沈線が巡る。内面に焼成前のヘラ記号。	①G.白色粒子、やや砂質含む。②還元焰、普通。③暗灰N3/0。一様でない。
92	敲石か	長(9.6) 幅5.1 厚3.7	1区埋没土	自然石を利用。1面の二ヶ所に金属の頭部を潰すために使用したような鋭い敲打の痕跡。	④近世以降の混入品か。
93	砥石	長6.9 幅5.3 厚4.0	1区埋没土 完形	自然石を6面研磨後、3面にある条痕は刃部痕のような深さはない。	①角閃石安山岩(二ツ岳)
94	砥石	長(4.3) 幅3.0 厚1.3	1区埋没土	表裏両側の4面使用。中砥級であるが目は細かい。	①流紋岩(砥沢石)
95	砥石	長(5.6) 幅2.8 厚1.1	2区埋没土	使用は正面の1面のみ。裏面と両側面は削面。中砥級であるが目は細かい。	①流紋岩。黒色小斑あり。
96	土師器 手捏ね	口5.3 底4.8 高3.6	1区B・底面直上。 ほぼ完存	厚手。指頭圧痕が明瞭に残る。	①B.素地緻密。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/4。一様でない。
97	土師器 手捏ね	口5.6 底4.7 高4.0	1区下層。 ほぼ完存	厚手。指頭圧痕の凹凸明瞭。やや雑なつくり。	①B.素地緻密。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/4。
98	土師器 手捏ね	底(4.0) 高[5.7]	3区A・底面ほぼ直上。図示部の1/3	外面上半にハケ目の痕跡。内面指頭痕明瞭。	①A.白色鉱物多い。②酸化焰、やや軟調。③黒褐2.5Y3/1。内面の明度高い。
99	土師器 手捏ね	口6.3 底5.6 高3.4	2区B・底面ほぼ直上。ほぼ完存	厚手。指頭圧痕の凹凸明瞭。	①B.素地緻密。②酸化焰、やや軟調。③明黄褐10YR7/4。外底に黒斑あり。
100	土師器 手捏ね	底(6.5) 高3.1	4区 1/4個体	指頭圧痕の凹凸明瞭。	①C.赤褐色鉱物、バミス、砂粒。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/3。一様でない。
101	剣形石製品	長[5.4]重10.6 幅2.7 厚0.6	1区B・中層。 身部のみ	鑄は明瞭。1号溝56の石製品に類似した造りか。	①蛇紋石か。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
102	石製紡錘車	径3.45 孔0.65 高1.7 重15.7	2区A 1/2	側面の面取り痕が残る。	①滑石。
103	不明石製品	長さ[5.9]重6.2 幅1.1 厚0.35	2区	鋼状の製品か。片面はやや平坦でもう一面は丸みがある。	①蛇紋岩。

## A2区2号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(14.0) 高[6.6]	底面より41~45cm上の13片。 口縁1/6、体部3/4	口縁丁寧なナデ。外底やや強いヘラ削り。内底ヘラ状工具の圧痕が見られるが、比較的平滑。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③赤褐5YR4/6。
2	土師器 高杯	口16.1 脚下12.5 高14.3	底面より32cm上の14片。 杯部3/4、脚部完存	外面杯部上半と脚部に細かく丁寧なヘラ磨き。杯部下半指頭圧痕による凹凸明瞭。内面杯部ヘラ磨き。脚部上半削りに近いヘラナデ。	①C。黒色鉱物散見、素地緻密だが、バミスなどの混入物多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。黒斑あり。
3	土師器 高杯	口15.3 脚下11.7 高13.2	底面より28cm上の4片。 ほぼ完存	杯部外面ハケ目状のナデ。内底もハケ目状の擦痕。脚部内面、幅広工具で削りに近いナデ。しほり目若干残る。杯部と脚部の接合部に指頭圧痕。	①C。赤褐色鉱物多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。杯部外面は黒色味がやや強い。④杯部内外面に黒色の付着物。
4	土師器 高杯	口16.8 高4.9	底面より24~41cm上の12片。杯部3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。内外面粗いヘラ磨き。外面下半ヘラ削り。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/8。一様。
5	土師器 高杯	底(12.0) 高[7.3]	底面より19cm上。 脚部1/3	外面脚部ナデ。裾部に粗いヘラ磨き。内面、削りに近いヘラ状工具の強いナデ。上半にしほり目の痕跡。	①D。8mm大の片岩粒目立つ。②やや硬調。③明赤褐5YR5/8。
6	土師器 甌	口(27.0) 底9.4 高29.0	底面直上から底面より38cm上までの12片。 図示部の1/2	胴部外面、強いヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面削りに近いヘラ状工具ナデ。内外面とも比較的平滑に仕上げる。	①A。小粒の混入物が極めて多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
7	土師器 甕	口(20.0) 高[22.7]	口縁~胴部	口縁内端に極弱い凹み。胴部外面上半は丁寧なナデ。内面削りに近いナデ。被熱による器面の剥落著しい。	①A。混入物は極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。④二次被熱。
8	土師器 甕	口(28.8) 高[11.5]	底面ほぼ直上の4片。 口縁小破片	口縁やや雑なナデ。胴部外面ヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面丁寧なナデ。内外面平滑。小片からの復元で、径不安。	①D。5~8mm大の片岩粒目立つ。②酸化焰、普通。③におい赤褐5YR5/4。
9	土師器 甕	口(17.4) 底4.7 高[35.0]	口縁1/3、胴部~底部3/4	外面丁寧に強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデで、比較的平滑に仕上げる。	①A。8mm大の片岩粒、赤褐色鉱物目立つ。②酸化焰、普通。③におい褐7.5YR5/3。
10	土師器 甕	口18.6 高[7.1]	底面直上から底面より45cm上までの8片。 口縁1/2	外面口縁下端は指頭圧痕の凹凸顕著。胴部ヘラ削り。内面口縁に粗いハケ目。胴部削りに近い強いナデ。	①C。赤褐色鉱物やや目立ち、素地やや緻密。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR6/3。
11	土師器 甕	口15.7 高[6.3]	底面より10~27cm上の10片。 口縁1/2	口縁強いナデ。擦痕明瞭。胴部外面、ヘラ削りの上に丁寧なナデ。内面はヘラ状工具のナデ。	①C。赤褐色鉱物やや目立ち、素地やや緻密。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR6/3。
12	土師器 甕	口(17.0) 底6.3 高28.4	底面より17cm上の93片。 口縁一部欠損	外面器面の剥落著しい。鋭いヘラ削り。内面はヘラ状工具のナデで、器面は比較的平滑。	①D。5~8mm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焰、普通。③におい黄褐10YR5/4。
13	土師器 甕	口(20.8) 底6.8 高27.7	底面より21~27cm上の20片。図示部の1/3	外面のヘラ削りは単位が短く鋭い。内面は丁寧なナデで、平滑。	①A。混入物は極めて多い。②酸化焰、やや軟調。③におい黄褐10YR4/3。
14	管玉	長1.75 重0.8 径0.5 孔0.3	中央埋没土。 完形	上・下端にやや丸み。研磨痕の残らない丁寧な仕上げ。	①蛇紋岩。

## A1・2区 16号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 蓋	口(11.0) 鈕2.1 高3.1	2区 図示部の1/4	右回転クロー天井部回転ヘラ削り→クロー利用の丁寧な摘み取り付け。外面降灰釉付着。	①G。石英、砂粒、小粒の混入物が多い。②還元焰、やや硬調。③灰5Y5/1。一様でない。
2	土師器 鉢	口(20.3) 高[6.4]	2区 口縁1/4、胴部上半1/3	厚手。口縁ナデの粗い擦痕残る。体部外面弱いヘラ削りで、口縁下の無調整部分が広く残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③におい黄橙10YR7/3。一様でない。
3	土師器 椀	口11.3 高8.2	1区 ほぼ完存	口縁ナデ。小さな波状の歪みあり。外底強いヘラ削り。体部の無調整部分が広く残る。内面平滑。	①B。輝石類やや多い。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。一様でない。外面底部に黒斑。
4	土師器 台付甕	台下9.6 高[6.3]	1区 図示部の2/3	台部外面粗いヘラ削りで、無調整部分残る。台部内面指頭痕の凹凸明瞭。折り返し丁寧。	①D。5~8mm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焰、普通。③明褐7.5YR5/4。一様でない。
5	土師器 甕	口(20.0) 高[13.0]	2区 図示部の1/2	口縁のナデはやや雑。胴部外面はナデに近いヘラ削り。輪積痕明瞭。	①D。5~8mm大の片岩粒目立つ。素地粗い。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR7/3。一様でない。
6	土師器 甕	口(21.6) 高[7.4]	2区 口縁1/3	丁寧なナデ。口縁内端に弱い凹み。外面中位に段を持つ。内面は器面の剥落著しい。	①A。赤褐色鉱物多く、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。一様でない。
7	土師器 甕	口(20.5) 高[6.3]	1区 図示部の1/4	口縁やや強いナデ。口縁内端に極弱い沈線巡る。外面のヘラ削りは強い。内面平滑。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR6/6。
8	土師器 手捏ね	口7.0~7.4 底4.7 高4.2~4.7	1区 ほぼ完存	口縁波状に大きく歪む。内面は放射状の指頭ナデで、凹凸顕著。外底に焼成時の敷葉の痕跡。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③におい黄橙10YR6/4。一様でない。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
9	土師器 手捏ね	底6.5 高4.3	1区 図示部の1/2	厚手。内面放射状の指頭ナデで、凹凸顕著。雑なつくり。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。
10	土師器 手捏ね	口(6.0) 高[4.8]	2区 口縁若干、体部3/4、底部1/4	非常に厚手で雑なつくり。外面は摩滅し、整形痕不明。内面指頭圧痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③浅黄橙10YR8/3。一様でない。
11	土師器 杯	口11.9 高3.7	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。口縁下に沈線。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
12	土師器 杯	口11.3 高4.2	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。一様でない。
13	土師器 杯	口(11.6) 高[3.9]	口縁1/2、体部1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。
14	土師器 杯	口(12.2) 高[5.1]	図示部の2/3	器面摩滅し、整形痕不明瞭。底部ヘラ削りの痕跡。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。
15	土師器 杯	口(13.3) 高3.9	図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。内底ヘラ状工具の圧痕。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。外底黒色のムラあり。
16	土師器 杯	口11.9 高3.7	ほぼ完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底強いヘラ削りの痕跡。口縁下に沈線。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
17	土師器 杯	口(12.8) 高4.7	1/2	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕残る。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
18	土師器 杯	口(11.6) 高3.7	図示部の2/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削りの痕跡が僅かに見られる。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
19	土師器 杯	口11.5 高3.8	図示部の1/2	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。口縁ナデの擦痕が巡る。外底ヘラ削りの痕跡。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/8。
20	土師器 杯	口(12.2) 高[3.1]	図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。外底ヘラ削り。	①F。混入物は少ない。器壁は粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙5YR6/6。外底に黒色のムラあり。
21	土師器 罎	高[3.2]	図示部の1/4	外面口縁下に沈線。底部鋭いヘラ削り。内面放射状の暗文。	①C。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい橙7.5YR6/4。
22	土師器 高杯	脚下(12.6) 高[9.0]	脚部3/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面裾部粗いヘラ磨き。内面強いヘラ状工具ナデ。上半無調整のしぼり目残る。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。
23	土師器 壺	口(29.4) 高[12.7]	口縁1/4	外面鋭いハケ目。内面丁寧なヘラ磨き。頸部ヘラ状工具の痕跡。	①D。素地粗い。黒色鉱物多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/4。内面は黒色味強い。
24	土師器 甕	口(16.0) 高[9.0]	図示部小破片	口縁ナデの擦痕明瞭。ナデ。胴部外面強いヘラ削り。胴部内面ヘラ状工具の強いナデ。	①E。小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③オリーブ黒5Y3/1。
25	土師器 甕	口20.4 高[28.5]	図示部の4/5	外面強いヘラ削りで、器面の凹凸顕著。内面胴部幅広のヘラ状工具のナデ。圧痕明瞭。	①A。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。
26	土師器 甕	口(21.2) 高[9.3]	口縁若干、胴部1/4	外面口縁に沈線が1条巡る。胴部のヘラ削りは強い。内面はヘラ状工具の圧痕が見られるが、比較的平滑。	①A。粗砂の混入多い。②酸化焰、普通。③赤褐5YR4/6。
27	土師器 甕	口(17.2) 高[6.8]	口縁1/5	口縁ナデ。胴部外面丁寧なヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕が見られるが、比較的平滑。	①D。石英、片岩粒多く、素地粗い。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/4。一様でない。
28	須恵器 高杯	底(12.3) 高[3.6]	脚部1/4	右回転クワ。方形透かしの痕跡。外端に沈線が巡る。外面上半は、クワ痕の上に丁寧なナデ。器面は平滑。	①G。黒色鉱物、白色粒子含む。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。
29	土師器 甕	底(9.0) 高[15.2]	図示部の1/4	器面の剥落進み、調整不明瞭。外面はヘラ削りの痕跡が見られる。ヘラ状工具ナデ。	①D。5mm大の片岩粒目立ち素地粗い。②酸化焰、やや硬調。③褐7.5YR4/6。一様でない。

## A2区1号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 罎	口(12.0) 高[5.6]	図示部の1/4	外面器面の摩滅が著しく調整不明瞭。ヘラ磨きか。口縁部と体部の境にハケ目が僅かに残る。内面ヘラ磨き。	①C。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。断面は黒色味強い。
2	土師器 罎	口(13.0) 高[4.6]	口縁1/4	内外面雑なヘラ磨き。	①C。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。
3	土師器 罎	底(4.6) 高[6.0]	図示部の1/4	底部やや上げ底気味。外面ヘラ削りの上にナデを施し、平滑に仕上げる。内面丁寧なヘラ状工具ナデ。	①C。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/3。
4	土師器 杯	口12.9 高4.0	口縁1/3、体部～底部2/3	薄手。口縁のナデはやや弱い。外底丁寧なヘラ削り。内外面比較的平滑。弱い有段口縁。	①C。素地緻密、混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙5YR6/6。断面は黒色味強い。
5	土師器 高杯	底(15.8) 高[13.0]	底面より30cm上の2片。 脚部ほぼ完存、裾部若干	厚手。脚部外面はナデに近いヘラ削り。内面ヘラ状工具の圧痕明瞭。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR4/4。一様でない。④内外面ス付着。
6	土師器 高杯	底15.6 高[12.5]	底面より38cm上の3片。 脚部3/4	厚手。脚部外面やや雑なヘラ削り。裾部ナデ。内面巻き上げ状の接合痕の凹凸顕著。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/4。一様でない。

A 2 区 1 号溝、A 1 区 111 号土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
7	土師器 甕	口(19.0) 底6.1 高36.9	底面より23cm上の30片。 図示部の1/2	胴部外面強いヘラ削り。下端横方向の削り。内面丁寧な指頭ナデ。内外面とも器面の凹凸顕著。	①A。パミス、やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③におい黄橙10YR7/3。
8	土師器 甕	口(20.0) 高[9.4]	口縁小破片	口縁のナデは強く、外面に弱い段を持つ。胴部外面は摩滅しヘラ削りの単位はやや不明瞭。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。パミス、やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③橙5YR7/6。
9	土師器 壺	口(23.6) 高[6.8]	底面より32cm上。 口縁1/5	口縁端部肥厚し丸い。ナデの擦痕明瞭。胴部外面やや強いヘラ削り。内面ヘラ状工具ナデ。	①A。小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/3。

A 1 区 111 号土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師器 杯	口(13.0) 高[3.5]	埋没土中の6片。 図示部の1/4	外面の削りは幅広く丁寧。削り残しがない。内面平滑。	①G。輝石混じりの粗砂やや多い。②酸化焰。 ③橙5YR6/6で断面までほぼ一様。
2	土師器 高杯	脚下(19.6) 高[3.7]	埋没土。 図示部小片	外面ナデの上にヘラ磨き。間隔が粗いが比較的丁寧で、細く鋭い。内面は比較的平滑。	①Bに近い。混入物はやや少ない。②酸化焰。 ③におい褐7.5YR5/4。内面は彩度低い。
3	土師器 高杯	脚上2.1 高[5.7]	埋没土。 図示部の2/3	外面のヘラ磨きは幅広く。脚部内面にヘラ状工具の鋭いナデの痕。	①G。素地緻密で赤褐色鉱物含む。②酸化焰、硬調。 ③におい橙5YR6/4。外面に帯状の黒斑あり。内面は灰色味をおびる。
4	須恵器 平瓶	胴(15.8) 高[6.0]	南より底面付近出土破片が4号溝2区中層出土破片と接合。 図示部の1/3	天井部の丸みが強い。外面に弱い回転ヘラ削り痕が残るが不明瞭。肩部下端に浅い1条沈線が巡る。頸部の接合に内側からのナデの痕跡見られない。	①G。黒色鉱物、白色岩片を含む。②還元焰、普通。③灰7.5Y6/1。内面は明度高い。④頸部内面下側にのみ降灰釉付着し、口縁部の径が広いことが想定される。
5	土師器 台付甕	台上(4.8) 高[5.7]	埋没土。 図示部1/2	刷毛目は深い。台部外面のナデ消し部分は狭い。内面の指頭圧痕は等間隔。	①G。やや砂質で混入物は少ない。②酸化焰。③におい黄橙10YR6/4。断面はやや灰色味をおびる。
6	土師器 甕	口(14.8) 底6.2 高18.0	中央底面からやや上の11片。 1/2個体	外面の削りは抉るように鋭い。内面は幅広い工具の丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①G。砂質で混入物少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。黒色味・赤色味強いムラあり一様でない。 ④外面下半は二次被熱により脆弱。
7	土師器 甕	口(20.0) 高[7.8]	南寄り底面付近2片。図示部の1/6	器面やや摩滅し整形痕不明瞭。外面の削りはやや細かい。一部無調整部分が残る。内面は平滑。	①F。②酸化焰。③橙7.5YR7/6で内外面一様。断面は灰色味をおびる。
8	不明軽石製品	長8.3 幅7.6 厚4.5	埋没土。 ほぼ完形	最大6mmの深い溝を切っている。溝上端と下端の幅は少なく、先端はあまり鋭利ではない。	①二ツ岳軽石。
9	手捏ね	口(7.2) 底(4.8) 高[5.4]	埋没土2片。 口縁1/2、底部若干	丸底気味か。底部はきわめて厚く、口縁部も厚手。内外面ともナデを加えるのか指頭痕は不明瞭。	①G。素地やや粗く泥粒や雑多な鉱物を含む。②酸化焰、やや軟調。③におい黄橙10YR6/3。外底は黒色味強い。
10	手捏ね	口(6.2) 底(4.8) 高[4.5]	埋没土下層。 図示部の1/3	丸底気味か。底部きわめて厚いが、口縁端部つまみ出していて薄い部分が多い。内面平滑さ欠く。	①②③9にはほぼ同じ。
11	管玉	長3.6 重4.2 径0.8 孔0.4	埋没土。 ほぼ完形	孔は中央を逸れている。上・下端とも平坦でわずかに研磨痕が残る。	①デイサイト質凝灰岩。本遺跡内に同じ石材の製品は出土していない。

## 4 中世館跡と堀

## A1区 4号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	磁器 小杯	口(7.9) 底3.3 高4.5	3区・底面より31cm上。 口縁1/5、底部完存	畳付き部軸ハギ。砂粒付着。染付は雨降り文。体部下端に一重、高台部に二重圏線。細かい気泡が見られる。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須は薄く明るい藍色に発色。④肥前。
2	磁器 小杯	口7.1 底3.0 高3.6	4区 ほぼ完存	畳付き部は露胎。染付は外面に笹文。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。露胎部分は橙味が強い。④肥前。
3	磁器 小杯	口7.3 底3.0 高3.6	4区・底面より60cm上。 口縁3/4、底部完存。	畳付き部は露胎。染付は外面に笹文。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。露胎部分は橙味が強い。④肥前。
4	陶器 小杯	口6.5 底3.0 高3.7	2区 口縁3/4、底部完存	高台部露胎。内外面灰釉。細かい貫入が見られる。	①G。砂質、黒色粒子含む。②やや硬調。③釉調は青色味をおびた透明釉。光沢強い。④瀬戸・美濃。
5	陶器 小杯	口(7.2) 高[3.4]	4区・底面より60cm上。 図示部の1/3	内外面灰釉。染付は山水文か。粗い貫入が見られる。	①G。素地やや粗い。砂粒多い。②やや硬調。③釉調は緑色味をおびた透明釉。呉須は極薄く発色。④瀬戸・美濃。
6	磁器 小碗	底3.5 高[2.8]	3区・底面より33cm上。 底部完存	畳付き部軸ハギ。砂粒付着。染付は草花文。高台部に二重圏線。細かな気泡が見られる。	③釉調は青色味がかかった乳白色。呉須はやや淡くくすんだ藍色に発色。④肥前。
7	磁器 碗	口9.6 底3.8 高5.3	2区 ほぼ完存	畳付き部露胎。砂粒付着。染付は雪の輪梅樹文。高台部二重圏線。高台内に銘有り。細かい気泡が見られる。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色。一部褐色。④肥前。
8	磁器 碗	口9.6 底3.7 高5.3	2区 ほぼ完存	畳付き部露胎。染付は雪の輪梅樹文。高台部二重圏線。高台内に銘有り。細かい気泡が見られる。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。④肥前。
9	磁器 碗	口9.9 底3.5 高5.5	3区・底面より38cm上。 1/3個体	畳付き部軸ハギ。染付は草花文。体部下端に一重、高台部に二重圏線。細かな気泡が見られる。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。④肥前。
10	磁器 碗	口(10.8) 底4.4 高5.2	4区・底面より60cm上。 口縁1/2、底部完存	畳付き部露胎。砂粒付着。見込は蛇ノ目状に軸ハギ。染付は外面松葉梅折文、笹文。高台部二重圏線。粗い貫入。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須は淡くくすんだ藍色に発色。④肥前。
11	磁器 碗	口9.9 底3.9 高4.9	4区・底面より35cm上。 1/2個体	畳付き部は軸ハギ。染付は草花文。細かい気泡が見られる。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須は明るい藍色に発色。④肥前。
12	磁器 碗	口(10.2) 底4.0 高5.0	4区・底面より40cm上。 口縁1/4、底部完存	畳付き部軸ハギ。砂粒付着。外面コンニャク印判桐文。高台三重圏線。粗い貫入・気泡が見られる。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。④肥前。
13	磁器 碗	口(8.6) 底3.6 高5.0	4区・底面より50cm上の 2片。 口縁若干、底部完存	畳付き部は軸ハギ。染付は草花文。口縁内端二重圏線。見込に一重圏線、花卉文。高台部二重圏線。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。④肥前。
14	磁器 碗	底4.3 高3.0	2区・底面より64cm上の 2片。 底部完存	畳付き部軸ハギ。染付の意匠不明。高台外面三重、内面一重圏線。見込蛇ノ目状に軸ハギ。畳付き部と見込に砂粒付着。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色。④肥前。
15	磁器 碗	口9.8 底3.6 高4.4	2区 ほぼ完存	畳付き部軸ハギ。染付は矢羽根文。細かい気泡が見られる。	③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。畳付き部は橙味が強い。④肥前。
16	磁器 碗	口(10.1) 底4.0 高5.7	3区・底面より34cm上の 1/2個体	畳付き部露胎。外面にコンニャク印判の鶴文と若松文。体部下端に一重、高台部に二重圏線。細かな貫入が見られる。	③釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。露胎部分は橙味強い。④肥前。
17	磁器 碗	口(10.4) 底3.8 高5.9	3区・底面より35cm上の 3片。 口縁1/4、底部完存	畳付き部露胎。砂粒付着。外面コンニャク印判の鶴文と若松文が各3ヶ所。体部下端に一重、高台部に二重圏線。細かな貫入が見られる。	③釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。高台部の圏線は褐色。露胎部分は橙味をおびる。④肥前。
18	磁器 碗	口10.2 底4.0 高5.8	4区・底面より35cm上。 口縁1/5、底部完存	畳付き部は軸ハギ。砂粒付着。外面にコンニャク印判の鶴文と若松文が各3ヶ所。外底に一重、高台部に二重圏線。細かな貫入が見られる。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。高台部の圏線は褐色に発色。断面はやや橙味が強い。④肥前。
19	磁器 碗	口10.8 高[4.6]	4区・底面より33cm上。 図示部の1/2	外面にコンニャク印判の鶴文と若松文。細かな貫入が見られる。	③釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。④肥前。
20	陶器 碗	口(11.0) 底4.8 高7.4	3区・底面より36cm上。 口縁1/3、底部完存	内外面やや厚い灰釉。外面の染付は松竹梅と山水文か。細かい貫入・気泡が見られる。	①G。砂粒、きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに緑色味をおびた透明釉。呉須はくすんだ藍色に発色。畳付き部は褐色、断面は灰白色。④肥前。
21	陶器 碗	口(11.0) 底4.6 高6.6	1区上層。 1/3個体	畳付き部露胎。内外面灰釉。外面の染付は草花文、口縁部に四方櫛文。高台部に二重圏線。細かい貫入が見られる。	①G。砂質、きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに緑色味をおびた透明釉。呉須は薄くくすんだ藍色に発色。断面灰白色。④肥前。
22	陶器 碗	高[3.6] 底5.0	1区・底面より40cm上。 底部ほぼ完存	畳付き部露胎。砂粒付着。灰釉。染付は草花文。高台部に三重圏線。細かい貫入が見られる。	①G。砂質、きめ細かい。白色粒少量。②硬調。③釉調は緑色味をおびた透明釉。呉須はくすんだ藍色に発色。④肥前。
23	陶器 碗	口(11.8) 高[5.6]	4区・底面より47cm上。 図示部の1/3	内外面やや厚い灰釉。外面の染付は松竹梅と山水文か。貫入・気泡は細かく、全面に見られる。	①G。砂質、きめ細かい。②硬調。③釉調は僅かに緑色味をおびた透明釉。呉須は淡い藍色に発色。断面は灰白色、一部褐色。④肥前。
24	陶器 碗	底4.9 高[4.6]	3区と4区・底面より40 ~50cm上の2片。 図示部の3/4	畳付き部露胎。内外面厚い灰釉。染付は山水文。高台部に二重圏線。細かい貫入・気泡が見られる。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②硬調。③釉調は青色味をおびた乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。④肥前。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
25	陶器 碗	口(11.0) 底4.4 高8.0	4区・底面より34cm上。 1/2個体	畳付き部露胎。砂粒付着。呉器手。極細かい貫入が見られる。	①G。砂質、きめ細かい。黒色鉱物粒少量。②硬調。③釉調は僅かに紫色味をおびた透明釉。断面は淡黄。④肥前。
26	陶器 碗	口11.4 底4.6 高7.8	3区・底面より40cm上の 3片。口縁1/3、底部完存	畳付き部露胎。砂粒付着。呉器手。極細かい貫入が見られる。	①G。砂質、白色鉱物粒少量。②硬調。③釉調は僅かに緑色味をおびた透明釉。断面は淡黄。④肥前。接合しない同一個体を使った復元。
27	陶器 碗	底4.8 高[3.4]	3区・底面より38cm上。 底部完存	畳付き部露胎。砂粒付着。呉器手。極細かい貫入が見られる。	①G。砂質、白色鉱物粒少量。②硬調。③釉調は僅かに紫色味をおびた透明釉。断面は淡黄。④肥前。
28	陶器 碗	口(10.8) 底5.5 高7.65	4区・底面より34cm上。 1/2個体	高台部に砂粒付着。白泥刷毛目文。細かい貫入が見られる。	①G。きめ細かい。白色粒少量。②硬調。③釉調は僅かに緑色味をおびた透明釉。白泥は淡黄。断面は赤褐色。④肥前。
29	陶器 碗	口(11.2) 高[5.1]	4区 口縁1/3	内外面鉄釉。外面は白泥波状刷毛目。	①G。素地緻密。②硬調。③釉調は灰味をおびた透明釉。断面は赤橙。④肥前。
30	陶器 碗	底4.7 高[2.6]	7区西壁際上層。 底部完存	畳付き部は露胎。内外面白泥刷毛目。	①G。きめ細かい。黒色鉱物粒。②やや硬調。③釉調は黄味をおびた透明釉。断面は赤褐色。④肥前。
31	陶器 碗	口(10.0) 底4.2 高5.9	3区・底面より41cm上。 1/3個体	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
32	陶器 碗	口(10.0) 底(4.5) 高5.8	3区 1/4個体	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。やや粗い貫入が見られる。腰錆小服。	①G。細かい砂粒。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
33	陶器 碗	口(9.8) 底4.6 高6.0	1区 口縁1/2、底部完存	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。やや粗い貫入が見られる。腰錆小服。	①G。砂質、黒色粒少量。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
34	陶器 碗	底5.0 高[3.8]	4区・底面より45cm上。 体部1/2、底部完存	畳付き部は釉ハギ。外面は鉄釉。内面は灰釉。やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。細かい砂粒、白色粒子混入。②普通。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
35	陶器 碗	口(9.4) 底3.6 高6.0	4区 1/2個体	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉で、やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。細かい砂粒。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
36	陶器 碗	口9.9 底4.7 高6.4	4区・底面より43cm上の 2片。 2/3個体	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。細かい砂粒。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
37	陶器 碗	口10.2 底5.0 高5.6	4区・底面より43~47cm 上の2片。 口縁1/2、底部完存	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。細かい砂粒。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
38	陶器 碗	口(10.5) 底4.8 高6.0	4区・底面より46cm上。 口縁若干、底部完存	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
39	陶器 碗	口10.0 底5.2 高5.8	4区・底面より43cm上。 口縁3/4、底部完存	畳付き部は釉ハギ。外面下半は鉄釉。外面上半と内面は灰釉。外面中位露胎。やや細かい貫入が見られる。腰錆小服。	①G。砂質、黒色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
40	陶器 碗	口10.8 底5.2 高7.0	4区・底面より27cm上。 ほぼ完存	畳付き部は釉ハギか。鉛釉灰釉流し。細かい貫入が見られる。	①G。素地緻密、白色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は褐色、口縁は黄色味がかかった乳白色に発色。④瀬戸・美濃。
41	陶器 碗	口(11.4) 底5.6 高7.1	1区・中層から上層の3 片。 口縁1/2、底部完存	高台部露胎。鉄釉灰釉流し。口縁に細かい貫入が見られる。	①G。素地緻密、白色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は褐色、口縁は紫色味をおびた乳白色に発色。露胎部分は淡黄、断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
42	陶器 碗	口(11.6) 底5.0 高7.1	3区・底面より41cm上の 3片。 口縁1/2、底部完存	畳付き部釉ハギ。○が2つ8の字状に刻印。外面下半鉄釉、上半と内面灰釉。外面に長石釉散らし。やや細かい貫入が見られる。体部の一部凹む。	①G。細かい砂粒。②やや硬調。③釉調は鉄釉が褐色、灰釉は緑色をおびた透明釉。長石釉は乳白色。断面灰白色。④瀬戸・美濃。
43	陶器 碗	口(12.4) 底5.6 高7.3	3区・底面より41cm上。 ほぼ完存	高台部露胎。鉄釉灰釉流し。表面に黒褐色の染みが浮き出る。	①G。砂質、やや粗い。黒色鉱物粒少量。②やや硬調。③釉調は褐色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
44	陶器 碗	口(10.0) 底(4.6) 高6.5	4区 1/2個体	内外面鉛釉。口縁の釉はやや厚い。外底と高台部は露胎。	①G。素地緻密、白色鉱物粒少量。②硬調。③釉調はオリブ黄の発色。露胎部分や断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
45	陶器 碗	口(9.8) 底(4.7) 高6.1	4区 体部1/8、底部1/2	畳付き部釉ハギ。鉄釉に斑状の長石釉。	①G。砂質、きめ細かい。②やや硬調。③釉調は鉄釉が柿釉調に、長石釉は乳白色に発色。④瀬戸・美濃。
46	陶器 碗	口(11.2) 底5.1 高7.0	4区・底面より39cm上の 3片。口縁1/2、底部完存	高台部露胎。鉛釉。見込にピン跡。	①G。砂質、砂粒多い。②やや硬調。③釉調は黄褐色に発色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
47	陶器 碗	口(10.0) 高[4.9]	4区 図示部の1/3	染付は簡略化された山水文。やや粗い貫入が見られる。御室碗。	①G。砂質、やや粗い。黒色鉱物粒。②普通。③釉調は緑色をおびた透明釉。呉須は極淡い藍色に発色。④瀬戸・美濃。
48	陶器 碗	口(14.0) 高[6.1]	3区 図示部の1/4	高台部露胎。細かい貫入が見られる。	①G。素地やや粗い。黒色鉱物粒少量。②普通。③釉調は緑色をおびた透明釉。光沢がある。④瀬戸・美濃。京焼風。
49	陶器 碗	口(10.6) 高[3.8]	1区 図示部の1/3	内外面鉛釉。やや粗い貫入が見られる。	①G。素地緻密、白色鉱物粒少量。②硬調。③釉調はオリブ色の透明釉。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
50	陶器 碗	底5.6 高[1.4]	1区上層。 高台部ほぼ完存	畳付き部は剥落し不明瞭だが釉ハギか。鉛釉。	①G。砂質、砂粒多い。②やや軟調。③釉調は黄土色に発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
51	陶器 碗	底5.8 高[3.8]	1区 体部1/4、底部完存	高台部露胎。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。白色鈳物粒少量。②やや硬調。③釉調は緑色をおびた透明釉。露胎部分はやや赤味をおびた灰白色。④瀬戸・美濃。
52	陶器 碗	底(6.0) 高1.3	2区・底面より54cm上。 高台部1/2	高台部露胎。灰釉。細かい貫入と気泡が見られる。高台貼り付け。底部回転糸切り難し。	①G。砂質、黒色鈳物粒少量。②硬調。③釉調は緑色をおびた透明釉。露胎部分は灰白色。④肥前。
53	陶器 碗	底6.3 高[6.2]	3区・底面より54cm上と 西壁際の2片。 体部1/2、底部完存	高台部露胎。内外面灰釉。やや粗い貫入が見られる。見込のロクロ痕明瞭。	①G。砂質、白色鈳物粒少量。②普通。③釉調は緑色味をおびた透明釉。④瀬戸・美濃。
54	陶器 皿	口11.5 底3.0 高4.4	2区 口縁1/2、底部完存	高台部露胎。見込に梅樹文。枝は呉須絵、梅の花は鉄絵。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。白色鈳物粒含む。②普通。③釉調は僅かに緑色をおびた透明釉。呉須は藍色、鉄絵は褐色に発色。露胎部分や断面は黄味をおびた白色。④瀬戸・美濃。京焼風。
55	陶器 碗	口11.6 底3.6 高4.1	4区・底面より60cm上。 1/2個体	高台部露胎。見込に梅樹文。枝は呉須絵、梅の花は鉄絵。細かな貫入が見られる。	①G。砂質、やや粗い。黒色好物粒少量。②普通。③釉調は僅かに緑色をおびた透明釉。呉須は藍色、鉄絵は褐色に発色。露胎部分や断面は黄味をおびた白色。④瀬戸・美濃。京焼風。
56	陶器 碗	口(10.8) 底4.2 高4.2	3区・底面より50cm上。 1/3個体	高台部露胎。見込に鉄絵の山水文。極細かい貫入が見られる。	①G。素地緻密、砂粒少量。②やや硬調。③釉調は黄色味をおびた透明釉。鉄絵は薄い褐色に発色。④京都・信楽。
57	磁器 猪口	口(7.4) 底(4.8) 高5.6	6区 1/3個体	外底は露胎。染付は外面に山水文、下端二重圏線。口鏽。蛇ノ目高台か。	③釉調は僅かに青色味がかつた乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。口鏽は鉛釉調に発色。④肥前。
58	陶器 碗	口(4.8) 底2.4 高4.8	3区・底面より50cm上の 2片。 口縁1/4、底部完存	畳付き部軸ハギ。灰釉柿釉掛分け。灰釉部分に粗い貫入。	①G。砂質、黒色鈳物粒少量。②硬調。③釉調は灰釉が緑色味をおびた透明釉。柿釉は褐色に発色。④瀬戸・美濃。
59	磁器 碗	口(7.8) 底(3.8) 高3.8	4区・底面より36cm上。 1/5個体	畳付き部は軸ハギ。染付は山水文。口縁外端に一重、下半に三重、高台部内面に一重圏線。細かな気泡が見られる。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須は明るい藍色に発色。④瀬戸・美濃。
60	磁器 碗	口7.6 底4.3 高6.3	2区 1/2個体	畳付き部は軸ハギ。外面青磁。染付は口縁内端に四方標文。見込に二重圏線、コンニャク印判の五弁花文。細かい気泡が見られる。	③釉調は外面が明緑色、内面は青色味をおびた乳白色。呉須はややくすんだ藍色に発色。畳付き部は橙黄色味が強い。④肥前。
61	磁器 蓋	口(8.6) 鈕(3.2) 高2.9	10区 1/4個体	畳付き部は軸ハギ。染付は外面に鳥文か。内面口縁部に連弧文。見込に一重圏線、見込文様。細かい気泡が見られる。	③釉調は青色味がかつた乳白色。呉須は明るい藍色に発色。④肥前。
62	磁器 皿	口(9.6) 底5.0 高2.1	4区 口縁若干、底部完存	畳付き部は軸ハギ。内面はコンニャク印判模文。外面は松葉文。	③釉調は僅かに青色味がかつた乳白色。呉須は明るい藍色に発色。④肥前。
63	陶器 皿	底(7.8) 高[1.6]	1区 底部2/3	内外面長石釉。見込に鉄絵蘭竹文、二重圏線。やや粗い貫入が見られる。外底に目跡。志野織部皿。	①G。砂質、白色粒少量。②硬調。③釉調は灰白色、鉄絵は灰褐色に発色。④瀬戸・美濃。
64	陶器 皿	口(11.8) 底8.0 高2.3	北側上層。 1/2個体	内外面長石釉。見込にピン跡。被熱のため釉が縮れている。志野皿。	①G。素地粗い。赤色鈳物粒少量。②やや軟調。③釉調は黄色味をおびた乳白色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。二次被熱。
65	陶器 皿	口(11.4) 底(6.8) 高2.1	5区・底面より32cm上。 1/2個体	内外面長石釉。内底と外底にピン跡。やや粗い貫入と気泡が見られる。志野皿。	①G。砂質、黒色鈳物粒。②普通。③釉調は僅かに緑色をおびた乳白色。断面は橙味の強い灰白色。④瀬戸・美濃。
66	陶器 皿	底(6.5) 高[1.5]	3区・底面より48cm上。 底部1/4	高台部露胎。見込に鉄絵で摺絵。ピン跡。	①G。素地緻密、白色鈳物粒少量。②硬調。③釉調は緑色味をおびた透明釉。鉄絵は褐色の発色。④瀬戸・美濃。
67	陶器 皿	口(11.2) 底(3.8) 高2.3	6区 図示部の1/4	外底露胎。見込にピン跡。細かい貫入が見られる。灯明皿。口縁に黒色の付着物若干。	①G。砂質、砂粒多い。②普通。③釉調は僅かに緑色をおびた透明釉。光沢が強い。露胎部分は黄味の強い乳白色。④京都・信楽。
68	磁器 皿	口(14.6) 底11.0 高3.0	4区・底面より40cm上。 1/4個体	畳付き部露胎。白磁。菊花形に型打成型。	③釉調は青色味をおびた乳白色。④肥前。
69	陶器 皿	口(11.8) 底(4.0) 高3.0	4区・底面より46cm上。 口縁1/2、底部ほぼ完存	高台部露胎。見込は蛇ノ目状に軸ハギ。外面灰釉、内面青緑釉。青緑釉輪剥皿。	①G。素地緻密、黒色粒少量。②硬調。③釉調は外面が緑色をおびた透明釉。内面は青色味をおびた緑色に発色。④肥前。
70	陶器 皿	口11.8 底4.3 高3.5	3区・底面より33cm上。 ほぼ完存	高台部露胎。見込は蛇ノ目状に軸ハギ。外面灰釉、内面青緑釉。青緑釉輪剥皿。	①G。素地緻密、黒色粒少量。②硬調。③釉調は外面が緑色をおびた透明釉。内面は青色味をおびた緑色に発色。④肥前。
71	陶器 菊皿	底6.8 高[2.4]	9区 底部ほぼ完存	高台部露胎。黄瀬戸釉緑釉流し。細かい貫入が見られる。見込にピン跡。高台貼り付け。	①G。砂質、やや粗い。赤色鈳物粒含む。②普通。③釉調は黄色味と緑色をおびる。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
72	陶器 菊皿	底(7.5) 高[2.6]	2区 図示部の1/4	外底と高台部露胎。黄瀬戸釉緑釉流し。細かい貫入が見られる。高台貼り付け。底部回転糸切り難し。	①G。素地やや粗い。②やや硬調。③釉調は黄色味と緑色をおびる。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
73	陶器 菊皿	口(12.6) 底(7.6) 高2.4	2区 1/2個体	畳付き部軸ハギ。長石釉。見込にピン跡。やや粗い貫入が見られる。志野皿。	①G。素地緻密、黒色鈳物粒少量。②普通。③釉調は僅かに緑色をおびた乳白色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
74	陶器 皿	口(11.5) 底5.8 高3.0	4区・底面より60cm上。 口縁若干、底部3/4	高台部露胎。内外面灰釉。非常に細かい貫入。見込に菊花の押印文。	①G。砂質、黒色鈳物粒を少量。②普通。③釉調は緑色味をおびた透明釉。露胎部分や断面は黄味をおびた灰白色。④瀬戸・美濃。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
75	陶器 片口	口(20.0) 底(9.6) 高[10.1]	3区・底面より35cm上と 4区埋没土の2片。 図示部小破片	高台部露胎。白泥刷毛目文。見込は白泥 の上に透明釉がかかっていない。口縁折 り返し。	①G。砂粒・白色鉱物粒含む。②硬調。③釉調は僅 かに黄色がかかった透明釉。白泥は乳白色に発色。露 胎部分は赤褐色。④肥前。接合しない同一個体が4 区より出土。
76	陶器 鉢	口(21.8) 底(8.6) 高9.8	4区・底面より34cm上。 1/3個体	口縁端部と外底露胎。白泥刷毛目。	①G。砂粒・白色鉱物粒含む。②硬調。③釉調は黄 色味がかかった透明釉。露胎部分は赤褐色。④肥前。
77	陶器 鉢	底(10.0) 高[3.3]	図示部の1/6	高台部露胎。釉は極薄く、外面はハケの 跡が見られる。白泥象嵌。見込に砂目積 み痕。三鳥手鉢。	①G。素地やや粗い。砂粒多い。②硬調。③釉調は 黄色味がかかった透明釉。白泥は乳白色。露胎部分は 赤褐色。④肥前。
78	陶器 鉢	口(30.9) 高[5.6]	1区表層。 図示部の1/4	外面露胎。白泥象嵌。三鳥手鉢。	①G。素地緻密。白色鉱物粒少量。②硬調。③釉調 は黄色味がかかった透明釉。白泥は乳白色。露胎部分 は赤褐色。④肥前。
79	磁器 大皿	口(29.8) 底(16.8) 高5.3	3区・底面より45cm上と 4区40cmの4片。1/5個体	畳付き部は釉ハギ。見込にピン跡。極細 かい気泡が見られる。白磁。	③釉調は青色味をおびた乳白色。④肥前。
80	陶器 鉢	口(16.6) 高[7.9]		灰釉。極細かい貫入が見られる。	①G。きめ細かい。黒色粒少量。②硬調。③釉調は 黄色味をおびた透明釉。口縁は緑色の透明釉。断面 は淡黄。④瀬戸・美濃。
81	陶器 鉢	口(19.4) 高[10.2]	図示部の1/2	外面下半露胎。内外面灰釉。細かい貫入 が見られる。こね鉢。	①G。砂粒、小粒の混入物が多い。②やや軟調。③ 釉調は緑色をおびた透明釉。露胎部分は黄味をお びた灰白色。④瀬戸・美濃。
82	磁器 仏飯器	脚下3.6 高[3.6]	2/3個体	脚部底部露胎。外面の染付は草花文。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はやや 明るい藍色に発色。露胎部分は橙味をおびている。 ④肥前。
83	磁器 仏飯器	脚下(3.8) 高[3.3]	4区 図示部ほぼ完存	脚底部露胎。	③釉調は被熱のため、にごった乳白色。露胎部分は 橙色が強い。④肥前。二次被熱。
84	陶器 仏飯器	脚下4.4 高3.4	2区 図示部の3/4	脚部露胎。やや粗い貫入が見られる。	①G。砂質、黒色鉱物粒含む。②硬調。③釉調は緑 色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美 濃。
85	磁器 仏飯器	脚下4.2 高[4.0]	3区 底部完存	畳付き部は釉ハギ。白磁。	③釉調は乳白色。露胎部分は橙味をおびている。 ④肥前。
86	陶器 花生	脚下5.6 高[10.5]	4区表層。 図示部ほぼ完存	脚底部露胎。内面と外面上半灰釉、下半 鉄釉。灰釉部分にやや粗い貫入が見られ る。脚底部回転糸切り難し。墨書。	①G。砂質、きめ細かい。②やや硬調。③釉調は灰釉。 上半は緑がかかった透明釉、下半は鉛釉調の発色。④ 瀬戸・美濃。
87	磁器 香炉	口(10.0) 底6.1 高8.5	4区・底面より37~42cm 上の2片。 1/2個体	畳付き部・見込露胎。畳付き部に砂粒付 着。青磁。細かい気泡が見られる。見込 に灰付着。蛇の目高台。	③釉調は明青緑色に発色。露胎部分は灰白色。④肥 前。
88	磁器 香炉	口(9.5) 底(8.8) 高5.5	図示部の1/5	染付は松文。口縁に四方櫛文。下端に三 重圏線。細かい貫入が見られる。	③釉調は僅かに青色味をおびた乳白色。呉須はやや くすんだ藍色。④肥前。
89	陶器 香炉	底9.3 高[3.4]	4区・底面より35cm上。 底部1/3	底部露胎。鉛釉。細かい貫入が見られ る。3足。足は貼り付け。指跡が残る。	①G。素地やや粗い。砂粒多い。②普通。③釉調は 褐色に発色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
90	陶器 香炉	底(9.9) 高[3.7]	1区・底面より58cm上。 底部1/3	外底露胎。外面灰釉。外面に半菊状のし のぎ。三足。足は貼り付け、指跡有り。	①G。砂質、赤色鉱物粒少量。②普通。③釉調は緑 色をおびた透明釉。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美 濃。
91	陶器 香炉	底(13.0) 高[3.5]	3区 底部1/3	外底露胎。外面褐釉。櫛描文。三足。足 は貼り付け、指跡有り。細かい貫入が見 られる。	①G。砂質、赤色鉱物粒子少量。②普通。③釉調は 黄土色。露胎部分は淡黄。④瀬戸・美濃。
92	陶器 香炉	底6.5 高[5.4]	5区・底面直上。 体部1/4、高台部完存	畳付き部は露胎。砂粒付着。外面灰釉。染付 は草花文か。細かい貫入が見られる。	①G。素地やや粗い。黒色鉱物粒多く含む。②やや 硬調。③釉調は緑色をおびた乳白色。呉須はくすん だ藍色に発色。露胎部分は赤褐色。④瀬戸・美濃。
93	陶器 五合徳利	口(3.8) 底8.2 高20.8	4区・底面より20~43cm 上の7片。 1/2個体	鉛釉灰釉流し。らつきょう形で口縁部薄 手の折り返し。肩部に櫛描文。回転糸切 り難し。細かい貫入が見られる。	①G。砂質、白色鉱物粒少量。黒色鉱物粒多い。② 硬調。③釉調は黄褐色。上半は乳白色。④瀬戸・美 濃。
94	陶器 徳利	口5.6 高[7.9]	3区・底面より35cm上。 口縁から頸部ほぼ完存	口縁~頸部内外面鉄釉。下端灰釉。	①G。砂質、きめ細かい。②普通。③釉調は濃い褐 色。口縁と頸部下半は鉛釉調の発色。灰釉はやや褐 色味をおびた透明釉。④瀬戸・美濃。
95	陶器 徳利	高[9.5]	4区 図示部の1/3	鉛釉。	①G。砂粒・白色鉱物粒多い。②硬調。③釉調は褐 色に発色。断面は灰色。④瀬戸・美濃。
96	陶器 徳利	高[12.0]	4区・底面より36cm上。 図示部1/4	内外面鉛釉。内面のロクロ痕明瞭。	①G。素地緻密。②硬調。③釉調はオリブ色の発 色。断面は灰白色。④瀬戸・美濃。
97	陶器 徳利	底(7.6) 高[4.9]	2区 図示部の1/2	畳付き部露胎。外面厚い鉄釉。	①G。素地緻密。砂粒少量。②硬調。③釉調はやや 赤色味をおびた黒色。露胎部分は灰黄。④瀬戸・美 濃か。
98	陶器 徳利	底7.5 高[14.0]	1区表層。 図示部ほぼ完存	外面柿釉。肩部に目跡4ヶ所。体部に 2ヶ所凹みを持つ。べこかん徳利。	①G。やや砂質、混入物は小粒で少ない。②硬調で 焼き締まる。③釉調は赤褐色の発色。露胎部分は灰 色。
99	陶器 徳利	高[14.9]	5区表層の3片。 図示部の1/2	外面柿釉。肩部に櫛描文。体部に2ヶ所 凹みを持つ。べこかん徳利。	①G。やや砂質、混入物は小粒で少ない。②硬調で 焼き締まる。③釉調は褐色の発色。露胎部分は灰 色。④瀬戸・美濃。
100	陶器 水注	口(7.6) 底8.5 高8.9	6区・底面より26cm上。 1/2個体	外底露胎。柿釉。注口貼り付け。内底に 汁継。	①G。素地緻密。②硬調。③釉調は褐色に発色。④ 瀬戸・美濃。
101	陶器 土瓶	口(10.8) 高[7.0]	1区上層。 図示部の1/3	鉛釉。外面口縁と下端に櫛描文。内面ロ クロ痕明瞭。細かい貫入が見られる。	①G。素地粗い。砂粒多い。②硬調。③釉調は黄土 色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。



No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
102	陶器 灯明皿	口(10.2) 底(7.2) 高2.2	3区 図示部の1/3	内外面鉄釉。外底鋭い回転ヘラ削り。	①G。素地緻密、砂粒少量含む。②硬調。③釉調は褐色に発色。露胎部分には濃い橙色。④志戸呂。
103	陶器 灯明皿	口(8.4) 底(4.4) 高1.7	2区 1/3個体	内外面鉄釉。右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。口縁にスス付着。	①G。素地緻密、砂粒少量含む。②硬調。③釉調は褐色に発色。露胎部分には濃い橙色。④志戸呂。
104	陶器 灯明皿	口7.6 底5.5 高2.7	4区・底面より46cm上。 完存	内外面鉄釉。外面体部～底部に鋭い回転ヘラ削り。立ち上がり部に3ヶ所の弧状の窓をあける。	①G。砂粒多い。②硬調。③釉調は褐色に発色。露胎部分には濃い橙色。④志戸呂。
105	陶器 灯明皿	口8.0 底5.8 高2.8	3区・底面より18cm上。 ほぼ完存、口縁一部欠	内外面鉄釉。外面体部～底部に鋭い回転ヘラ削り。立ち上がり部に一對の弧状の窓をあける。	①G。砂粒多い。②硬調。③釉調は褐色に発色。露胎部分は橙色。④志戸呂。
106	かわらけ	口(9.6) 底5.5 高2.1	1区・底面より67cm上。 3/4個体	左回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕は弱い明瞭。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。
107	かわらけ	口(9.8) 底(10.0) 高1.9	3区 図示部の1/3	厚手。左回転ロクロ。底部回転糸切り離し。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③浅黄橙10YR8/3。
108	陶器 小皿	口(8.0) 高[1.0]	図示部の1/4	薄手。ロクロ痕不明瞭。	④志戸呂か。
109	陶器 大甕		口縁部小破片	端部は薄い。	①G。1～3mm大の白色鉱物混入。②硬調。③器面は赤色味をおびる。薄い降灰釉。④常滑。
110	陶器 大甕		2区 口縁部小破片	口縁端部に降灰釉付着。	①G。素地粗い。1～2mm大の白色の混入物。②硬調。③褐7.5YR4/3。断面は灰白色。④常滑。
111	恵比寿天	高15.3	4区・底面より32～44cm上。 の3片、3/4個体	前後型合せ。背面穿孔3.5mm。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR7/6。
112	大黒天	高[10.0]	4区・底面より40cm上。 背のみ残存	前後型合せ。背面に孔が穿たれているが、貫通せず。内面に指跡有り。	①F。素地緻密、混入物は少ない。器壁粉っぽい。②酸化焰、やや軟調。③橙7.5YR7/6。
113	青白磁碗		8区下層 口縁部小片	磁胎は淡灰色を呈す。青磁釉は薄く、青白磁色。外面に恠鋸手蓮弁文あり。	①磁胎。緻密、素地細かく揃う。②還元焰。③灰色2.5Y7/1、釉は5G7/1。④景德鎮窯系か。
114	青磁碗		7区上層 口縁部小片	磁胎は淡灰色を呈す。青磁釉は厚く、鋸手を呈し上手。外面に花卉文あり。	①磁胎。緻密、素地細かく揃う。②還元焰。③灰色2.5Y8/1、釉は明緑灰5G7/1より緑味強い。④竜泉窯系。
115	陶器 鉢	口31.8 底15.4 高10.6	2区 図示部の2/3、底部完存	外底露胎。長石釉。染付は鉄絵。秋草文様か。笠原鉢。	①G。やや砂質、混入物は小粒で少ない。②硬調で焼き締まる。③釉調は乳白色。鉄絵は褐色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
116	陶器 搦鉢	口(35.4) 底13.4 高[15.8]	4区・底面より15cm上。 図示部の1/4	おろし目は1単位9本。内底摩滅。	①G。砂粒、石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③黒褐10YR2/2。
117	陶器 搦鉢	口(35.6) 高[13.1]	1区・底面より36～74cm上。 の2片。 図示部の1/4	右回転ロクロ。おろし目は幅太で1単位12本。残存部分では摩滅は少ない。内外面鉄釉。	①G。砂粒、石英、4mm大の混入、素地粗い。121と同一。②やや硬調。③釉調は赤褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
118	陶器 搦鉢	口(29.4) 高[7.8]	5区 口縁部小破片	おろし目は1単位10本。残存部分では摩滅は少ない。	①G。砂粒、石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③明赤褐2.5YR5/8。外面は明度低い。
119	陶器 搦鉢	底(11.0) 高[7.1]	3区・底面より26cm上。 底部1/4	内外面鉄釉。おろし目は1単位14本。内底は著しく摩滅。底部回転糸切り離し。	①G。砂粒、黒色鉱物散見、3mm大の混入物。②やや硬調。③釉調は褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
120	陶器 搦鉢	底(14.4) 高[7.9]	4区・底面より41cm上。 図示部の1/3	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。おろし目は幅太で1単位13本。内外面鉄釉。	①G。砂粒、石英、4mm大の混入、素地粗い。121と同一。②やや硬調。③釉調は赤褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
121	陶器 搦鉢	底(15.0) 高[7.8]	1区・底面より35～67cm上。 の2片。 図示部の1/4	右回転ロクロ。底部糸切り離し。内外面鉄釉。おろし目は幅太で1単位11本。残存部分では摩滅は少ない。外面にハケ目状の擦痕。	①G。砂粒、石英、3mm大の混入、素地粗い。②やや硬調。③釉調は褐色の発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
122	搦鉢	底(12.0) 高[10.1]	6区 底部小破片	内面の摩滅著しい。おろし目は1単位6本。	①G。砂粒、黒色鉱物散見、4mm大の混入物。②酸化焰、やや硬調。③灰7.5Y6/1。
123	搦鉢	底(12.0) 高[7.8]	8区 底部小破片	おろし目は鋭く、1単位6本。摩滅著しい。外面は指頭圧痕残る。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③灰黄褐10YR5/2。
124	陶器 搦鉢	底(15.0) 高[9.4]	5区・底面より15～37cm上。 の2片。 図示部の1/4	おろし目はやや幅太く1単位10本。内底は著しく摩滅。	①G。砂粒、石英、3mm大の混入物。②やや硬調。③灰褐5YR4/2。赤色味の強いムラあり。④瀬戸・美濃。
125	鍋	口34.5 底(19.4) 高11.9	1区・底面より60cm上。 19片。 図示部の1/2	口縁下半は弱いヘラ削りで、型膚痕・指頭圧痕残る。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③オリープ黒5Y3/1。④外面にススが厚く付着。
126	鍋	口(34.6) 底19.0 高13.3	1区・底面より28～80cm上。 の10片。 図示部の1/2	薄手。器面の剥落進む。外面体部下端は強いナデ。輪積痕明瞭。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③濃い黄橙10YR7/3。④外面にスス付着。
127	鍋	口(33.0) 高[12.4]	4区 図示部の1/8	外面下端弱いヘラ削りで、型膚状の無調整部分が残る。輪積痕明瞭。小片からの復元で、径・傾き不安。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③灰黄2.5Y4/1。内面は明度高い。④外面にスス付着。
128	鍋	口(36.4) 高[7.9]	1区・底面より55cm上。 図示部の1/4	外面指頭圧痕残る。内面丁寧なナデ。輪積痕明瞭。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③灰5Y1/4。④外面にススが厚く付着。
129	内耳鍋	口(24.0) 高[10.0]	9区・底面より40cm上。 図示部の1/5、耳欠損	外面ハケ目状の擦痕明瞭。耳の取り付けは丁寧。上部に焼成後穿孔1ヶ所。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③濃い黄褐10YR6/4。④外面にスス付着。
130	火鉢	台下(20.8) 高[8.7]	2区 図示部の1/6	内外面とも器面の剥落著しく整形痕不明瞭。台部に外方より焼成前穿孔。	①G。砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③浅黄2.5Y7/3。④外面にスス付着。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
131	火鉢	口(35.0) 底(29.2) 高12.8	1区 口縁1/4、底部1/2	3足。2ヶ所残存。足の取り付けは丁寧。内底に「池田屋」の刻印。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③灰7.5Y4/1。断面に灰白色の層あり。
132	火鉢	口(37.3) 高[8.3]	7区 口縁小破片	内面菊花文押印。焼成前に内面より穿孔。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄褐10YR5/3。
133	火鉢	口(36.2) 高[10.1]	2区・底面より34~45cm 上の2片。 図示部の1/8	外面は幅の広いヘラ磨き。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③灰N4/0。赤色味強いムラあり。断面に灰白色の層あり。④134と同一個体か。
134	火鉢	底(28.5) 高[7.6]	3区・底面より38~45cm 上の2片。 図示部の1/3	外面は幅の広いヘラ磨き。脚の取り付けは丁寧。3足か。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③黒10YR2/1。断面に灰白色の層あり。④133と同一個体か。
135	焙烙	口39.2 底35.6 高6.0	1区上層の16片。 ほぼ完存	外面口縁下半は弱いヘラ削りで、型膚状の無調整部分が残っている。5対の焼成後穿孔。補修穴か。	①B。素地緻密、輝石類やや含み混入物は少ない。②酸化焰、普通。③灰5Y6/1。一様でない。④外面口縁にスス付着。
136	焙烙	口37.2 底34.8 高4.1	1区・底面より26cm上の 9片。3/4個体	口縁下半のナデは弱く、型膚状の無調整部分が広く残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③灰N5/0。断面は灰白色。
137	焙烙	口(41.0) 底(36.8) 高4.9	1区 図示部の1/4	口縁外面は丁寧なナデで、擦痕明瞭。底部に焼成後穿孔。補修穴か。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③浅黄2.5Y7/3。黒色味強いムラあり。
138	焙烙	口40.7 底35.2 高5.6	1区・上層の10片。 ほぼ完存	外面口縁下半は弱いヘラ削りで、型膚状の無調整部分が残っている。	①B。素地緻密、輝石類やや含み混入物は少ない。②酸化焰、普通。③灰7.5Y5/1。一様でない。④外面口縁にスス付着。
139	焙烙	口(39.6) 底35.6 高5.5	5区・底面直上から28cm 上にかけての12片。 図示部の3/4、内耳欠損	口縁下半のヘラ削りは弱く、型膚状の無調整部分残る。耳の取り付けは丁寧。底部に5ヶ所焼成後穿孔。補修跡。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。内面は黒色味強い。④外面口縁にスス付着。
140	焙烙	口(39.1) 底(35.1) 高5.5	1区上層の6片。 図示部の1/3	器面の剥落進む。耳の取り付けはやや雑。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/2。口縁は黒色味強い。
141	焙烙	口(40.7) 底(37.0) 高4.7	3区・底面より42cm上。 図示部の1/4	口縁下半に型膚状の無調整部分が若干残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③灰白5Y7/1。口縁は黒色味強い。断面は赤色味おびる。④口縁外面にスス付着。
142	焙烙	口(38.2) 底(34.2) 高5.1	2区 図示部の1/8	耳の取り付けはやや雑。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR7/3。口縁は黒色味強い。④内外面スス付着。
143	焙烙	口(37.2) 底(35.2) 高5.5	4区 図示部の1/4	口縁下半に型膚状の無調整部分が広く残る。耳の取り付けは丁寧。	①G。雲母、角閃石、砂粒含む。②酸化焰、普通。③黒褐7.5YR3/1。断面は灰白色。④外面口縁にスス付着。
144	焙烙	口(40.6) 底(36.0) 高5.3	1区・底面より70cm上の 10片。 図示部の1/4	口縁下半のヘラ削りはやや雑で、型膚状の無調整部分が残っている。内底に菊花文刻印。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR5/3。断面は明度高い。
145	焙烙		1区 底部小破片	内面に刻印。「合左エ門」。	①G。角閃石、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR7/4。
146	軒丸瓦	径8.8 厚2.4	9区 瓦当部ほぼ完存	連珠三巴文。8珠。接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。近世・近代の棧瓦。	①G。きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰黄2.5Y7/2。
147	軒平瓦	長[3.7] 幅[3.0] 厚2.4	5区 瓦当部小破片	近世・近代唐草文。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多い。②還元焰、やや硬調。③灰黄褐10YR6/2。被熱による変色部分あり。
148	軒平瓦	長[6.3] 幅[13.5] 厚1.9	9区 瓦当部小破片	近世・近代唐草文。傘に十の刻印あり。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。
149	軒平瓦	長[3.5] 幅[8.4] 厚2.0	9区 瓦当部小破片	近世唐草文。中心飾りは不明。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。
150	丸瓦	長[16.5] 幅[11.1] 厚2.5	9区 破片	凸面はヘラナデ。凹面はかすかに莫産目が見られる。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰オリーブ5Y6/2。
151	軒丸瓦		10区・底面より42cm上。 小破片	接合面にヘラによる横方向のカキヤブリが見られる。加飾部欠損。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰オリーブ5Y6/2。
152	丸瓦	長[7.5] 幅[11.2] 厚2.2	7区・底面より40cm上。 破片	凸面はヘラナデ。凹面はかすかに莫産目が見られる。近世・近代瓦。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y6/1。
153	平瓦	長[8.8] 幅[13.1] 厚1.7	6区・底面より43cm上。 小破片	ヘラナデ。凸面に櫛描文。面取り。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y6/1。
154	軒平瓦	厚1.3	10区 小破片	接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。ヘラナデ。近世・近代棧瓦。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y5/1。
155	軒平瓦	長[4.2] 幅[7.1] 厚1.6	10区 小破片	接合面にヘラによるカキヤブリが見られる。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰オリーブ5Y6/2。
156	平瓦	長[4.4] 幅[5.8] 厚1.9	7区 小破片	ヘラナデ。面取りを施す。銀瓦光沢。	①きめの細かい砂質の素地に雲母多く、黒色粒子少量。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。
157	吸い口	長[4.6] 径1.0	1区	銕化する。合せ目がわずかに観察できる。	④銅合金。
158	吸い口	長[5.3]	4区上層。	扁平に潰れている。内部に竹と思われる木質残存。	④銅合金。
159	銅銭	径2.41 孔0.74 厚0.12 重1.96	完存	至和元寶。	④初鑄1054年。
160	銅銭	径2.34 孔0.60 厚0.14 重2.17	完存	開元通寶。背文字「洛」。稀品。厚手。	④初鑄1054年。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
161	銅銭	径2.53 孔0.57 厚0.14 重3.04	完存	永楽通寶。	④初鑄1403年。
162	銅銭	孔0.58 重(1.77)	完存	永楽通寶。	④初鑄1403年。
163	銅銭	重(1.34)	ほぼ完存	鏽化する文字不明瞭。永口通寶。	④永楽通寶か。初鑄1403年。
164	銅銭	径2.78 孔0.60 厚0.13 重4.24	完存	寛永通寶・波銭。	④1726年以降。
165	銅銭	径2.72 孔0.70 厚0.12 重3.13	完存	文久永宝・波銭。	④初鑄1863年。
166	砥石	長[8.0] 幅2.7 厚1.9	両端欠く	両小口の欠損は旧時。表面使用痕顕著。裏面と両側面に櫛目状のタガネ痕あり。19世紀前半頃。中砥級。	①非砥沢石。
167	砥石	長[9.2] 幅3.1 厚2.1	片側欠く	片側小口欠損は旧時。使用痕1面のみ。裏面と両側面に櫛目状のタガネ痕あり。19世紀前半頃。中砥級。	①流紋岩(砥沢石)。
168	砥石	長[7.9] 幅2.5 厚1.8	片側欠く(旧時)	使用痕1面のみ。裏面・小口面と両側面に櫛目状のタガネ痕あり。19世紀前半頃。右利きグセあり。中砥級。	①流紋岩。
169	砥石	長[9.0] 幅2.5 厚2.3	破片を再利用した後、完存	小口側に旧材時の鋸挽き目あり。原型は置き砥か。使用痕は表面のみだが手持ち砥。中世以降。合砥・仕上砥級。	①頁岩(桐生の砥石)。
170	砥石	長[7.0] 幅3.2 厚1.5	片側欠く(旧時)	表面を主に使用し、裏面にも浅い使用痕あり。裏面・両側面に櫛目状タガネ痕あり。19世紀前半頃。中砥級。	①流紋岩。
171	砥石	長[7.0] 幅[2.8] 厚1.7	旧時欠損あり	表裏2面使用。一側面に自然面を残し、他は欠損。表面の条痕は研磨時、裏面の条痕は後世か。中砥級、硬質。	①デイサイト質凝灰岩。
172	砥石	長[5.6] 幅5.0 厚2.1		自然円礫利用。砥石と断定はできない。荒砥級、軟質。	①多孔質安山岩(軽石)。
173	砥石	長[5.0] 幅2.9 厚2.2	両小口欠損(旧時)	使用は表裏面を主とし、側面の使用痕は浅い。側面に櫛目状タガネ痕がわずかに残り、19世紀前半頃。中砥級。	①流紋岩。
174	砥石	長[5.6] 幅3.4 厚2.4	両小口欠損(旧時) 1/2個体	使用は一面。両側面の櫛目状タガネ痕。裏面は不明瞭だが削り面か。19世紀前半頃。中砥級。	①流紋岩(砥沢石)。
175	砥石	長[10.6] 幅2.9 厚2.7	片側小口欠く(旧時) 完存に近い	左側面のみ削り整形面。表裏面と右側面の三面使用。刃付き砥・中砥級。	①流紋岩。
176	砥石	長[5.4] 幅3.3 厚2.7	半欠品か(旧時)	残存する小口面は自然面。使用は図中の裏面を主に、表面も浅く利用。側面は削り面。	①流紋岩。④旧時欠損面を除き強い吸炭あり。
177	砥石	長[6.1] 幅5.4 厚1.3	両小口欠損(旧時)	両小口を除く四面使用。表面は偏って消耗しているが利きグセは少ない。中砥級。	①流紋岩。
178	砥石	長[7.1] 幅[3.9] 厚3.2	片側小口欠損(旧時)	図右側面の一面使用。他の三面は削り整形面。上小口は削り整形擬似。中砥級。	①流紋岩。
179	砥石	長[9.0] 幅2.5 厚2.3	片側小口欠損(旧時)	下小口面は節理面を利用。砥面は小口を除く四面。表面に刃ならし傷・棟ならし傷らしい太傷あり。荒砥級、硬質。	①砂岩。
180	砥石	長[13.8] 幅6.4 厚[3.1]	旧時欠損多い	原型は自然円礫。欠損多く、不明瞭。中世以前。中砥級、軟質。	①流紋岩質凝灰岩。
181	砥石	長[11.9] 幅[6.1] 厚2.1	旧時欠損多い	右側面が旧材面らしい。砥面は表裏の二面。荒砥級、硬質。	①砂岩。
182	砥石	長[4.5] 幅5.7	半欠	使用は4面。き目細かい荒砥級。欠損は旧時。図上方は転石面。中央は研磨中凹み。	①砂岩。自然円礫使用。採集砥石。
183	砥石	長[8.8] 幅8.6 厚5.0	ほぼ完存	自然角礫利用。磨耗は一面のみで非金属で使用か。荒砥級、やや硬質。	①二ツ岳軽石。
184	砥石	長6.9 幅4.1 厚2.8	ほぼ完存	自然円礫利用。図の上面に削り面。研磨使用された後に刃ならし傷あり。荒砥級、軟質。	①二ツ岳軽石。
185	砥石	長[11.8] 幅6.0 厚4.5	旧時欠損多い	両小口は旧時欠損で他は削り整形上に研磨面。荒砥級、軟質。	①多孔質安山岩。
186	砥石	長17.2 幅[10.8] 厚4.4	欠損は旧時	使用は裏面のみで条痕状の刃ならし傷あり。他は削り整形痕。置き砥。荒砥級、硬質。	①砂岩。
187	砥石	長7.5 幅6.5 厚1.7	ほぼ完存	自然円礫利用。表裏二面使用。研磨の主体は金属か。荒砥級、軟質。	①二ツ岳軽石。
188	砥石	長6.5 幅5.1 厚2.1	完存	自然円礫利用。表裏二面使用。側面は自然面。研磨の主体は金属か。荒砥級、軟質。	①二ツ岳軽石。
189	砥石	長6.4 幅[5.0] 厚4.9	欠損は調査時	自然円礫利用の1面使用。荒砥級、軟質。	①二ツ岳軽石。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
190	砥石	長6.4 幅[5.5] 厚4.0	旧時の欠損あり 2/3個体	自然円礫利用。表裏二面の研磨痕。研磨主体は不明。	①二ツ岳軽石。
191	砥石	長[12.7] 幅[6.7]厚[5.3]	片側小口は欠損か打ち欠きか不明	自然石利用。使用は一面のみ。荒砥級。	①二ツ岳軽石。
192	くぼみ石	長12.6 幅10.2 厚5.3	ほぼ完存	自然円礫利用。表面中央に突込みにより生じたらしい窪みあり。周囲に磨耗部あり。裏面は削り痕か。	①二ツ岳軽石。
193	くぼみ石	長4.7 幅4.2 厚2.1	ほぼ完存	自然円礫利用。表面窪み内面は磨耗状態にある。金属研磨を原因としたかは不明。荒砥級、軟質。	①二ツ岳軽石。
194	上白	径[8.9] 高[6.3]	底部小破片	径が比較的小さいと思われるうえに目は細かく、茶臼状の形態であろう。	①粗粒安山岩。
195	上白	径[10.5] 高[10.8]	10区 小破片	偏減り著しい。	①粗粒安山岩。
196	下白	径[5.9] 高[5.5]	小破片	はんざり基部が残存する茶臼形状の下白である。	①粗粒安山岩。
197	須恵器 蓋	口(13.9) 鈕4.7 高[2.4]	9区 鈕部完存、口縁1/4	右回転ロクロ→天井～体部回転ヘラ削り→ロクロ利用の摘み取り付け。天井部内面摩滅。	①G。5mm大の片岩粒。黒色鉱物含む。②還元焰、普通。③灰白7.5Y7/1。
198	土師器 杯	口(11.2) 高[3.1]	13区・底面より13cm上。図示部の1/4	口縁粗いナデの擦痕。外底のヘラ削りは強いが、やや雑。内面比較的平滑。	①A。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。外底に黒斑あり。
199	土師器 杯	口13.4 高[3.8]	11区 2/3個体	ナデの擦痕明瞭。外底のヘラ削りはやや強い。黒色処理か。	①A。赤褐色鉱物、小粒の混入物が多い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。黒色のムラあり。
200	須恵器 杯	口(11.3) 高[2.9]	10区 口縁1/4、体部1/3、底部	右回転ロクロ。底部回転ヘラ削り。内底のロクロ痕鋭く、平滑さ欠く。	①G。混入物は少ない。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰10Y5/1。
201	須恵器 杯	高[3.7]	9区 底部完存	右回転ロクロ。擦痕明瞭。底部手持ちの鋭いヘラ削り。	①G。5mm大の片岩粒目立つ。小粒の混入物が多い。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白5Y8/2。
202	土師器 特殊器台	高[4.4]	9区 受部下半1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。受部に5ヶ所穿孔。2ヶ所残存。外面上半にハケ目状のナデ。下半ヘラ磨き。内面ヘラ磨き。	①B。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③浅黄橙10YR8/4。下部は赤色味、内面は黒色味が強い。
203	須恵器 甕	高[5.2]	4区 口縁小破片	右回転ロクロか。沈線3条。間に4本1条の波状文。	①G。白色粒子、やや砂質含む。②還元焰、普通。③暗灰N3/0。一様でない。
204	須恵器 円面硯	高[7.9]	2区 脚部小破片	右ロクロ回転。擦痕明瞭。方形透かしは10ヶ所か。外面上端に沈線が1条巡る。	①G。素地緻密、混入物は少ない。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
205	土師器 壺	口(15.0) 高[6.6]	口縁小破片	外面丁寧なヘラ磨き。口縁下端の凸帯に列点文を施す。内面上半は縦方向、下半は横方向の丁寧なヘラ磨き。	①C。バミス、砂粒、小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③橙7.5YR7/6。
206	須恵器 壺	口(10.0) 高[3.7]	1区 肩部1/5	右回転ロクロ。外面平行タタキの上に、肩部のみカキ目が巡る。	①F。混入物は少なくきめ細かい。②還元焰、硬調で焼き締まる。③黄灰2.5Y6/1。
207	土師器 壺	口(16.6) 高[7.2]	13区・底面直上。 口縁小破片	口縁中に弱い段を持つ。内面肩部指頭圧痕の凹凸明瞭。	①E。赤褐色鉱物、粗砂の混入多い。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。
208	須恵器 壺	口(22.0) 高[6.8]	口縁小破片	右回転ロクロか。ロクロ痕は弱い。擦痕明瞭。	①C。雲母、赤褐色鉱物、砂粒。②還元焰、やや軟調。③浅黄2.5Y7/3。
209	土師器 大甕	口(29.4) 高[14.6]	9区・底面より11～23cm上の5片。図示部の1/3	胴部外面弱いヘラ削り。内面細かいナデで、器面の凹凸顕著。	①D。赤褐色鉱物多い。やや大粒の混入物が多い。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。
210	羽口	長[5.7]	小破片	器面摩滅すむ。欠損は旧時。	①G。

## A1区 5号溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	陶器 德利	底8.2 高[1.8]	4区 底部ほぼ完存	鉄釉。内面ロクロ痕明瞭。	①G。きめ粗い。砂粒・黒色粒多い。石英混入。②やや硬調。③釉調は褐色に発色。断面は淡黄。④瀬戸・美濃。
2	陶器 鉢	口(28.8) 高[6.4]	4区 口縁1/6	右回転ロクロか。口縁部やや肥厚。下半弱い指頭圧痕。	①G。5mm大の小石が少量。②還元焰、やや硬調。③灰7.5Y5/1。
3	鍋	口(32.6) 底(24.0) 高7.2	4区 1/5個体	外面雑なナデで、型膚痕残す。口縁端部に凹み。	①G。赤褐色鉱物、雲母の混入多い。②酸化焰、普通。③灰褐7.5YR4/2。内面橙色味おびる。④外面スス付着。
4	宝篋印塔	高[13.1] 径10.8	上下両端を欠く	器面は平滑さやや欠く。蓮弁のレリーフはやや浅い。	①粗粒安山岩。
5	不明石製品	長8.4 幅7.5 厚4.6	旧時の小欠損あり	自然円礫。1面に削られた面あり。	①二ツ岳軽石。
6	砥石	長11.2 幅7.2 厚3.8	完存	自然礫利用。図右側面のみ合わせ砥として金属研磨。表裏面は多様・多目的な材質の研磨に利用か。	①硬質。
7	砥石	長[7.9] 幅4.7 厚3.9	両小口は旧時欠損	三面使用で一面は自然面。細かな研磨痕多い。中世以前か。刃付砥・中砥級。	①流紋岩。

## 板碑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	石製 板碑	長28.0 幅7.5	4号溝埋土 頂部片	頂部右肩部片で、下方に主尊梵字あり。その間の二条線なし。頂部は割り痕。磨耗少。	①片岩の類。④14・15世紀。
2	石製 板碑	長15.6 幅10.7	4号溝埋土 再利用品か	表面に梵字あり。器面磨耗あり。四周は打ち欠かれ、転用、再利用品か。	①片岩の類。④14・15世紀。
3	石製 板碑	長27.7 幅16.5	14号溝底面直上	表面に主尊梵字と蓮台あり。下半部欠損。小形。器面磨耗あり。	①片岩の類。④15世紀。
4	石製 板碑	長42.0 幅19.0	14号溝埋土	表面に主尊梵字と蓮台あり。5片接合。器面消耗あり。側部・頂部に割痕あり。裏面にノミ痕あり。	①片岩の類。④14・15世紀。
5	石製 板碑	長51.0 幅28.0	14号溝床面直上	表面に梵字あり。上半部欠損。器面磨耗あり。側部・基部端部は割り痕後、わずか研磨あり。	①片岩の類。④14・15世紀。
6	石製 板碑	長13.6 幅9.8	14号溝埋土	表面は剥落気味であるが薬研彫の梵字一部見える。裏面にノミ痕あり。古様。図表面左は側部か。	①片岩の類。④13・14世紀。
7	石製 板碑	長21.2 幅12.1	14号溝埋土	上方欠損。小形品。表面剥落。側部・基部に割り痕あり。	①片岩の類。④15・16世紀。

## A1区その他の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
13号溝	1 陶器 瓶	底7.0 高[8.7]	底面より30~40cm上の2片。 胴部小破片、底部2/3	高台部露胎。外面灰釉。底部回転ヘラ削り。粗い貫入が見られる。蛇ノ目高台。	①G。素地緻密、混入物は少ない。②硬調で焼き締まる。③釉調は緑色の透明釉。断面は灰白色。露胎部分は橙色味おびる。
21号溝	1 須恵器 鉢	口17.3 高[12.0]	底面より26cm上の10片。 2/3個体	右回転ロクロ。外面平行叩き。胴部下位は弱い回転ヘラ削り。外底剥落。	①G。黒色鉱物混入。器面滑らか。②還元焰、硬調で焼き締まる。③灰白7.5Y7/1。

5 その他の溝

A1区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
8号溝-1	須恵器 杯	口(14.6) 底6.4 高4.0	1/4個体	右回転ロクロ。底部回転糸切り離し。ロクロ痕弱く、器面平滑。	①G。石英、片岩混入。②還元焰、やや硬調。③灰10Y5/1。
8号溝-2	土師器 杯	口(10.8) 高2.9	図示部の1/3	口縁やや強いナデ。外底強いヘラ削り。内底に工具の圧痕残る。	①A。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。
8号溝-3	土師器 杯	口(13.8) 高[3.3]	図示部の1/5	口縁弱いナデ。下半に無調整部分広く残る。外底丁寧なヘラ削り。器面は比較的平滑。	①A。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。
8号溝-4	土師器 甕	口(13.8) 高[5.5]	口縁1/3	口縁外面に沈線2条巡る。胴部外面は強いヘラ削り。胴部内面強いヘラ状工具によるナデ。	①B。黒色鉱物、角閃石の混入多い。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR6/3。
15号溝-1	陶器 一升徳利	底11.9 高[21.6]	図示部の2/3	全面施釉。3面に文字あり。鉄釉。1面は屋号か。内面ロクロ痕明瞭。	①G。素地緻密、粘質土。②硬調。③釉調は僅かに青色味をおびた透明釉。文字は黒色、一部褐色に発色。④瀬戸・美濃。
15号溝-2	羽口	径(5.4) 高[5.3]	埋没土 図示部の1/3	器面の摩滅ややすむ。大きさより銅精錬の羽口か。	①C。③にぶい橙7.5YR6/4。内面は赤色味をおびる。端部は灰色。④端部附近のガラス化はあまり顕著ではない。
17溝-1	土師器 杯	口(13.4) 高[2.8]	図示部の1/3	ナデの擦痕明瞭。外底は弱い丁寧なヘラ削り。内外面とも器面は比較的平滑。	①B。素地緻密、混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/4。

B区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
10溝-1	須恵器 杯	口12.0 底5.7 高2.9	埋没土3片 口縁1/6、底部1/2	右回転ロクロロー回転糸切り離し。きわめて薄手で丁寧な作り。口縁内外面と外底にヘラ記号か。	①Bに近い。赤褐色鉱物の混入やや目立つ。②還元焰だが、酸化調の部分広い。③灰5Y6/1。橙色味の強いムラ広い。
11溝-1	土師器 壺	底7.7 高[4.5]	埋没土上面の2片 図示部の1/3	高台状の底部で木葉痕が残っている。外面は幅広く息長いヘラ磨きで平滑に仕上げ、内面も丁寧なナデ。	①C。大粒の混入物が混じる。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4、外面にやや淡い黒斑あり。
16溝-1	土師器 小型壺	頸(7.8) 胴(15.6)高[10.7]	図示部の1/3 接合しない同一個体破片あり。	外面は縦位のヘラ磨きだが、痕跡は不明瞭。内面ナデは下半のみ平滑に仕上げる。外面と口縁内面に赤彩。	①C。混入物は細かい。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄褐10YR7/2、外面黒斑あり。赤彩はにぶい赤褐2.5YR5/3。
13溝-1	土師器 罎	口(17.2) 高[6.2]	埋没土上層の14片 図示部の1/5	薄手で丁寧な作り。口縁内外面と外底に放射状の規則的なヘラ磨き。内底も同様の処理と思われるが不明瞭。	①C。混入物多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい赤褐5YR5/4。断面は黒色味強い。内底と口縁内端やや摩滅する。
13溝-2	土師器 甕か	口(23.0)	埋没土に周辺グリッドの3片接合 図示部の1/5	口縁外面の二段の粘土紐上には指頭状の圧痕が規則的に並ぶ。胴部外面に細かな刷毛目、内面は粗いヘラ磨き。	①C。②酸化焰、やや軟調。③灰黄褐10YR6/2。外面・断面に黒色味の強いムラ多い。④口縁内面の剥落がすすむ。

C区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2号溝-1	須恵器 杯	口(13.0) 底(9.0) 高[3.8]	2片 図示部の1/3	右回転ロクロ。体部下端に回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①G。やや緻密な素地に細砂サイズの混入物を多量に含む。②還元焰、普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。
5号溝-1	須恵器 杯	口(13.6) 底7.2 高3.9	1/2個体	右回転ロクロロー回転ヘラ切り離し。底部から体部下端に回転ヘラ削りだが切り離し痕を消しきれない。	①G。素地やや粗く砂質。黒色鉱物を含む。②還元焰、やや硬調。③灰白7.5Y6/1。重ね焼き痕の黒色味おびるムラが口縁内面に巡る。④外底に降灰釉が薄くみられる。
5号溝-2	軟質陶器 播鉢		埋没土 図示部の1/6	残存部分には3条の卸目が確認できるのみ。内面は使用による摩滅顕著。	①やや砂質。黒色鉱物の多い粗砂サイズの混入物を含む。②中間的な焰調。③灰黄2.5Y7/2。外面は黒色味強い。④在地産。
19号溝-1	土師器 杯	口(14.2) 高[5.2]	埋没土の9片 図示部の1/2	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面の削りは弱い。内面は比較的平滑。	①Bに近い。雲母は少なく細かな混入物多い。②酸化焰、やや軟調。③にぶい橙7.5YR6/4外面は赤色味の強い部分広い。断面やや黒色味をおびる。
19号溝-2	土師器 甕	口(22.0) 高[5.1]	埋没土の3片 図示部の1/5	器面摩滅し整形痕は不明瞭。口縁内端に弱い沈線が巡る。	①C。粒径は揃う。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6。内面は灰色味強い。
大溝-1	須恵器 蓋	口(14.4) 高[1.8]	埋没土3片 図示部の1/2	右回転ロクロ。天井部回転ヘラ削り。鈕の接合痕が残る。内面は比較的平滑。弱い歪みあり。扁平。	①Cに近い。小型品としては粗大な黒色鉱物など混入物やや多い。②還元焰。③灰10Y5/1。やや赤色味をおびるムラあり。
大溝-2	須恵器 杯	口12.4 底6.9 高3.5	底面付近 完形	右回転ロクロロー回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底部に重ね焼き痕らしい窪みあり。	①D。素地は緻密だが、須恵器杯としては混入物粗大。②還元焰不十分で鉄分を含む混入物が赤色味をおびて発色。③灰5Y6/1。ほぼ一様。
大溝-3	土師器 杯	口12.1 高3.7	底面付近 完形	外面口縁は強いナデで平滑。内面も丁寧な仕上げで平滑。口縁外面の削りは未調整部分を残さない。口縁内面下半に斜放射上の弱い暗文あり。厚手で重量。	①Bに近い。雲母の混入は少なく、バミスを散見する。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。黒色味をおびるムラあり。④弱いローリングを受ける。
50溝-1	土師器 杯	口12.0 高[3.8]	3片 図示部の1/4	外面の削りは細かく強い。無調整部分を残さない。内面は平滑。	①Bに近い。雲母やや少ないが細かな混入物やや多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR7/4断面は灰色味をおびる。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
50溝-2	土師器 杯	口(12.8) 高[3.4]	7片 口縁1/8、底部3/4	口縁端部は外側に小さく肥厚。外面の削りやや弱い。内面は平滑。	①Bに近い。雲母少なく輝石の混入やや多い。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様だが、断面若干灰色味をおびる。
50溝-3	土師器 杯	口12.1 高3.8	11片 口縁2/3、底部完存	口縁外面下半は無調整で型膚状のヒビあり。外底中央に小さな窪みあり。	①Cに近い。混入物多いが微細。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。④内面に1箇所淡いスス附着。
50溝-4	土師器 杯	口12.2 高3.8	9片 口縁上半1/3欠く、ほぼ完存	3に類似する。口縁上端一部で内側に肥厚する。底部中央内外面に不規則に窪みあり。	①②③3に同じ。④内面附着するに灯芯痕状のススは部位や様相まで3に類似する。
50溝-5	土師器 杯	口12.0 高3.8	15片 ほぼ完存	3に類似する。口縁上端の肥厚は4に類似する。	①②③3に同じ。④欠損する部位の広さからこの土器にもスス附着の可能性はある。
50溝-6	土師器 杯	口12.0 高3.8	3片 ほぼ完存	3に類似するが、口縁内端の肥厚は全面に見られる。型膚状のヒビは弱い。	①②③3に近いが混入物やや少ない。④欠損わずかで、ススの附着するスペースはない。
44溝-1	土師器 杯	口(12.0) 高3.5	底面の8片 ほぼ完形	外底は息の長い削り。口縁下半の無調整部分広い。内底は平坦で平滑。	①G。やや砂質で混入物少ない。②酸化焰。③橙7.5YR6/6ではほぼ一様。④外底はほぼ中央に墨書あり。釈文不明、「中」か。

E区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
54溝-1	陶器 碗	台(5.4) 高[3.6]	図示部の1/2	釉は薄く、残存部分は全面に施釉し畳付き部に釉剥ぎ。	①京焼き系らしい混入物の少ないややボソツとした素地。③断面はやや橙色味がかかる灰白色。釉は黄色味をおびる。④釉には細貫入が顕著。
54溝-2	陶器 皿	口(6.4) 高[1.6]	図示部の1/3	右回転クロー高台削り出し。外底は露胎。内底に重ね焼き時の高台が一部溶着している。釉は灰釉系。	①瀬戸産と思われる比較的緻密な素地。黒色の混入物を散見。②還元焰充分。③断面は灰白色。釉は灰緑色。

取付道C区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
3溝-1	吸口	長5.2 径3.9	埋土 少欠損あり	煙管の吸口部で側部にロウヅケとその痕跡あり。全体に薄作りで凹みあり。	①銅主材。

取付道E区の溝

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
10溝-1	土師器 杯	口(11.4) 高3.5	埋没土7片 口1/3、底部ほぼ完存	薄手。口縁端部は弱く内傾。口縁下半は無調整部分広く、一部型膚状。外底の削り粗い。	①G。粗砂サイズの混入物多く、器面はザラザラしている。②酸化焰。③にぶい橙10YR7/4ではほぼ一様。
6溝-1	かわらけ	口(8.4) 底5.5 高2.4	1/3個体	左回転クロー回転系切り無調整。ロク口痕はきわめて弱い。口縁は全体に外反している。	①G。ザックリした素地で、混入物は少ない。②酸化焰気味。③浅黄橙10YR8/4で一様。④口縁の割れ口は強く砥ぎこまれ、転用品の可能性。
6溝-2	軟質陶器 焙烙		埋没土 図示部小片	やや厚手で耳は小振り。外面下端にヘラ削り。内面は比較的平滑。	①G。素地やや粗い。②還元焰気味。③灰褐5YR4/2。外面は黒色味強い。④二次被熱の影響強く、外底一部剥落する。
6溝-3	軟質陶器 搗鉢	口(32.0) 高[6.5]	図示部の1/8	外面下端に調整痕見られない。内面卸目は1単位7条以上で、細く深い。	①G。砂質で赤褐色鉱物の混入やや多い。②酸化焰気味。③にぶい黄7.5YR6/3。灰色味をおびるムラあり。
6溝-4	軟質陶器 火鉢	口(36.0) 高[4.6]	図示部小片	小破片からの復元で径不安。上端はきわめて平坦。外面半球状の附文は型使用。	①G。砂質。黒色鉱物の目立つ粗砂サイズの混入物やや多い。②還元焰気味。③灰5Y6/1。外面は黒色味をおびる。④在地産。

## 6 井戸出土遺物

## A1区の井戸

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
2号井戸-1	砥石	長6.9 幅6.0 厚3.6	埋没土 ほぼ完存	自然円礫利用。研磨面は一面のみで金属研磨。荒砥級。軟質。	①二ツ岳軽石。④欠損は旧時のもの。
3号井戸-1	かわらけ	口(10.4) 底(9.2) 高1.4	埋没土 図示部の1/3	右回転ロクロか。回転系切り離し。内底に深く鋭い擦痕残り、あて具使用の水挽きか。	①Bに近いが雲母はあまり多くない。②酸化焰か。やや硬調。③におい黄橙10YR6/4赤色味・黄色味をおびるムラあり。
4号井戸-1	砥石	長(9.1) 幅7.6 厚3.5	埋没土 一端を欠く	自然円礫利用。研磨面は裏面の一面のみで金属研磨。荒砥級。軟質。	①二ツ岳軽石。④欠損は旧時のもの。
6号井戸-1	かわらけ	口(15.4) 底8.1~8.6高4.0	3片 口縁1/6、底部完存	左回転ロクロ→回転系切り離し。厚手で重量。ロクロ痕弱い。歪みあり。	①G。やや砂質。雲母散見。片岩類の混入は無くやや粗大なチャート類目立つ。②中間的な焰調。③におい黄橙10YR7/2。赤色味おびるムラあり。
6号井戸-2	陶器 天目茶碗	口(11.8) 高[6.2]	図示部の1/8	右回転ロクロ。釉はあまり厚くないが細貫入が見られる。	①微細な黒色鉱物を散見するややガサガサの土。瀬戸美濃系。③灰10YR7/1。釉調は透明感のない黒色。
6号井戸-3	土師器 台付甕	台(8.0) 高[4.9]	端部除き図示部ほぼ完存	底部厚手で重量。外面は細かくやや粗い削り。台部内面も丁寧なナデで平滑。	①E。②酸化焰。③におい橙7.5YR5/4。台裾部は内外面とも灰色味をおびる。④内底部やや剥落すすむ。

## A2区の井戸

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1井戸-1	土師器 壺	口(15.4) 高[5.6]	図示部の1/3	口縁外面は沈線によって有段状に区切る。刷毛目は粗い。肩部内面にも刷毛目あり。口縁上半は刷毛目の上にナデ。	①Aに近い。混入物は少ない。②酸化焰。③におい赤褐5YR5/4。内面は黒色味おびるムラあり。
1井戸-2	土師器 甕か	口(9.0) 高[2.7]	底面の2片 図示部の1/3	施文は櫛状工具の押圧。口縁外端で弱く、頸部粘土帯上で強い。粘土帯下には刷毛目が観察できる。	①C。②酸化焰。きわめて硬調で焼き締まる。③におい橙7.5YR7/4。内面と断面は灰色味強い。
4号井戸-1	土師器 小型壺	口(7.4) 底3.5 高5.8	埋没土 口縁1/2、底部完存	手捏ね。外面は息の短い雑な刷毛目。内面のナデも雑で器面は平滑さ欠く。口縁端部不整。	①C。赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰、やや硬調。③におい橙10YR7/3。内外面とも赤色味の強いムラあり。
4号井戸-2	土師器 小型壺	口(8.6) 高[4.0]	埋没土2片 口縁1/3	1にはほぼ同巧。手捏ねと思われるが薄手で歪み少ない。体部外面と口縁内面に縦位の刷毛目。体部内面はごく弱いナデだが比較的平滑。	①C。1に同じ。②酸化焰、やや硬調。③におい褐7.5YR6/3ではほぼ同様。内面はやや灰色味をおびる。
4号井戸-3	土師器 壺	口(13.6) 頸8.4 胴25.7 底8.2 高26.2	口縁1/3、頸部以下3/4	外面は縦位のヘラ磨きを施すが器面摩滅して不明瞭。口縁内面赤彩の可能性。	①Cに近い。やや砂質。②酸化焰、やや軟調。③におい黄橙10YR7/3黒色味・赤色味の強いムラ多く一様でない。
4号井戸-4	土師器 壺	胴24.3 底7.7 高[18.5]	胴部上半1/4、胴部下半完存	外面は上半で縦位・下半で横位の丁寧なヘラ磨き。内面も比較的平滑。外底に木葉痕あり。	①G。ややボソボソの素地で赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③におい木橙10YR7/3。やや赤色味おびるムラあり。内面は灰色味強い。
4号井戸-5	土師器 器台	口(9.4) 高[3.3]	図示部の内上半1/2を欠く	ヘラ磨きは息短かく、内外面とも強く粗い。	①Cに近い。混入物は赤褐色鉱物やや目立つ。②酸化焰。③赤彩は赤褐10R6/4。断面も赤色味きわめて強い。
4号井戸-6	土師器 台付甕	台下10.0 高[6.6]	埋没土 図示部完存	やや厚手。刷毛目はやや弱い。内面に指頭痕状の圧痕が残る。	①C。やや発泡性のある素地。混入物は細かい。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR7/3。断面は白色味強い。外面に広い黒斑あり。
5号井戸-1	土師器 罎	口10.3 底2.2 高6.5	ほぼ完存	外底はやや上げ底状。底径著しく小さいが、底部厚く安定している。内外面にヘラにヘラ磨きで内面のみ丁寧。	①Cに近い。混入物は小粒で石英の微細片やや目立つ。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/3。赤彩は暗赤10R4/6付近で内面で薄い。④内底付近と口縁端部で剥落すすみ、外底は摩滅する。
5号井戸-2	土師器 器台	口7.0 台下10.2 高8.2	台裾部1/3欠く	脚部の3窓は高さが揃わない。外面ヘラ磨きは乾燥があまりすすまない段階で行う。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4赤色味・黒色味の強いムラ多く、一様でない。④口縁上端やや摩滅。
5号井戸-3	羽口か	口10.6 高[7.0]	埋没土4片 天井部欠く	厚手だがあまり重量ではない。外面に弱い刷毛目。口縁内端付近にもやや強い刷毛目あり。	①Cに近い。きわめて砂質で泥粒の混入も多い。②二次被熱の影響強い。③におい褐7.5YR5/4。ムラ多く一様でない。
7号井戸-1	土師器 壺	口14.7 頸(10.6) 高[3.6]	埋没土2片 口縁1/2	厚手で重量。内外面とも強いナデで、強い擦痕が残る。	①C。混入物は細かい。②酸化焰、硬調。③におい褐10YR6/3。内面はやや灰色味をおび、断面は黒色味強い。④口縁端部の剥落すすむ。
8号井戸-1	土師器 壺	口7.2 高[4.3]	埋没土2片 図示部の1/2	内外面とも横位のヘラ磨き。外面には刷毛目がわずかに残る。残存部分は全面に赤色塗彩。	①C。赤褐色鉱物混じる。②酸化焰、普通。③断面におい黄橙10YR7/3。赤彩部は赤褐10R6/6。
8号井戸-2	土師器 小型壺	口(5.8) 底3.6 高6.1	ほぼ完存	手捏ね。外面は斜位、口縁内外面は横位の弱い刷毛目。口縁上端まで刷け目が入る。体部内面は弱いナデだが器面は比較的平滑。	①C。混入物はきわめて細かい。②酸化焰、やや硬調。③におい黄橙。内底付近は黒斑広い。外面にも小黒斑あり。④口縁端部のみ細かな剥落が見られる。
8号井戸-3	土師器 壺	頸8.6 胴22.2~22.9 高[23.0]	口縁1/3、頸部以下完存	外面は入念な縦位ヘラ磨き。肩部を除き内面は比較的平滑。	①G。ややボソボソした素地で混入物は少ない。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/3。黒斑や赤色味おびるムラあり。



## 7 土坑出土遺物

## A1区出土

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
4	土坑-1 土師器 鉢	口(18.0) 高[5.4]	埋没土中の6片 図示部1/4	外面の削りは幅広く息長い。口縁下に無調整部分をほとんど残さない。内面は平滑に仕上げる。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。断面までほぼ一様。
4	土坑-2 土師器 杯	口(10.8) 高3.9	埋没土下層 2/3個体	全体に平滑。外面の削りは弱いが無調整部分をほとんど残さない。内面のナデはやや強い。	①G。素地緻密で混入物少ない。②酸化焰、土師器としてはきわめて硬調。③橙7.5YR6/6。断面までほぼ一様。
4	土坑-3 土師器 杯	口(11.4) 高[2.8]	図示部の1/5	歪みある小片で、径・傾きとも不安。外底の削りは弱い丁寧で無調整部分を残さない。内面平滑。	①Cに近い混入物は小粒で少ない。②酸化焰、硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
4	土坑-4 土師器 甕	口(23.0) 高[9.4]	図示部の1/4	やや厚手。口縁外面のナデは鋭い擦痕を残す。外面の削りは弱い丁寧。体部内面は無調整部分が広く残る。	①C。混入物は小粒。②酸化焰。甕としてはやや硬調。③にぶい褐7.5YR5/3。外面は黒色味をおびたムラあり。
4	土坑-5 土師器 甕	口(22.0) 高[17.2]	13片 図示部の1/6	外面のヘラ磨きは部分的で器面は平滑さ欠く。内面も不整。	①D。素地ボソボソ。チャート等の混入やや目立つ。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR6/4。内面暗い。
7	土坑-1 銅銭	重(0.92)g	1/2個体	下にある「元」しか読めない。北宋銭であろう。	④欠損は旧時。
10	土坑-1 須恵器 蓋	口(12.0) 鈕(4.8) 高2.5	図示部の1/6	右回転ロクロ。回転利用鈕取付け。ロクロ痕きわめて弱い。	①G。やや砂質な素地。混入物は少ない。②還元焰、普通。③灰黄5Y7/2。口縁部は内外面とも着色したように青灰色味をおびる。
10	土坑-2 須恵器 杯	底(5.6) 高[1.5]	埋没土 図示部の1/3	右回転ロクロ→回転糸切り離し無調整。器面摩滅する。	①G。砂質。土塊が混じる。海綿骨針混入か。②還元焰、やや軟調。③灰5Y4/1。断面まで一様。
11	土坑-1 砥石か	長(8.8) 幅(6.7) 厚(2.8)	埋没土	自然石円礫。上面に削り面あり。裏面大きく欠落。	①二ツ岳軽石。④割れは旧時のもの。
14	土坑-1 須恵器 鉢	胴(14.8) 高[5.2]	胴下半1/8、底部1/3	厚手。左回転ロクロ→回転ヘラ削り。口縁外面に弱い櫛描き波状文。外底にヘラ描きあり。	①Cに近い。②還元焰、やや硬調。③灰10Y6/1。断面までほぼ一様。
14	土坑-2 土師器 鉢	口(11.8) 高[3.7]	埋没土 図示部の1/6	外面の削りは雑で、無調整部分を広く残す。内面の磨きは斜放射状で細かく、やや丁寧。	①C。②酸化焰、普通。③にぶい黄橙10YR6/3。断面一部黒色味強い。
14	土坑-3 土師器 高杯	脚(14.0) 高[5.8]	図示部の1/4、接合できない同一個体片あり	摩滅すすみ整形痕不明瞭。脚部内面の輪積み状接合痕不明瞭。脚端部は外反して接地しない。	①F。赤褐色鉱物を少量含む以外混入物少ない。②酸化焰。③橙7.5YR6/6で断面まで一様。
14	土坑-4 土師器 壺	口(20.0) 頸(10.0)高[6.2]	図示部小片	外面はナデの上に縦位の細かなヘラ削りで、磨きに近い。内面ナデは工具痕が圧痕状に残る。	①C。②酸化焰。③にぶい橙5YR6/4。断面は黒色味強い。
14	土坑-5 土師器 壺	底(5.7) 高[4.3]	図示部の1/2	厚手で重量。外面の削りは雑。底部にも弱い削りを施す。内面ナデも雑で無調整部分が残る。	①C。②酸化焰。やや硬調。③にぶい黄10YR6/3。内外面とも黒斑状のムラあり。
14	土坑-6 鎌		基部小片	柄付きの鎌と思われるが、刃部は明瞭でなく、鎌以外の可能性あり。	①鉄製品。④欠損は旧時。
15	土坑-1 須恵器 高杯	高[5.6]	埋没土 図示部の1/2	長脚二段透かしの脚部片。透かしは1対で幅6mm以上。器面摩滅しロクロ痕不明瞭だが、カキ目上の擦痕が一部に残る。	①Fに近い。混入物少ない。②還元焰、普通。③灰10Y8/1で断面までほぼ一様。④器面摩滅。
20	土坑-1 土師器 杯	口(11.4) 高[3.5]	埋没土 図示部の1/6	やや薄手。口縁端部が外反する。外底の削りは弱い。内面は平滑に仕上げる。	①Cに近い。混入物少ない。雲母粒を少量含む。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/6。断面までほぼ一様。
32	土坑-1 須恵器 有台杯	台(9.8)	埋没土 図示部の1/6	盤状品。右回転ロクロ。外底回転ヘラ削り。内面にカキ目状の整形痕。内底には重ね焼き時の高台痕あり。	①Cに近い。混入物は小粒。②還元焰、普通。③灰7.5Y6/1。外面一部青色味をおびる。④高台端部に焼成時の剥落あり。
32	土坑-2 土師器 器台	台下(16.0) 高[4.7]	埋没土 図示部小片	残存部上端に円窓がかかる。外面は縦位のヘラ磨きで平滑に仕上げる。内面も横位のヘラ磨きで比較的平滑。	①B。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。外面に黒斑広い。
41	土坑-1 白玉	径0.6 厚(0.35) 孔0.2 重0.2g	埋没土 一部を欠く	断面台形状に一方へ広がる。側面に研磨痕残る。	①滑石。
42	土坑-1 土師器 杯	口(11.2) 高[3.0]	図示部の1/6	外底のヘラ削りは細く強い。口縁下端に撫調整部分が残る。内面は横位の強いナデで比較的平滑。	①Cに近い。混入物は細かい。②酸化焰、普通。③にぶい褐7.5YR5/4。断面までほぼ一様。
46	土坑-1 須恵器 杯か	口(11.2) 高[3.3]	埋没土4片。 図示部の1/6	薄手。右回転ロクロ。外面でロクロ痕細かく強い。	①G。小型品としては素地粗い。砂粒の混入やや多い。②還元焰、普通。③灰10Y5/1。ほぼ一様。
50	土坑-1 土師器 杯	口(11.8) 底6.3 高4.1	口縁1/4、底部完存	底部のみやや厚手。外底と口縁下半は型膚のような細かなヒビの上に弱いヘラ削り。内面は強く丁寧なナデで、内底中央に刷毛目状の擦痕残る。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR6/3内面は赤色味・外面は黒色味をおびるムラあり一様でない。
50	土坑-2 須恵器 有台杯	台5.9 高[3.4]	体部1/3、底部ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り離し→回転利用高台取付。ロクロ痕弱い。高台部に枝状の圧痕あり。	①Bに近い。片岩粒散見。②還元焰、普通。③灰10Y5/1。断面までほぼ一様。
53	土坑-1 土師器 杯	口(12.0) 高[3.1]	埋没土 図示部の1/5	外底の削りは弱い。口縁下に無調整部分が型膚状に残る。内面のナデの下に工具痕状の圧痕が残る。	①Cに近い。混入物は細かく少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。断面は灰色味強い。外面に黒斑広い。

A1区の土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
53	土坑-2 土師器 小型壺	口(10.8) 高[5.8]	埋没土 図示部の1/8	口縁端部は外方に丁寧に肥厚させる。外面の削りは横位でやや強く、無調整部分を残さない。	①G。素地緻密で混入物少ない。②酸化焰、硬調。③橙7.5YR6/6。断面は灰色味をおびる。
55	土坑-1 土師器 杯	口(11.2) 底(8.9) 高3.1	1/2個体	薄手。外面口縁下半は無調整。成形時の穴を補修したような粘土貼り付け部分あり。内面は丁寧にナデで平滑。	①B。②酸化焰。③にぶい褐7.5YR5/4。外面に淡い黒斑状のムラあり。
55	土坑-2 土師器 杯	口(11.4.) 底(6.4) 高3.4	図示部の2/5	本土坑1の杯に類似する。口縁端部の外反強い。外底の削り弱い。口縁外面下半の型膚状ヒビ顕著。	①B。素地は緻密。②酸化焰やや軟調。③にぶい褐5YR5/4。ほぼ一様。
55	土坑-3 須恵器 有台杯	口14.9 高[5.3]	図示部の3/4	薄手。右回転ロクロ。底部回転糸切り難し。ロクロ痕弱い。高台剥落面がやや磨滅している。	①A。②還元焰、やや軟調。③灰5Y5/1。底部付近に黄色味をおびるムラあり。④高台が剥落したまま使用か。
56	土坑-1 須恵器 杯	口(12.2) 高[2.8]	図示部の1/3	右回転ロクロ。回転ヘラ削り。ロクロ痕やや弱い。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②還元焰。③灰白7.5Y7/1。黒斑状の淡いムラあり。
56	土坑-2 土師器 杯	口(11.4) 高[2.9]	埋没土 図示部の1/2	器面摩滅し整形痕はやや不明瞭。外面削りは無調整部分を残さない。内面は比較的平滑。	①A。②酸化焰、土師器としてはきわめて硬調。③橙7.5YR6/4。断面まで一様。
56	土坑-3 土師器 壺	口(24.0) 高[4.8]	埋没土 口縁部小破片	折り返し口縁。外面は細かな刷毛目の上に雑な横位のヘラ磨き。内面にも刷毛目あり。	①Dに近い。片岩の混入は少ない。赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR6/4。内面はやや暗い。
62	土坑-1 須恵器 杯	口(11.8) 高[3.4]	埋没土 図示部の1/8	右回転ロクロか。ロクロ痕弱い。外底に手持ちヘラ削りか。	①G。微細な混入物多いが素地は比較的緻密。②還元焰、硬調。③灰7.5Y7/1。内面は降灰釉で白色味が強い。
64	土坑-1 土師器 甕	口(21.0) 高[4.6]	図示部小破片	外面の削りは弱い。胴部内面は横位の強いナデでヘラ状の工具圧痕が残る。	①Bに近いが混入物が多い。②酸化焰、硬調。③にぶい黄橙10YR6/3。口縁端部赤色味をおびる。④カマド粘土付着。
71	土坑-1 土師器 壺	底(9.4) 高[18.2]	図示部の1/4	胴部径70cm前後と推定される大型土器としてはきわめて薄手。外面は弱いナデ中心で顕著な整形痕見られない。内面は比較的平滑。	①B。素地砂質でやや粗い。②酸化焰。③にぶい褐7.5YR5/4。赤色味の強いムラや黒斑あり一様でない。内面はやや灰色味をおびる。
76	土坑-1 土師器 鉢	口(23.0) 高[8.0]	埋没土。 図示部小破片	外面の削りは雑で弱い。内面は丁寧にナデ。歪みのある小片からの復元で、径・傾き不安。	①C。混入物は微細で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6赤色味に濃淡あり一様でない。
77	土坑-1 土師器 杯	口10.8 高[2.8]	1/3個体	器面摩滅し整形痕は不明瞭。外底のヘラ削りは無調整部分を残さない。内面は比較的平滑。	①Cに近い。混入物は微細。②酸化焰、土師器としてはきわめて硬調。③橙7.5YR7/6。断面は灰色味をおびる。外底に黒斑広い。
77	土坑-2 土師器 杯	口13.7 高4.3	2片。 口縁1/4欠く	外底の削りは丁寧に鋭く、息が長い。また、無調整部分を残さない。内面ナデも比較的丁寧。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。外底に淡い黒斑状のムラあり。
77	土坑-3 土師器 鉢	口(22.6) 高[4.7]	図示部小片	外面の削りは粗い。内面は丁寧にナデで平滑に仕上げられる。小片からの復元で径・傾き不安。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②酸化焰。③にぶい褐7.5YR6/3。内面は黒色味、断面一部で灰色味をおびる。
79	土坑-1 土師器 高杯	高[7.8]	図示部1/3	外面は摩滅し不明瞭だが、縦位のヘラ磨きで比較的平滑。内面は絞り目上は無調整。	①Cに近い。混入物は少なく細かい。②酸化焰、普通。③にぶい赤褐5YR5/4。断面は一部で黒色味強い。
79	土坑-2 土師器 瓶	底[6.0]	底部片。	底面に、径1.8cmの瓶穴あり。外面におおまかな研磨あり。内面撫付け。割れ口に接合あり。	①緻密。白色小粒多い。②酸化焰。③橙7.5YR7/6。
79	土坑-3 土師器 甕	口(23.0) 高[6.3]	図示部小片	口縁は内外面とも丁寧にナデ。小片からの復元で径・傾き不安。	①C。混入物は微細なものが大半。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR6/4。内面は彩度低い。
86	土坑-1 手捏ね	底3.9 高[3.5]	埋没土 図示部の2/3	外底は平坦で厚い。外面は縦位の雑なナデ。内面は指頭痕状の凹凸が多い。	①G。素地やや粗いが混入物少ない。②酸化焰、やや硬調。③にぶい黄2.5YR6/3。外底に淡い黒斑あり。
86	土坑-2 須恵器 杯か	口(14.0) 高[3.8]	埋没土片が94号土坑の細片と接合。 図示部の1/5	厚手。右回転ロクロ。ロクロ痕は弱い。口縁上端は広く、中央が窪む。鉢状品となる可能性。	①Cに近い。混入物は少ない。②還元焰、やや軟調。③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
87	土坑-1 砥石か	長(6.7) 幅(3.4) 厚1.5	埋没土 両端欠く	破片の再用品。表・裏・一側面の三面使用。荒砥級。硬質。	①砂岩。
88	土坑-1 土師器 杯	口(12.6) 高[3.3]	埋没土中の2片 図示部の1/3	外底の削りは弱い丁寧。内面に斜放射状のヘラ磨きが見えるようだが、不明瞭。	①Cに近い。②酸化焰、普通。③にぶい橙7.5YR6/4。断面は黄色味強い。
88	土坑-2 土師器 罎	口(11.2) 高[4.8]	埋没土 図示部の1/6	口縁内面に強い擦痕残る。外面削りは丁寧に弱いが弱い。内面ヘラ磨きは斜放射状で比較的丁寧。	①C。混入物は微細。②酸化焰。③明赤褐5YR5/6で断面までほぼ一様。
90	土坑-1 土師器 台付甕	台上6.5	埋没土 図示部ほぼ完存	底部は広く平坦。外面は平滑で刷毛目はやや粗い。台部内面は指頭のナデで痕が残るが比較的平滑。	①Cに近いが混入物やや多い。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR6/3。一様でない。断面は灰色味をおびる。④二次被熱。外面は煤付着。
94	土坑-1 土師器 小型壺	口(8.0) 高[3.2]	埋没土 図示部の1/4	外面頸部下端に接合痕が部分的に残る。外面のヘラ磨きは弱く不明瞭。内面のナデはやや雑。	①Cに近い。小型品としては粗悪。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄褐10YR5/4。断面は一部で黒色味強い。
99	土坑-1 土師器 器台か	高(8.3)	脚部片	内面に寛研磨。内面に紋目あり。外面に円形の透あり、単位不明。	①やや密。鉱物粒微。②酸化焰。③橙7.5YR6/8。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
100	土坑-2 土師器 甕	口(19.0) 底7.1 高31.3	埋没土の29片 1/2個体	やや厚手で底部特に厚い。外面は摩滅す すみ整形痕不明瞭。内面は平滑さ欠く。	①C。器面はザラザラしている。②酸化焰、やや軟 調。③にぶい橙7.5YR6/4。黒斑広い。内面は灰色 味をおびる。④二次被熱。
100	土坑-3 土師器 甕	口18.0 高[23.6]	埋没土の約50片 口縁ほぼ完存、胴部1/2	厚手だが、口縁端部のみ薄い。外面の削 りは幅太で息長い。内面はやや平滑さ欠 く。	①C。ザックリした素地。②酸化焰。③にぶい橙 7.5YR7/4。外面赤色味の強いムラ広く、黒斑もあり 一様でない。
100	土坑-4 土師器 杯	口(13.2) 高3.9	埋没土中の8片 口縁1/3、底部1/2	全体に薄手。外面の削りは乾燥状態で 行い、器面に光沢が出る。内面のナデは比 較的丁寧。	①G。素地比較的緻密で、混入物を少量含む。 ②酸化焰、普通。③褐7.5YR4/3。外面に黒斑状のム ラあり。断面は黄色味をおびる。
100	土坑-5 土師器 甌	底(9.2) 高[16.1]	図示部の1/3	外面の削りは雑で息長い。下端の面取り は不整。内面はヘラ磨き状に棒先工具の 雑なナデ。接合痕が残る。	①G。ザックリした素地。混入物も多い。②酸化 焰。③浅黄2.5Y7/3。黒斑状のムラあり。
101	土坑-1 須恵器 有台杯	台下(9.2) 高[2.3]	図示部の1/5	右回転ロクロカ。器面の摩滅著しく、ロ クロ痕はほとんど観察できない。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②還元焰、やや 軟調。③灰黄2.5Y6/2。黒色味をおびるムラあり一 様でない。
101	土坑-2 砥石	長(8.6) 幅4.4 厚3.2	ほぼ完存	表・裏・両側面の四面使用。両小口はし 前部。各面角部は鈍く、おっとりした使 用で中世以前か。	①流紋岩(砥沢石)。
107	土坑-1 剣形模造品	長4.75 幅2.0 厚0.35 重6.5g	埋没土 基部付近を欠く	一孔が確認できる。図示部の裏側は平 坦。表側刃部相当部分は打ち欠き痕があ る。研磨痕は横と斜め方向に見られる。	①蛇紋岩。④欠損は旧時。
109	土坑-1 銅銭	径2.51 孔0.65 厚0.13 重2.12g	埋没土 一部欠く	熙寧元寶。北宋銭、初鑄1068年。	
117	土坑-1 土師器 杯	口(10.6) 高[2.5]	埋没土 図示部の1/4	ねじれるような歪みあり径・傾き不安。 外底の削りは弱いが削り無調整部分を残 さない。	①G。素地普通だが、混入物少なく良好。②酸化 焰。③橙7.5YR6/6。黒色味をおびる淡いムラあり。
135	土坑-1 土師器 杯	口(13.4) 高[2.4]	図示部の1/6	口縁内端は僅かに肥厚する。外面の削り は細かい。小片からの復元で径不安。	①E。混入物は小粒。②酸化焰。③橙7.5YR6/6。断 面一部灰色味をおびる。
135	土坑-2 須恵器 有台杯	口(13.4) 台(6.8) 高[5.6]	図示部の1/3	右回転ロクロ→回転糸切り離し。ロクロ 痕は外面で強く、内面はほとんど見えな い。内底に重ね焼き痕。	①G。素地はあまり緻密ではないが、混入物は少な い。②還元焰、やや軟調。③灰5Y6/1。底面付近は内 外面とも黒色味をおびる。
135	土坑-3 土師器 台付甕	口(13.0) 高[2.6]	図示部の1/4	刷毛目は丁寧。肩部内面は指頭圧痕状の 凹凸が残る。	①Bに近い。雲母の混入は少ない。②酸化焰。③に ぶい褐7.5YR5/3。外面赤色味の強いムラあり。断面 一部黒色。④口縁端部剥落。
135	土坑-4 土師器 丸胸甕	口(24.2) 高[4.7]	図示部の1/6	口縁内端部上外方にわずかに肥厚。外面 の削りは横位で強い。内面体部のナデは 削りに近い。	①Bに近いが混入物はやや多い。②酸化焰、やや硬 調。③橙7.5YR6/6。内面は彩度低い。
135	土坑-5 袖石	長(25.2) 幅16.5 厚8.3	上層 両端欠く	被熱・カマド粘土の付着よりカマド袖石 と分かる。表面脆弱化し、ハツリ痕等は 観察できない。	①凝灰岩。④被熱著しい。
139	土坑-1 土師器 壺	口(21.0) 高[5.75]	埋没土 図示部の1/6	器面やや摩滅し整形痕は不明瞭。口縁上 端は平坦で外方は小さく肥厚。外面肩部 の削りは弱い。	①Eに近い。混入物はやや少ない。②酸化焰、土師 器としてはきわめて硬調。③橙7.5YR7/6。断面は灰 色。
140	土坑-1 土師器 小型甕	口(9.0) 高[6.3]	埋没土 図示部の1/4	胴部中ほどが著しく薄い。器面の摩滅す すみ整形痕不明瞭。外面はやや強い横位 の削り。	①C。輝石・パミスがやや目立つ。②酸化焰、硬 調。③橙7.5YR。断面は灰色。
141	土坑-1 須恵器 有台杯	台6.9 高[2.2]	図示部の2/3	右回転ロクロ→回転糸切り離し。外面の ロクロ痕は強い。	①B。混入物も少量含み、Eとの中間的な胎土。② 還元不十分で燻し気味の焼成か。③オリーブ黒 7.5Y3/1。断面は黄灰色。
141	土坑-2 土師器 甕	口(21.0) 高[4.7]	図示部の1/6	外面頸部は無調整。肩部の削りは無調整 部分を残す。	①Bに近い。細粒のパミスを含む。②酸化焰。甕類 としては硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。外面に黒斑広 い。
142	土坑-1 土師器 罎	口(15.0) 高[4.5]	埋没土 図示部の1/6	やや厚手。口縁内端がわずかに窪む。内 面のヘラ磨きは斜放射状で、やや雑で弱 く不明瞭。	①典型的なB。ザックリした胎土。②酸化焰、普 通。③橙5YR6/6。断面まで一様。
145	土坑-1 土師器 甕	口(24.6) 高[6.5]	図示部の1/6	やや厚手。外面は頸部のナデ、肩部の削 りともに強い。内面のナデも強く、粗い 擦痕が残る。	①B。混入物やや多く、Eとの中間的な胎土。③に ぶい褐7.5YR5/4。赤色味の強いムラあり、一様でな い。
146	土坑-1 須恵器 蓋	口(17.0)	埋没土 図示部小片	右回転ロクロ。天井部にやや弱い回転ヘ ラ削り。天井部内面は平滑で、転用硯の 可能性あり。	①G。素地緻密でやや砂質。②還元焰。やや硬調。 ③灰10Y6/1。断面はやや黄色味をおびる。外面にわ ずかに白色の降灰釉が見える。
146	土坑-2 土師器 杯	口(13.0) 高3.6	埋没土 1/3個体	外底の削りはやや雑で、口縁下に無調整 部分あり。内面のナデは強い。	①Cに近い。混入物は少ない。②酸化焰。③にぶい 橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
150	土坑-1 須恵器 蓋	口(16.0)	埋没土 図示部小片	右回転ロクロ。天井部の回転ヘラ削り はやや強い。天井部内面は平滑で、転用 硯の可能性あり。	①G。素地緻密でやや砂質。黒色鉱物目立つ。②還 元焰。③灰白7.5Y7/1。口縁端部やや黒色味をおび る。
150	土坑-2 土師器 杯	口12.1 高3.4	埋没土4片 2/3個体	外面はやや強く丁寧な削りで無調整部分 を残さない。内面のナデは強く、平滑に 仕上げる。	①B。雲母は少ない。②酸化焰、普通。 ③橙7.5YR6/6。断面まではほぼ一様。
150	土坑-3 土師器 杯	口(13.2) 高3.7	埋没土 図示部の1/4	口縁端部は内側にわずかに肥厚させる。 外面の削りは横位でやや雑。内面のナデ は比較的丁寧。	①C。雲母はやや少ない。②酸化焰、普通。③にぶ い橙7.5YR6/4。外底に黒斑あり。

A～C区の土坑

A2区の土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
22土坑-1	土師器 高杯	脚下(11.8) 高[9.8]	図示部の3/4	脚下半に3孔を外側より穿つ。脚内面には絞り目顕著。外面はヘラ磨きと思われるが器面摩滅し不明瞭。	①Bに近いが雲母の混入少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙5YR6/6。灰色をおびるムラあり一様でない。
22土坑-2	土師器 小型壺	胴(8.9) 高[5.4]	図示部の3/4 約20片小破片を接合	外面は細かなヘラ削りで磨きに近い。内面の整形は雑。口縁内面のみ刷毛状の整形痕。	①G。素地はあまり緻密でないが混入物少ない。②酸化焰、軟調で締めり欠く。③にぶい黄橙10YR5/3。内面と外底は黒色味をおびる。
22土坑-3	土師器 台付甕	口15.0 高[7.8]	9片 図示部の2/3	刷毛目は鋭く深い。肩部内面には指頭痕条の窪みが巡る。	①G。素地比較的緻密で粗砂の混入多い。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR7/3。断面は黒色味強い。
26土坑-1	土師器 壺	胴(14.0) 高[11.2]	2片 図示部の1/3	外面肩部の磨きの下に、細かな刷毛目が残る。内外面とも平滑。外面と口縁内面に赤彩。	①Bに近いが雲母はわずか。混入物は少ないがやや大粒。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR7/2。赤彩部の色調は一定でない。黒斑あり。
26土坑-2	土師器 壺	口13.6 胴22.8 底8.2 高24.8	約40片 3/4個体	外面のヘラ磨きは幅太工具使用。内面は口縁から肩部上端まで磨く。	①G。素地比較的緻密だが、やや粗い混入物を散見する。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR6/4。胴部外面に黒斑広い。
27土坑-1	土師器 埴	口(14.0) 高5.6	埋没土10片 口縁1/8、底部1/3	薄手。口縁端部はわずかに上方へ肥厚。器面摩滅し成形痕は不明瞭。	①G。ややボソボソした素地。パミス細粒の混入やや目立つ。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/2。断面までほぼ一様。
33土坑-1	土師器 台付甕	台下8.1 高[8.3]	図示部ほぼ完存	刷毛目は雑。体部内面はヘラ状工具の圧痕が残るナデ。台部内面は指頭圧痕残るが大平で無調整。	①Bに近い。混入物の粒径は粗砂サイズで揃う。②酸化焰、軟調。③にぶい赤褐5YR4/4。黒色味の強いムラが多い。④二次被熱。
41土坑-1	土師器 杯	口12.3 高3.9	完形	薄手。外面は弱いが丁寧な削りで無調整部分を残さない。内底のみ薄い剥落がすむ。	①Bに近いが雲母は少ない。赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③褐7.5YR4/3。断面は明度はるかに高い。
49土坑-1	土師器 杯	口13.0 高3.6	2/3個体	端部やや尖り丁寧な造り。外底のヘラ削りは鋭い。内面も比較的平滑。	①G。素地緻密で赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰、普通。③橙5YR6/6。黒色味・黄色味をおびるムラあり一様でない。

B区の土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
8土坑-1	土師器 器台	口(7.8) 高[6.2]	口縁部1/6、台部上半は完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。台部外面の磨きは粗くて削りに近い。残存部分に窓の痕跡はない。	①G。やや砂質で赤褐色鉱物目立つ。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR7/4でほぼ一様。④割れ口まで摩滅すむ。

C区の土坑

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
25土坑-1	須恵器 杯	口(12.4) 底(7.0) 高3.5	埋没土 1/4個体	右回転ロクロー回転ヘラ切り離し。底部無調整か。ロクロ痕やや弱い。	①G。素地やや緻密。泥粒が混じるが、他の混入物少ない。②還元焰。③明青灰5PB7/1。断面までほぼ一様。
32土坑-1	須恵器 杯	口(14.4) 底8.5 高4.4	埋没土 口縁1/4、底部1/2	右回転ロクロー回転ヘラ切り離し。底部無調整。ロクロ痕やや強い。底部厚手。	①G。やや砂質で黒色鉱物の混入目立つ。②還元焰。③灰白7.5Y7/1外面に黒色味の強いムラあり。④外底付近に降灰釉あり。焼台の可能性。
36土坑-1	須恵器 杯	口(13.2) 底(8.4) 高3.3	埋没土2片 図示部の1/3	右回転ロクロー回転ヘラ切り離し。底部無調整。体部下端にのみ弱い手持ちヘラ削り。ロクロ痕外面で弱い。	①G。やや砂質で黒色鉱物が少量混じる。②還元焰。③灰白5Y7/1。やや黒色味をおびるムラがない外面にある。
46土坑-1	土師器 甕	口21.0 高[7.8]	埋没土2片 図示部の1/4	口縁のナデは雑で、外面頸部に指頭痕状の窪みが見られ、接合痕が残る。外面の削りは強い。	①B。赤褐色鉱物が混入する。②酸化焰、やや軟調。③にぶい赤褐5YR5/4。内面は彩度低い。

## 8 その他

## A1区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	須恵器 杯	口(6.8) 底(4.8) 高2.6	図示部の1/4	右回転ロクロ→底部から体部下端回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。	①G。比較的緻密で小粒の黒色鉱物を含む。②還元焰、やや硬調。
2	須恵器 杯	口(12.0) 底7.3 高4.3	850-795グリッド2片 口縁1/2、底部完存	底部厚手で重量。右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①A。砂質。②還元焰、やや硬調。③灰白7.5Y7/2で断面までほぼ一様。 ④全体が流れに洗われたような摩滅。
3	須恵器 有台杯	口(16.0) 台(10.6)高[4.2]	855-800グリッド 図示部小片	右回転ロクロ→高台削り出し。高台はごく低い。ロクロ痕弱い。小破片からの復元で径不安。	①G。細砂の混入多いが他の混入物はほとんどない。②還元焰、普通。③灰白5YR7/1で断面まで一様。
4	須恵器 杯	口(13.6) 底(7.2) 高3.8	850-796グリッド2片 図示部の1/3	右回転ロクロ。ロクロ痕は弱い。体部下端と底部残存部分は回転ヘラ削り。	①G。素地緻密。黒色鉱物混じりの砂粒を少量含む。②還元焰、やや硬調。③暗青灰5Y3/1。断面はセピア色味をおびる。④外面に降灰釉。
5	須恵器 杯	口(12.6) 底5.8 高(4.2)	850-800グリッド 口縁1/3、底部2/3	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①Dに近い。雲母粒やや目立つ。②不十分な還元焰。③灰黄2.5Y7/2。内底に重ね焼き痕が黒色の色ムラとなっている。
6	須恵器 有台杯	口(13.4) 台6.3 高5.3	845-800グリッド2片 口縁1/4、底部1/2	右回転ロクロ→回転糸切り→回転利用高台取り付け。器面摩滅。	①G。砂質で軽量。輝石・パミス等の混入やや多い。②還元焰、軟調。③灰白5Y7/1。内外底面に黒色の重ね焼き時色ムラ顕著。
7	須恵器 杯	口15.6 底5.1 高3.9	845-800グリッド4片 口縁2/3、底部完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①Bに近い。砂質。②還元焰。③灰白5Y7/1で黒色味の強いムラ顕著。
8	須恵器 有台碗	口14.9 台7.3 高6.9	850-795グリッド7片 口縁2/3、底部完存	左回転ロクロ→回転糸切り離し。ロクロ痕は細かく、内底では渦巻状。	①Aに近い。砂質だが他の混入物は少ない。②還元焰、やや軟調。③灰7.5YR6/1で外面一部青色味をおびる。
9	須恵器 有台碗	口(13.6) 台6.8 高5.9	850-800グリッド2片 口縁1/4、底部1/2	右回転ロクロ→回転糸切り。ロクロ痕は外面で強い。	①G。素地やや緻密。細砂少量含む。②還元焰。③灰7.5Y6/1。内底に重ね焼き痕が黒色の色ムラになって残っている。
10	須恵器 有台碗	口(15.8) 台8.4 高7.4	850-795グリッド3片 図示部の1/3	右回転ロクロ→回転糸切り離し。内面はロクロ痕きわめて弱い。	①Cに近い。細砂多くやや粗い。チャート粒少量含む。②還元焰、やや軟調。③灰黄2.5Y6/1で断面までほぼ一様。
11	須恵器 ハソウカ	口(11.4) 高2.9	925-775グリッドと北東 側包含層3片 図示部の2/3	薄手。外面の凸帯はきわめて細く、繊細なつくり。ロクロ回転不明。	①粗砂やや多いが緻密。②還元焰、硬調で締まる。③青黒5PB2/1。断面はセピア色味をおびる。白色味をおびた降灰釉。
12	須恵器 長頸壺	口(18.4) 高[10.5]	845-795グリッド 図示部の1/3	右回転ロクロ。ロクロ痕やや弱い。	①G。やや砂質で雲母粒を少量含む。泥粒も見られ緻密さ欠く。②還元不十分だが比較的硬調。③青黒5B2/1。断面は赤色味強い。
13	須恵器 長頸壺	台12.8 高[5.2]	845-800グリッド6片。 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ。外面はあて具状のロクロ痕で削りのように見える。袋物としては内面のロクロ痕は弱い。	①G。やや緻密。微細な岩片や黒色鉱物を含む。②還元焰、やや硬調。③灰5YR6/1。外面は明度低い。④内底に口縁部から降り落ちた灰緑色の釉が厚く付く。
14	土師器 杯	口(14.0) 高(4.8)	3号住居掘り方2片 図示部の1/6	やや厚手。外面の削りは弱い比較的丁寧で削り残し部分は少ない。内面にヘラ磨きがあると思われるが不明瞭。	①Bに近いが雲母の混入はわずか。②酸化焰、普通。③におい橙5YR6/3。外底は黒色味強い。④口縁部中心に内面やや摩滅する。
15	土師器 杯	口11.3 高4.1	900-795グリッド 1/2個体	口縁外面の稜は沈線状。口縁端部はわずかに外側へ折れる。器面摩滅すすみ整形痕は不明瞭。	①F。混入物少ない。②酸化焰、胎土に原因するようだが締まりない。③橙7.5YR6/6。赤色味の強いムラあり。
16	土師器 杯	口(12.6) 高[3.8]	845-800グリッド 図示部の1/6	薄手で底部中心付近が特に薄い。外底の削りは強く丁寧。内面のナデも比較的丁寧で平滑に仕上げる。	①B。混入物は少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6で断面までほぼ一様。
17	土師器 杯	口(11.0) 高[3.1]	3号溝周辺包含層 図示部の1/5	外面の削りはやや弱い。内面は比較的平滑。	①BとFの中間的な胎土。混合物はやや少ない。②酸化焰。③橙7.5YR6/6で断面まで一様。
18	土師器 杯	口(10.8) 高[3.0]	850-795グリッド 図示部の1/3	口縁は内湾し、内端は僅かに肥厚して繊細な造りである。外面削りはやや雑で指頭状の窪み部分に削り残しあり。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰。③におい橙5YR6/4でほぼ一様。
19	土師器 杯	口(10.6) 高3.4	850-795グリッド 1/4個体	小ぶりの杯としては比較的底部平坦。器面摩滅し整形痕不明瞭。外底の削りはやや雑か。	①B。②酸化焰。③橙5YR6/6で外底は明度低い。④焼成後に設けた片口状の窪みあり。
20	土師器 杯	口(12.8) 高3.7	850-795グリッド2片 1/3個体	外底の削りは乾燥が進んだ状態で行ない息長い。内面は比較的平滑。口縁部の仕上げはやや雑。	①B。パミス散見する。②酸化焰、硬調。③橙7.5YR6/6。灰色味をおびる小範囲の色ムラあり。
21	土師器 杯	口(12.0) 底7.8 高3.3	895-795グリッド 1/2個体	口縁内端は僅かに折れる。口縁外面下半は無調整だが器面の荒れは少ない。外底の削りは弱い。	①B。雲母の混入は少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4でほぼ一様。
22	土師器 杯	口(13.6) 高[3.2]	850-790グリッド 図示部の1/5	やや薄手。口縁部は小さく波状の窪み径不安。外底の削りは弱く細かい。	①Bに近い。雲母の混入は少なく、Fにも近い。②酸化焰、やや軟調。③におい橙7.5YR6/4でほぼ一様。
23	土師器 杯	口(14.6) 高[4.0]	855-800グリッド2片 図示部の1/8	口縁内端は小さく肥厚する。外底の削りは細かい。内面は強いナデで平滑に仕上げる。	①Bに近い。素地緻密で混入物は微細で少ない。②酸化焰、やや硬調。③橙7.5YR6/6で断面は灰色味をおびる。④口縁上端のみ摩滅している。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
24	土師器 杯	口13.1 高3.5	850-800グリッド 1/2個体	口縁内端は部分的に僅かに肥厚する。外底の削りは息長いがやや粗い。口縁外面下半は無調整だが平滑。	①BとFの中間的な胎土で混入物は少ない。②酸化焰。③におい褐7.5YR5/4。内面は明度高い。④内底は細かなキズや摩滅が多い。
25	土師器 杯	口(12.6) 高[3.0]	850-795グリッド3片 図示部の1/4	口縁外端は不規則だが沈線状に小さく窪む。外底の削りはやや強く息長い。内面ナデも強く、布目状の擦痕残る。	①B。赤褐色鉱物散見。他の混入物も少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4で内面は彩度高い。
26	土師器 杯	口13.9 高3.6	845-795グリッド10片 ほぼ完存	外底の削りは決るように強い。内面は比較的平滑。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰、普通。③におい褐7.5YR5/4。④口縁端部の一部に割れ口までスス付着。
27	土師器 杯	口(11.6) 底7.9 高3.0	850-800グリッド4片 1/2個体	薄手で軽量。器面摩滅し整形痕は不明瞭。外面の削りは底部のみか。	①Fにやや近い。粗砂含む。②酸化焰、軟調。③におい橙7.5YR7/4。スス付着部分付近は灰色味をおびる。④口縁の一部にスス付着。
28	土師器 杯	口(13.8) 底(9.0) 高[4.2]	850-800グリッド2片 図示部の1/3	口縁部内面に勢いのない放射状の暗文。内底には暗文はなさそう。外面のヘラ削りは乾燥が進んだ段階で行なう。	①G。雲母粒じりりの細砂多いが、他の混入物なく緻密。②酸化焰、普通。③におい橙7.5YR6/4ではほぼ同様。
29	土師器 杯	口(14.6) 高[4.8]	850-795グリッド3片 口縁1/6、底部1/2	口縁内端は小さく内折れする。外面の削りはやや丁寧で、削り残しが少ない。内面は比較的平滑。	①Bに近い。雲母の混入は少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4ではほぼ同様。
30	土師器 杯	口(11.0) 高4.5	850-795グリッド2片 1/2個体	口縁外面中位は無調整で指頭痕状の窪みが残る。内面は強いナデで布目状の擦痕が巡っている。	①Bに近い。混入物は少ない。②酸化焰。③におい褐7.5YR6/4。灰色味をおびるムラあり同様でない。
31	土師器 高杯	口20.5 高[7.3]	925-770グリッド36片 杯部のみ5/6	脚取り付け部分はソケット状。外底部の削りは細かい。内外面のナデは鋭い擦痕が残る。	①E。赤褐色鉱物の混入やや多い。②酸化焰、やや軟調。③明赤褐5YR5/6。黒色味の強いムラ広い。④二次被熱により器面は脆弱。
32	土師器 埴	口9.8 高8.5	845-810グリッド5片 ほぼ完存	薄手。内底にヘラ状工具の強いナデの痕が残る。外底付近は細かく丁寧な削りで比較的平滑に仕上げる。	①G。粗砂サイズの雑多な混入物多い。②酸化焰、軟調。③におい褐7.5YR5/4。黒色味、赤色味の強いムラあり。断面は黒色味強い。
33	土師器 埴	口(10.0) 類(5.8) 高[4.8]	920-770グリッド3片 図示部の1/4	外面のナデ強く、小さな稜ができる。肩部内面に指頭痕状の窪みが巡る。	①Bに近い。混入物は細粒で少ない。②酸化焰。③におい褐7.5YR5/4。内面は赤色味をおびる。
34	土師器 埴	胴(9.0) 底2.8~3.1	920-775グリッド10片 体部1/3、底部完存	外底は上げ底状。外面胴部下半に雑な削り、肩部付近は平滑。内面は指頭による斜位の強いナデで圧痕状。	①②33にきわめて近い。同一個体の可能性。③外面に小黒斑あり。
35	土師器 甌	口19.3 高[9.8]	910-790グリッド8片 図示部の1/2	口縁端部は外方へ小さく肥厚している。外面の削りは細かく弱い。	①G。ザックリした素地でパミスの混入やや多い。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/3。断面までほぼ同様。
36	土師器 壺	口(13.0) 頸(11.4) 高[15.7]	865-800グリッド7片 図示部の1/3	外面の削りは規則的で、口縁部は磨きに近い。口縁内面にのみ横位のヘラ磨きが見られる。	①C。混入物は少ない。②酸化焰、普通。③橙7.5YR6/6。黒色味の強いムラ多い。④二次被熱あり。外面はほぼ全面にスス付着。
37	土師器 甕	口(22.2) 高[6.3]	855-795グリッド2片 図示部の1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。削りは砂粒の移動はあまり見えない。内面は肩部付近も平滑に仕上げる。	①Fに近い。細砂の混入多い。②酸化焰、やや軟調。③におい橙7.5YR6/4で断面までほぼ同様。
38	土師器 甕	口(21.4) 高[6.0]	850-800グリッド 図示部の1/6	口縁端部はわずかにつまみ上げる。外面の削りは口縁下半まで達する。	①G。やや砂質で細かな混入物含む。②酸化焰、硬調。③橙7.5YR6/6ではほぼ同様。
39	土師器 甕	口(23.6) 高[6.2]	850-795グリッド 図示部の1/5	やや厚手。口縁端部は弱く肥厚する。外面の削りはやや雑。	①Bに近いが雲母の量はわずか。②酸化焰、甕類としてはやや硬調。③におい橙7.5YR6/4で断面まで同様。
40	土師器 甕	口(24.2) 高[5.6]	850-800グリッド 図示部の1/6	口縁内端に窪みが巡る。口縁外面は弱い稜ができる。外面の削りは強い。内面は肩部付近も平滑。	①Bに近いが雲母の量は少ない。②酸化焰、甕類としてはやや硬調。③におい橙5YR6/4。外面に黒色味をおびるムラあり。
41	土師器 台付甕	口22.0 高6.5	850-795グリッド 図示部の1/5	口縁部に歪みあり、厚さも一定でない。外面の削りはやや雑で、不規則に口縁部まで達している。	①A。②酸化焰。③におい橙5YR6/4。外面灰色味をおびるムラあり。
42	軟質陶器 甕	口(21.2) 高[4.5]	850-800グリッド 図示部の1/4	右回転ロクロか。ロクロ痕弱い。厚手だが比較的軽量。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②還元焰不十分。硬調。③黄灰2.5Y5/1~におい黄橙10YR6/4で同様でない。
43	土師器 甕	口14.5~17.1 高[9.9]	915-780グリッド7片 口縁ほぼ完存、肩部1/2	外面の削り粗い。内面の整形雑で、接合痕が明瞭に残る。	①C。②酸化焰、やや軟調。③におい褐7.5YR5/4。断面は灰色味をおびる。
44	土師器 台付甕	口(13.8) 高[15.7]	845-800グリッド14片 口縁1/6、胴部1/2、台部ほぼ完存	接合しない破片からの復元。器面摩滅し整形痕不明瞭。内面のナデは刷毛目状の粗い擦痕が残る。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰。③におい褐7.5YR5/3。赤色味おびるムラあり。④二次被熱の影響あり。カマド粘土付着する。
45	土師器 台付甕	台(9.0) 高[2.8]	850-800グリッド 裾部3/4欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面中位に指頭圧痕が規則的に並ぶ。	①Bにやや近いが混入物は小粒で少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR7/4で断面までほぼ同様。
46	土師器 台付甕	台(10.2) 高[5.3]	5号住居 図示部の1/3	比較的厚手で接地面が平坦で、どっしりしている。刷毛目は弱く不規則。	①Bにやや近いが混入物は少ない。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4。内面は明度低い。
47	土師器 台付甕	台8.4 高[7.0]	8号住居 図示部のうち台裾部1/3欠く	台部内面上半には指頭痕が規則的に並ぶ。刷毛目はやや細かい。	①G。素地は緻密で粗砂サイズの混入物やや多い。②酸化焰、やや硬調。③におい橙7.5YR7/3。断面は灰色味をおびる。④二次被熱の影響あり。
48	土師器 手捏ね	口3.8 底4.0 高2.1	965-800グリッド 完形	手づくねとしては丁寧なつくりで外面は平滑。口縁部は意図的に波状にした可能性。	①G。素地やや緻密で粗砂サイズの混入物やや多い。②酸化焰。③におい橙7.5YR6/4。黒色味・赤色味おびるムラあり同様でない。

## A2区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
49	須恵器 有台杯	口(14.2) 台(7.0) 高6.6	020-775グリッド6片。 口縁・高台は1/4、底部 ほぼ完存	右回転クロー回転糸切り一回転利用高 台取り付け。内面のクロー痕特に弱い。	①素地やや粗く大粒の黒色鉱物の混入目立つ。②還元焰、やや軟調。③灰7.5Y6/1で断面白色味強い。内底は重ね焼き痕が赤色味おびる。
50	土師器 器台	口7.1 高7.0	965-765グリッド3片 脚部5/6を欠く	台部の孔は3箇所。底部の孔は中心を逸れる。上部外面は強く丁寧なヘラ磨き、内面も比較的平滑で裾部付近は刷毛目状の擦痕。上部内面を除き赤彩。	①G。ややボンボンした素地で混入物は少ない。②酸化焰。③におい黄橙10Y R 7/2。赤彩部は2.5YR 4/6。④口縁端部の剥落や摩滅顕著。
51	土師器 甕	口(13.2) 高[7.1]	960-775グリッド10片 口縁1/6、肩部1/3	薄手。外面の刷毛目は弱く、不明瞭な部分も多い。肩部内面に見られる刷毛目状のナデ痕のほうが明瞭。	①B。混入物は細粒で少量。②酸化焰。③におい黄橙10YR6/4。外面は黒色味強い。
52	土師器 台付甕	台下9.0 高[6.6]	945-785グリッド9片 底部完存、上部1/2	厚手。接地部分が幅広く平坦。刷毛目は鋭い。	①G。素地は軽量。大粒の赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③におい褐7.5YR6/3。赤色味・灰色味おびるムラあり一様でない。
53	土師器 台付甕	台下8.2 高[7.1]	940-775グリッド5片 図示部の3/4	外底部に補強のための粘土貼り付け。刷毛目は弱い。	①G。粗砂サイズの雑多な混入物が多い。②酸化焰。③黒褐10YR2/2で断面は明度高い。④強い二次被熱を受ける。
54	土師器 台付甕	台下(6.3) 高[5.0]	18号住居埋没土内 上部1/2	外面刷毛目。台部の折り返し丁寧。内面指頭痕の凹凸明瞭。内底と上部天井に砂粒を多く含む粘土貼り付け。	①B。小粒の混入物が多い。②酸化焰、硬調で焼き締まる。③におい黄橙10YR7/3。断面は黒色味強い。

## B区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
55	土師器 特殊器台	口(19.8) 高[7.0]	050-770グリッド11片 VI層土内 底部完存、口縁部1/2	厚手で重量。内面のナデには一部ヘラ状工具の擦痕が残る。内底の穿孔は中心をやや逸れる。	①CとDの中間的な胎土。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/3。灰色味、赤色味をおびるムラあり。
56	土師器 器台	口9.1 台下(12.0) 高[9.8]	040-780グリッド3片 上半完存、上部1/3	やや厚手。上部3孔と底部いづれも径広い。上部外面の雑な磨き下に細かな刷毛目状擦痕が明瞭に残る。内面も比較的平滑で裾部付近は刷毛目擦痕。	①③50の器台に類似する。②酸化焰、やや硬調。④口縁上端のみやや摩滅する。
57	土師器 甕	口16.6 孔(2.2) 高9.3	045-780・785グリッド C混土内12片 上半完存、孔径は残存わずかで不確実。	外面縦位・内面は縦位で口縁部付近のみ横位の、ともに丁寧なナデで平滑に仕上げられる。	①Bに近い。混入物はやや粗粒。②酸化焰。③におい黄橙10YR6/4。内面は彩度やや高い。④外面口縁上半に剥落の多い部分があり、甕として重ねて使用の痕跡と思われる。内面スス状付着物。
58	土師器 埴	口(13.6) 高10.2	070-765グリッド C混土内3片 口縁部1/4、底部完存	外底は不規則に窪む。外面下半の削りやや雑。器面摩滅し整形痕不明瞭。	①D。②酸化焰。③橙7.5YR6/6。赤色味・灰色味の強いムラあり、一様でない。④内面下半の剥落顕著。
59	土師器 小型壺	口(8.4) 底3.7 高9.5	045-780グリッド C混土内22片 口縁1/6、底部2/3	外底はわずかに上げ底状。外面のやや雑な磨きの下に、粗い刷毛目が残る。内面のナデは丁寧に底部にヘラ痕が残る。	①Bに近い。雲母は少なく、赤褐色鉱物目立つ。②酸化焰、やや軟調。③におい黄2.5Y6/3。外面に黒斑広い。
60	土師器 小型壺	口10.2 胴15.7 高[15.2]	045-780・785グリッド C混土内23片 底部を除きほぼ完存	やや厚手で底部は特に分厚い。口縁内外面には雑なナデ、外部外面は細かな削りで比較的平滑に仕上げる。	①C。素地やや粗い。②酸化焰。厚手の土器としては焼きしめる。③におい褐7.5YR6/4で淡い黒斑あり。断面は褐色味をおびる。
61	土師器 壺	底(4.8) 高[3.0]	050-780グリッド C混土内の2片 図示部の1/2	外面下端に雑なヘラ磨き、外底には丁寧なヘラ削り。内面一部に刷毛目状のナデ痕が残る。	①G。素地やや緻密で混入物も比較的少ない。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/2。赤彩部分は赤褐10R4/4。
62	土師器 壺	胴(25.4) 高[20.3]	045-780グリッド C混土内15片 図示部の1/3	口縁・底部ともに欠き、傾き不安。外面の雑な縦位ヘラ磨きの下に、粗い刷毛目が明瞭に残る。内面は比較的平滑。外面と口縁内面に赤彩。	①G。ややザックリした素地に細砂サイズの混入物を少量含む。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/2で断面は黒色味をおびる部分あり。赤彩部は10R4/4。④破損後に一部の破片が二次被熱。
63	土師器 甕	口(24.0) 高[6.6]	070-770グリッド C混土内 図示部の1/6	器面摩滅し整形痕やや不明瞭。口縁折り返しで口縁と頸部に描き波状文一単位6本以上。肩部は廉状文か。内面は比較的平滑。	①Aに近い。混入物はあまり多くない。②酸化焰やや硬調。③におい褐7.5YR6/3で、灰色味・黄色味おびるムラあり一様でない。④二次被熱の可能性。口縁内面下半に剥落多い。
64	土師器 壺	口(17.4) 高[6.1]	045-780グリッド C混土内2片 図示部の1/6	口縁外面は折り返しの上に雑なナデで一部で痕跡を消す。外面肩部は縦位の強く丁寧なナデだが、頸部付近に刷毛目が残る。内面は横位の丁寧な磨き。	①G。素地ややザックリしているが、混入物少ない。②酸化焰。③におい褐7.5YR7/3で内面はやや彩度低い。
65	土師器 壺	口(12.0) 高[3.9]	050-785グリッド 図示部の1/4	口縁部は外方へ折り返し。外面には横位の雑なヘラ磨きが部分的に見られる。内面は比較的平滑。	①G。砂質で赤褐色鉱物の混入目立つ。②酸化焰。③灰褐7.5Y R 4/2で断面一部黒色味強い。④二次被熱。
66	土師器 壺	口(18.2) 高[13.3]	040-780グリッド C混土上の9片 図示部の1/6	やや厚手。外面および口縁内面に粗い刷毛目の上に雑なヘラ磨き。胴部内面は強い刷毛目が残る。	①G。素地やや粗く、赤褐色鉱物等の粗い混入目立つ。②酸化焰。③におい黄橙10YR7/3で灰色味おびるムラ広い。④破損後二次被熱の破片あり。
67	土師器 台付甕	口(12.2) 胴(15.8) 高[8.7]	040-775グリッド6片 図示部の1/4	薄手。小ぶりの土器としては幅広い刷毛目となる。内面はヘラ状工具使用のナデ痕がわずかに残る。	①C。石英粒やや目立つ。②酸化焰、やや硬調。③におい黄橙10YR7/3。内面は赤色味、断面は灰色味をおびる。
68	土師器 台付甕	口(11.0) 高[3.3]	045・050-780グリッド C混土内の3片 図示部の1/3	外面の刷毛目はきわめて細かく、単位は不明瞭。粘土の乾燥が進む前に施す。内面整形痕不明だが比較的平滑。	①Bに近いが雲母の混入は少ない。②酸化焰。③におい黄橙10YR6/3。断面は黒色味強い。

B・C区・取付道のその他の遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
69	土師器 台付甕	口(14.8) 高[4.3]	045-780グリッド C混土内の7片 図示部の1/4	刷毛目は細かく1単位9本以上。内面は指頭状の窪みがあり平滑さ欠く。	①Bに近いが雲母の混入少ない。②酸化焰。③にぶい黄2.5Y6/3。外面下半は灰黒色・断面は黒色味強い。
70	土師器 台付甕	口(13.0) 高[5.7]	045-780グリッド C混土内の10片 図示部の1/4	口縁内端に沈線状の窪み。刷毛目は粗く重複も多く単位不明。内面は指頭痕状の弱い凹凸あり。	①G。混入物少なく緻密。②酸化焰。③灰黄褐10YR6/2。断面黒色味強い。
71	土師器 台付甕	口17.8~16.7 高[5.3]	020-755グリッド C混土内の14片 口縁完存、肩部1/3	肩部に2単位以上の横刷毛あり。刷毛目は間隔長いが沈線のように鋭い1単位8本か。内面は比較的平滑。	①C。素地やや緻密。白色岩片の混入目立つ。②酸化焰。③にぶい黄褐10YR7/3。灰色味・赤色味おびるムラあり一様でない。内面灰色。④二次被熱の影響強い。
72	土師器 台付甕	口(17.4) 高[6.2]	045-780グリッド C混土内の7片 図示部の1/6	刷毛目は細かく1単位9本以上。肩部内面はヘラ状工具のナデ混れる。平滑さ欠く。	①G。粗砂多い。②酸化焰。③にぶい黄褐10YR5/3で外面は黒色味の強いムラ広い。断面は黒色。
73	土師器 台付甕	台(9.4) 高[6.8]	050-780グリッド C混土内 底部完存、上部1/2	内底部分には弱いヘラ磨きで甕類としてはきわめて平滑に仕上げる。上部外面に残る刷毛目はごく僅か。	①Bに近いが雲母の混入やや少ない。②酸化焰。③にぶい橙5YR6/6。彩度の低いムラあり。④二次被熱。
74	土師器 台付甕	台9.1 高[7.3]	070-770グリッド C混土内の8片 図示部は完存	刷毛目は弱く細かい。上部に刷毛目はほとんど残らない。上部は内側に折り返し、指頭痕が残る。	①C。混入物の粒径やや粗い。②酸化焰。③にぶい褐7.5YR6/3。断面は黒色味強い。④内底部分の剥落進む。
75	土師器 高杯か	脚7.0 高[5.1]	050-780・785グリッド C混土内の3片 図示部の2/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。杯部とはソケット状の接合をしたものと思われる。脚部外面に横位のヘラ磨き。	①BとFの中間的な胎土。赤褐色鉱物やや目立つ。②酸化焰。③橙5YR6/6で一部に黄色味おびたムラあり。

C区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
76	須恵器 杯	口(12.0) 高[3.7]	177-178グリッド7片 図示部1/3	歪みあり。右回転ロクロ回転ヘラ切り離し後縁辺に回転ヘラ削り。内底に渦巻き状のロクロ痕。	①G。長石らしい岩片以外混入物少ない。②還元焰、やや硬調。③灰白5Y8/1で断面まで一様。
77	須恵器 短頸壺	口(10.8) 高[10.5]	135-760グリッド11片 図示部の1/3	有蓋の壺で外面肩部に焼成時の蓋の痕跡が残る。高台は「ハ」の字状に開く。右回転ロクロ高台取り付け。内面でロクロ痕強い。	①G。須恵器としてはややザックリした素地だが混入物少なく良好。②還元焰。③灰10Y4/1。内面は明度高く、断面ではセピア色味が強い。肩部でわずかに見られる降灰釉は白色味をおびる。
78	かわらけか	口7.6 底4.8 高2.1	180-750グリッド B混土下 図示部は完存	厚手で内底平坦。付着物のため回転方向や切り離し手法が観察できない。	①②割れ口まで覆う付着物のため観察できない。③④付着物が全面光沢のある黒色を呈している。一部で燈芯痕状になる。
79	かわらけ	底6.0 高[1.9]	110-755グリッド As-B混土内(C区) ほぼ完形	左回転ロクロ回転糸切り無調整。ロクロ痕はきわめて弱い。	①Bに近い。混入物は細かい。②やや酸化気味。③黄灰2.5Y。内面やや黄色味をおびる。④口縁部に燈芯痕状のスス付着箇所多い。
80	土師器 杯	口(12.0) 高[3.7]	177-178グリッド 泥流層内3片 図示部1/3	口縁の内湾の形状は一定していない。器面やや摩滅。外底の削りは細かい。	①Aに近い。やや砂質で片岩の混入はわずか。②酸化焰、土師器としては硬調。③橙5YR6/6。外面一部は赤色味さらに強い。
81	土師器 杯	口(11.8) 高[4.0]	23号溝12片 ほぼ完形	口縁上端は内側に折れる。口縁外面下半は無調整だが比較的平滑。外底の削りは弱い。	①G。素地やや粗いが、混入物は細砂サイズで比較的緻密。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR7/4。断面はやや黄色味をおびる。
82	土師器 杯	口(13.2) 高3.3	190-755グリッド2片 口縁1/6、底部3/4	やや薄手。口縁端部は弱く内折れしている。内底中央窪む。口縁外面は無調整。外底の削りは弱い。	①G。比較的緻密。輝石・チャート等の混入やや目立つ。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4で断面まで一様。
83	土師器 杯	口(15.6) 高3.8	14ピット内6片 口縁若干、底部1/2	口縁端部やや尖る。外底の削りは強い。内底中央やや窪むが、全体は平滑。	①G。比較的緻密。赤褐色鉱物・バミス等の混入やや多い。②酸化焰。③にぶい橙5YR6/4。断面は黄色味強い。
84	土師器 杯	口(12.2) 高3.6	190-755グリッド2片 口縁1/8、底部3/4	薄手。口縁内端は一部で肥厚している。内底は指頭痕状の凹凸あり。外面口縁下半も無調整。外底削りは弱い。	①G。比較的緻密。輝石・バミス等の混入物は小粒でやや多い。②酸化焰、やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4で断面まで一様。
85	土師器 甕	口(17.4) 高[8.8]	C混土上の5片 図示部1/3	外面の削りは強く細かい。内面のナデは幅広の工具痕が残る。	①A。粗粒の混入物も散見できる。②酸化焰。③にぶい褐7.5YR5/3。外面に赤色味・黒色味をおびるムラあり。
86	土師器 甕	口(18.2) 高[7.8]	125-760グリッド3片 図示部1/6	薄手。口縁上端は外方へわずかに肥厚している。	①G。砂質だが他の混入物は少ない。②酸化焰。③にぶい橙7.5YR7/4でほぼ一様。
87	土師器 台付甕	口9.4 台7.3 高14.2	C区125-765グリッド C混土内29片 ほぼ完形	口縁部は「コ」の字に近いような形態。口縁内端に弱い沈線が部分的に巡っている。刷毛目は細かく1単位6本以上。	①G。砂粒多いが他の混入物少ない。太め海绵骨針が1本だけ観察できる。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR7/3。赤色味おびるムラあり、内面灰色味強い。④二次被熱の影響が外面下半にあり。
88	土師器 手捏ね	口7.3~7.8 底3.6 高[6.3]	125-765グリッド C混土内20片 底部除きほぼ完存	口縁部外面に折り返し。外面弱く短い刷毛目。内面は上半に刷毛目あり。	①G。ザックリした素地で混入物は少ない。②酸化焰。③灰黄2.5Y7/2。断面は黄色味をおびる。④内面にスス状の付着物あり。

取付道E区

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
89	須恵器 短頸壺	口(10.6) 高[4.3]	口縁若干、肩部1/2	右回転ロクロか。径・傾き不安。肩部にわずかに波状文が見える。	①G。比較的緻密な素地に砂粒の混入やや多い。②還元焰。やや硬調。③灰10Y6/1でほぼ一様。灰黄色の降灰釉がわずかにかかる。



No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
90	土師器 壺	□11.8 高[6.8]	取付道E区Ⅵ層土8片 口縁完存、肩部1/3	口縁部内面には横位の丁寧なへら磨き。 外面は縦位主体のへら磨きの下に一部細かな刷毛目が残っている。	①G。素地の緻密さは欠くが、混入物は少ない。②酸化焰、やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/2で断面まで一様。
91	土師器 台付甕	□(13.6) 高[5.0]	取付道E区Ⅵ層土4片 図示部の1/3	刷毛目は1単位10本以上。肩部内面は工具使用のナデでへら削りのような擦痕が残る。	①G。緻密で混入物少なく粒径も小さい。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR7/3で器面ほぼ一様。断面中央に黒色味の強い部分あり。
92	土師器 台付甕	□(17.0) 高[7.2]	取付道E区C混土内4片 図示部1/3	刷毛目幅太で1単位9本以上。横刷毛は狭く、肩部上位に巡る。	①G。粗砂サイズの混入物を多量に含む。②酸化焰。③にぶい黄橙10YR7/2。断面一部で黒色味をおびる。

## 9 上滝榎町北Ⅲ遺跡

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
1	土師質土器 皿	□(10.6) 高2.2	As-B混下 1/3個体	底面糸切りと板目圧痕あり。体部の轆轤目弱い。口縁部外面に、吸炭小斑あり。	①酸化小粒・鉱物含む。②酸化焰。③浅黄橙7.5YR8/4。④15世紀。
2	陶器 燈火皿	□(12.4)	1号溝埋土 1/4個体	体部外面下方を除き鉄釉。体部外面下方回転篋削り。外面に一部煤付着。	①緻密。②陶胎部還元。外面酸化焰。③暗褐10YR3/3。④18世紀。
3	陶器 瓶	最大径(8.9)	5号溝埋土 体部片	外面に茶味の強い胎釉施され、部分的に条線施文あり。内面上方轆轤紋目あり。	①緻密。②陶胎部還元。外面酸化焰。③にぶい黄褐10YR4/3。④18世紀。
4	磁器 小碗	□(8.8) 高3.6	4号溝埋土	高台端を除き白磁釉。酔う釉下に染付施文あり。高台端部鉄足状に酸化。	①緻密。②還元焰。③釉灰白7.5Y8/1。④18世紀。
5	土師器 杯	□(12.9)	4・5号溝埋土	内面暗文状研磨あり。外面下半に細かな篋削り。	①鉱物含む。②酸化焰。③橙7.5YR6/6。④全体に消耗気味。
6	土師器 高杯	□(17.6) 高14.8	15号溝埋土	全体に漂白化。器面消耗気味。杯部下面に篋削り。杯部は出納接合。脚部上方紋目。	①鉱物含む。②酸化焰。③浅黄橙7.5YR8/4。
7	石製 石斧	長13.2	As-A混 ほぼ完形	全体に打ち欠き面と稜部は消耗気味。やや肉厚。	①黒色安山岩。



# 写真図版





1 南側から眺めた下滝天水遺跡周辺



2 上空から眺めた下滝天水遺跡 (D区)

PL-2 遠景・陥穴状土坑



1 北側から眺めた下滝天水遺跡 (A区)



2 91号土坑 (東から)



3 47号土坑 (西から)



4 48号土坑 (西から)



5 82号土坑 (南から)



1 1号方形周溝墓（南から）



2 1号方形周溝墓遺物（2）出土状態



3 2号方形周溝墓（東から）



4 2号方形周溝墓遺物出土状態（西から）



5 2号方形周溝墓立ち上がり状態



6 2号方形周溝墓南隅断面（北から）



7 2号方形周溝墓南隅遺物（5・6・7他）出土状態

PL-4 A1区の竪穴住居



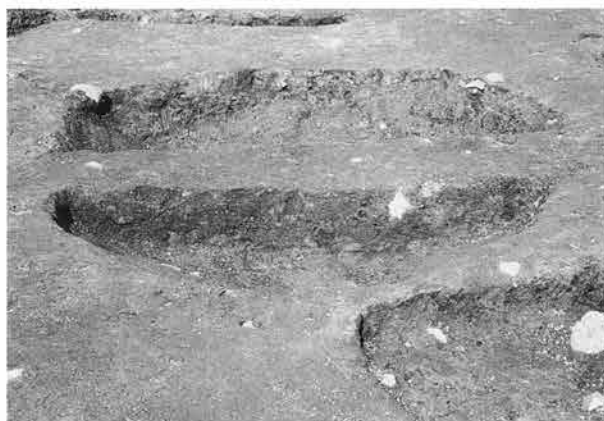
1 1号住居 全景 (南西から)



2 1号住居 遺物出土状態 (南から)



3 1号住居 カマド断面 (東から)



4 1号住居 床下土坑断面 (南から)



5 2号住居 全景 (西から)



6 2号住居 カマド (西から)



7 3号住居 遺物出土状態 (西から)



8 3号住居 掘り方 (西から)





1 4号住居 全景 (南東から)



2 5号住居 全景 (東から)



3 6号住居 全景 (東から)



4 6号住居 カマド遺物(3)出土状態 (西から)



5 7号住居 全景 (東から)



6 7号住居 遺物出土状態 (東から)



7 7号住居 カマド断面 (南から)



8 7号住居 カマド遺物(7・8・14・16・17)出土状態 (西から)

PL-6 A1区の竪穴住居



1 8号住居 全景 (南から)



2 8号住居 カマド遺物(1~3他)出土状態 (南から)



3 9号住居 全景 (西から)



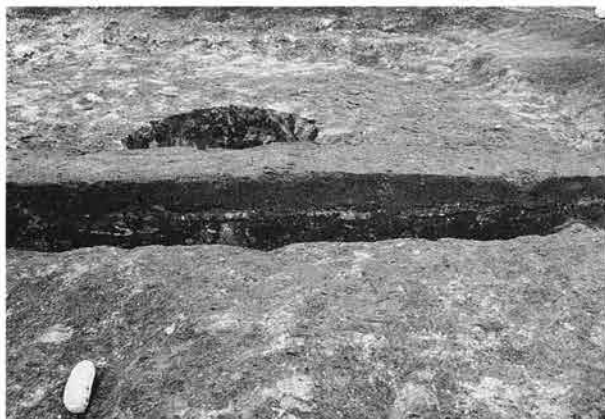
4 9号住居 カマド断面 (南から)



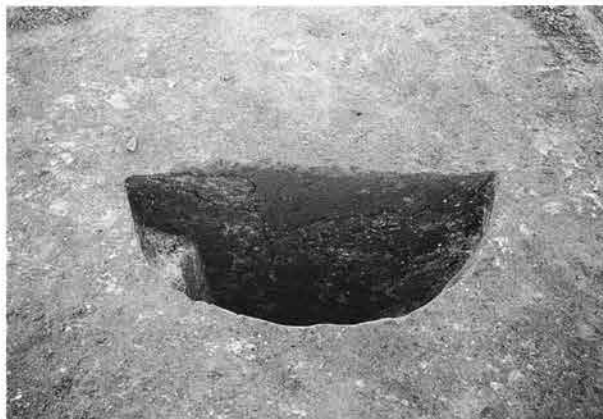
5 10号住居 全景 (北から)



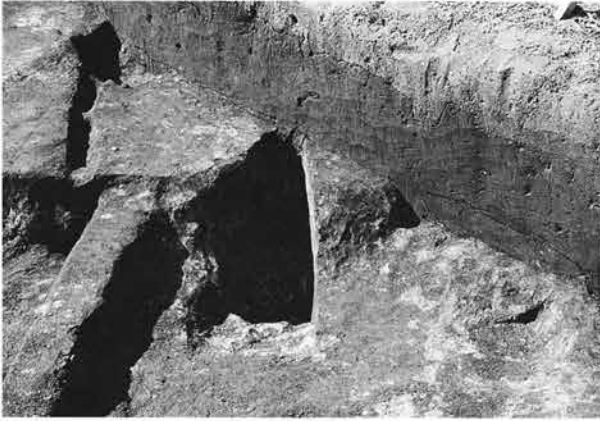
6 10号住居 遺物出土状態 (北から)



7 10号住居 貼床断面 (南西から)



8 10号住居 3号ピット断面 (南から)



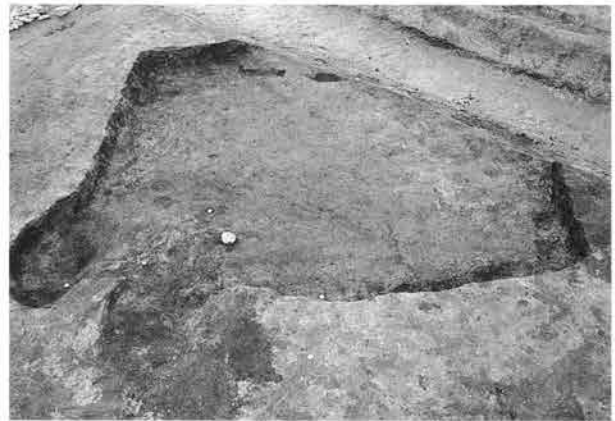
1 11号住居 全景（東から）



2 11号住居 掘り方（東から）



3 12号住居 全景（南西から）



4 13号住居 全面（東から）



5 13号住居 遺物出土状態（東から）



6 13号住居 断面（南から）



7 14号住居 全景（北西から）



8 14号住居 カマド断面（西から）

PL-8 A1区の竪穴住居



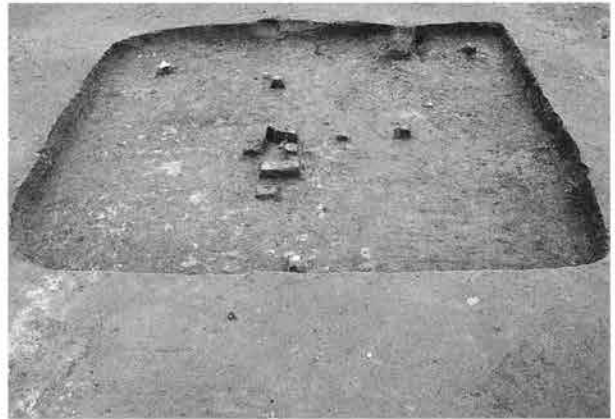
1 15号住居 全景 (西から)



2 15号住居 カマド (北から)



3 15号住居 断面



4 16号住居 全景 (南西から)



5 17号住居 遺物出土状態 (北東から)



6 17号住居 カマド (南西から)



7 18号住居 遺物 (10) 出土状態 (西から)



8 18号住居 カマド全景 (西から)



1 20号住居 掘り方全景 (東から)



2 20号住居 遺物 (5・8) 出土状態 (南から)



3 21号住居 使用面 (北東から)



4 21号住居 床下土坑断面 (西から)



5 22号住居 全景 (西から)



6 23号住居 全景 (南から)



7 24号住居 全景 (西から)



8 24号住居 カマド断割り全景 (南から)

PL-10 A1区の竪穴住居



1 25号住居 遺物出土状態（西から）



2 25号住居 掘り方全景（西から）



3 25号住居 カマド断割り断面（西から）



4 25号住居 南壁際出土遺物(1~5他)(西から)



5 26号住居 全景（西から）



6 27号住居 カマド断面（南から）



7 28号住居 全景（北から）



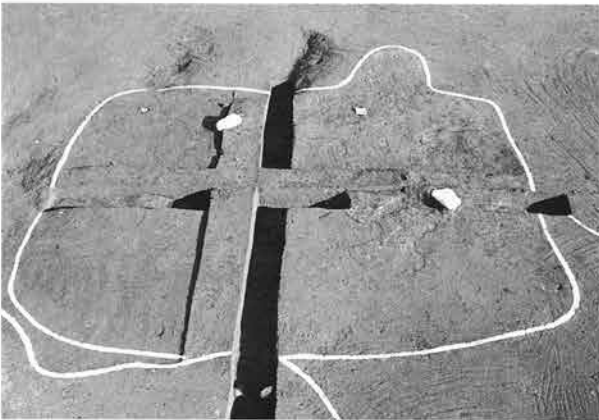
8 28号住居 床下断面（西から）



1 29号住居 全景 (西から)



2 29号住居 カマド遺物(9)出土状態 (西から)



3 30号住居 全景 (西から)



4 30号住居 掘り方全景 (西から)



5 31号住居 全景 (西から)



6 31号住居 掘り方全景 (西から)

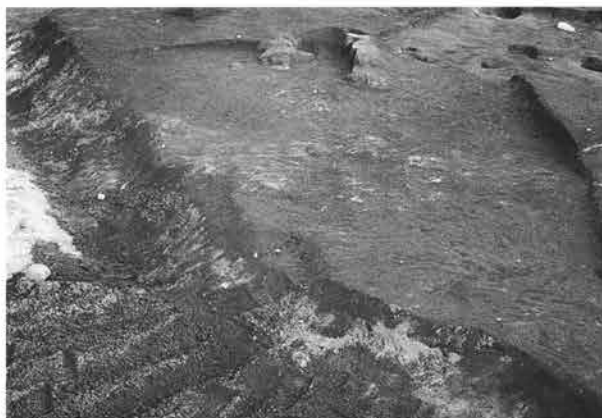


7 32号住居 全景 (西から)



8 33号住居 全景 (西から)

PL-12 A1区の竪穴住居



1 34号住居 全景（西から）



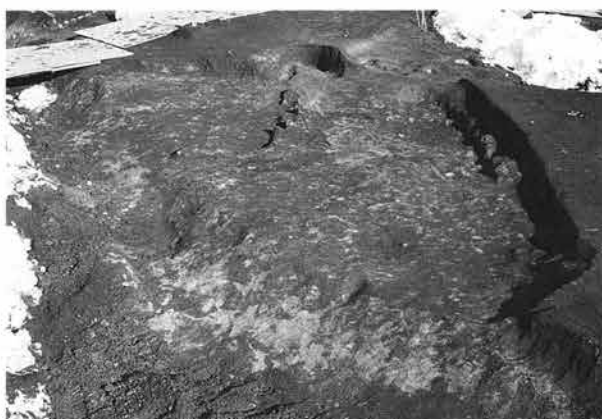
2 34号住居 カマド前遺物(1~5)出土状態（西から）



3 35号住居 全景（南から）



4 35号住居 掘り方全景（東から）



5 36号住居 全景（西から）



6 36号住居 カマド掘り方断面（南から）



7 37号住居 遺物出土状態（南から）



8 37号住居 掘り方全景（北から）





1 38号住居 全景（西から）



2 38号住居 掘り方全景（西から）



3 39号住居 床面（南西から）



4 39号住居 北西隅床上粘土（北から）



5 40号住居 全景（西から）



6 40号住居 掘り方全景（西から）



7 41号住居 全景（南西から）



8 41号住居 掘り方全景（南西から）

PL-14 A1区の竪穴住居



1 42号住居 全景 (西から)



2 42号住居 掘り方全景 (南から)



3 42号住居 カマド遺物(3)出土状態 (西から)



4 43号住居 全景 (西から)



5 43号住居 掘り方断面 (北から)



6 43号住居 遺物(4・5・20)出土状態



7 44号住居 全景 (北から)



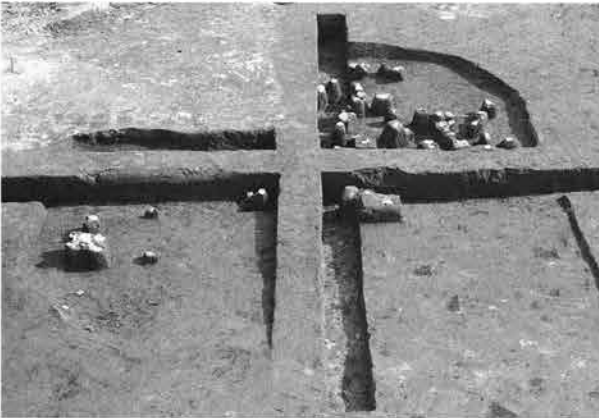
8 45号住居 全景 (北西から)



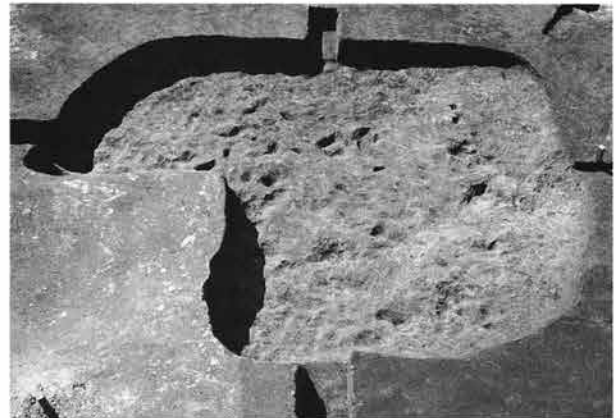
1 1号住居 断面と遺物(5)出土状態(南から)



2 1号住居 掘り方全景(東から)



3 2号住居 遺物出土状態(北東から)



4 2号住居 掘り方全景(北東から)



5 3号住居 全景(西から)



6 3号住居 貯蔵穴遺物(5・6)出土状態(北から)



7 4号住居 遺物出土状態(西から)



8 4号住居 掘り方全景(西から)

PL-16 A2区の竪穴住居



1 5号住居 炉断面 (西から)



2 6号住居 掘り方全景 (南東から)



3 7号住居 全景 (南から)



4 7号住居 P3 (南から)



5 8号住居 遺物出土状態 (南から)



6 8号住居 全景 (西から)



7 9号住居 遺物出土状態 (南から)



8 9号住居 全景 (南から)



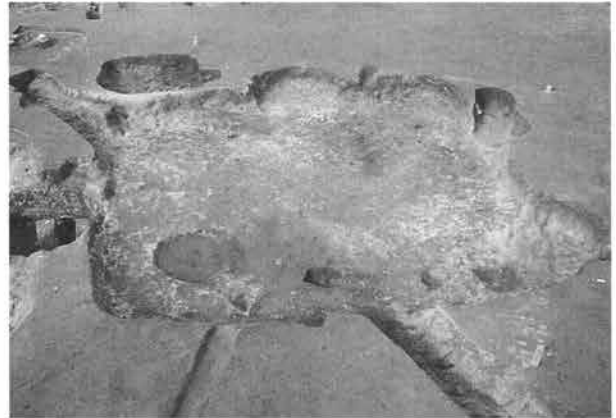
1 9号住居 掘り方全景 (南から)



2 10号住居 遺物出土状態 (南から)



3 10号住居 遺物 (1・3他) 出土状態



4 10号住居 全景 (南から)



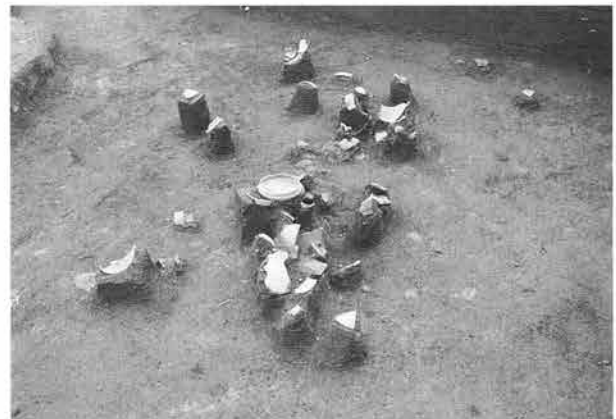
5 10号住居 炉断面



6 11号住居 全景 (南から)



7 11号住居 掘り方断面 (東から)



8 12号住居 遺物出土状態

PL-18 A2区の竪穴住居



1 12号住居 カマド断面



2 12号住居 全景 (西から)



3 13号住居 P3遺物 (1~3) 出土状態



4 13号住居 掘り方全景 (南から)



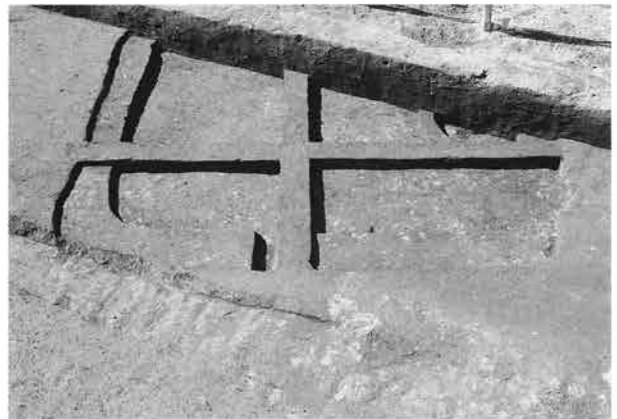
5 14号住居 掘り方全景 (南から)



6 15号住居 遺物出土状態 (東から)



7 15号住居 掘り方全景 (東から)



8 16・17号住居 全景 (東から)



1 18号住居 全景 (南から)



2 18号住居 掘り方全景 (西から)



3 18号住居 カマド (西から)



4 18号住居 遺物出土状態



5 19号住居 全景 (南から)



6 19号住居 掘り方全景 (東から)



7 20号住居 全景 (東から)



8 20号住居 遺物 (4・7・11) 出土状態



1 21号住居 遺物出土状態 (南から)



2 21号住居 掘り方全景 (南から)



3 22号住居 全景 (西から)



4 22号住居 遺物 (1・3・5) 出土状態



5 23号住居 掘り方全景 (東から)



6 25号住居 全景 (東から)

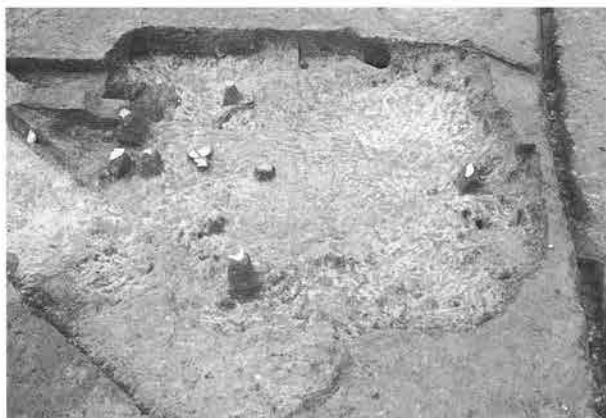


7 26号住居 全景 (西から)



8 26号住居 カマド遺物 (12~14他) 出土状態





1 27号住居 掘り方全景 (北東から)



2 28号住居 全景 (南から)



3 28号住居 掘り方全景 (南から)



4 29号住居 掘り方全景 (東から)



5 31号住居 全景 (東から)



6 32号住居 全景 (東から)



7 32号住居 掘り方全景 (西から)



8 33号住居 全景 (南から)

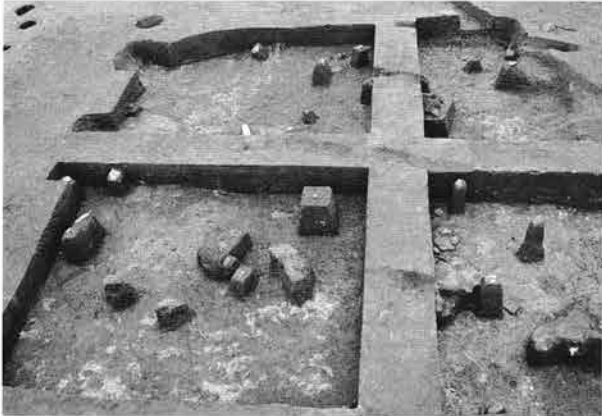
PL-22 B区・C区の竪穴住居



1 B区1号住居 全景 (南から)



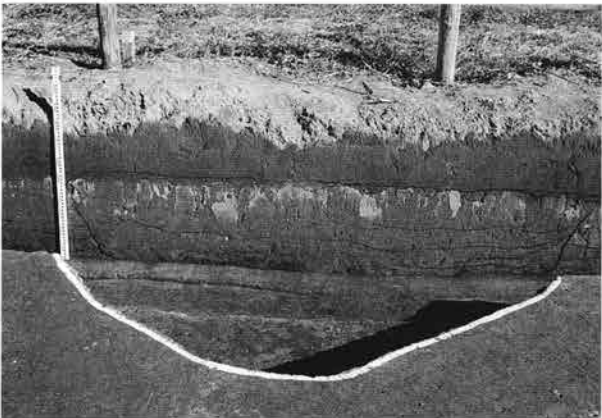
2 1号住居 掘り方全景 (南から)



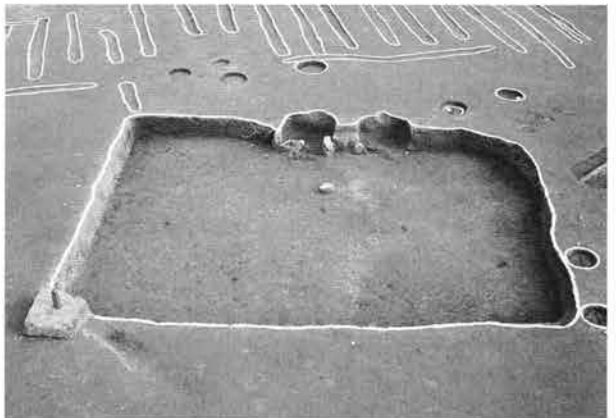
3 1号住居 焼土出土状態 (南から)



4 1号住居 矢板痕西壁 (南から)



5 C区1号住居 断面 (西から)



6 2号住居 全景 (西から)



7 2号住居 掘り方全景 (西から)



8 2号住居 カマド (西から)



1 C区3号住居 遺物出土状態(西から)



2 3号住居 掘り方全景(西から)



3 6号住居 掘り方全景(東から)



4 7号住居 掘り方(東から)



5 取付F区1号住居 掘り方全景(東から)



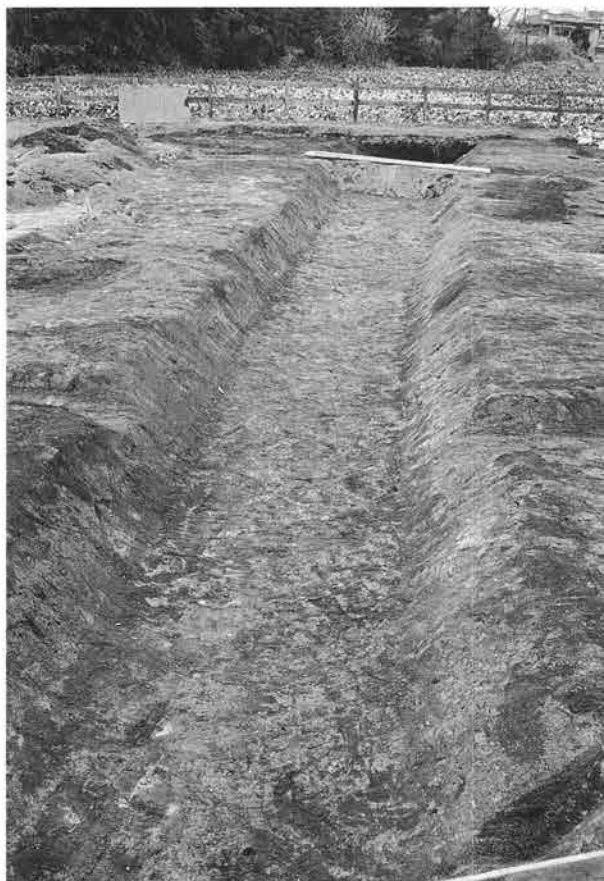
6 2号住居 全景(南から)



7 2号住居 カマド断面(南から)



8 3号住居 北壁断面(南から)



1 1号溝 (東から)



2 1号溝断面 (西から)



3 1号溝1区遺物出土状態 (西から)



4 1号溝3区遺物出土状態 (東から)



5 1号溝3区剣形石製品出土状態 (南東から)



6 1号溝5区上層遺物出土状態 (南東から)



7 1号溝5区下層遺物出土状態 (東から)



1 2号溝 (北東から)



2 2号溝断面 (西から)



3 2号溝1区遺物出土状態 (東から)



4 2号溝2区遺物出土状態 (東から)



5 2号溝3区遺物出土状態 (西から)



6 2号溝4区遺物出土状態 (南西から)



7 2号溝4区(50・51)出土状態 (南から)



1 A 2区13号溝 (南から)



2 13号溝遺物出土状態 (北から)



3 A 2区16号溝 (南東から)



4 A 1区16号溝遺物出土状態 (南から)



5 A 1区111号土坑断面 (南から)



6 111号土坑 (南西から)



7 A 2区1号溝 (南東から)



1 4号溝（北から）



2 4号溝1区（西から）



3 4号溝2区（北東から）



4 4号溝5区上層遺物出土状態（北から）



5 4号溝5区下層遺物出土状態（南から）



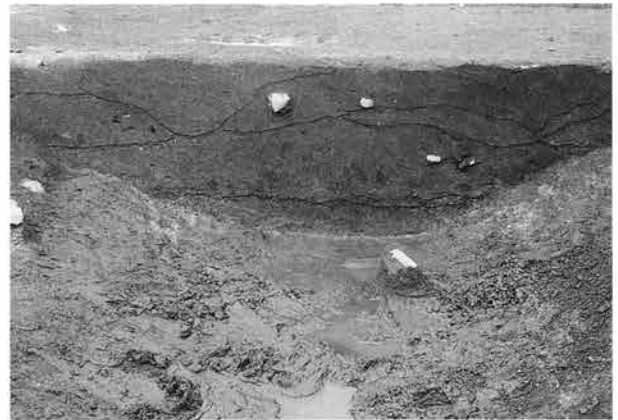
6 4号溝南隅（西から）



1 4号溝7・8区(北から)



2 4号溝C-C'断面(南から)



3 4号溝G-G'断面(南から)



4 5号溝上層遺物出土状態(南から)



5 5号溝下層遺物出土状態(北から)

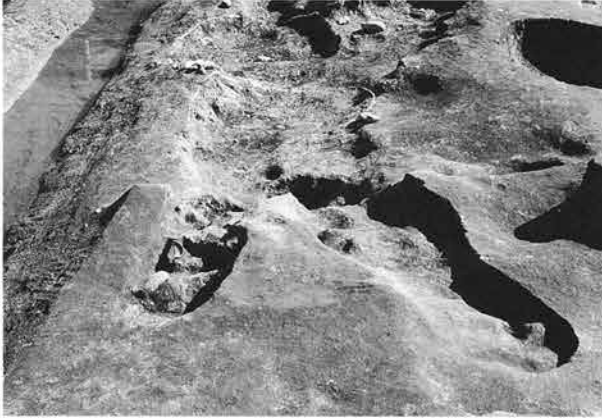


6 5号溝B-B'断面(南から)



7 5号溝E-E'断面(西から)





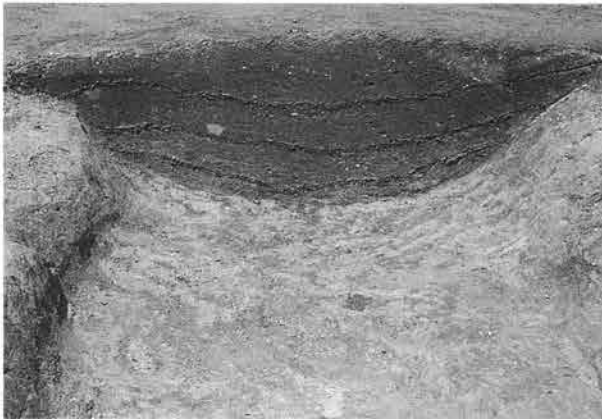
1 3・8号溝（東から）



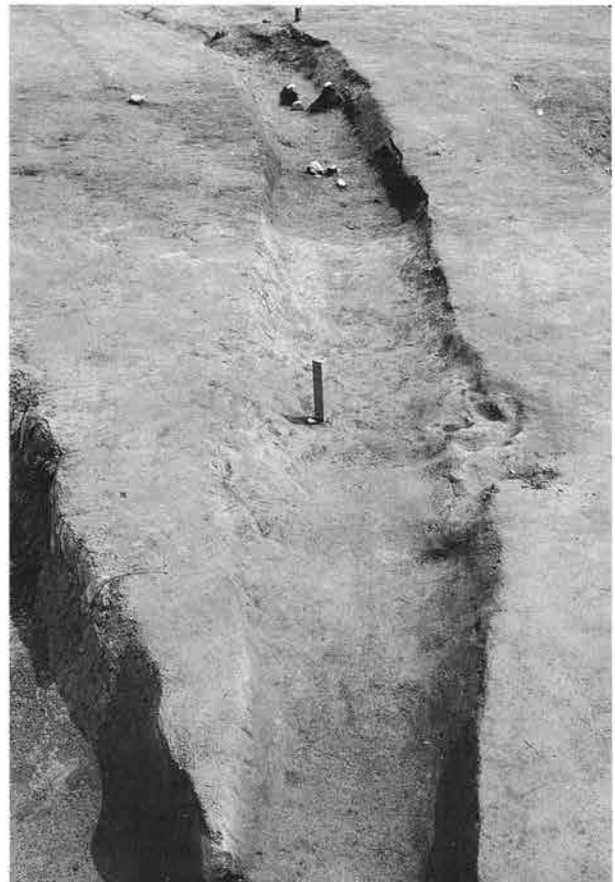
2 3・8号溝断面（東から）



3 6号溝断面（南東から）



4 7号溝断面（南西から）



5 7号溝（東から）



6 9号溝断面（西から）



7 14号溝板碑出土状態（西から）

PL-30 その他の溝2 A1区の溝



1 11・12号溝（北から）



2 13号溝（西から）



3 14号溝断面（西から）



4 15号溝断面



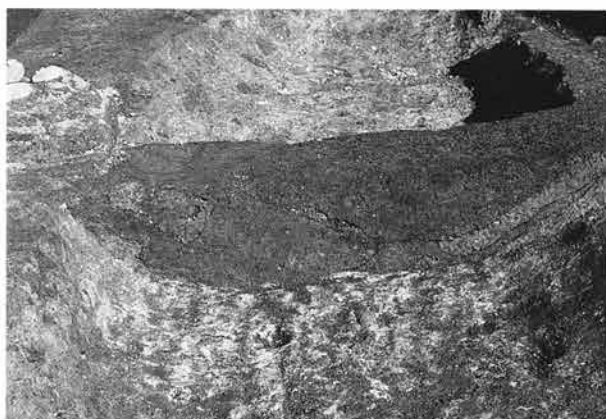
5 14・15・9号溝（西から）



1 A1区17号溝 (北から)



2 18号溝 (東から)



3 20号溝断面 (南から)



4 20号溝 (南から)



5 A2区2号溝 (北西から)



6 2号溝西側 (東から)



7 3号溝 (東から)



8 3号溝 (西から)



1 4号溝 (南東から)



3 4・5号溝 (南東から)



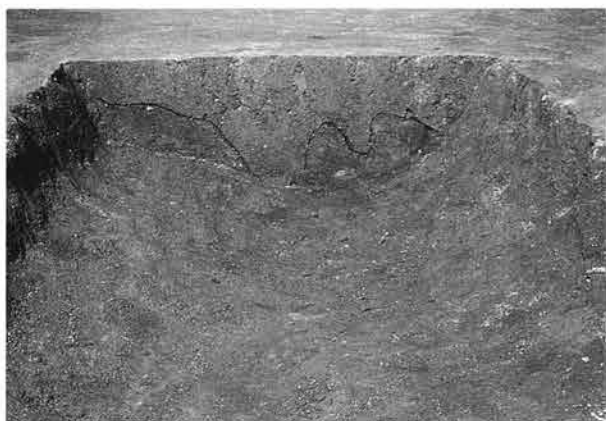
2 5号溝 (南東から)



4 6号溝断面 (南東から)



5 6・7号溝 (北西から)



6 7号溝断面 (南東から)



7 8号溝 (西から)



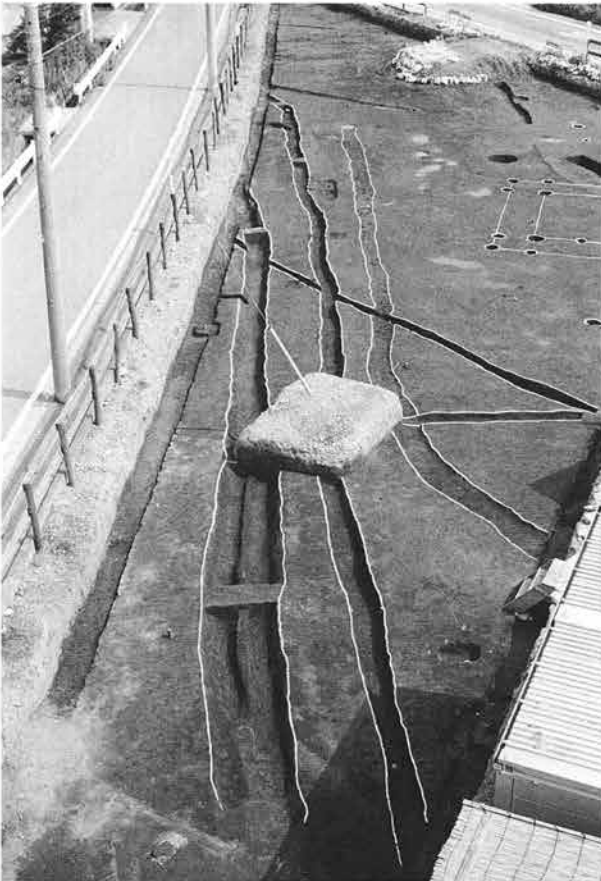
1 A2区北隅の溝群断面（南から）



2 B1区3・2号溝（西から）



3 5・4・3号溝（南西から）



4 12・7・14・13号溝（北から）



5 12号溝断面（南から）



6 15号溝断面（東から）



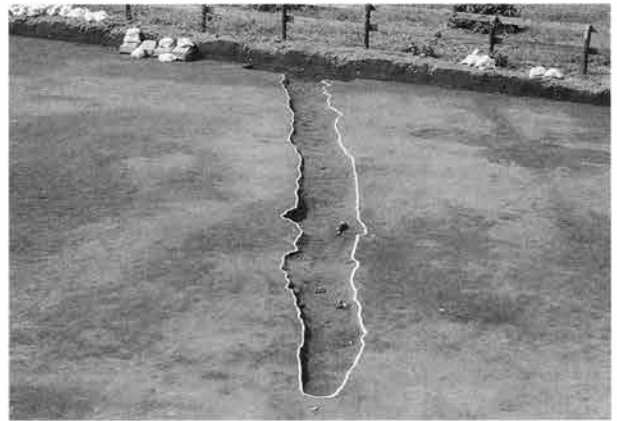
1 B1区11・16号溝 (南東から)



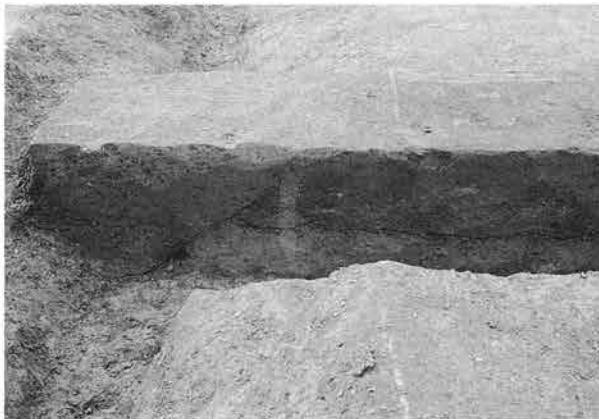
2 24号溝 (南から)



3 C区1号溝 (西から)



4 2号溝 (東から)



5 4・6号溝断面 (東から)



6 5・5'号溝断面 (東から)



1 11号溝 (南東から)



2 14号溝断面 (西から)



3 16・15号溝 (南から)



4 17号溝 (西から)



5 19・36号溝 (南から)



6 34・35号溝断面 (南から)



7 34・35号溝 (北西から)

PL-36 その他の溝 8 C区・取付道D区の溝



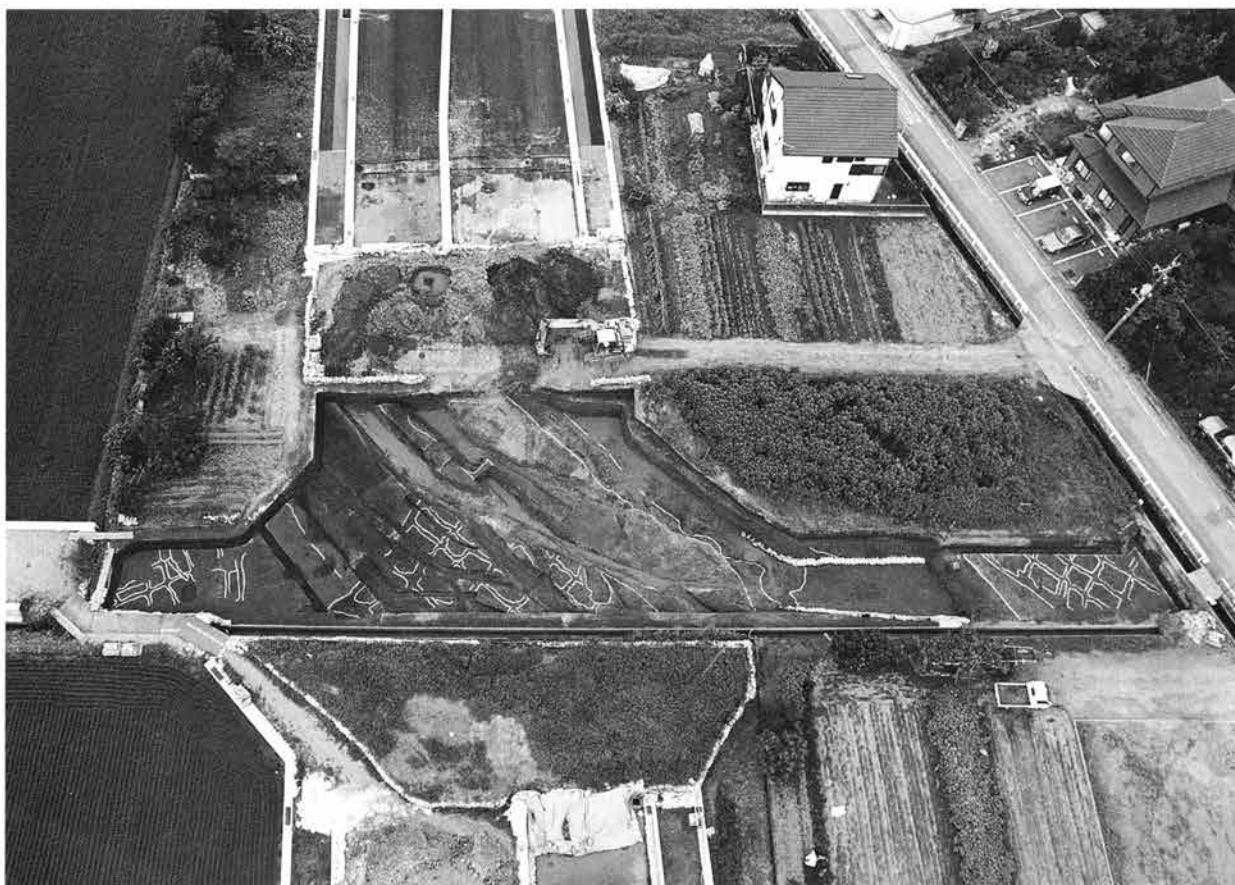
1 C区33号溝 (東から)



3 大溝 (南東から)



2 38号溝断面 (東から)



4 C区・取付道D区の泥流下溝群 (北上空から)





1 1～3号溝 (西から)



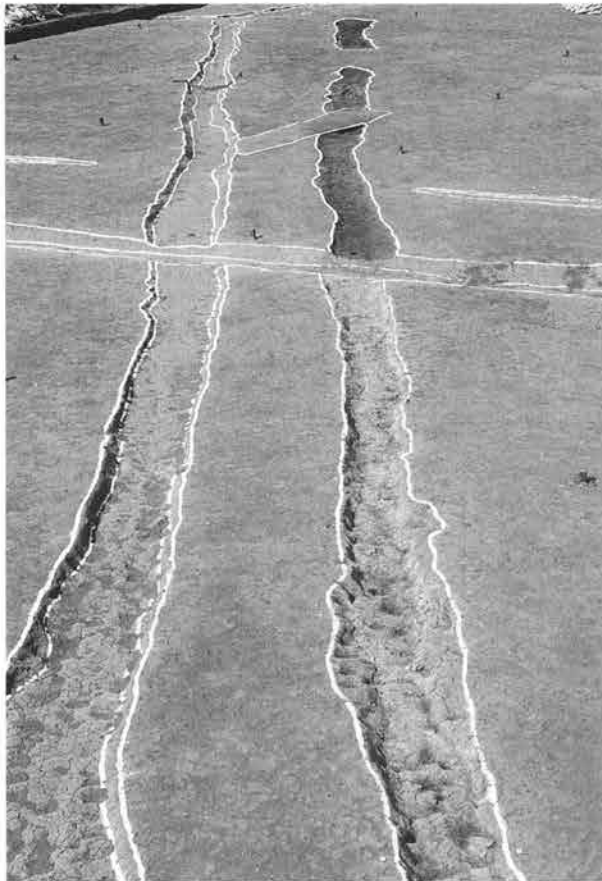
2 4号溝断面 (東から)



3 5号溝 (南から)



4 7・8号溝 (西から)



5 14・19号溝 (南から)



6 24・11・20・12・12B・13号溝 (北東から)

PL-38 その他の溝10 D区・E区の溝



1 D区29・30・28・27号溝（南上空から）



2 31号溝



3 32・33号溝（東から）



4 34・35号溝（南から）



5 E区54～57号溝（東から）



1 取付道A区2～5号溝（北西から）



2 7・9・10・14号溝（北西から）



3 11～13号溝（西から）



4 23号溝断面（東から）



5 取付道B区1号溝（南から）



6 2号溝断面（南から）



7 取付道C区1号溝（西から）



8 2号溝（西から）

PL-40 その他の溝11 取付道C・E区の溝



1 取付道C区3・5・6号溝 (南から)



2 4号溝 (東から)



3 取付道E区3・10・12号溝 (南から)



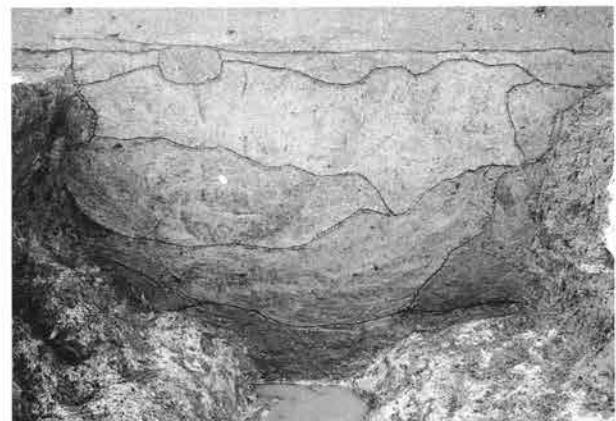
4 4号溝 (南から)



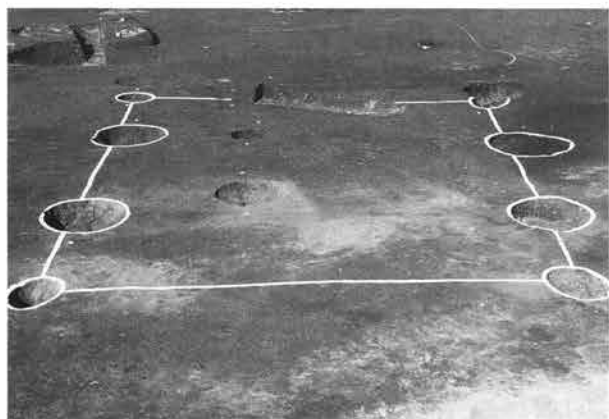
5 7号溝断面 (北から)



6 6号溝 (北から)



7 17号溝断面 (南から)



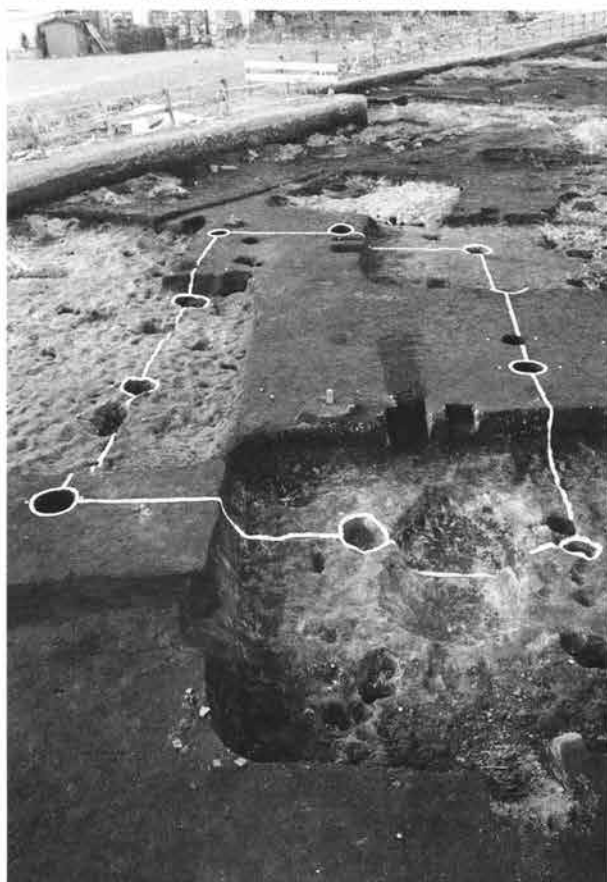
1 A1区1号掘立柱建物（南から）



2 A1区3号掘立柱建物（南から）



3 A1区1号柱列（南東から）



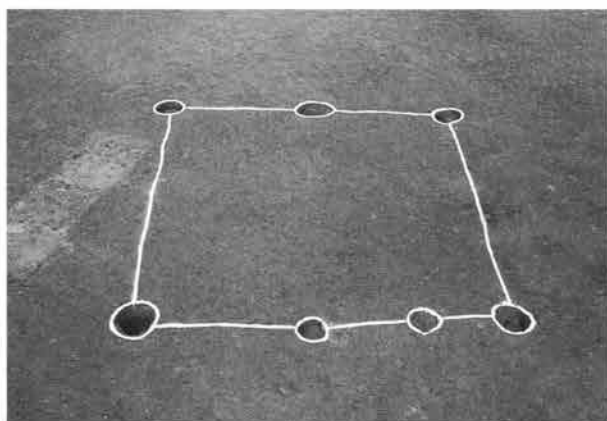
5 A2区1号掘立柱建物（南から）



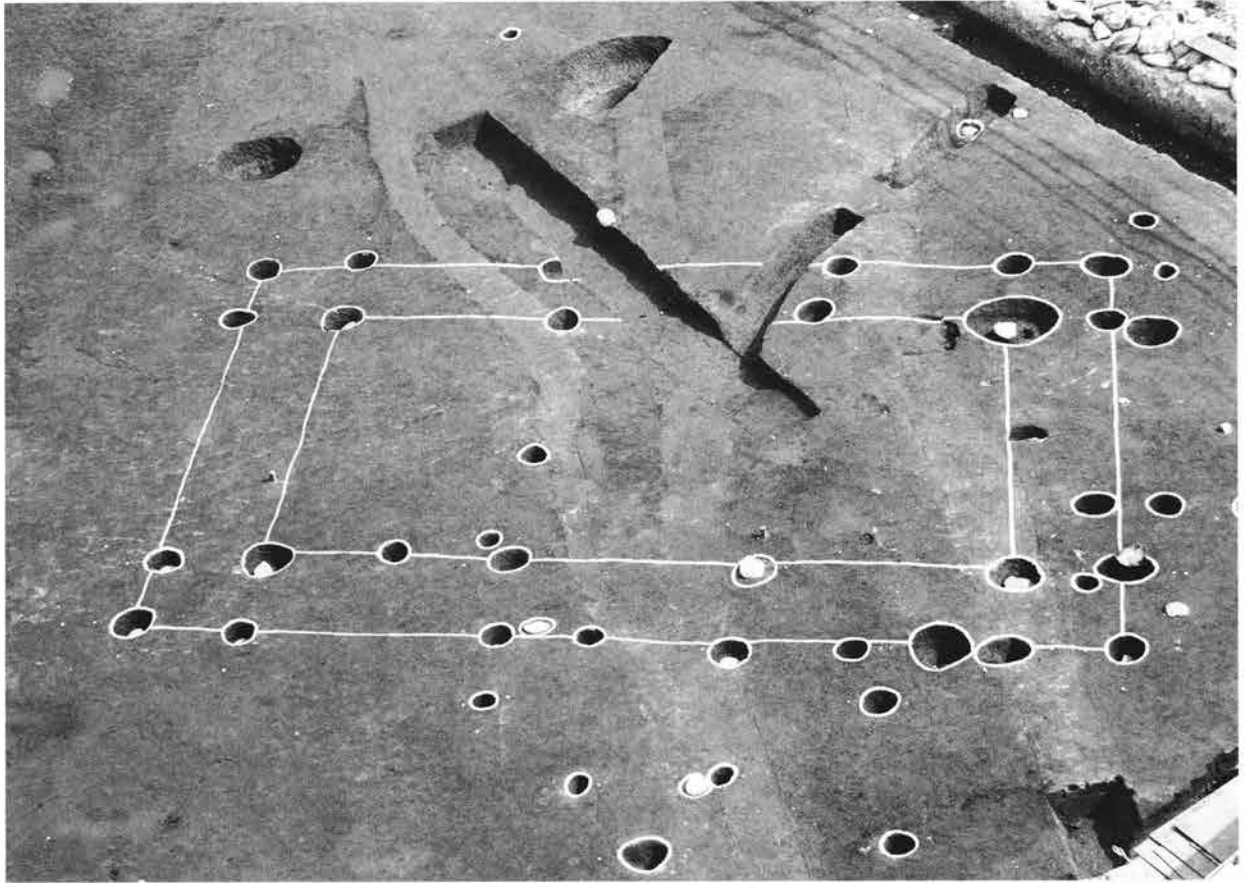
4 A1区875-795グリッド付近（西から）



6 C区1号掘立柱建物（東から）



7 C区2号掘立柱建物（南から）



1 B区1号掘立柱建物（北から）



2 P 4断面（南から）



3 P 5（南から）



4 P 6断面（南から）



5 P 9断面（南から）



6 P 14断面（南から）



7 P 15断面（南から）



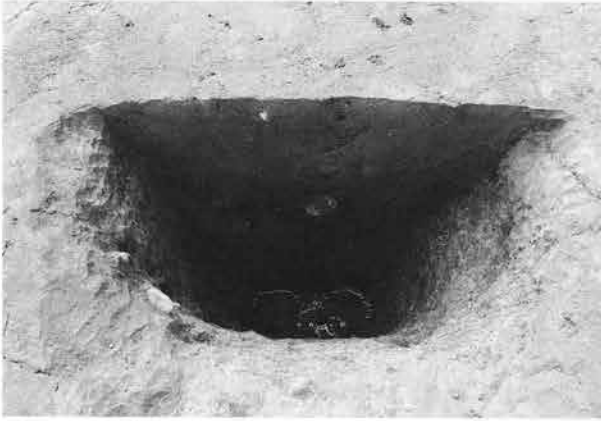
8 P 17（南から）



9 P 18（南から）



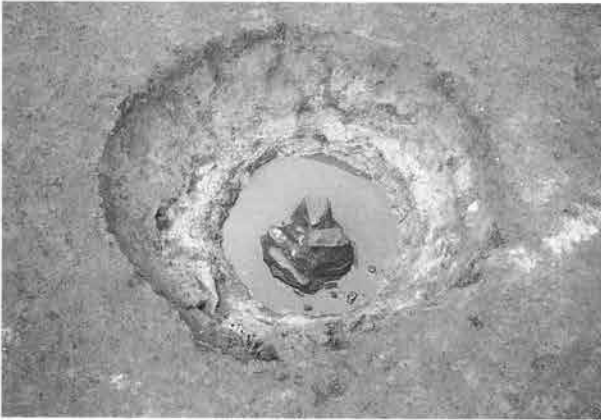
10 P 22（南から）



1 A1区1号井戸断面（南東から）



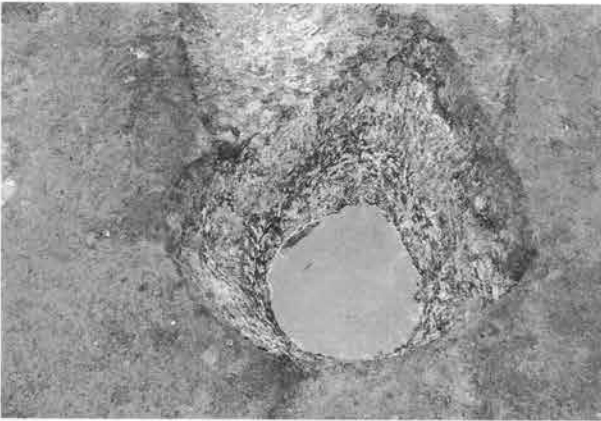
2 2号井戸断面（東から）



3 2号井戸（北から）



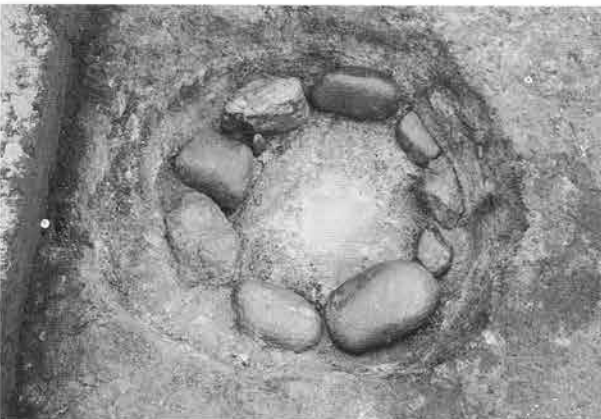
4 3号井戸礫出土状態（東から）



5 3号井戸（北から）



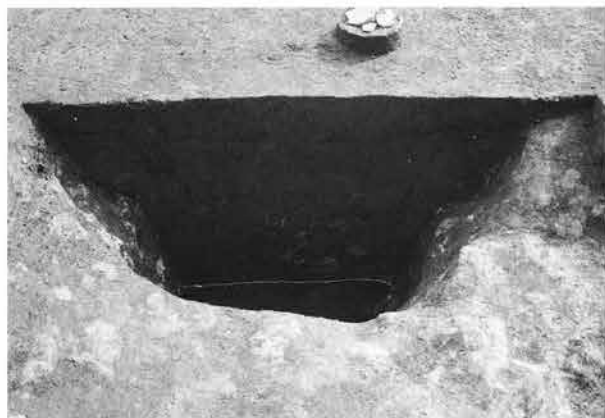
6 4号井戸上層礫出土状態（北から）



7 4号井戸下層石組み状態（北から）



8 4号井戸底面（北から）



1 A1区5号井戸断面（北から）



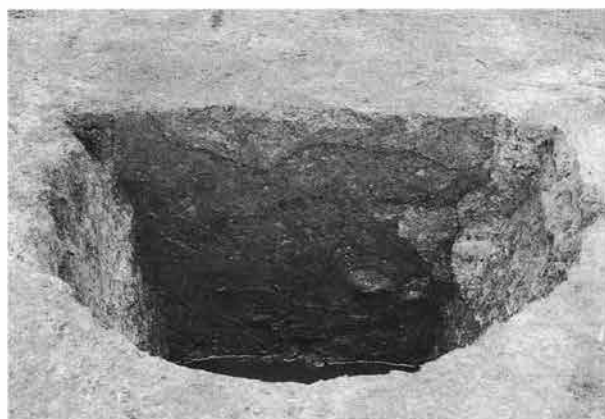
2 5号井戸（東から）



3 6号井戸（北から）



4 6号井戸礫出土状態（北から）



5 7号井戸断面（南西から）



6 7号井戸（北から）



7 A2区1号井戸下層断面（南西から）



8 1号井戸（南から）





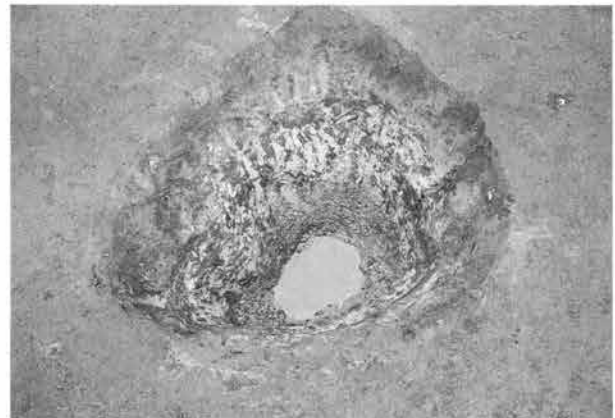
1 A2区2号井戸磔出土状態（西から）



2 2号井戸（西から）



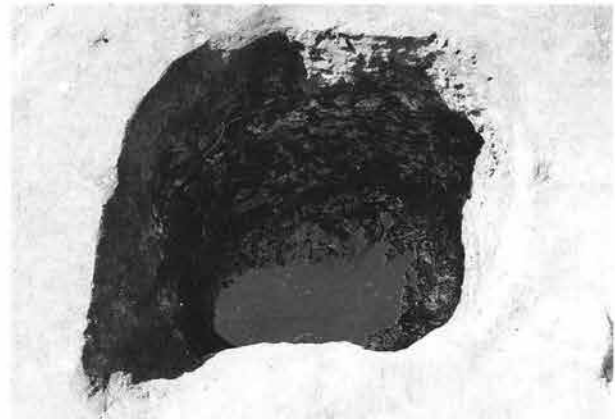
3 8号井戸遺物出土状態（東から）



4 4号井戸（南から）



5 5号井戸遺物出土状態（東から）



6 5号井戸（東から）



7 6号井戸（西から）



8 7号井戸（北から）

PL-46 井戸4・粘土採掘坑



1 B区1号井戸（西から）



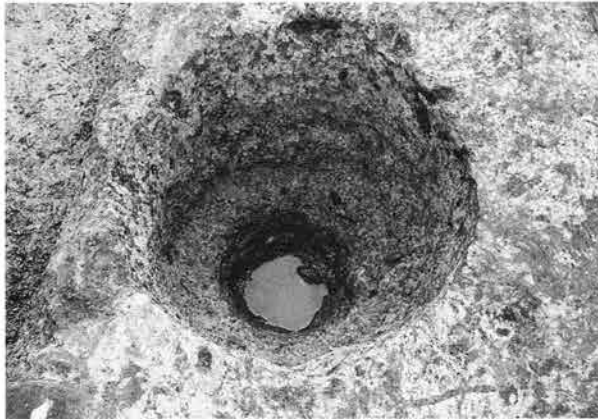
2 2号井戸



3 3号井戸（南から）



4 4号井戸断面



5 取付道E区1号井戸（北東から）



6 1号井戸上面礫出土状態（北東から）



7 A1区粘土採掘坑（西から）



8 粘土採掘坑断面（南西から）



1 1号土坑



2 2号土坑



3 3号土坑



4 4号土坑



5 5号土坑



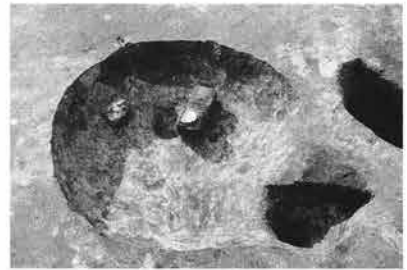
6 6号土坑



7 8・7号土坑



8 9号土坑



9 10号土坑



10 11号土坑



11 12号土坑



12 13号土坑断面



13 14号土坑



14 15号土坑断面



15 16号土坑



16 17号土坑断面



17 18号土坑



18 19・20号土坑

PL-48 土坑2 A1区の土坑



1 21号土坑



2 22号土坑



3 23号土坑



4 24号土坑



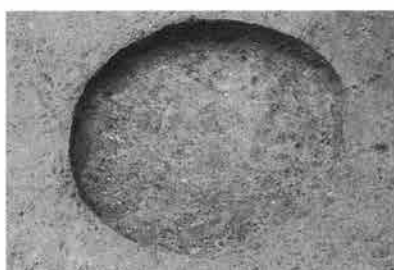
5 24・25・26号土坑



6 27号土坑



7 28号土坑断面



8 29号土坑



9 30号土坑



10 31号土坑



11 32号土坑



12 33号土坑



13 31・32・33号土坑



14 34号土坑



15 35号土坑



16 36号土坑断面



17 37号土坑断面



18 38号土坑



1 39号土坑断面



2 40号土坑



3 41号土坑



4 42号土坑



5 43号土坑



6 44号土坑



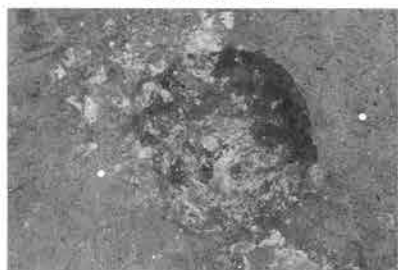
7 45号土坑断面



8 46号土坑断面



9 50号土坑



10 51号土坑



11 52号土坑



12 53号土坑



13 54号土坑



14 55号土坑



15 56・57・58号土坑



16 59号土坑



17 60号土坑

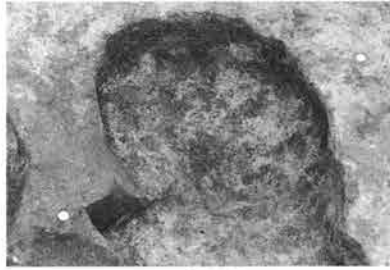


18 61号土坑

PL-50 土坑4 A1区の土坑



1 62号土坑断面



2 63号土坑



3 64・65号土坑



4 66・67号土坑



5 68号土坑



6 69号土坑



7 71号土坑断面



8 72号土坑断面



9 73号土坑断面



10 74号土坑



11 75号土坑



12 76号土坑



13 77号土坑



14 78号土坑



15 79号土坑



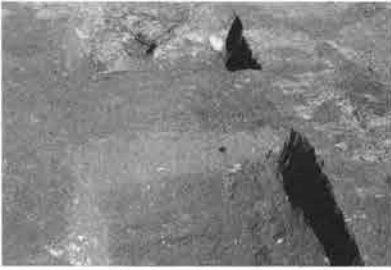
16 80号土坑



17 81号土坑



18 83・84号土坑



1 85号土坑断面



2 86号土坑



3 87号土坑断面



4 88号土坑



5 89号土坑断面



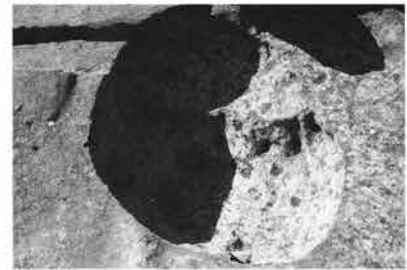
6 90号土坑



7 92号土坑



8 93号土坑



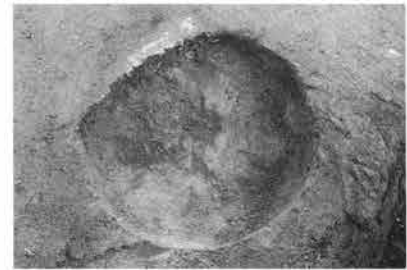
9 94号土坑



10 95号土坑



11 96号土坑



12 97号土坑



13 98号土坑



14 99・100号土坑断面



15 99・100号土坑



16 101号土坑



17 102号土坑断面



18 103号土坑断面

PL-52 土坑6 A1区の土坑



1 104号土坑断面



2 105号土坑断面



3 106号土坑



4 107号土坑



5 108号土坑断面



6 109号土坑



7 110号土坑 (墓坑)



8 112号土坑断面



9 113号土坑断面



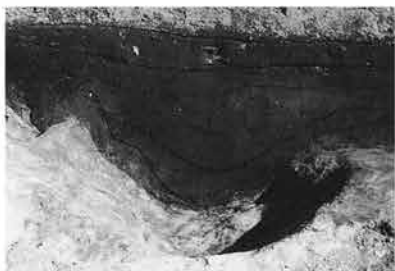
10 115号土坑



11 116号土坑



12 117号土坑



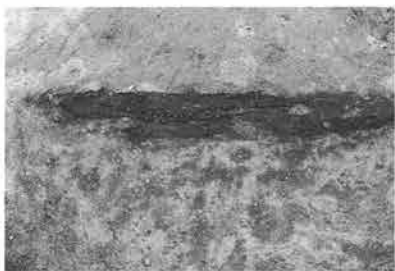
13 118号土坑断面



14 119号土坑断面



15 121号土坑断面



16 122号土坑断面

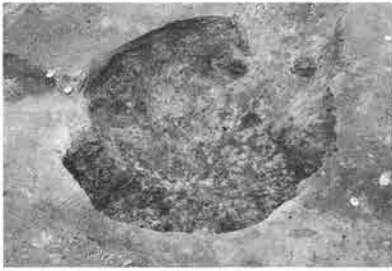


17 122・123号土坑



18 125号土坑断面





1 127号土坑



2 128号土坑



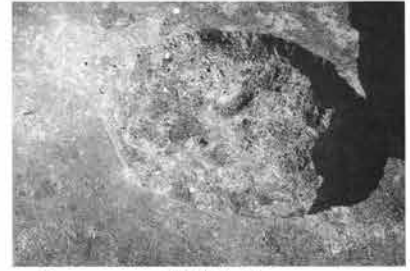
3 129号土坑



4 130号土坑断面



5 131号土坑



6 132号土坑



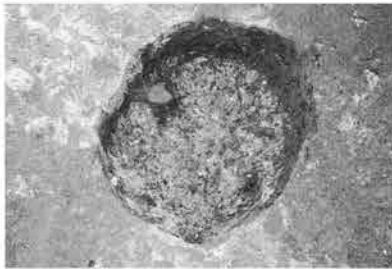
7 133号土坑



8 134号土坑



9 135号土坑



10 136号土坑



11 137号土坑



12 138号土坑



13 139号土坑



14 140号土坑



15 141号土坑



16 143号土坑断面



17 144号土坑



18 145号土坑断面

PL-54 土坑8 A1区・A2区の土坑



1 A1区146号土坑断面



2 147号土坑



3 148号土坑断面



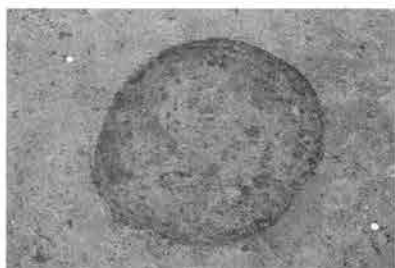
4 149号土坑断面



5 150号土坑断面



6 152号土坑



7 A2区1号土坑



8 2号土坑



9 3号土坑



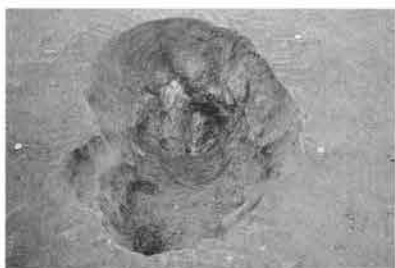
10 5号土坑



11 6号土坑断面



12 7号土坑



13 8号土坑



14 9号土坑



15 10号土坑



16 11号土坑



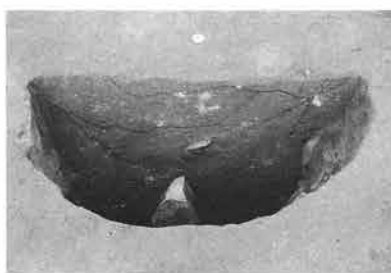
17 12号土坑



18 13号土坑・3号ピット断面



1 14号土坑



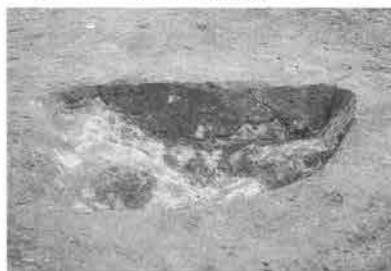
2 15号土坑断面



3 16号土坑



4 17号土坑断面



5 18号土坑断面



6 19号土坑断面



7 19号土坑



8 20号土坑断面



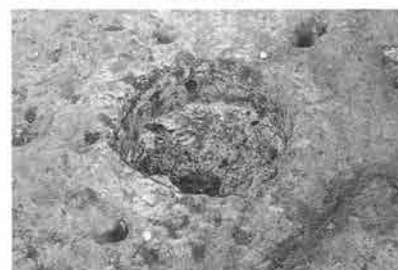
9 21号土坑



10 22号土坑



11 23号土坑



12 24号土坑



13 25号土坑断面



14 26号土坑



15 27号土坑



16 28・29号土坑



17 29号土坑



18 30号土坑断面

PL-56 土坑10 A2区の土坑



1 31号土坑断面



2 32号土坑



3 33・35号土坑



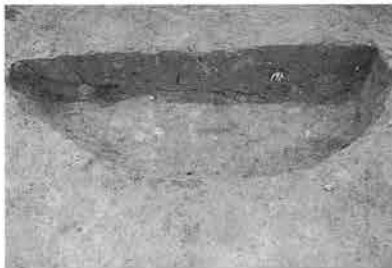
4 34号土坑



5 36号土坑



6 37号土坑



7 38号土坑断面



8 41・40号土坑



9 42号土坑



10 43号土坑断面



11 44号土坑



12 45号土坑



13 46号土坑断面



14 47号土坑



15 48号土坑



16 49号土坑



17 50号土坑



18 51号土坑断面



1 A2区52号土坑断面



2 53号土坑



3 54号土坑



4 B区1号土坑



5 3号土坑



6 4号土坑断面



7 5号土坑



8 7号土坑断面



9 8号土坑断面



10 C区15号土坑



11 20号土坑



12 21号土坑



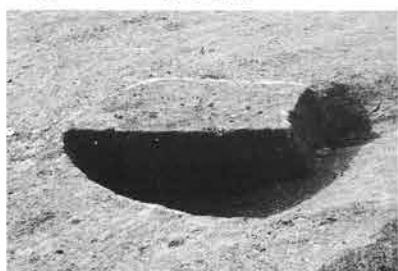
13 22号土坑



14 29号土坑断面



15 39号土坑断面



16 40号土坑断面



17 42号土坑

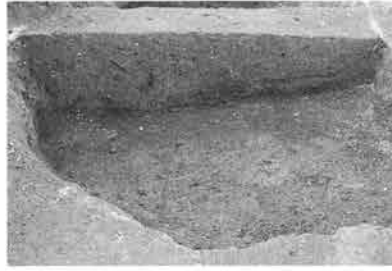


18 44号土坑

PL-58 土坑12 C区・E区・取付道の土坑



1 C区46号土坑断面



2 47号土坑断面



3 49号土坑



4 50号土坑



5 58号土坑断面



6 64号土坑



7 E区67号土坑



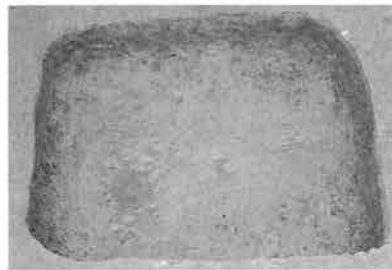
8 69号土坑



9 70号土坑



10 71号土坑



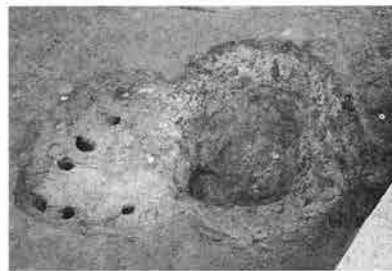
11 74号土坑



12 75・76・77号土坑



13 取付道C区1号土坑



14 6・7号土坑



15 8号土坑断面



16 取付道E区1号土坑断面



17 2号土坑



18 5号土坑



1 D区北側のAs-B下水田（上方が東）



2 D区As-B下水田（北側上空から）

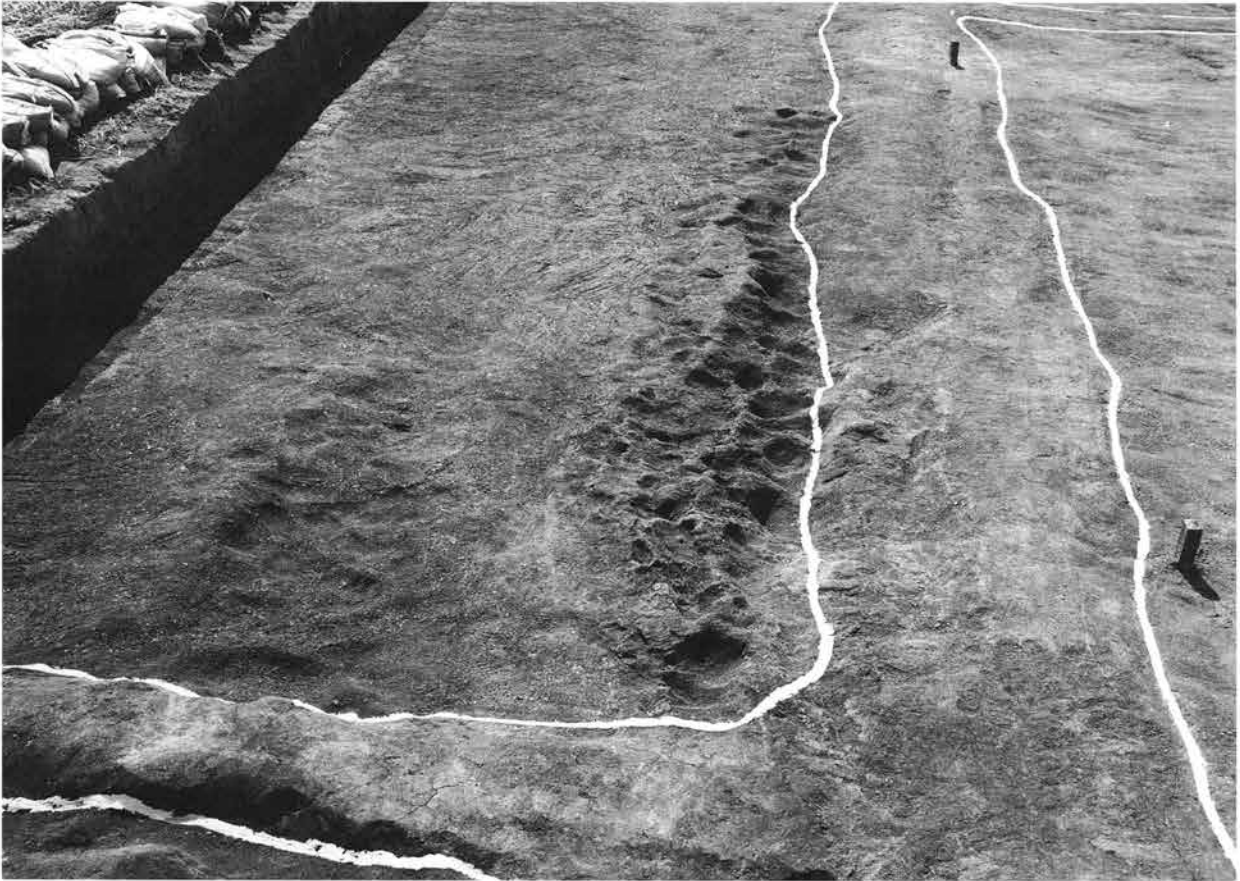


1 D区As-B下水田 (南側上空から)



2 E区As-B下水田 (北側上空から)





1 東隅の畦と田面 (北から)



2 第7区画足跡列 (西から)



3 畦沿いの足跡列 (西から)



4 9号畦と水口 (北から)



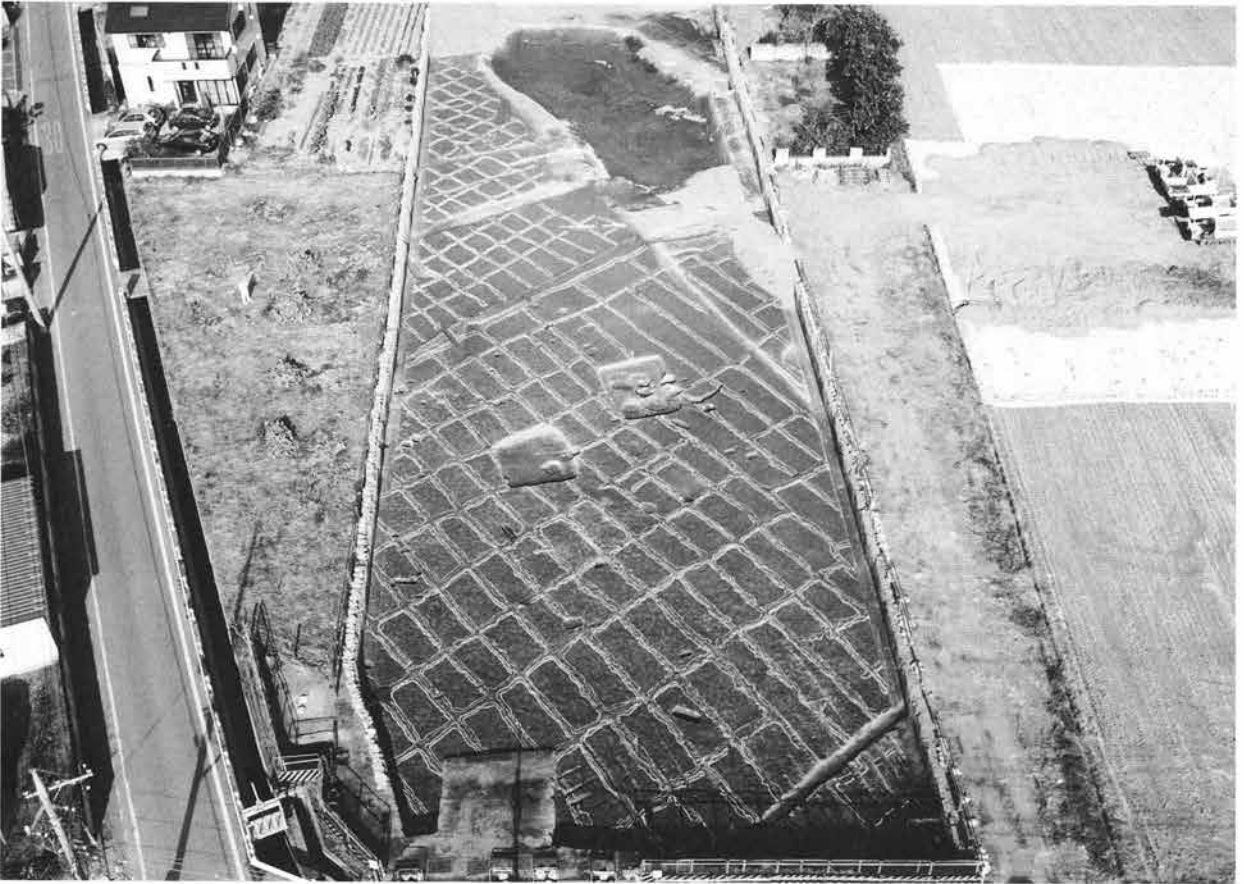
5 足跡確認状態



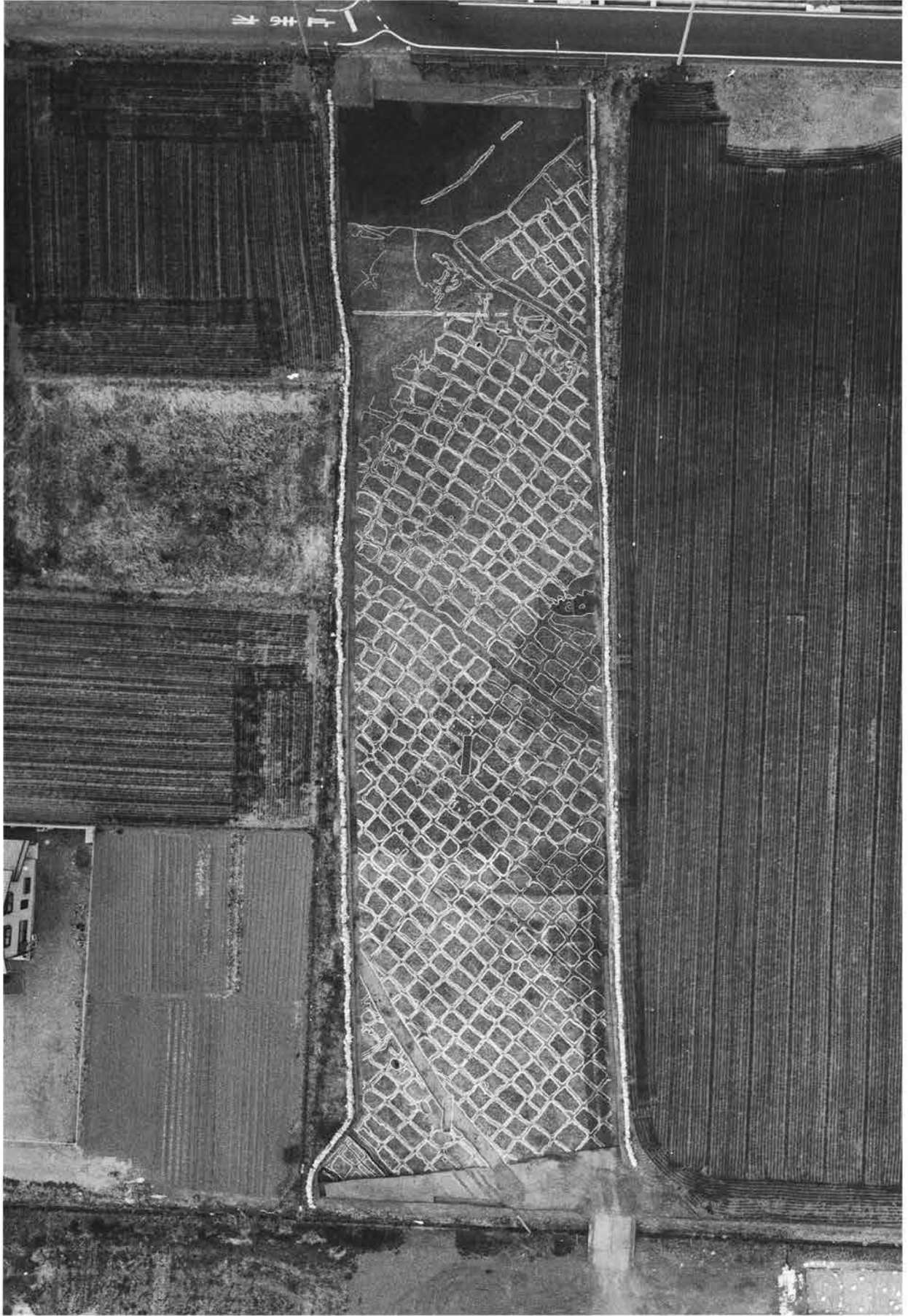
1 C区Hr-F A下水田 (上方が北)



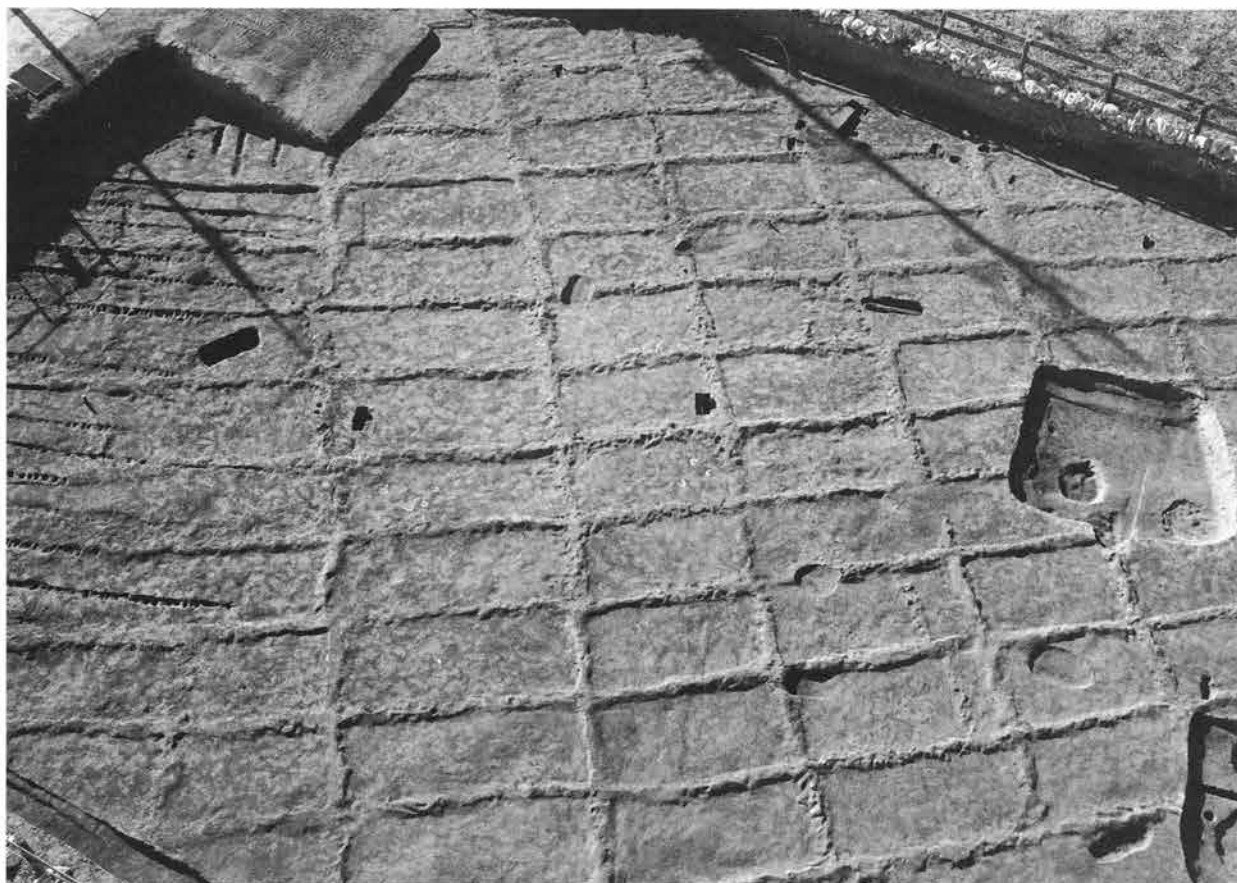
1 C区Hr-FA下水田遠景(南から)



2 C区Hr-FA下水田全景(南から)



1 D区Hr-FA下水田 (上方が北)



1 C区南侧Hr-FA下水田 (東から)



2 C区北側Hr-FA下水田 (東から)



1 D区Hr-F A下水田作業風景（南から）



2 D区Hr-F A下水田と北隅微高地（北から）



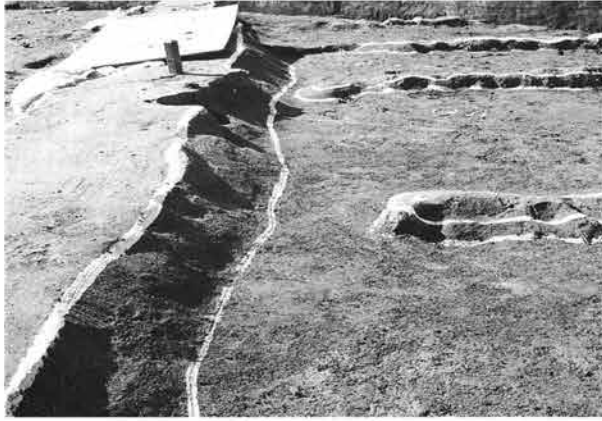
1 D区Hr-FA下水田全景 (南から)



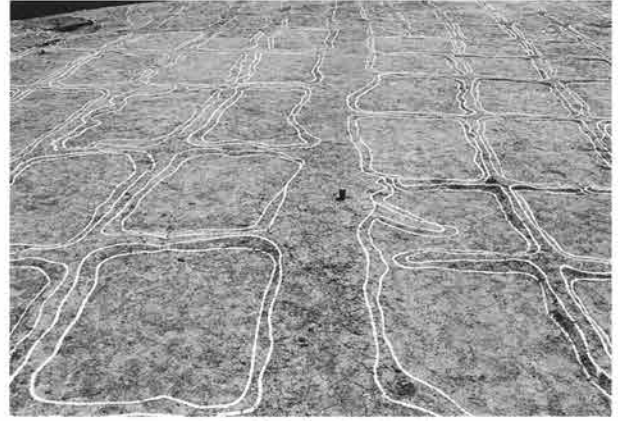
2 D区Hr-FA下水田全景 (北から)



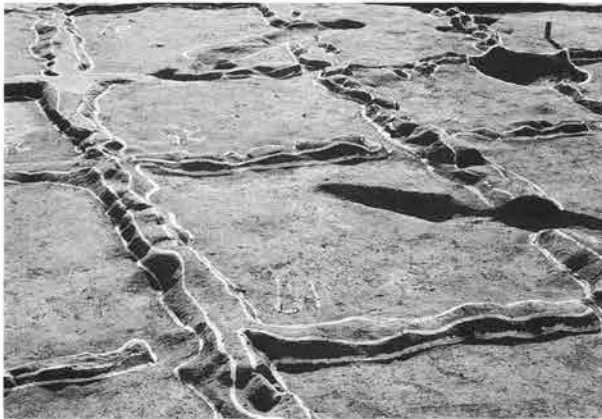
3 D区Hr-FA下水田 降雨後の水没状況 (南から)



1 C区1号畦と水口（東から）



2 D区2号大畦（北西から）



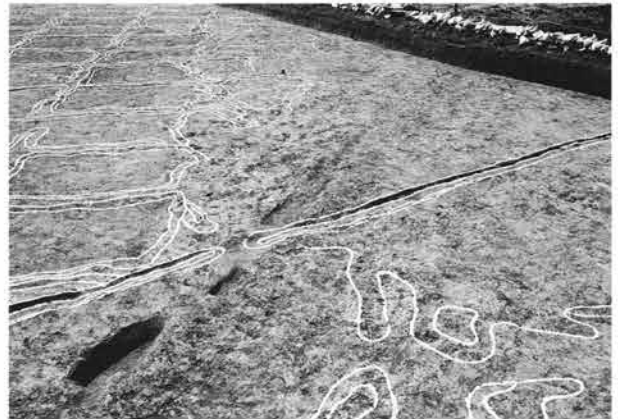
3 C区畦区画（北から）



4 D区畦区画（北西から）



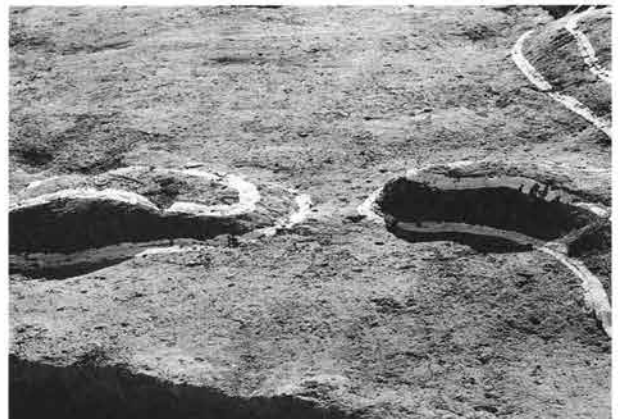
5 C区畦区画と水口（北西から）



6 D区北西隅微高地と水田（北東から）

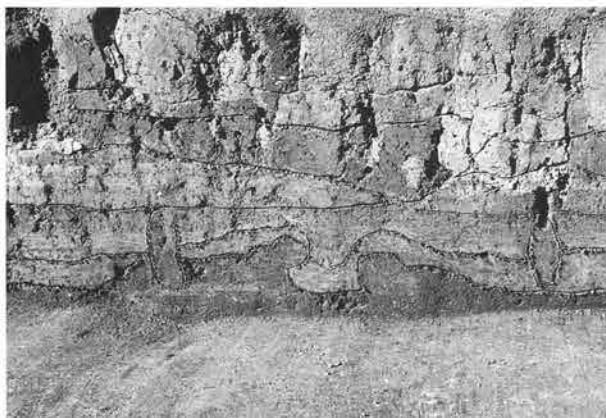


7 C区畦区画と水口（北西から）



8 C区水口（北西から）





1 C区140-770グリッド付近土層断面 (東から)



2 D区285-755グリッド付近畦断面



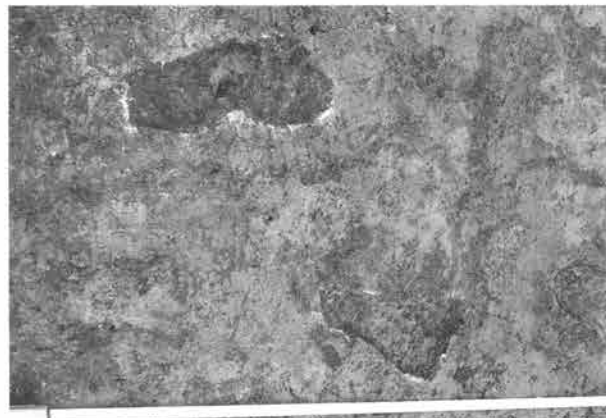
3 C区耕土断面



4 C区足跡確認状態



5 C区ヒト足跡確認状態



6 D区ヒト足跡



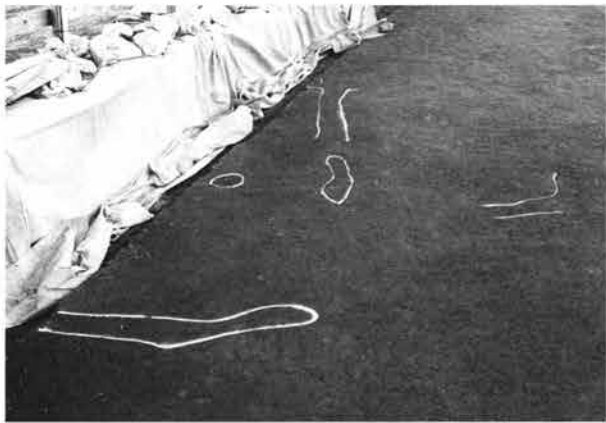
7 C区馬蹄跡確認状態



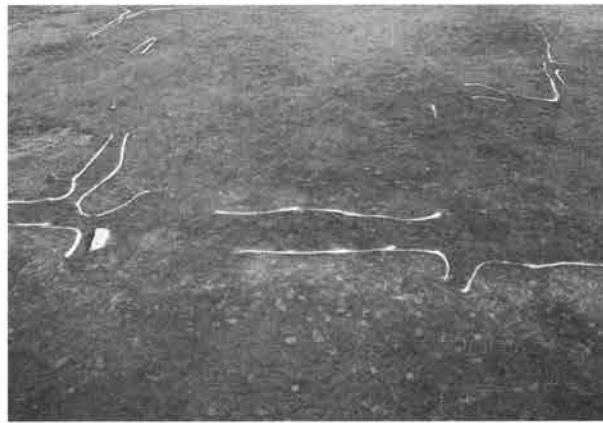
8 D区馬蹄跡



1 D区As-C混下水田全景(北から)



2 C区As-C混下水田(北から)



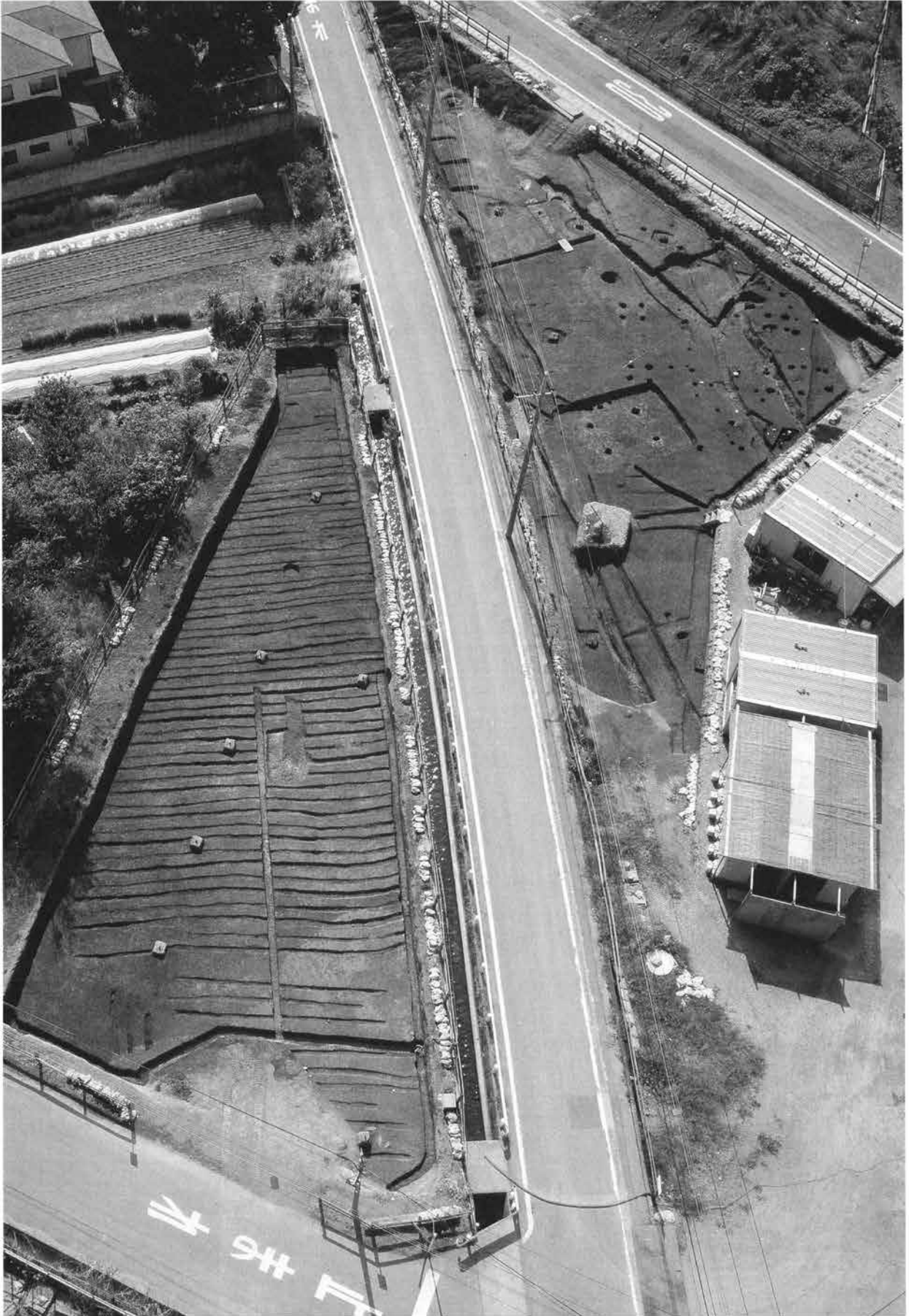
3 C区As-C混下水田(北から)



4 D区As-C混下水田とFA下水田(北西から)



5 D区As-C混下水田とFA下水田(南東から)



1 B2区泥流下耕作痕全景（北から）



1 C区泥流下畠全景 (上方が北)



1 C区南隅泥流下耕作痕（北から）



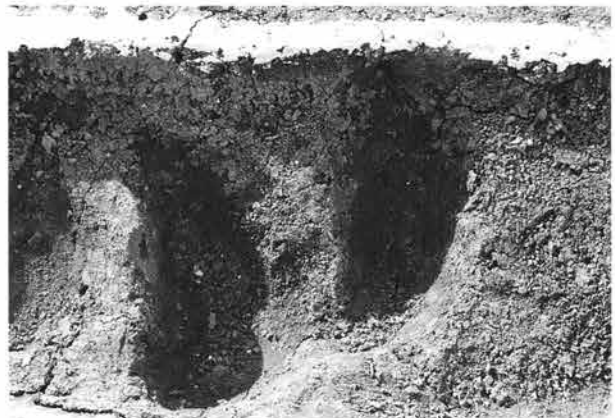
2 B2区泥流下耕作痕（東から）



3 C区耕作痕内の掘削工具痕



4 B2区東壁断面



5 C区耕作痕内の掘削工具痕



1 C区北側泥流下耕作痕（南から）



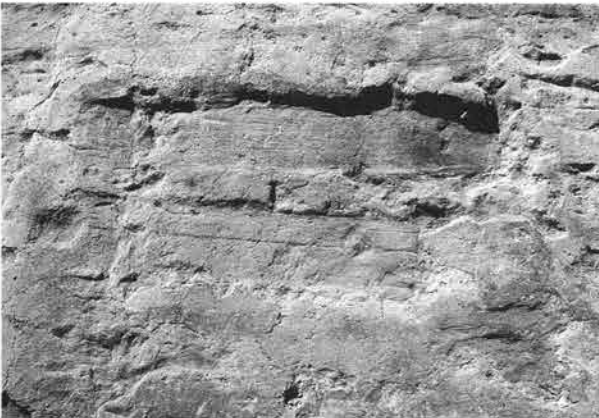
2 取付道A区泥流下耕作痕（北から）



1 取付道C区275-675グリッド付近 As-A復旧痕確認状態(東から)



2 同左 復旧痕



3 同上 復旧痕 鋤跡



4 取付道C区245-678グリッド付近 As-A復旧痕確認状態(南東から)



5 取付道C区As-B下水田(南から)



6 取付道C区As-B下水田 ヒト足跡



7 取付道B区Hr-F下水田(西から)



8 取付道A区Hr-F下水田(北から)



1 A区道跡側溝 (西から)



2 A区道跡側溝断面 (東から)



3 取付道F区道跡 (西から)



4 取付道F区道跡 (東から)





PL-78 A1区1~4・6・7号住居出土遺物



1住-1



3住-1



2住-1



5



3



4住-1



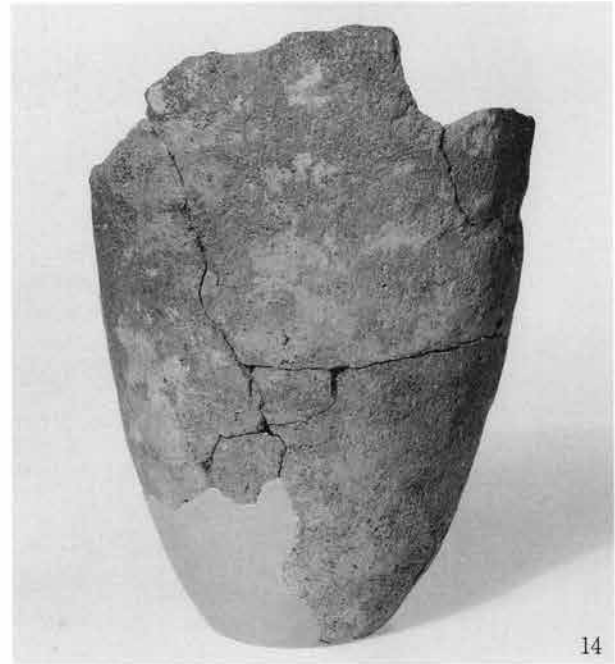
6住-3



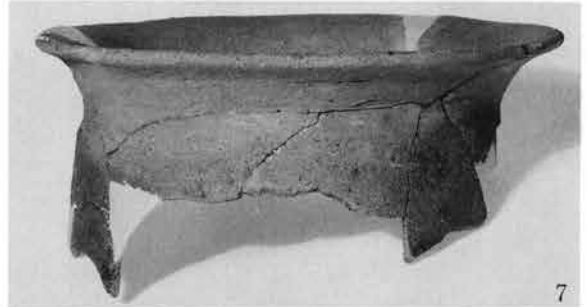
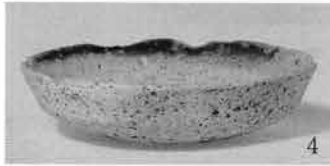
7住-16



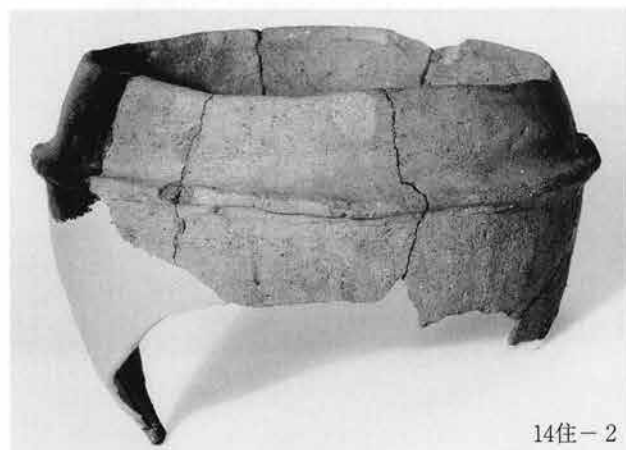
2

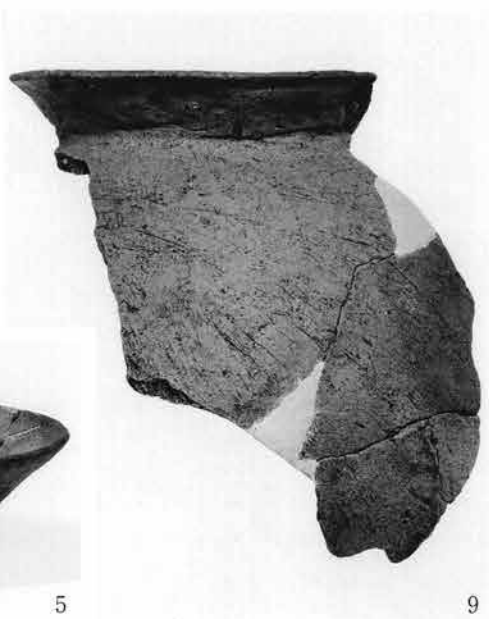
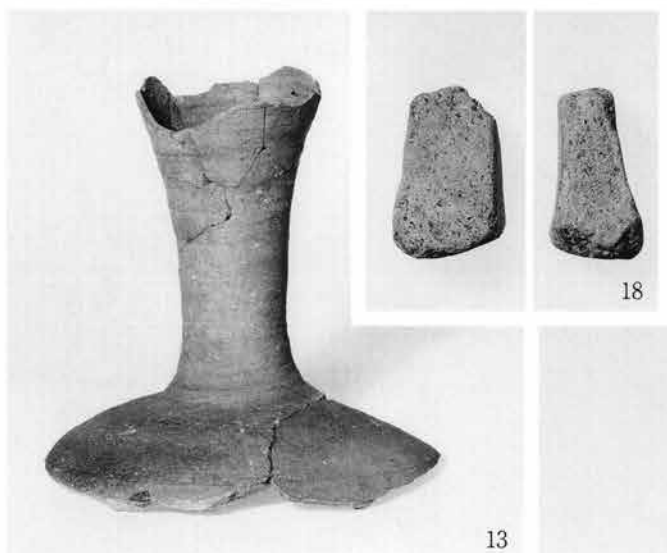
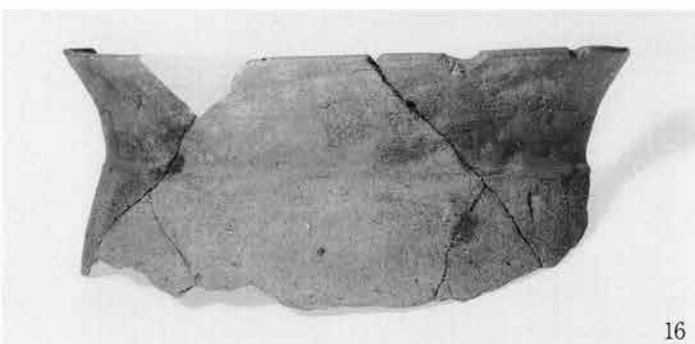


14

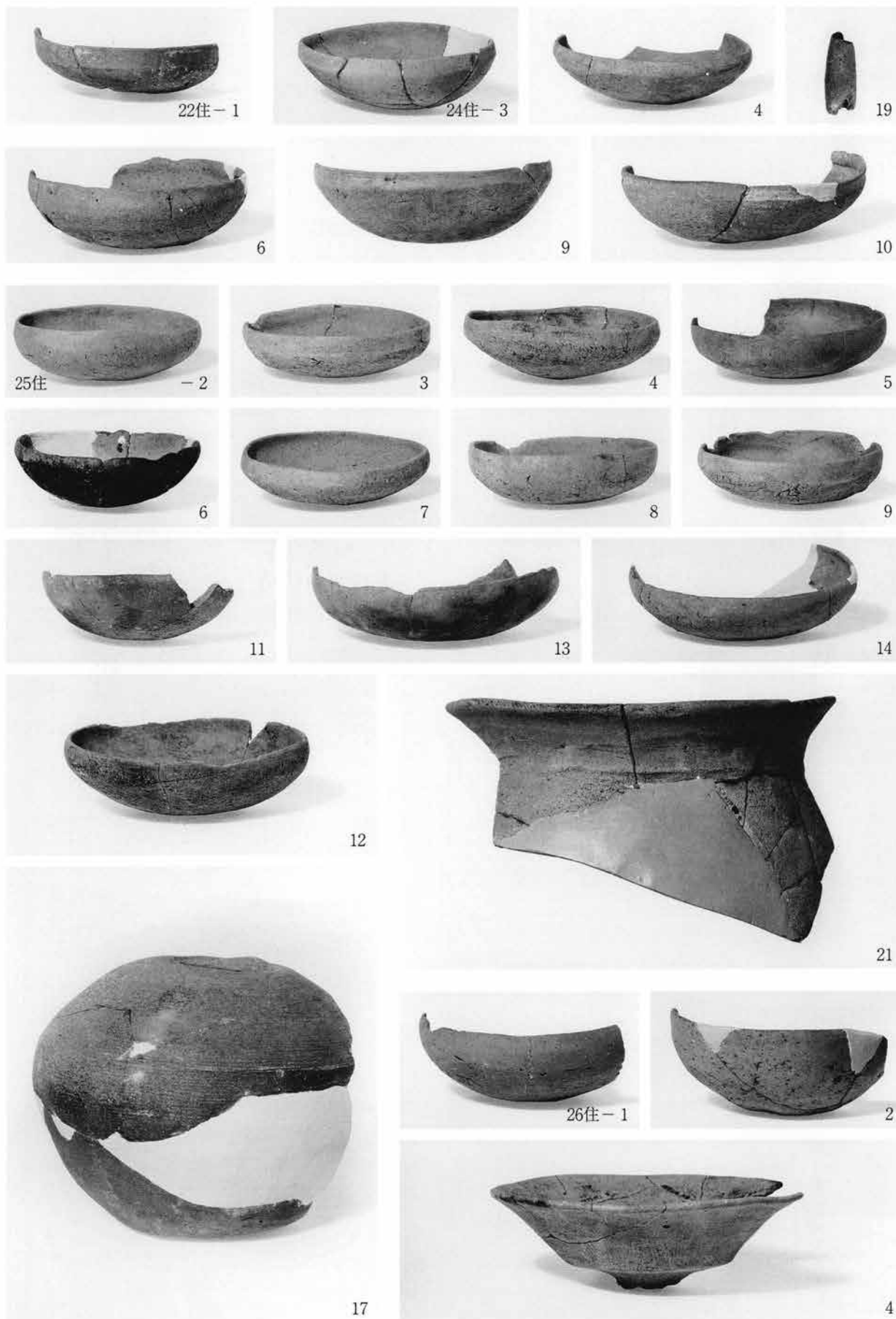


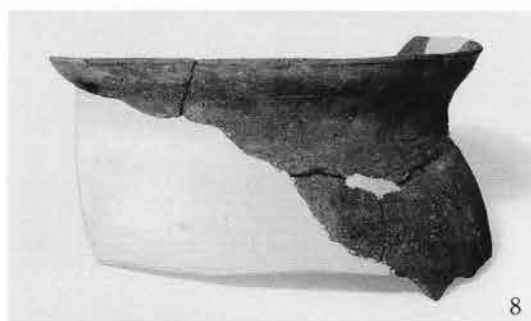
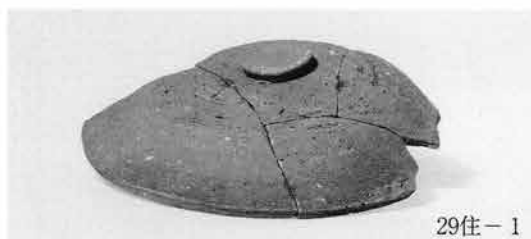
PL-80 A1区9・10・13~15・17号住居出土遺物

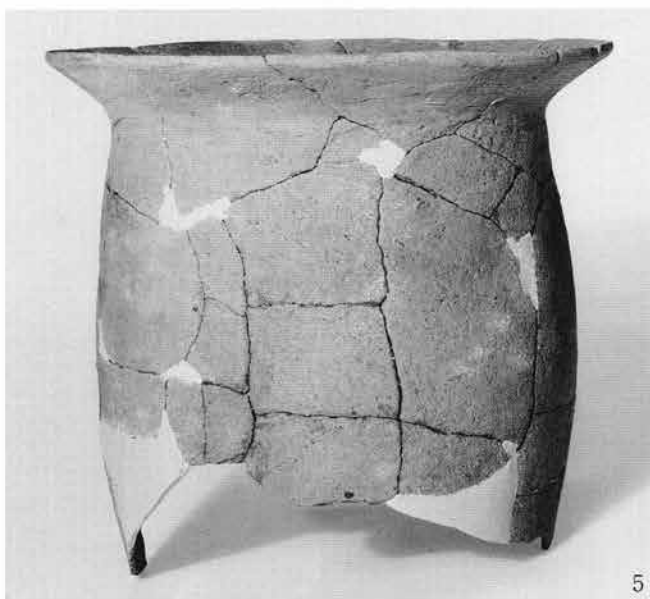




PL-82 A1区22・24~26号住居出土遺物

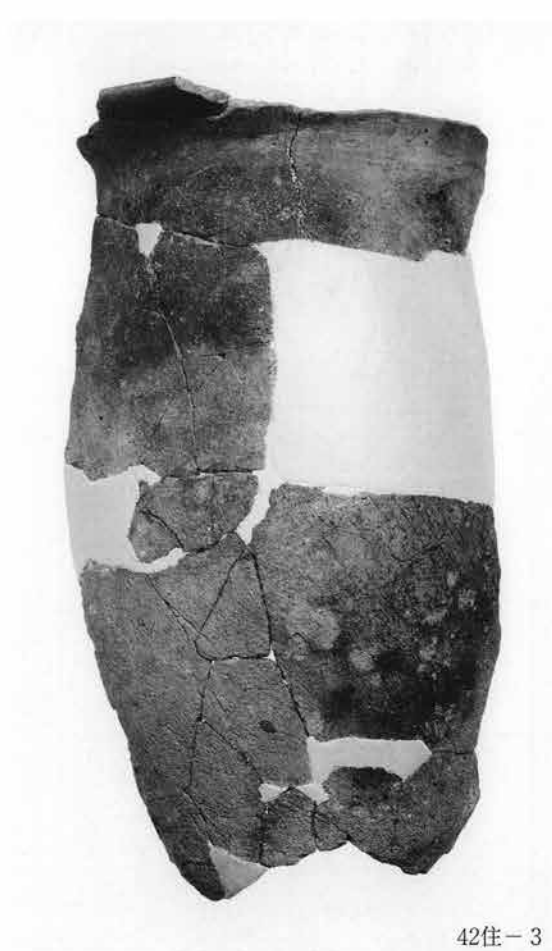






39住-4







1住-4



2住-2



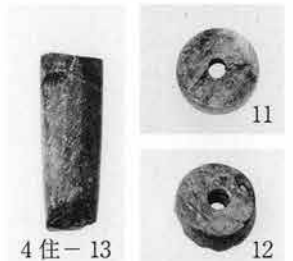
2



5



3住-1



4住-13

11

12



5



9



6





4



3



12

11



12住-1



9



3



6



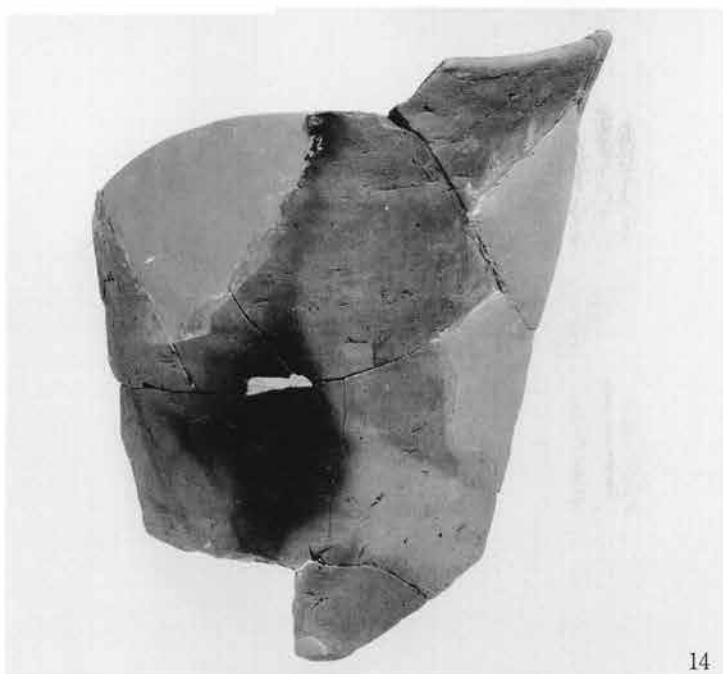
4



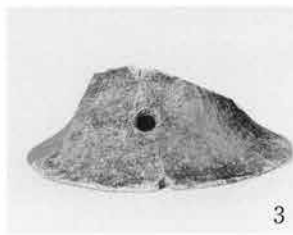
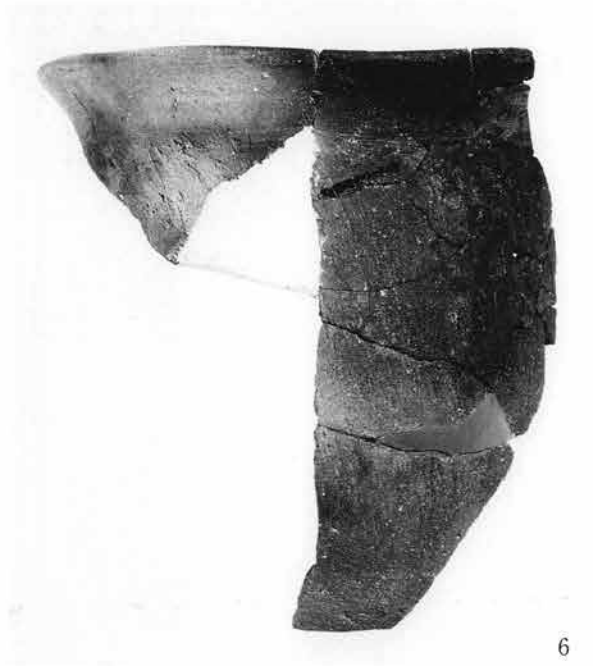
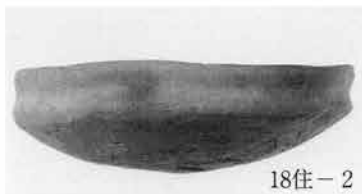
2



7



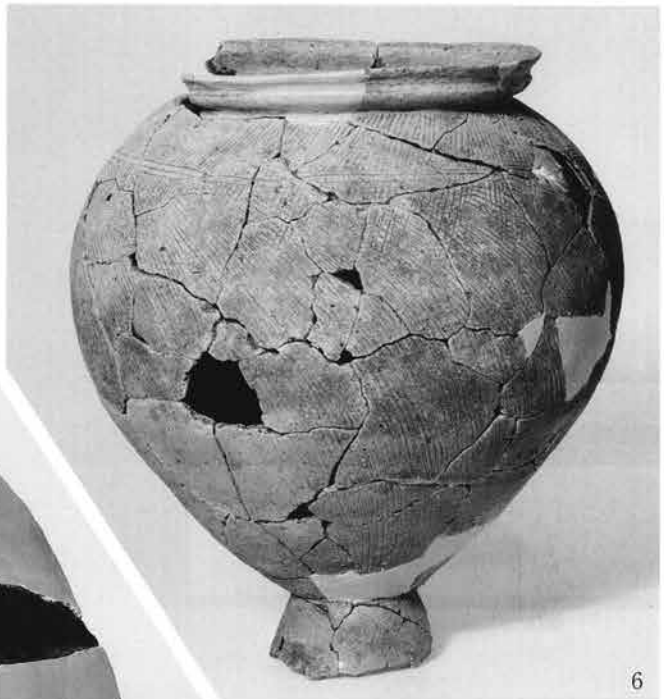
PL-90 A 2区18・19号住居出土遺物



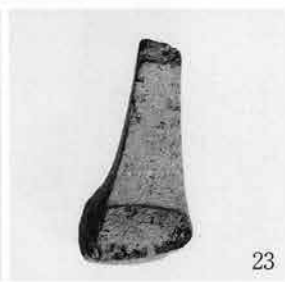
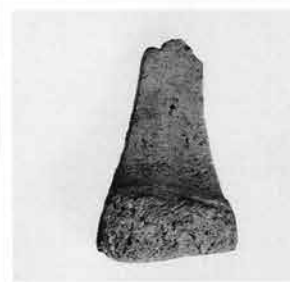








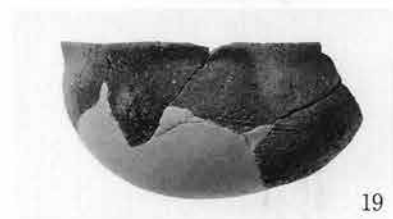
PL-94 C区・取付道F区住居出土遺物





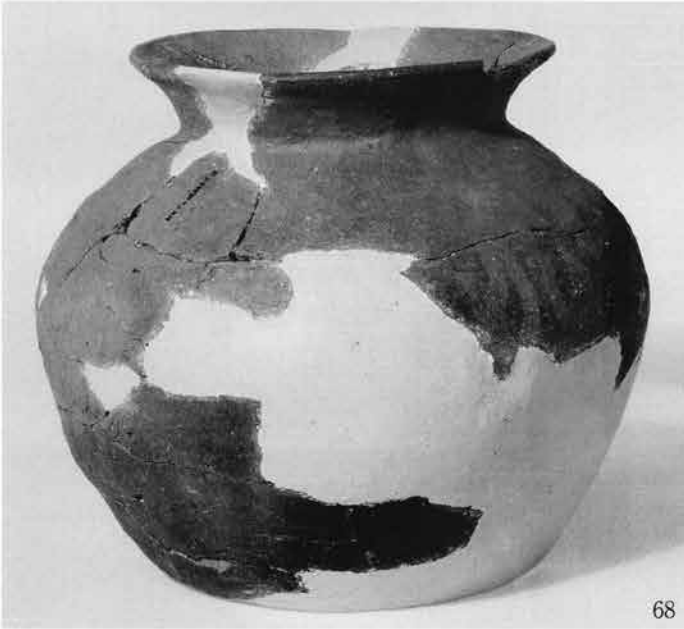
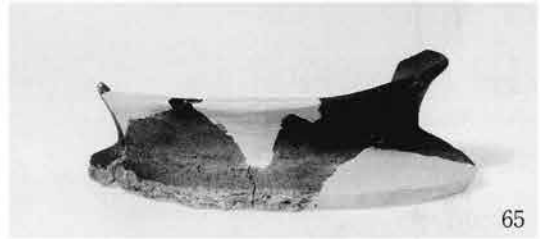
PL-96 A1区1号沟出土遗物(2)



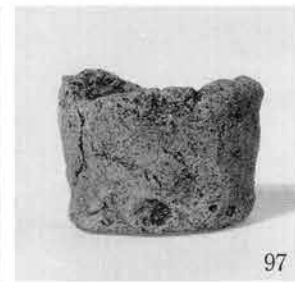


PL-98 A1区2号沟出土遗物(2)

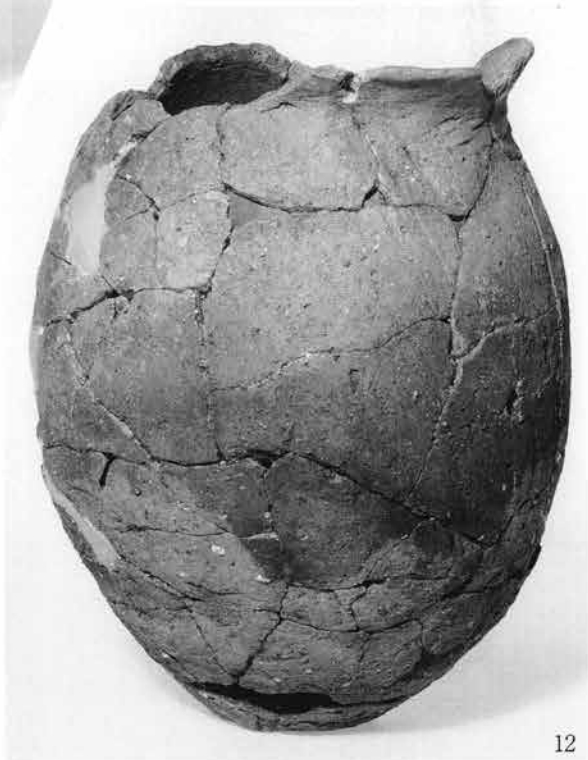


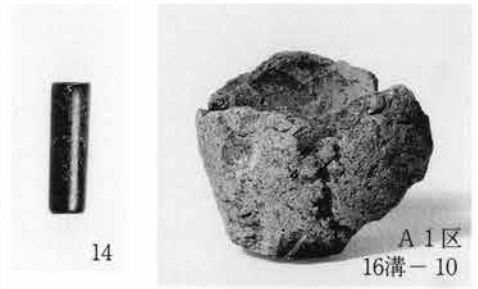
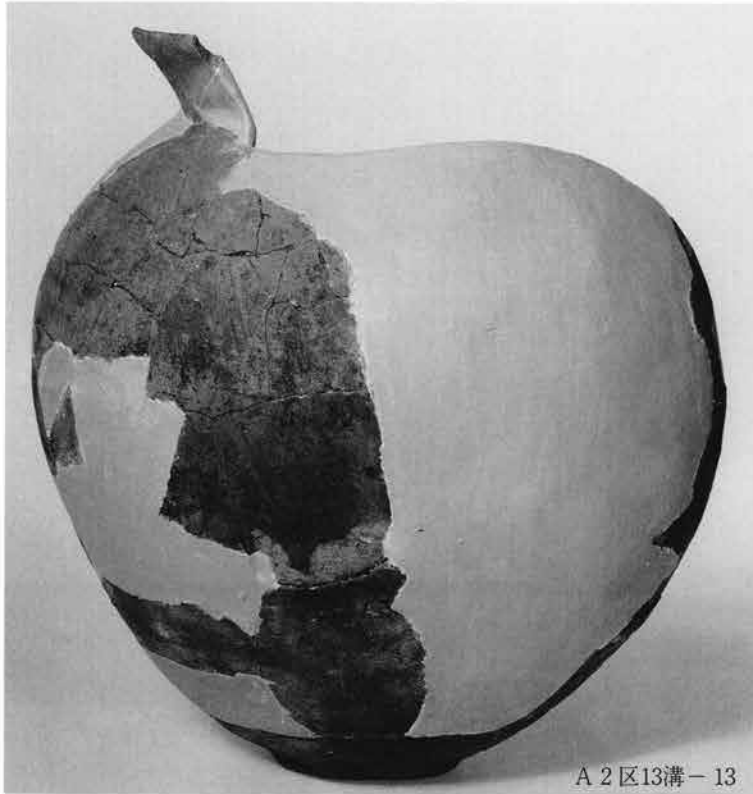


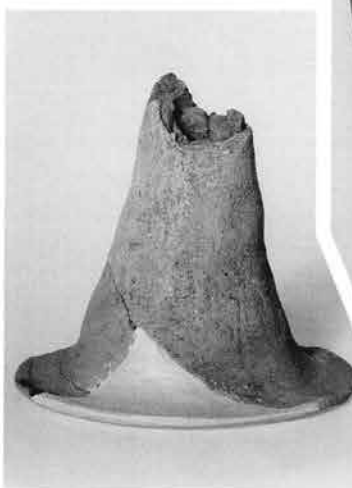
PL-100 A1区2号沟出土遗物(4)





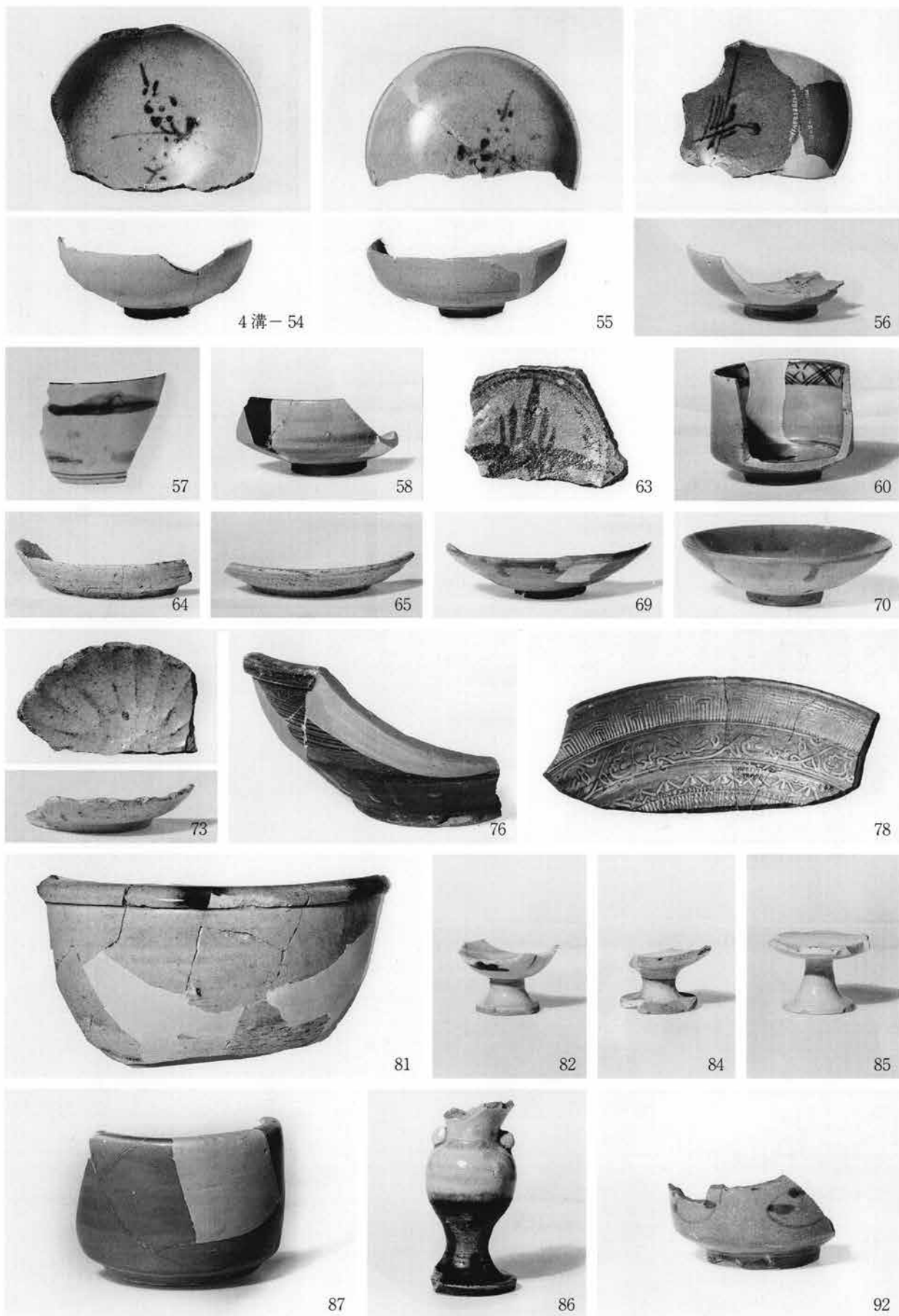






PL-104 A1区4号沟出土遺物(1)





PL-106 A1区4号沟出土遗物(3)



94



98



99



101



100



106



104



107



105



111



112



115



124



121



119



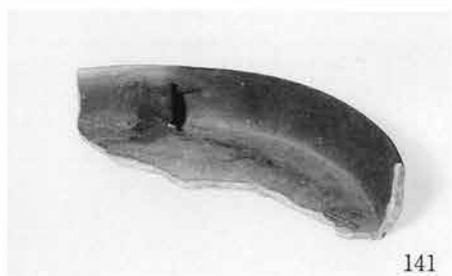
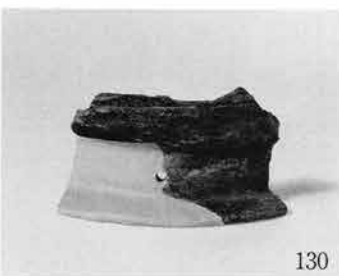
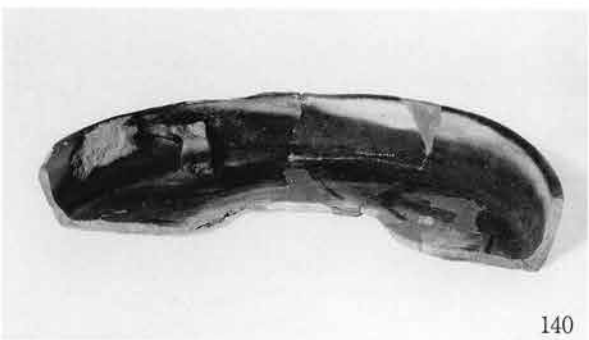
118



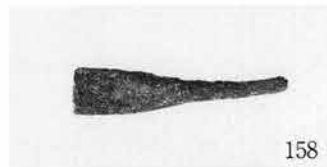
117



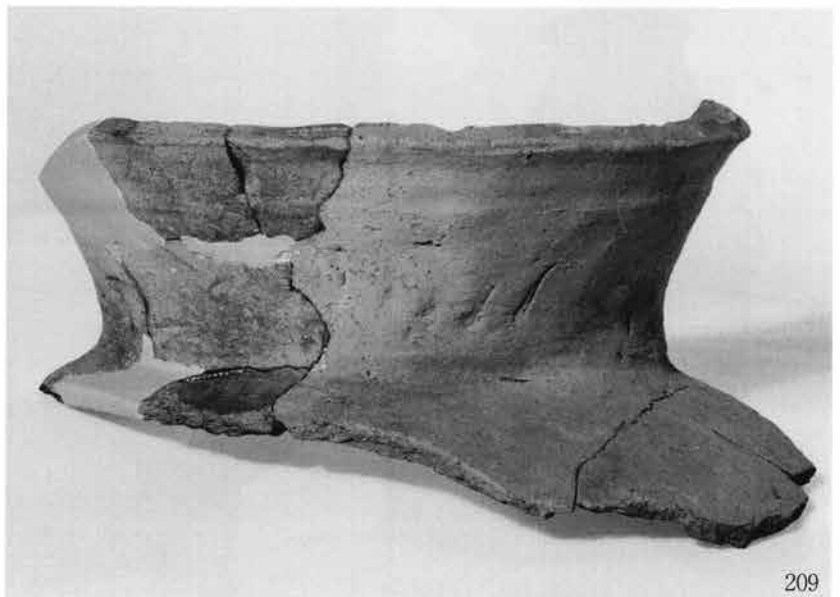
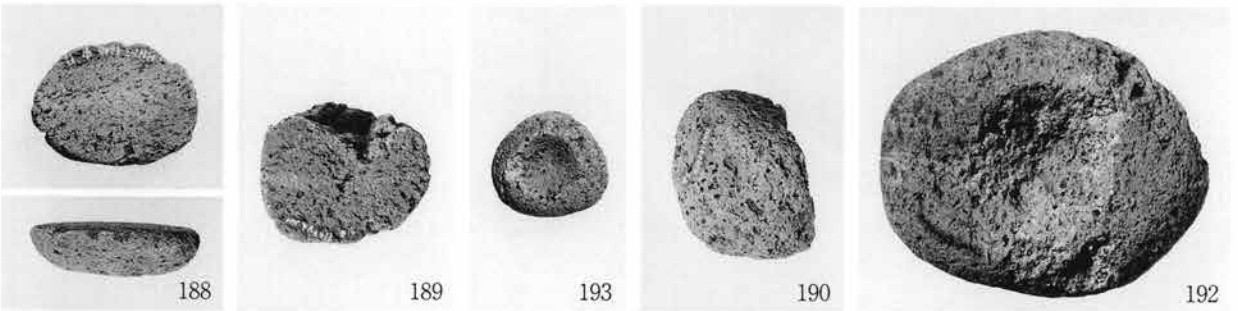
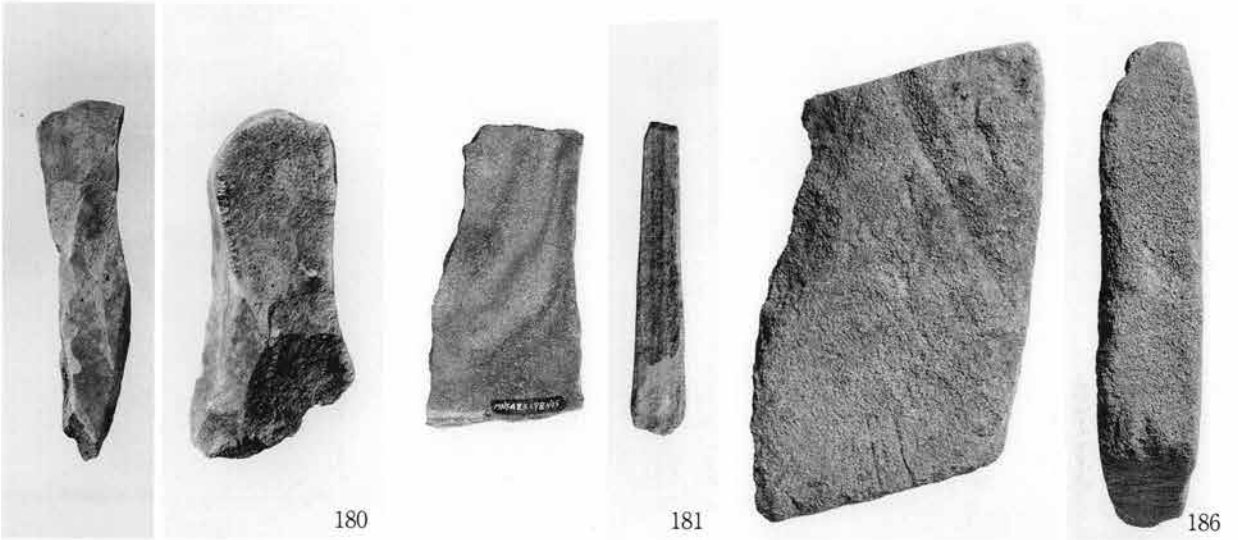
120



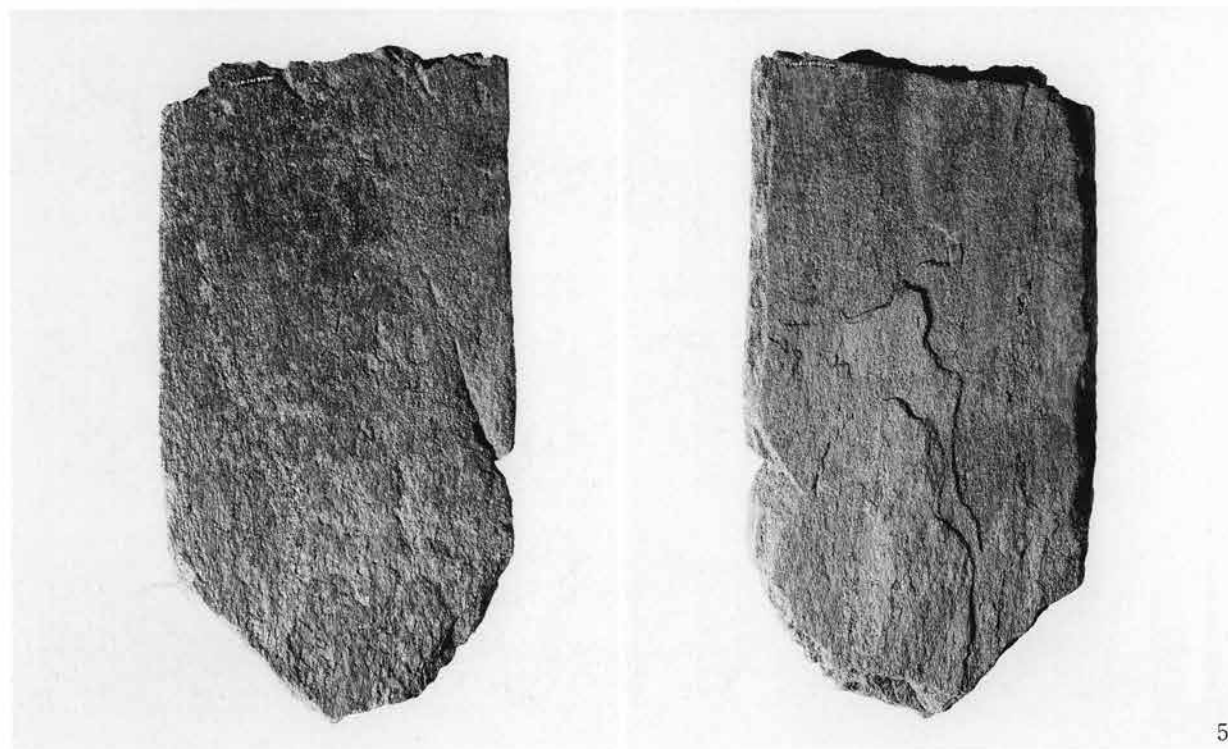
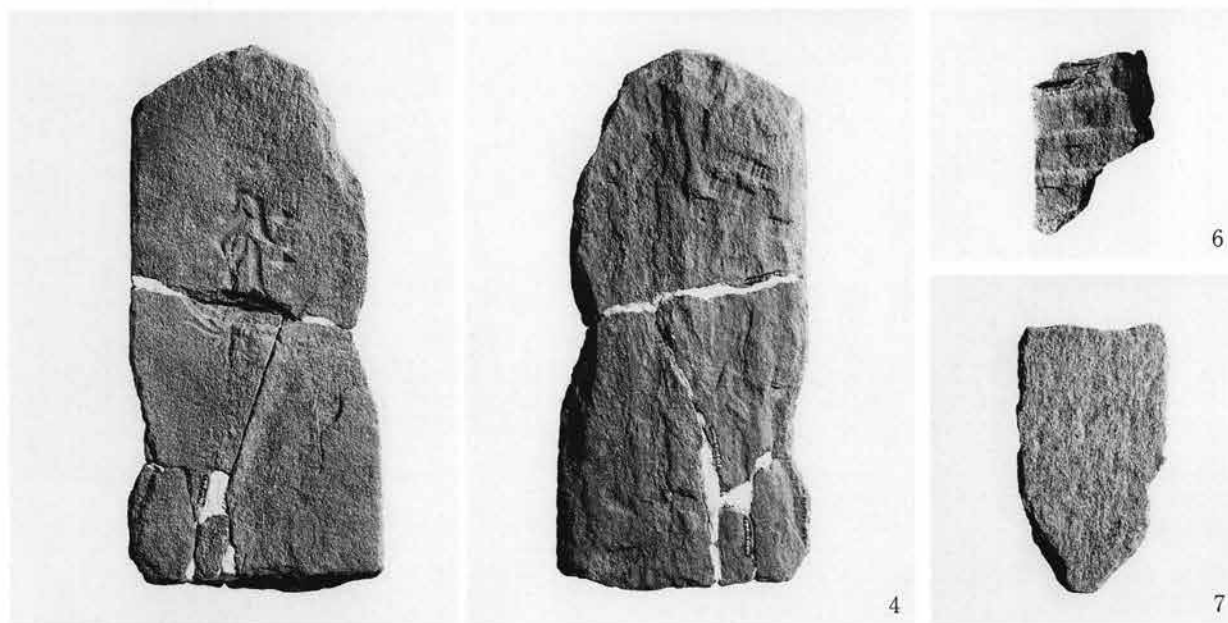
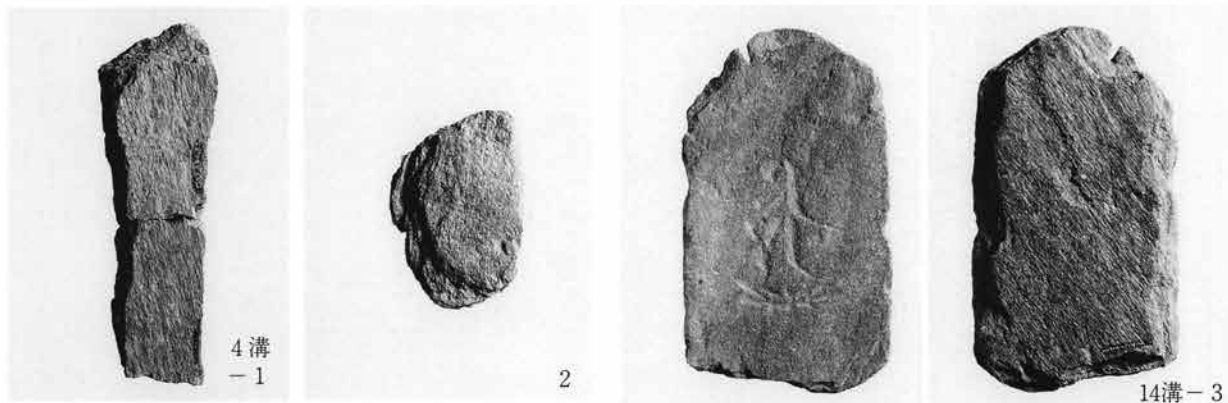
PL-108 A1区4号沟出土遗物(5)

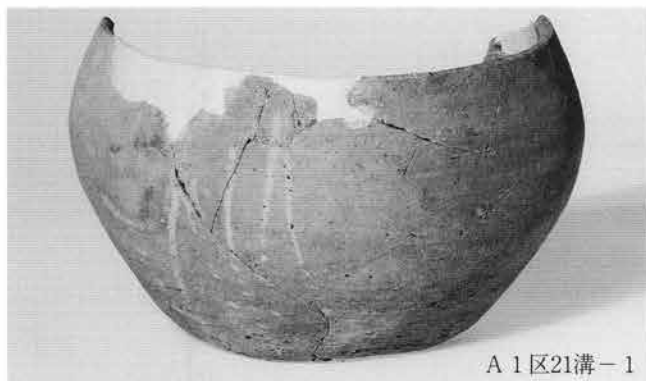




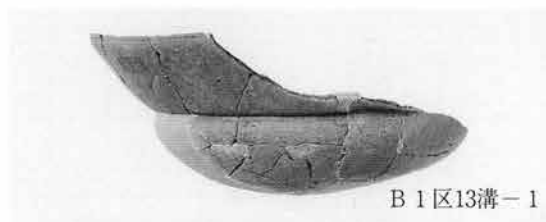


PL-110 A1区4·14号沟出土板碑





A 1区21溝-1



B 1区13溝-1



2



A 1区15溝-1



取付道  
A区18溝-1



取付道C区3溝-1



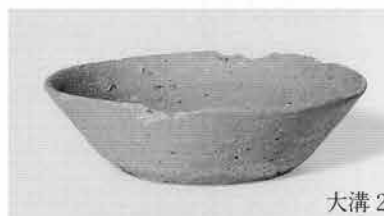
C区5溝-1



19溝-1



44溝-1



大溝2



3



50溝-3



4

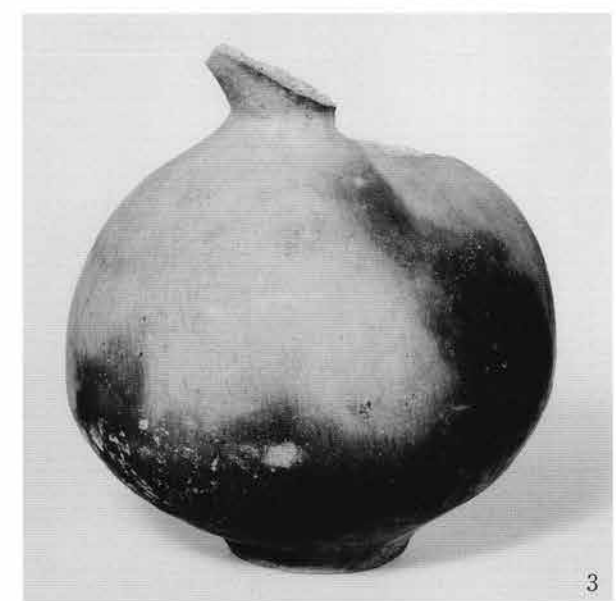
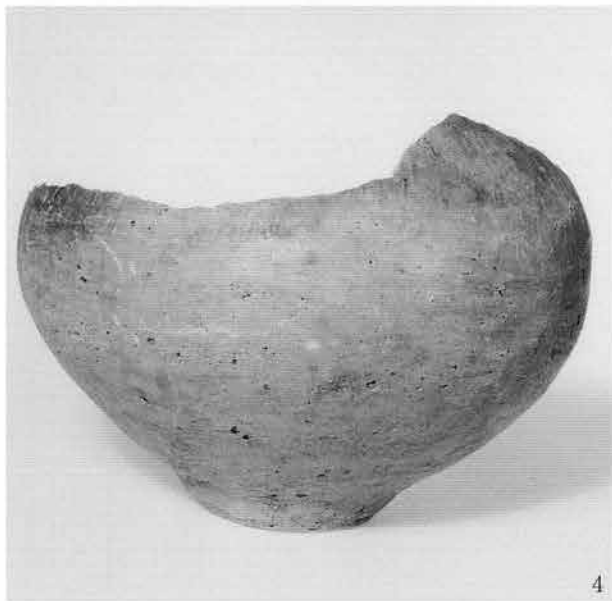
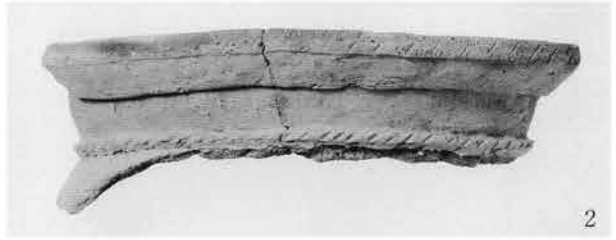
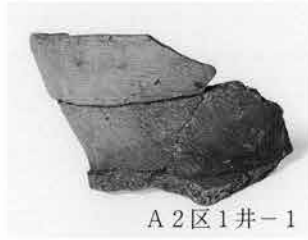


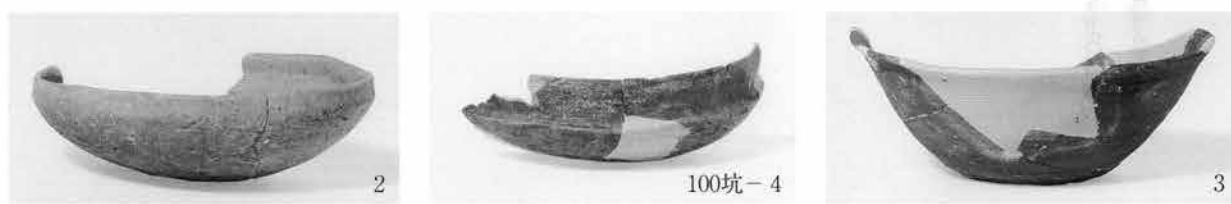
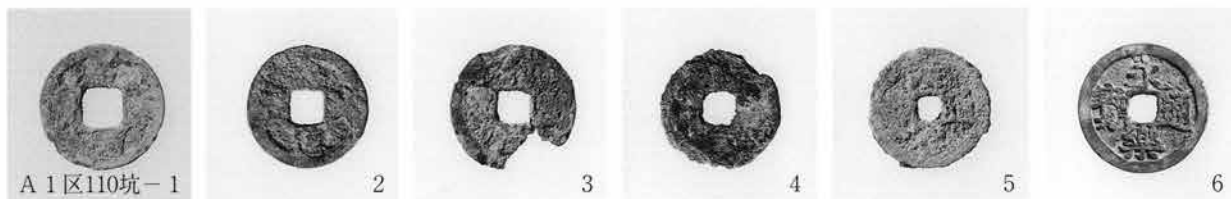
5



6

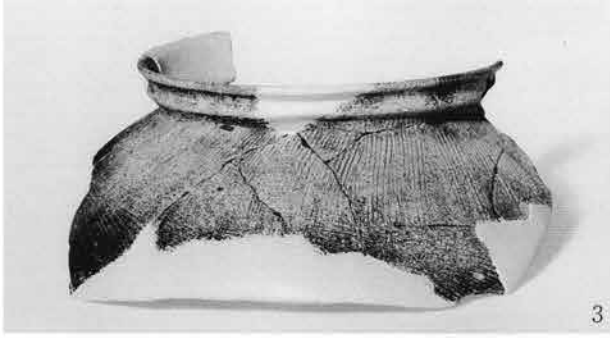
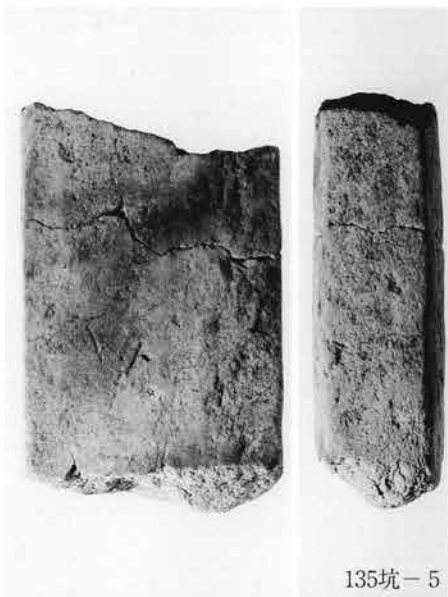
PL-112 井戸出土遺物

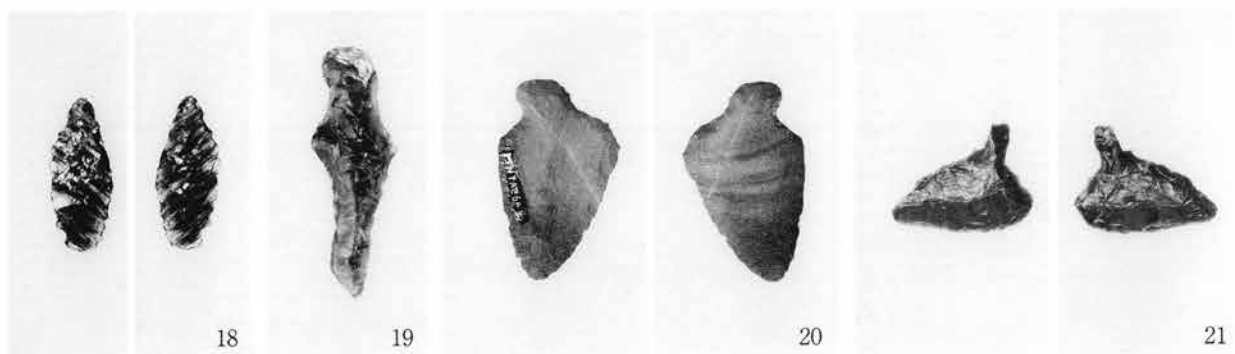
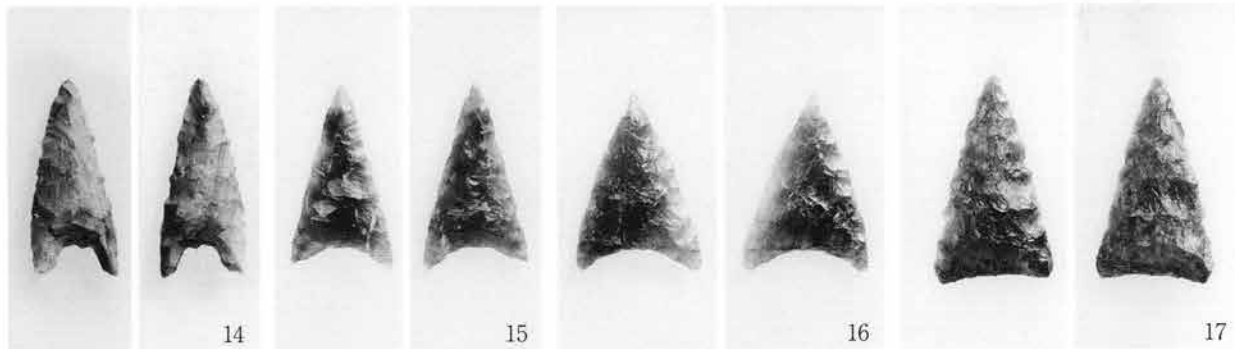
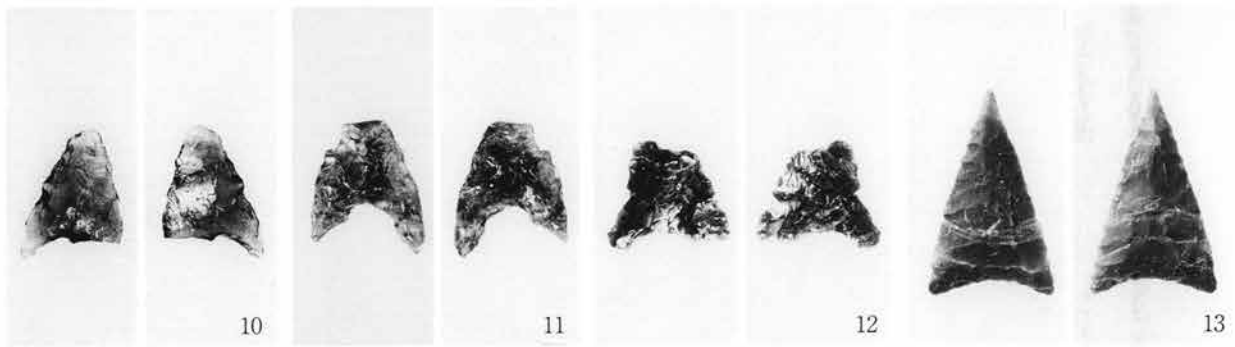
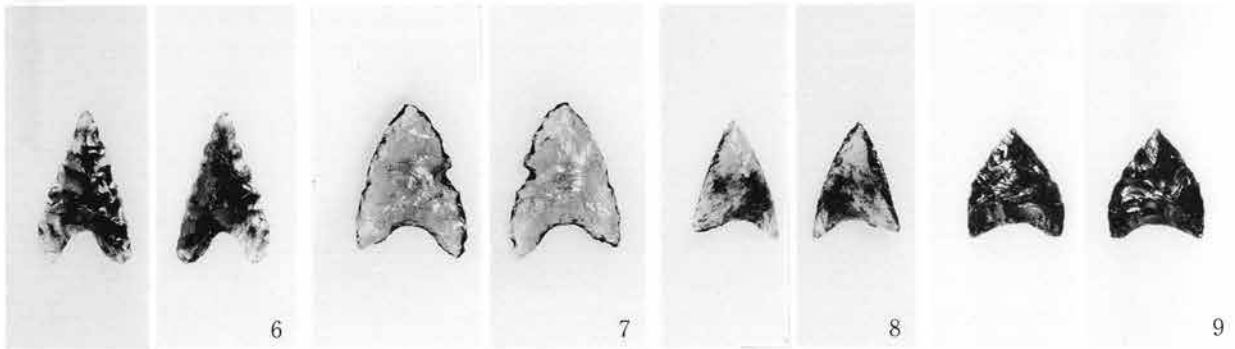
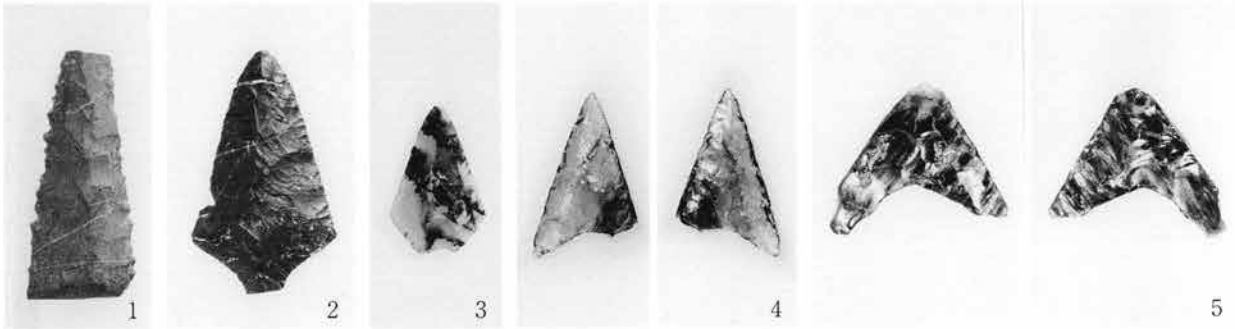




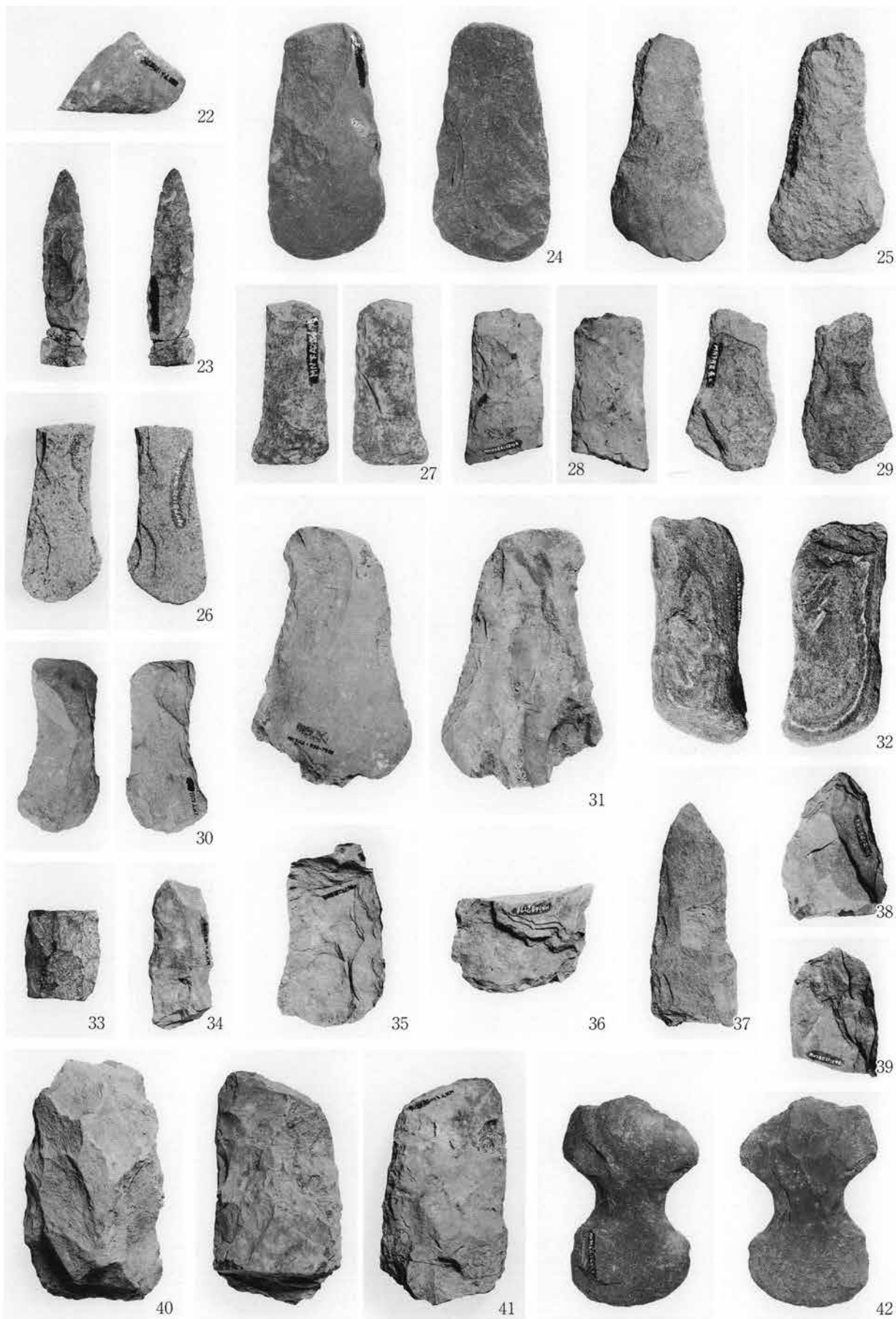
PL-114 土坑出土遺物 (2)

A1区101坑-3

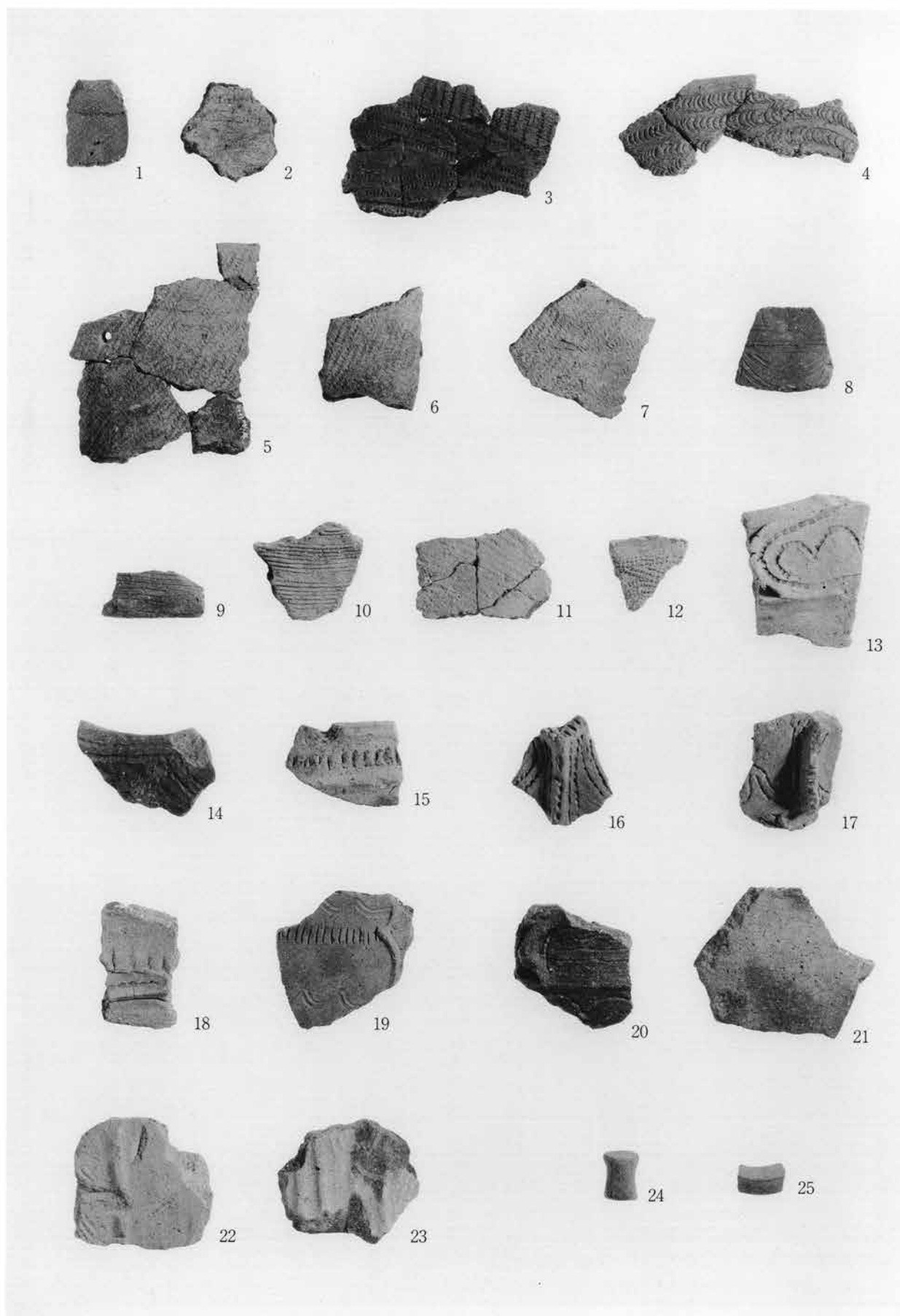




PL-116 縄文時代の石器 (2)









A 1 区  
4 溝-146



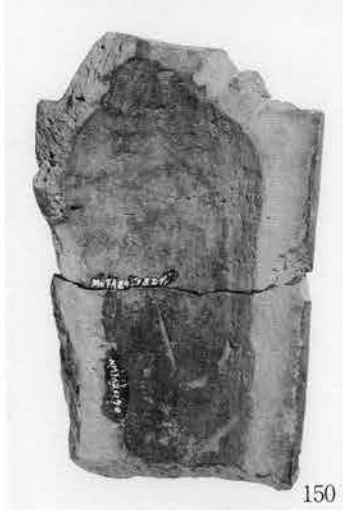
147



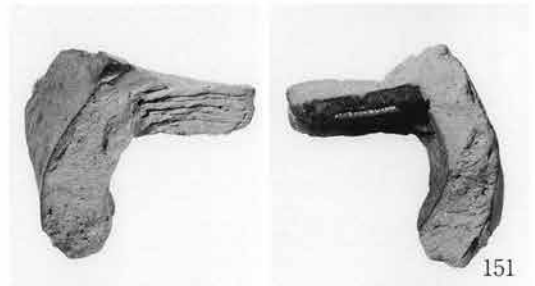
149



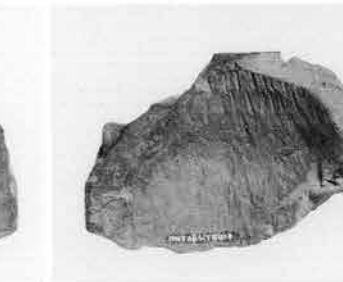
148



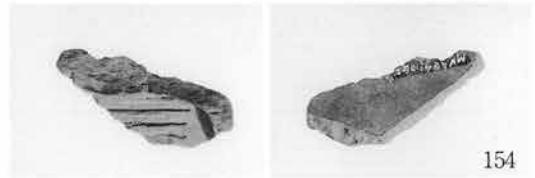
150



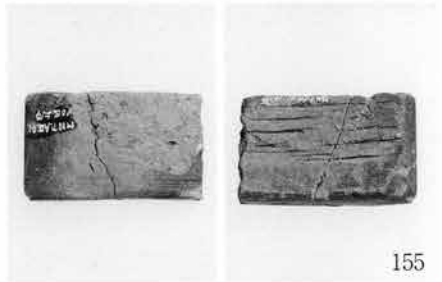
151



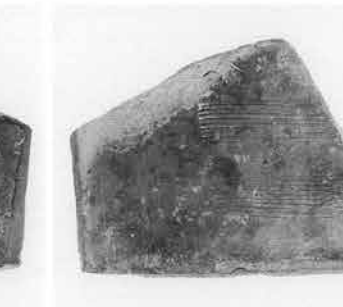
152



154



155



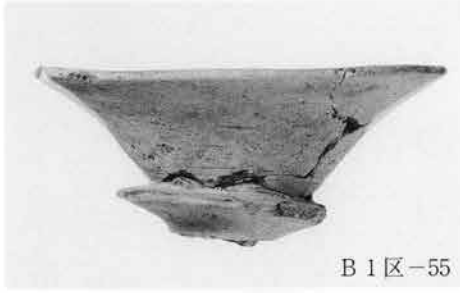
153



156



PL-120 その他の遺物(2)



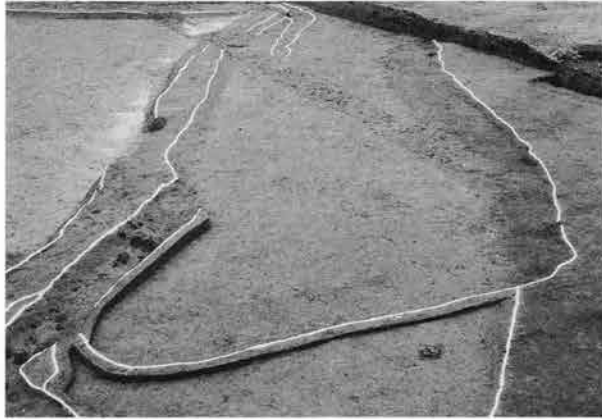


1 As-A下およびAs-A混凝土面 (西から)



2 As-B下面 (西から)

PL-122 榎町北Ⅲ遺跡(2)



1 3号溝の新古状態 (北東から)



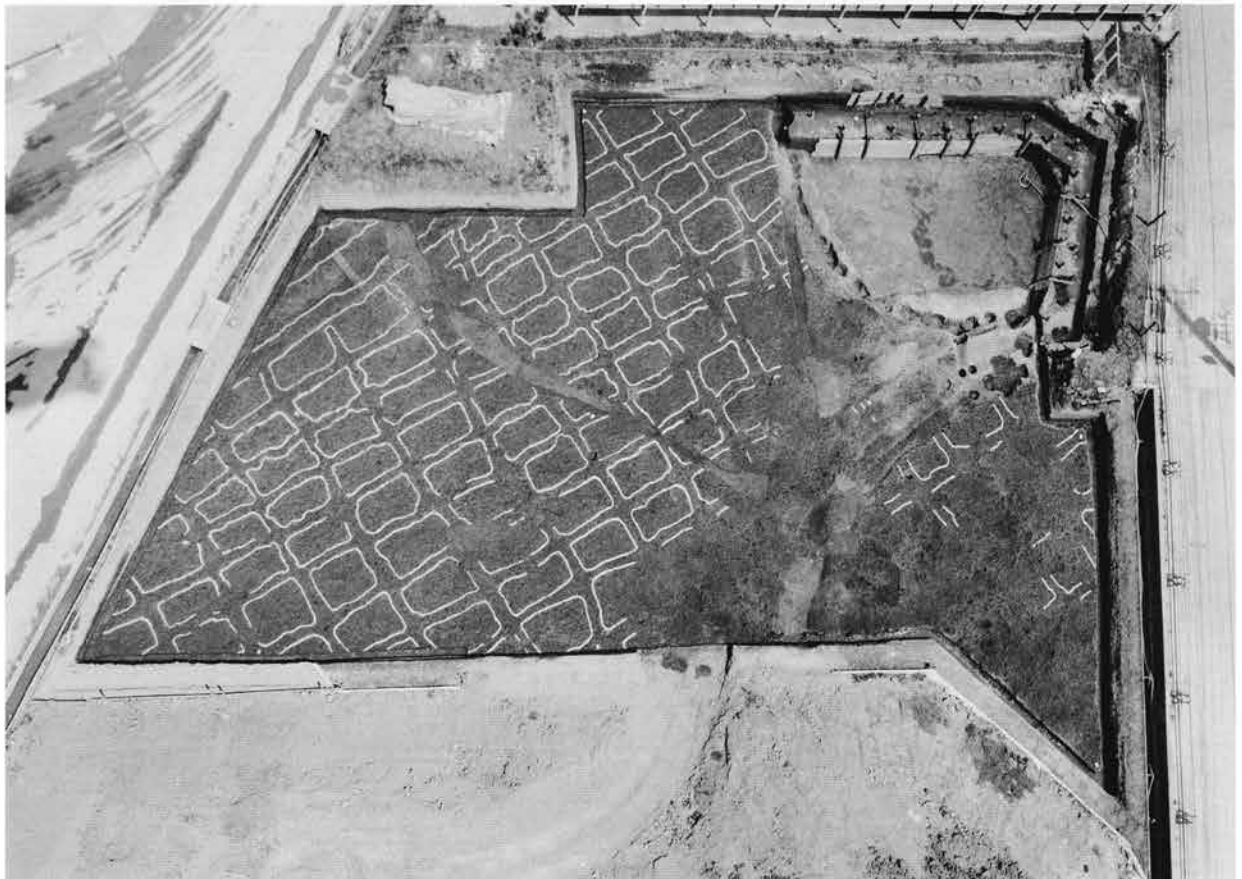
2 As-B下水田畦と9・10号溝 (東から)



3 池跡 (北西から)



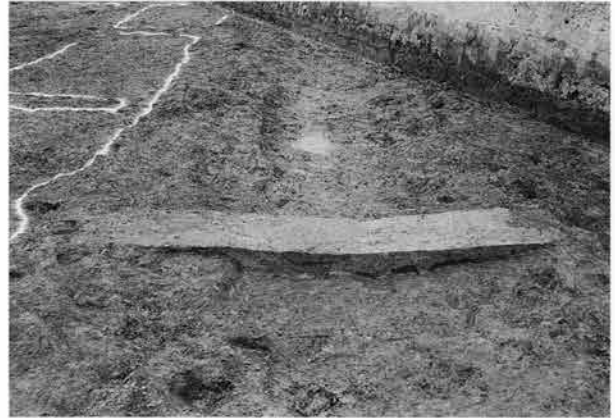
4 池跡 (南から)



5 Hr-FA下水田 (西から)



1 Hr-F A下水田 (北から)



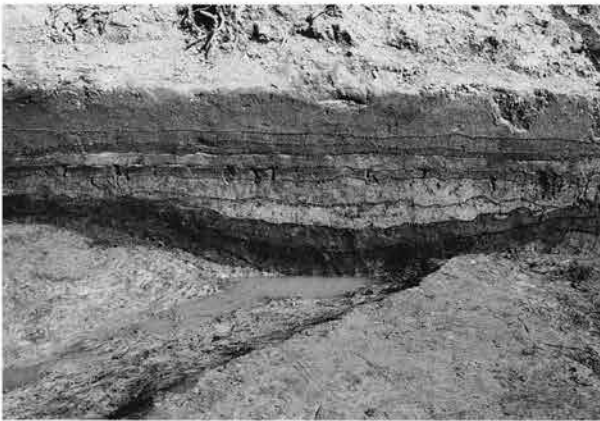
2 Hr-F A下面14号溝 (南東から)



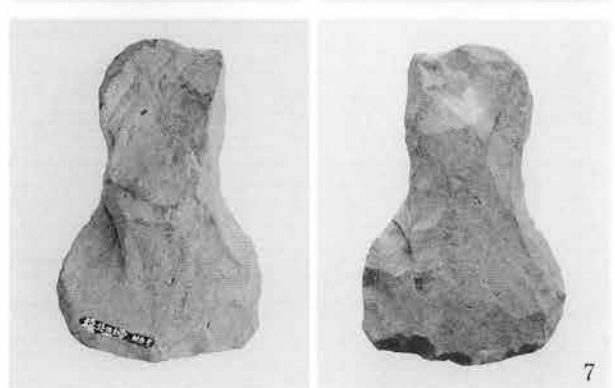
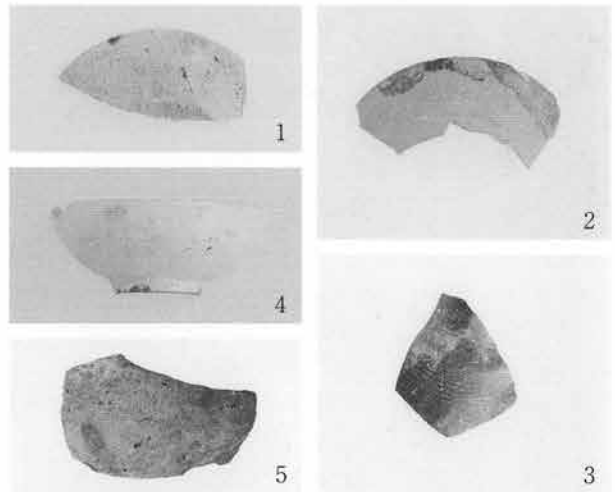
3 Hr-F A下面14号溝 (東から)



4 15・16(右)号溝 (北西から)



5 15号溝土層断面 (西から)



6

出土遺物

7



財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
発掘調査報告第329集

下滝天水遺跡（遺物観察表・写真図版編）

平成16年（2004年）3月10日印刷

平成16年（2004年）3月15日発行

編集／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県勢多郡北橘村下箱田784番地の2

電話 0279 (52) 2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷 株式会社 開文社印刷所